

取付作業者用

ドライブレコーダー（連動2カメラ）取付説明書 追補版

このたびは、スズキ純正用品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。本書はドライブレコーダー（連動2カメラ）のリヤカメラ関連の取付方法について記載しています。取り付け前には本書および別冊の取付説明書を必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

取り付け後は、「取扱説明書」および「保証説明書」を必ずお客様にお渡しください。なお、取付ミスを避けるためにも、取付けは、スズキ代理店またはスズキ代理店が指定した販売店でお願いします。

安全に関する表示

この取付説明書の中で使用されている記号は、次のようになっています。

！警告、**▲注意**、**注記**、**△アドバイス** のところは、とくにしっかりお読みください。

！警告	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、死亡または重大な傷害につながるおそれがある内容です。
▲注意	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、傷害につながるおそれがある内容です。
注記	取付、取扱方法を誤った、または守らなかった場合、物的損害につながるおそれがある内容です。
△アドバイス	この用品のために守っていただきたいこと、または知っておくと便利な内容です。

使用されている~~（）~~の記号は、してはいけない内容を示しています。

！の記号は、実行しなければならない内容を示しています。

品番および適用車種

👉 アドバイス

ランディに取り付ける場合は、リヤカメラ延長ケーブル（9909J-55Z73-P03）が必要になります。

品番	適用車種	適用開始時期
9909B-69T73-P02	アルト 型式 HA37S、HA97S	2025年 6月～
	エブリイ 型式 DA17W、DA17V	2023年 11月～
	ハスラー 型式 MR52S、MR92S	
	ジムニー 型式 JB64W	2025年 11月～
	ラパン 型式 HE93S	2025年 8月～
	スペーシア 型式 MK54S、MK94S	
	スペーシアベース 型式 MK33V	2023年 11月～
	ワゴンR 型式 MH85S、MH95S	2025年 12月～
	ワゴンRスマイル 型式 MX81S、MX91S	2023年 11月～
	eビターラ 型式 PA2AS、PB3AS	2026年 1月～
	フロンクス 型式 WDB3S、WEB3S	2024年 10月～
	ジムニーシエラ 型式 JB74W	2025年 11月～
	ジムニーノマド 型式 JC74W	2025年 3月～
	ランディ 型式 MZRA90C、MZRA95C、ZWR90C、ZWR95C	2023年 11月～
	ソリオ 型式 MAD7S	2024年 12月～
	スイフト 型式 ZCDDS、ZCEDS、ZDDDS、ZDEDS	2023年 12月～
	スイフトスポーツ 型式 ZC33S	2023年 11月～
	クロスビー 型式 MND1S	2025年 10月～

加工について

車両により加工内容が異なりますので、間違えがないように作業を行ってください。

		バックドア部の加工
		バックドアインナーパネル（鉄板）への穴開け (必要:○、不要:× 車両装備により異なる:△)
アルト	標準装備ルーフエンド spoilerあり車	×
	標準装備ルーフエンド spoilerなし車	○
エブリイ		○
ハスラー		○
ジムニー		○
ラパン		○
スペーシア		○
スペーシアベース		×
ワゴンR		×
ワゴンRスマイル		○
eピターラ		×
フロンクス		×
ジムニーシエラ／ジムニーノマド		○
ランディ		×
ソリオ		×
スイフト		×
スイフトスポーツ		×
クロスビー		×

もくじ

安全に関する表示.....	1
品番および適用車種.....	2
加工について.....	3
もくじ.....	4
構成部品（別売品）.....	6
取付要領、取付作業	
全車共通	
• リヤカメラの取付条件について	6
• リヤカメラ取付前の準備.....	7
• リヤカメラの取付方法	8
• リヤカメラケーブル配線（バックドア内）.....	11
取付要領、取付作業	
アルト（標準装備ルーフエンドspoイラーアリ車）の場合	
• 車両部品の取り外し方法.....	14
• 取付概要.....	15
• リヤカメラ取付前の準備.....	16
• リヤカメラの取付方法	17
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	20
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	23
アルト（標準装備ルーフエンドspoイラーナシ車）の場合	
• 車両部品の取り外し方法.....	25
• 取付概要.....	26
• リヤカメラ取付前の準備.....	27
• リヤカメラの取付方法	29
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	31
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	34
エブリイの場合	
• 車両部品の取り外し方法.....	36
• 取付概要.....	37
• リヤカメラ取付前の準備.....	38
• リヤカメラの取付方法	39
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	42
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	45
ハスラーの場合	
• 車両部品の取り外し方法.....	46
• 取付概要.....	47
• リヤカメラ取付前の準備.....	48
• リヤカメラの取付方法	50
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	53
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	55
ジムニー／ジムニーシエラ／ジムニーノマドの場合	
• 車両部品の取り外し方法.....	56
• 取付概要.....	58
• リヤカメラ取付前の準備.....	60
• リヤカメラの取付方法	63
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	65
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	68

ラパンの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	70
• 取付概要.....	71
• リヤカメラ取付前の準備.....	72
• リヤカメラの取付方法	74
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	76
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	79

スペーシアの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	80
• 取付概要.....	81
• リヤカメラ取付前の準備.....	82
• リヤカメラの取付方法	84
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	86
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	89

スペーシアベースの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	91
• 取付概要.....	93
• リヤカメラ取付前の準備.....	94
• リヤカメラの取付方法	95
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	97
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	100

ワゴンRの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	102
• 取付概要.....	103
• リヤカメラ取付前の準備.....	104
• リヤカメラの取付方法	105
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	106
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	109

ワゴンRスマイルの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	111
• 取付概要.....	112
• リヤカメラ取付前の準備.....	113
• リヤカメラの取付方法	115
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	117
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	120

eビターラの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	123
• 取付概要.....	124
• リヤカメラ取付前の準備.....	125
• リヤカメラの取付方法	126
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	129
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	132

フロンクスの場合

• 車両部品の取り外し方法.....	133
• 取付概要.....	135
• リヤカメラ取付前の準備.....	136
• リヤカメラの取付方法	137
• リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）.....	140
• リヤカメラケーブルの配線（車室内）.....	143

ランディの場合

・ランディへ取り付ける際の注意	144
・車両部品の取り外し方法	145
・取付概要	146
・リヤカメラ取付前の準備	147
・リヤカメラの取付方法	148
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）	149
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）	151

ソリオの場合

・車両部品の取り外し方法	153
・取付概要	156
・リヤカメラ取付前の準備	157
・リヤカメラの取付方法	158
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）	160
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）	164

スイフトの場合

・車両部品の取り外し方法	165
・取付概要	166
・リヤカメラ取付前の準備	167
・リヤカメラの取付方法	168
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）	171
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）	174

スイフトスポーツの場合

・車両部品の取り外し方法	175
・取付概要	177
・リヤカメラ取付前の準備	178
・リヤカメラの取付方法	179
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）	181
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）	184

クロスビーの場合

・車両部品の取り外し方法	185
・取付概要	186
・リヤカメラ取付前の準備	187
・リヤカメラの取付方法	188
・リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）	191
・リヤカメラケーブルの配線（車室内）	195

改訂内容	196
------	-----

構成部品（別売品）

リヤカメラ延長ケーブル（品番：9909J-55Z73-P03）

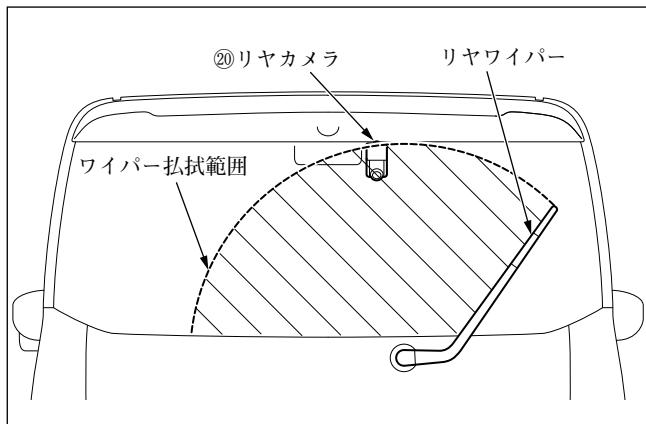


No.	部品名称	数量
④①	リヤカメラ延長ケーブル	1

取付要領

全車共通

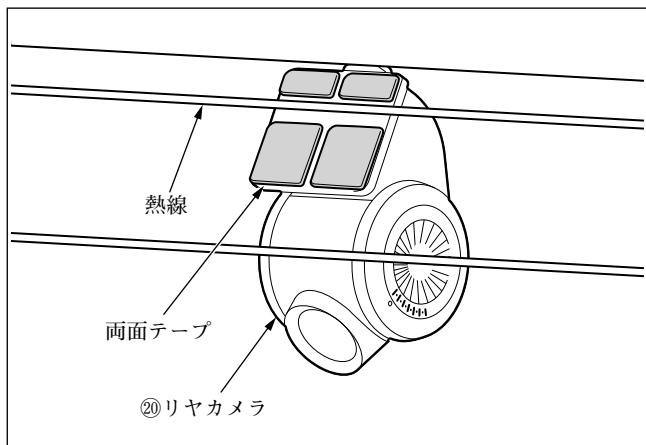
● リヤカメラの取付条件について



取付作業

注記

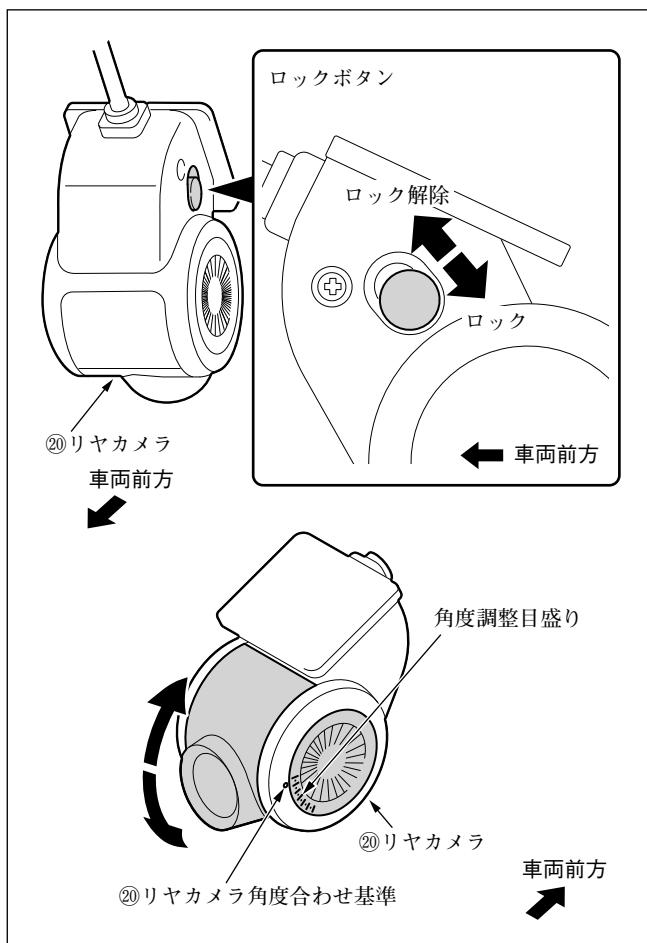
④②リヤカメラの撮影範囲がワイパー払拭範囲内にあることを確認してください。ワイパーの払拭範囲から外れた位置にあると雨天時など鮮明な映像が記録されないおそれがあります。



注記

④②リヤカメラの両面テープがリヤガラスの熱線に触れないように取り付けてください。

● リヤカメラ取付前の準備



- ②②リヤカメラ左側のロックボタンをスライドしてロックを解除してください。
- ②②リヤカメラ右側の角度調整目盛りと②②リヤカメラ角度合わせ基準を合わせてください。
- ロックボタンをスライドしてロックしてください。

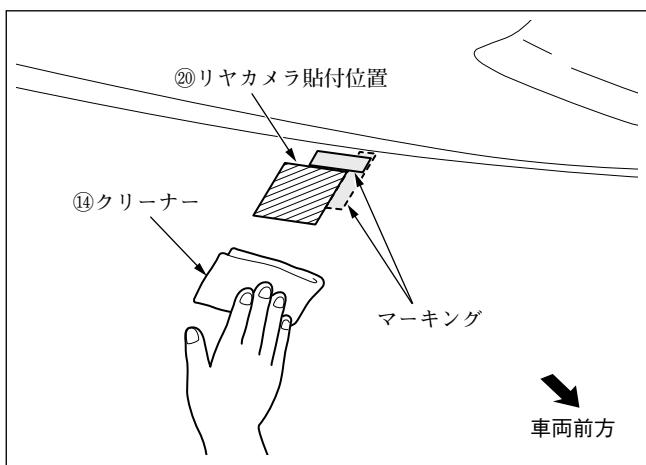
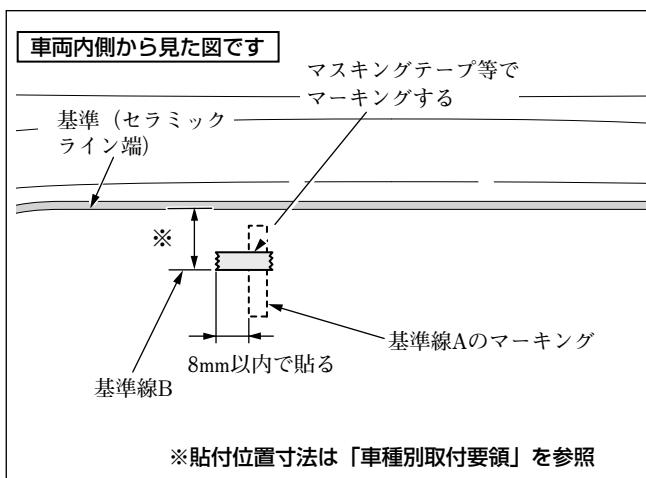
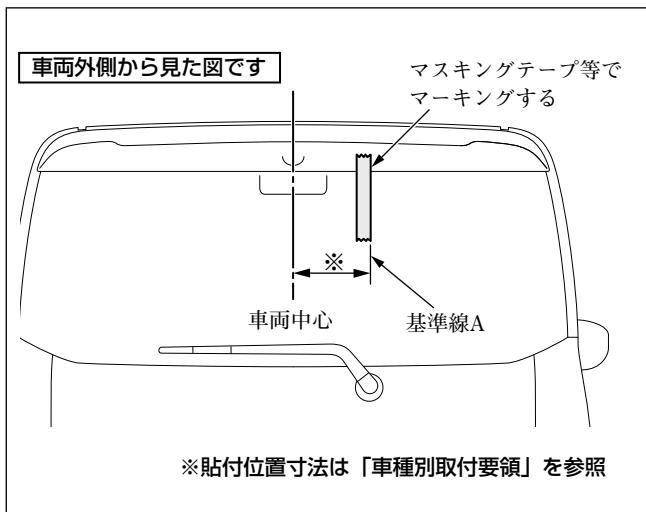
注記

- しっかりとロックされ、がたつき等が無いことを確認してください。
- ②②リヤカメラ画像に必要な情報が記録されないことがあるため、「車種別取付要領」で指定されている位置に確実に調整してください。

アドバイス

調整位置は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。

● リヤカメラの取付方法



(1) 車両外側からマスキングテープ等で⑰リヤカメラの貼付用基準線Aをマーキングしてください。

👉 アドバイス

- 図は、車両外側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の外側が基準線Aになるようにしてください。
- 貼付用基準線Aのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して垂直に貼られていることを車両外側から確認してください。

(2) 車両内側からマスキングテープ等で⑰リヤカメラの貼付用基準線Bをマーキングしてください。

注記

基準線Aのマーキングより8mm以内に基準線Bのマーキングをしてください。8mm以上マーキングを行うと⑰リヤカメラ貼付後、基準線Bのマーキングが外せなくなるおそれがあります。

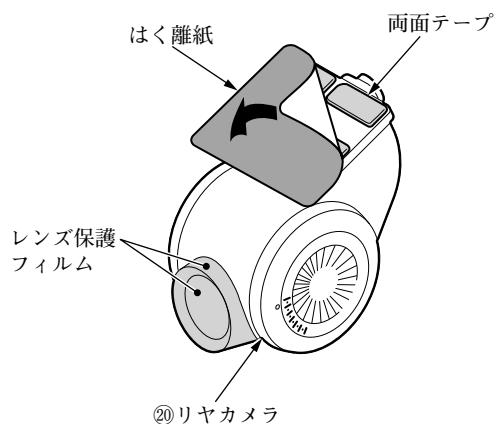
👉 アドバイス

- 図は、車両内側から見た図を示しています。
- 貼付位置寸法については「車種別取付要領」を参照してください。
- マスキングテープ等でマーキングする際、テープ等の下側が基準線Bになるようにしてください。
- 貼付用基準線Bのマーキングを貼り付けるときは、地面に対して水平に貼られていることを車両外側から確認してください。

(3) ⑰リヤカメラ貼付位置のよごれ、油分を同梱の⑯クリーナーで拭き取ってください。

注記

- 必ず同梱の⑯クリーナーを使用してください。同梱の⑯クリーナー以外を使用した場合、含まれる成分によっては⑰リヤカメラが貼り付かなくなるおそれがあります。
- 拭取後は、必ずガラス面が完全に乾いていることを確認してから次の作業を行ってください。



(4) レンズ保護フィルムをはがしてください。

注記

②②リヤカメラのレンズを手で触って汚したり、傷を付けたりしないでください。

(5) ②②リヤカメラの両面テープからはく離紙を剥がしてください。

注記

粘着力が落ち②②リヤカメラが落下するおそれがありますので、両面テープの粘着面に手で触れたりしないでください。

注記

- ・作業環境（温度・湿度）に注意してください。
- ・15°C以下の場合は、ドライヤーなどでガラス面と②②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼付作業を行ってください。

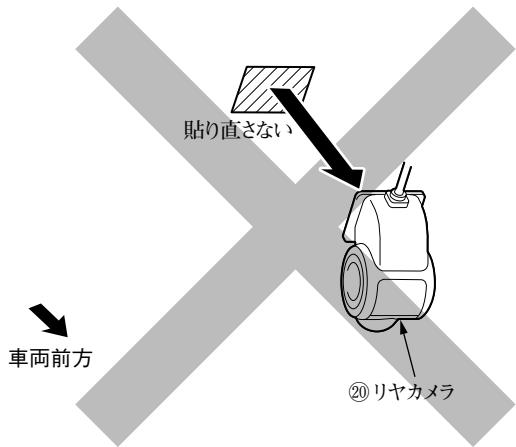
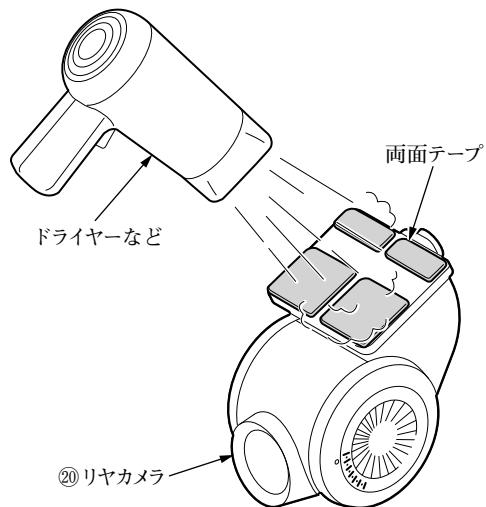
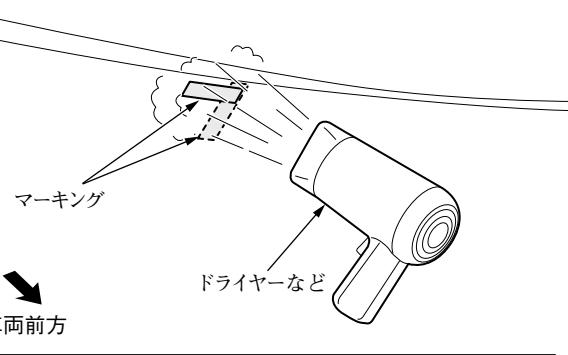
・温度について

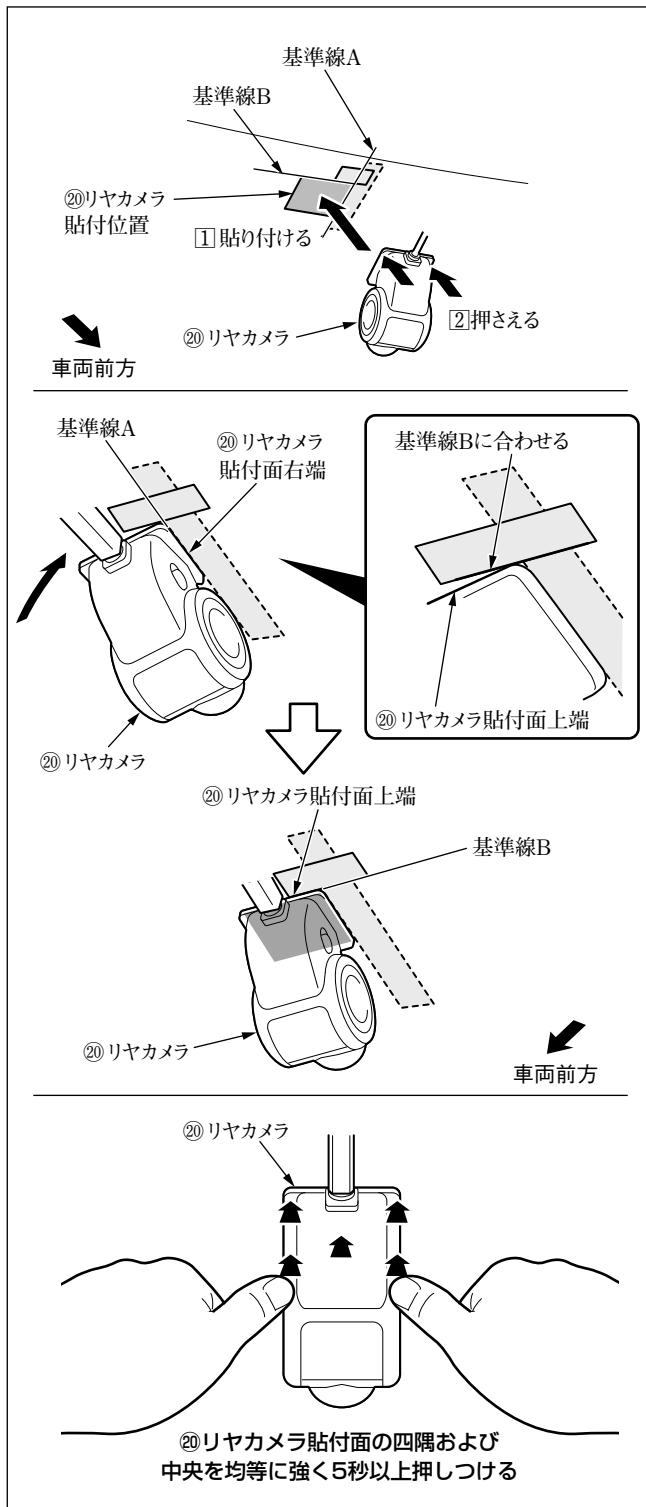
貼付作業時の環境温度は、15°C以上が推奨です。気温が低い時期（気温15°C未満の作業環境など）は、両面テープの柔軟性が低下して、ガラス面と十分な粘着力が得られない場合があります。

・湿気について

貼付部のガラス表面を乾燥させてください。室温に比べてガラス表面温度が低い場合は、結露によって水滴や湿気が付着しやすくなり、両面テープの粘着力が著しく低下します。

- ・②②リヤカメラを温めすぎると、破損する可能性がありますので、両面テープを温める際は、数秒だけドライヤーなどで温めてください。
- ・粘着力が弱まり、落下するおそれがありますので、②②リヤカメラを貼り直したりしないでください。
- ・貼付後、ガラスクリーナー等を用いて付近を清掃する場合は、必ず20分以上放置後に行ってください。十分な時間が経たずにガラスクリーナー等のスプレー や水分が付着すると、粘着力が低下し落下する可能性があります。
- ・本機を車体から取り外す場合は、貼付面の四隅を持ってください。本体部や可動部を持って剥がそうとすると、本機が破損するおそれがあります。





(6) 基準線Aに②②リヤカメラ貼付面の右端を合わせ、同時に基準線Bに②②リヤカメラ貼付面の上端を合わせてリヤガラスに貼り付けてください。

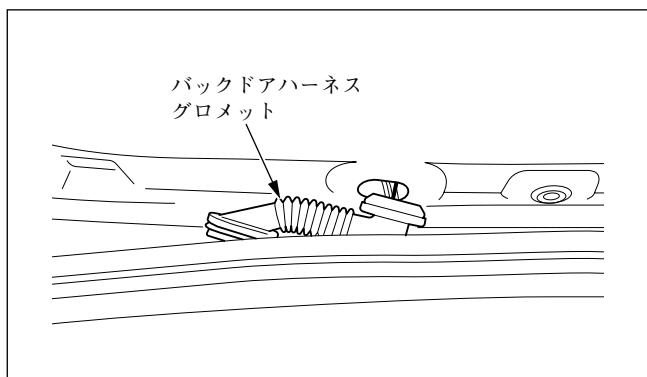
注記

- ②②リヤカメラ貼付用両面テープ部に水分が付着しないようにしてください。水分が付着した場合は、ドライヤーなどで乾燥させてください。
- 貼り付ける際、貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 貼付時、リヤガラスと両面テープの間の空気（気泡）を抜くように、貼付面右端から左端へ徐々に貼り付けてください。
- 両面テープをしっかりと定着させるため、5秒以上②②リヤカメラをリヤガラスに押しつけてください。
- 押しつける際、貼付面の四隅および中央を押しつけるようにしてください。
- ②②リヤカメラ貼付後、車両外側から見て両面テープの部分に気泡がないことを確認してください。

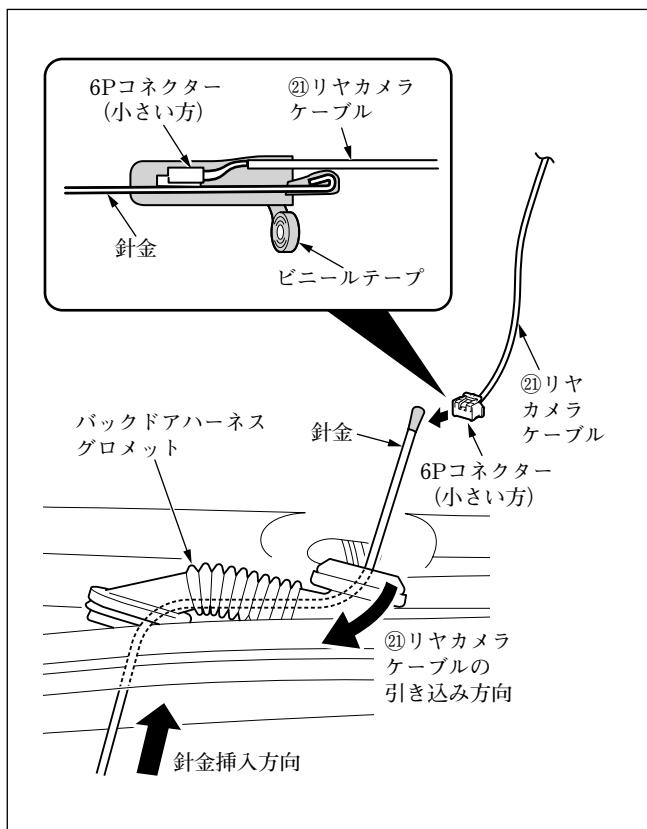
アドバイス

- ②②リヤカメラ貼付後、貼付基準用のマーキングを剥がしてください。
- 助手席側に貼り付ける際は、基準線Aに②②リヤカメラ貼付面の右端を合わせて貼り付けてください。

● リヤカメラケーブル配線（バックドア内）



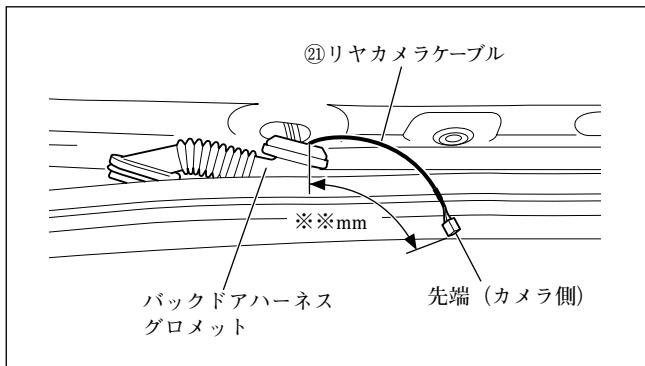
(1) 車両バックドアハーネスグロメットのかん合を外してください。



(2) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングしてください。
 (3) 先端をテーピングした針金を、バックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
 (4) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
 (5) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- 車両バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブルの破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、車両ハーネスの電線とからませないように通してください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、テーピングの上から中性洗剤等を塗布してコネクターがバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤が掛からないようにしっかりとテーピングしてください。

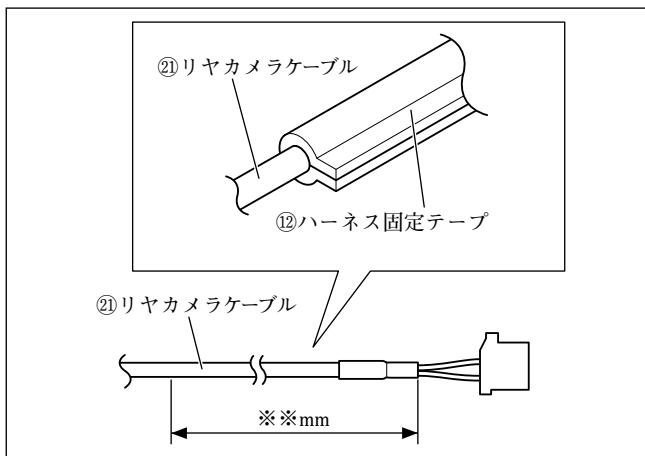


(6) ②①リヤカメラケーブルを車室内側に引き込んでください。

(7) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは図示寸法を確保してください。

👉アドバイス

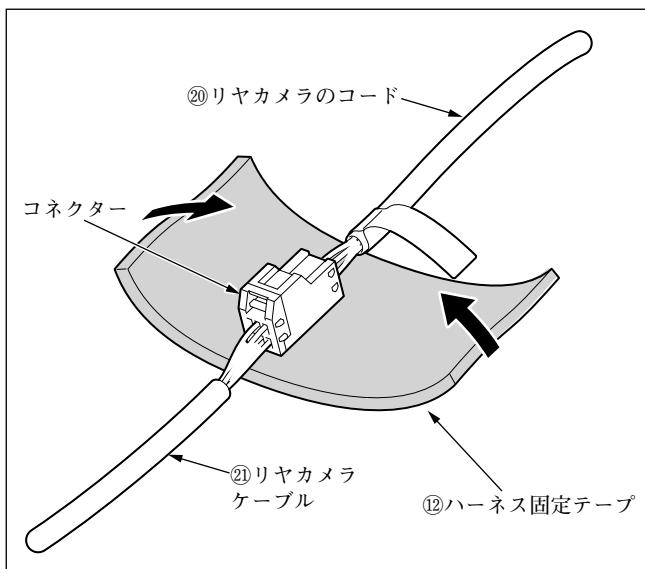
バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までの寸法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



(8) 異音防止のため、⑫ハーネス固定テープをカメラ側の②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

👉アドバイス

②①リヤカメラケーブルの固定箇所・方法は車種により異なりますので「車種別取付要領」を参照してください。



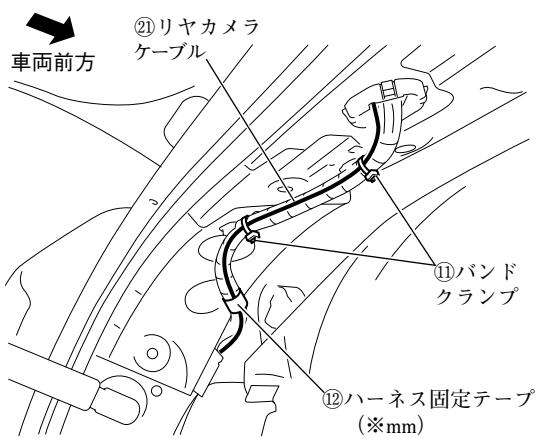
(9) ②①リヤカメラのコードと②①リヤカメラケーブルのコネクターを接続してください。

(10) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。

注記

ランディに取り付ける場合は、②①リヤカメラのコードと④①リヤカメラ延長ケーブルのコネクターおよび④①リヤカメラ延長ケーブルと②①リヤカメラケーブルのコネクターにも⑫ハーネス固定テープを同様に貼り付けてください。

バックドア開口部左



(11) 車両バックドアハーネスグロメットを復元してください。

注記

水漏れの原因となるため、車両バックドアハーネスグロメットは確実に復元してください。

(12) ②リヤカメラケーブルを⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定しながら配線してください。

注記

- ルーフライニングにしわや折れが出ないように注意して作業してください。
- 経路上に車両エッジがある場合は、⑬保護シートを貼ってください。
- 貼付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。

取付要領

取付作業

アルト（標準装備ルーフエンドspoイラーあり車）の場合

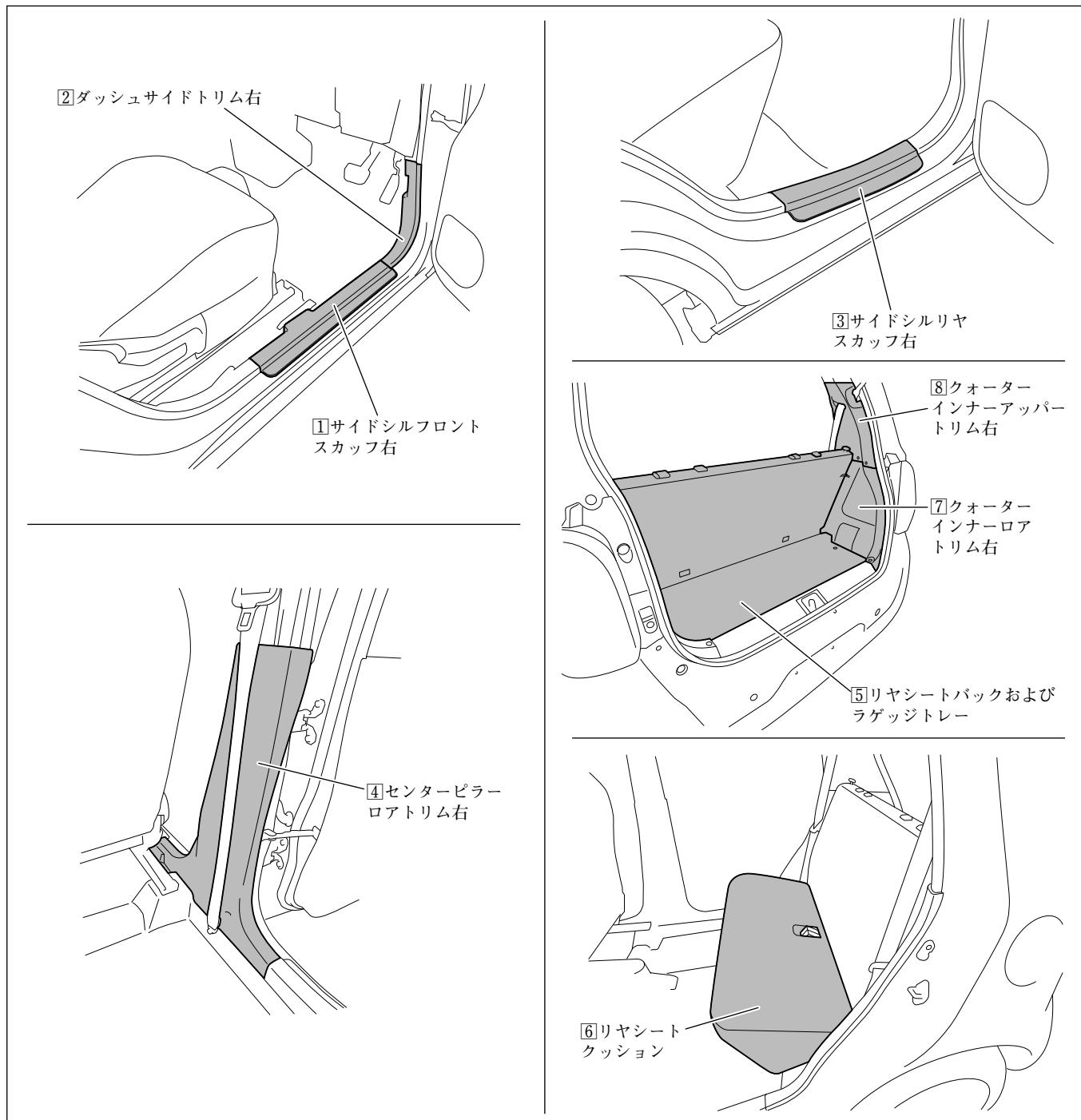
●車両部品の取り外し方法

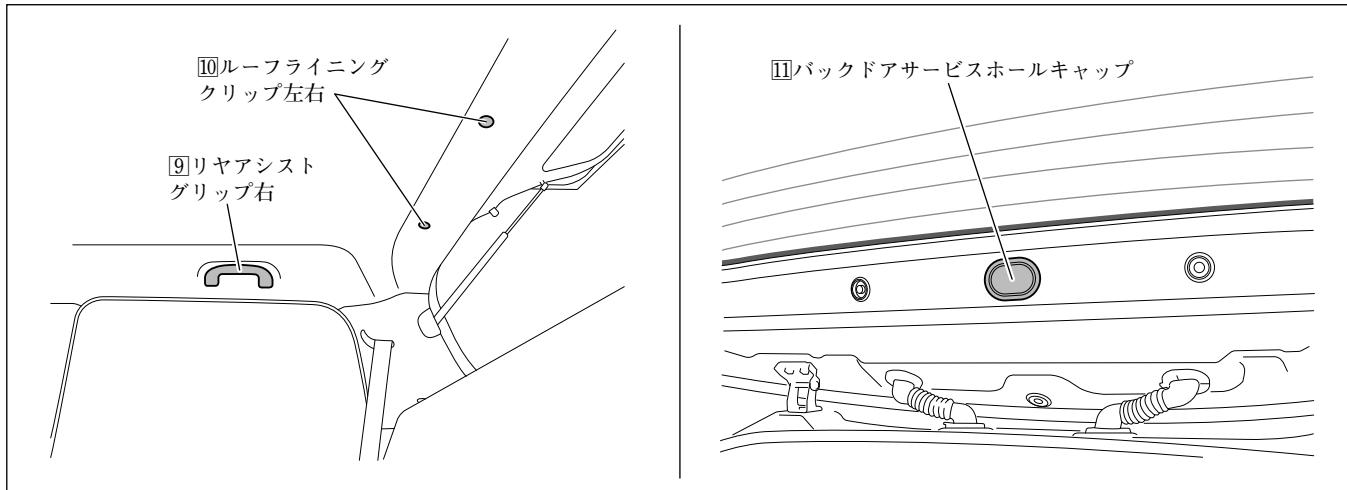
注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

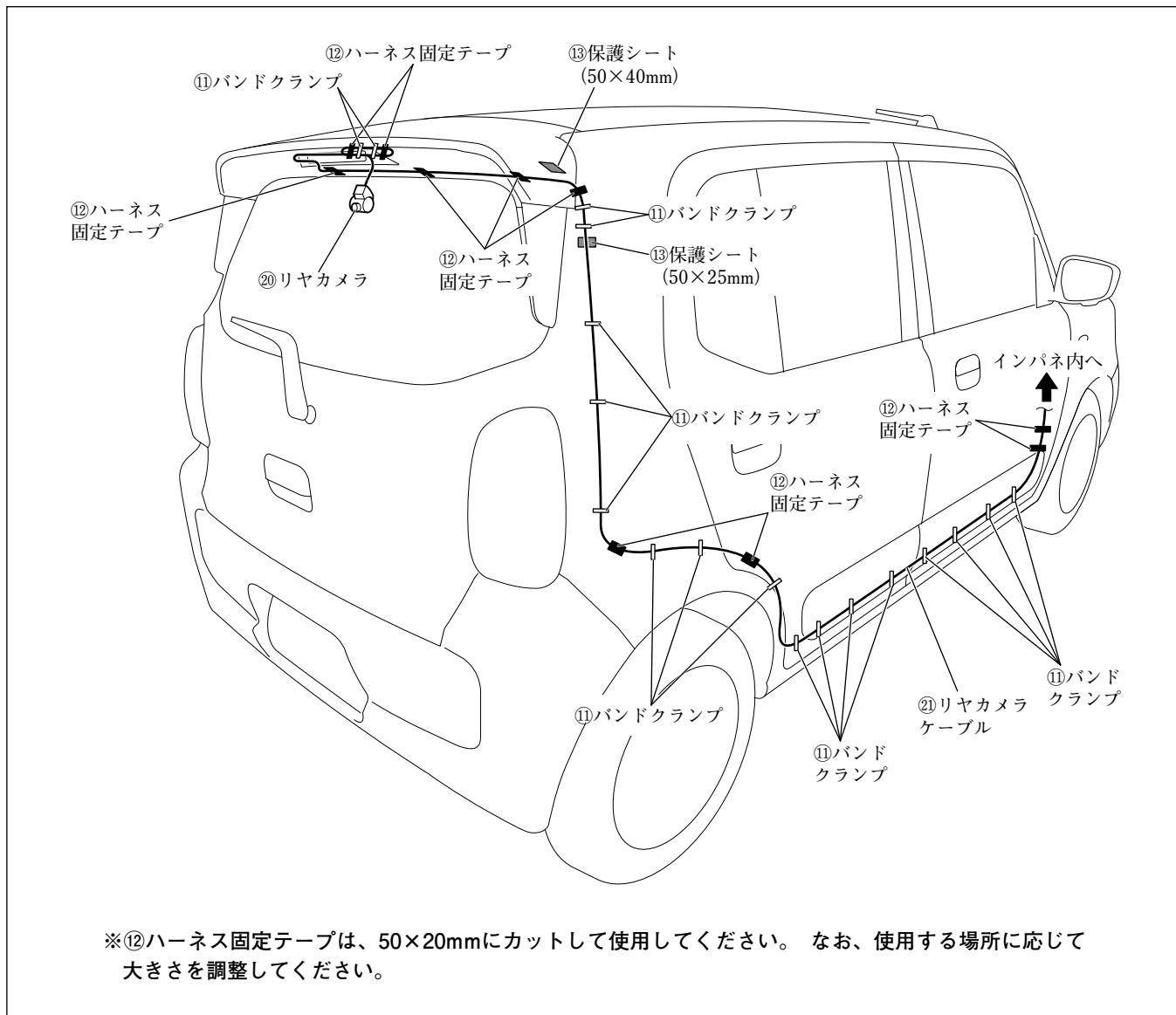
リヤカメラ



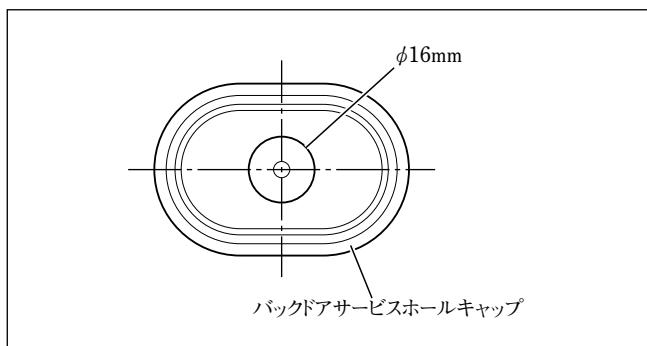


● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

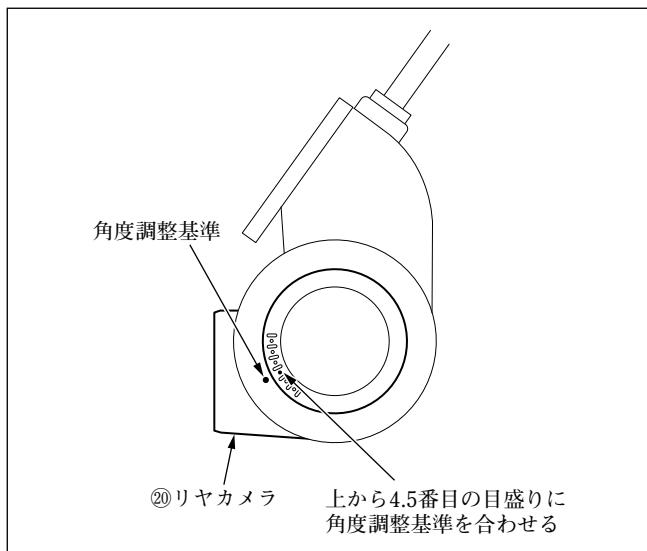
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

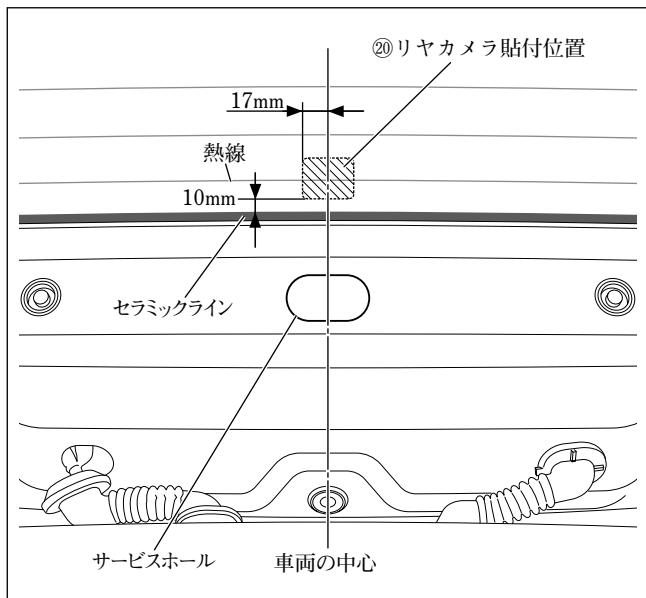


(3) ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

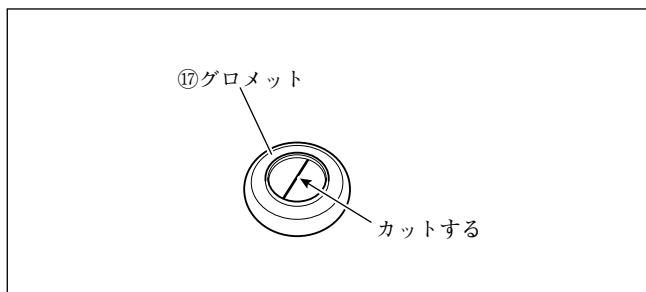
● リヤカメラの取付方法



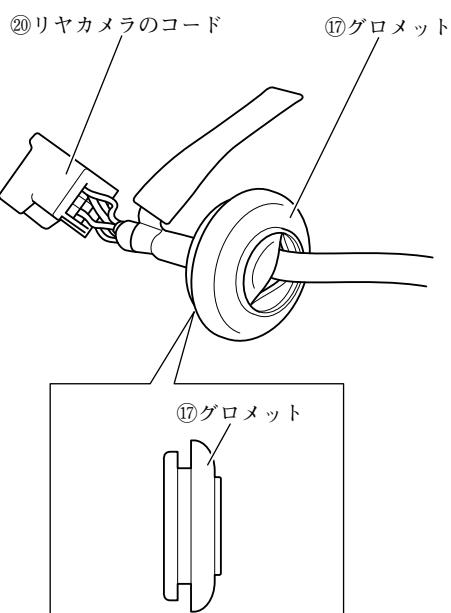
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



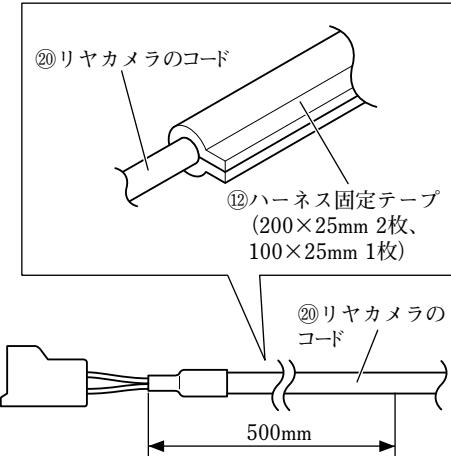
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



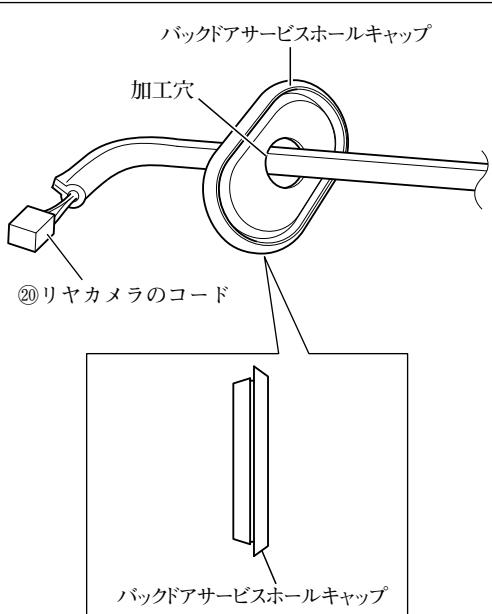
(3) ⑯グロメットを⑰リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑰リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



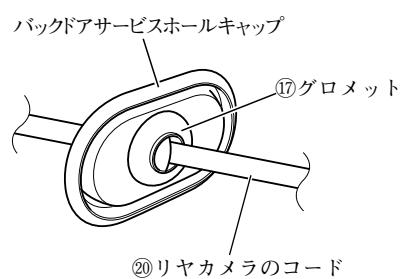
(4) ⑯ハーネス固定テープを⑰リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ⑰リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

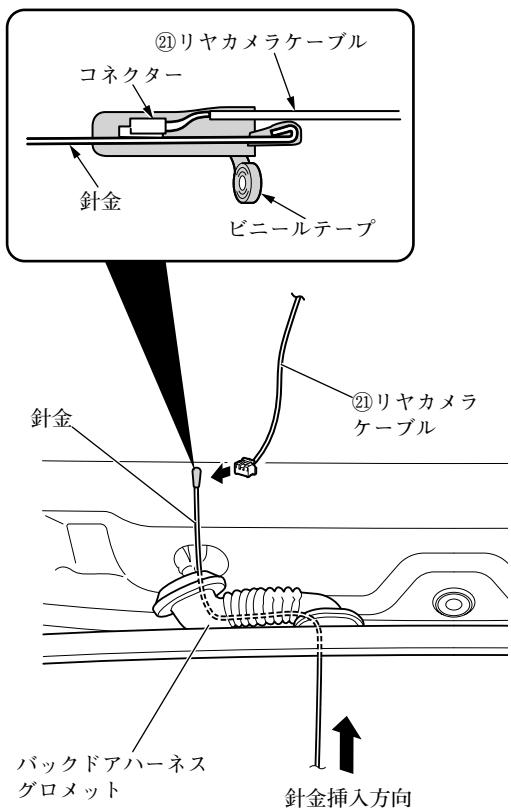
注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

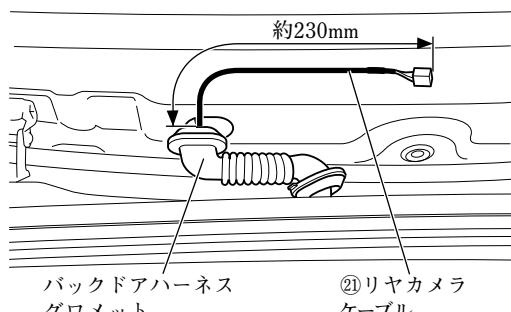
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



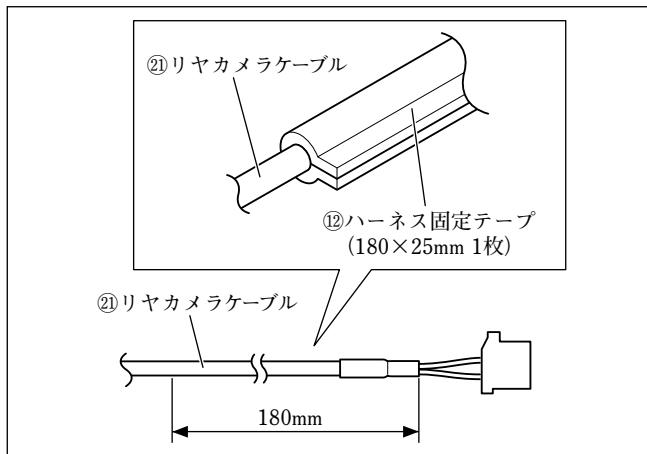
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

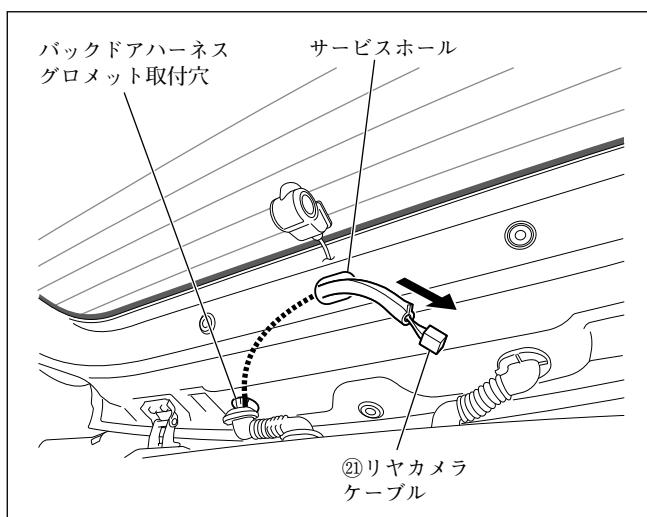
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテーピングしてください。



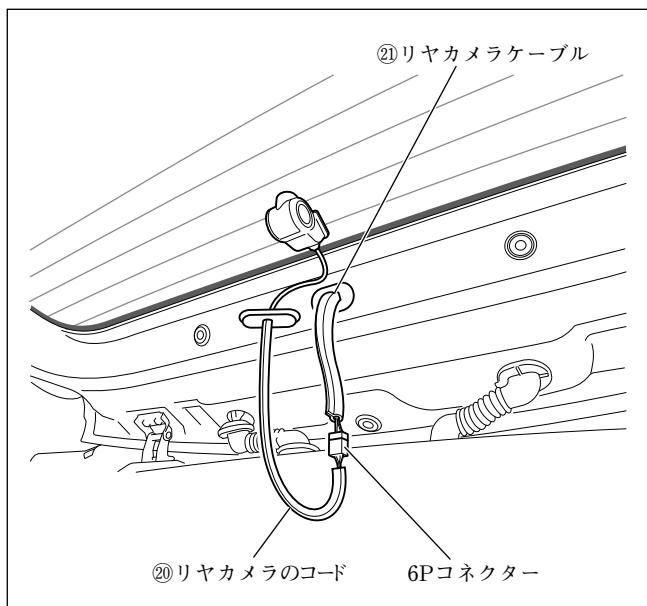
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

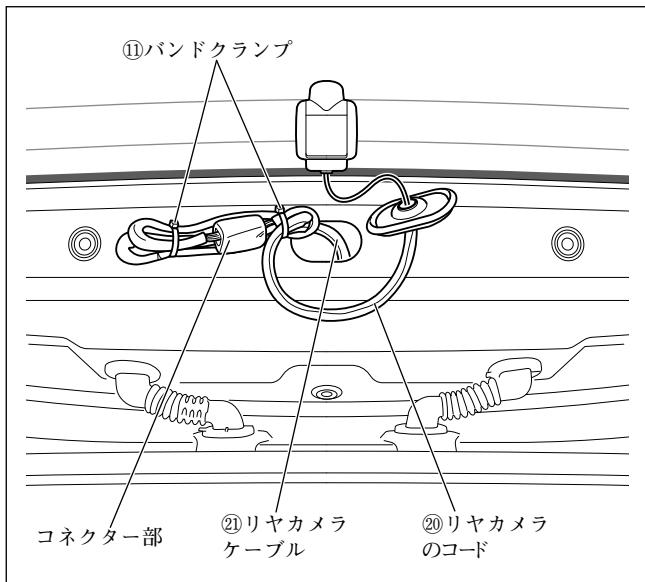


(7) 針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

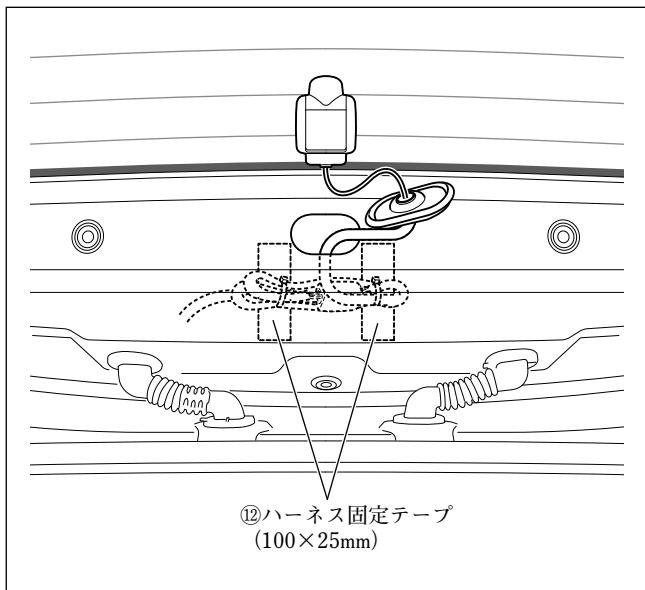


(8) ②リヤカメラケーブルのコネクターと②リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



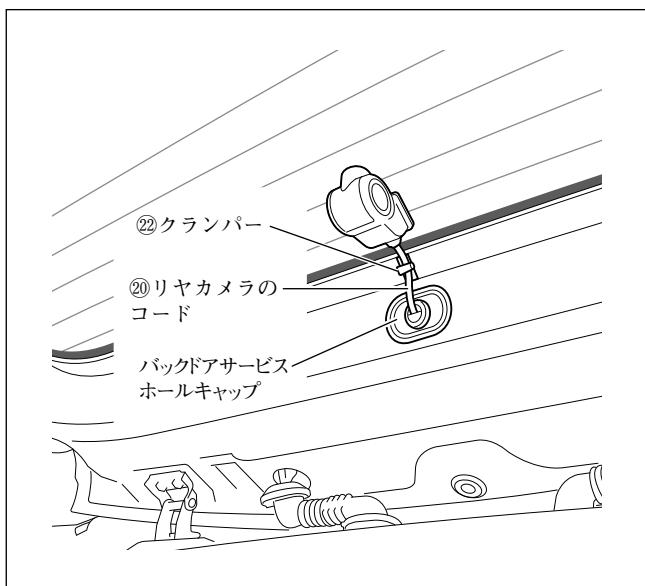
(10) ②①リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(13) ②②クランパーで②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

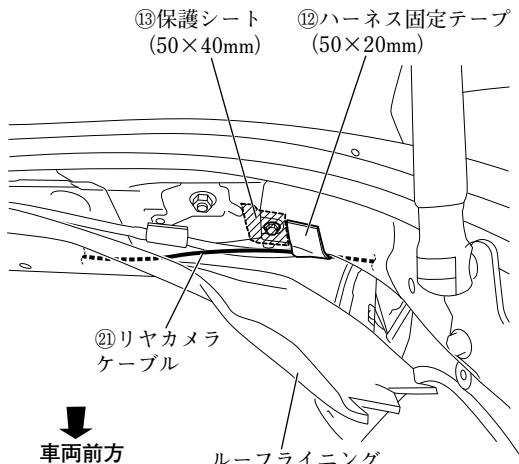
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右

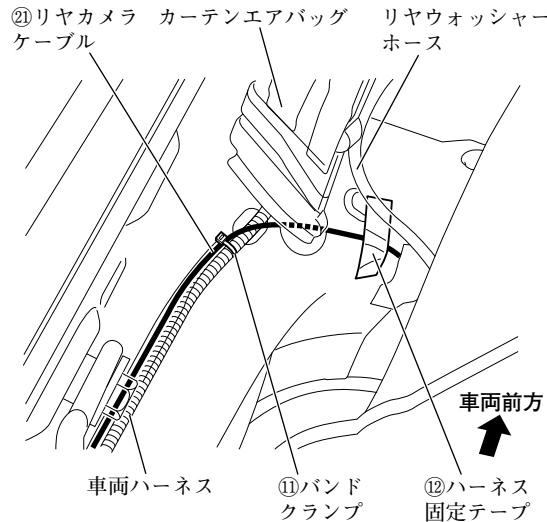


(1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

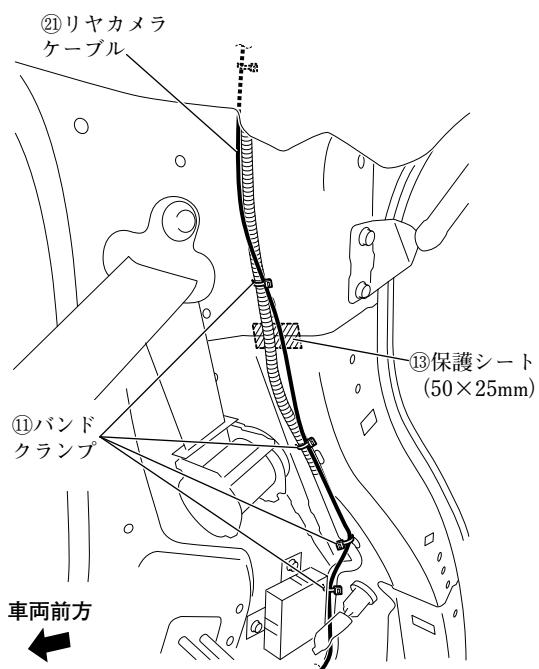
- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右クォーターピラーパー部（ルーフライニング裏）



(2) カーテンエアバッグ展開時の妨げとならないように必ず車両ハーネス等に沿わせてください。

右クォーターピラ一部



(3) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

アルト（標準装備ルーフエンドspoイラーなし車）の場合

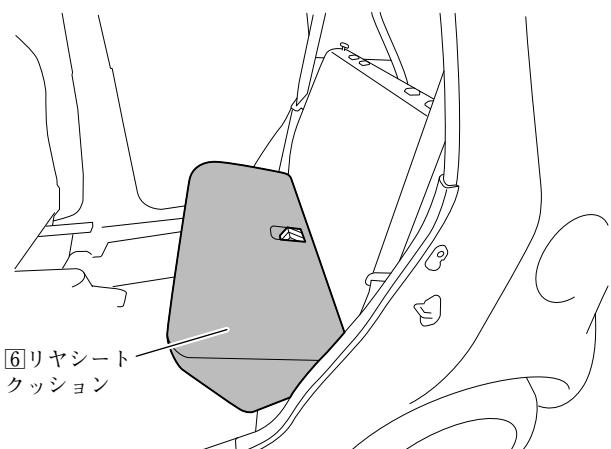
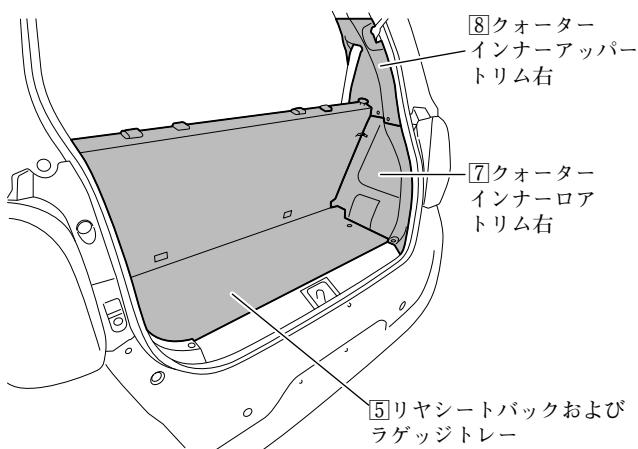
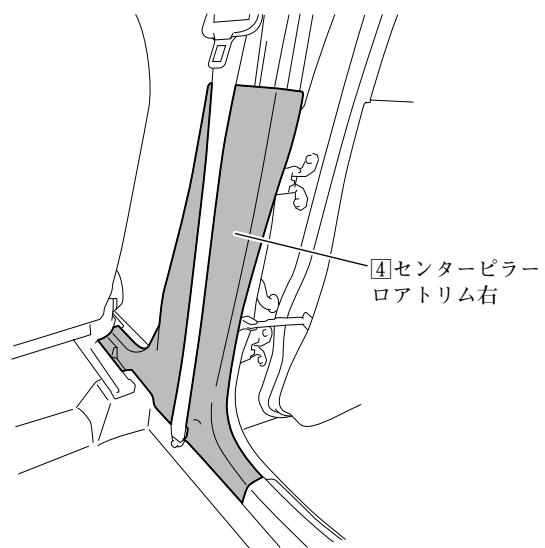
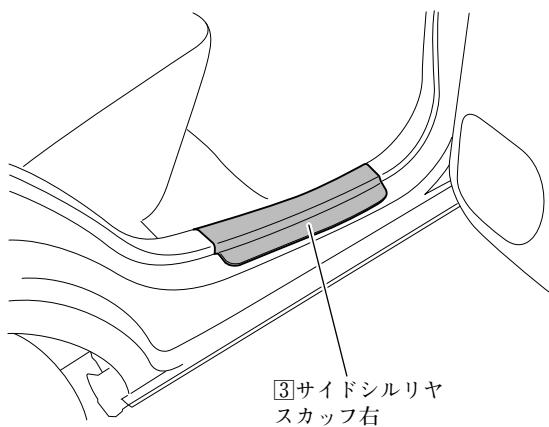
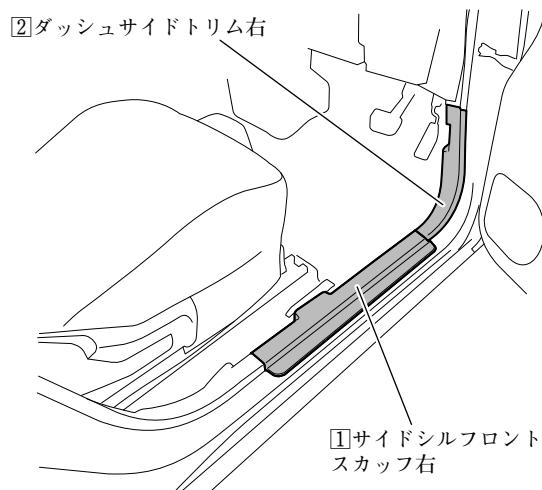
●車両部品の取り外し方法

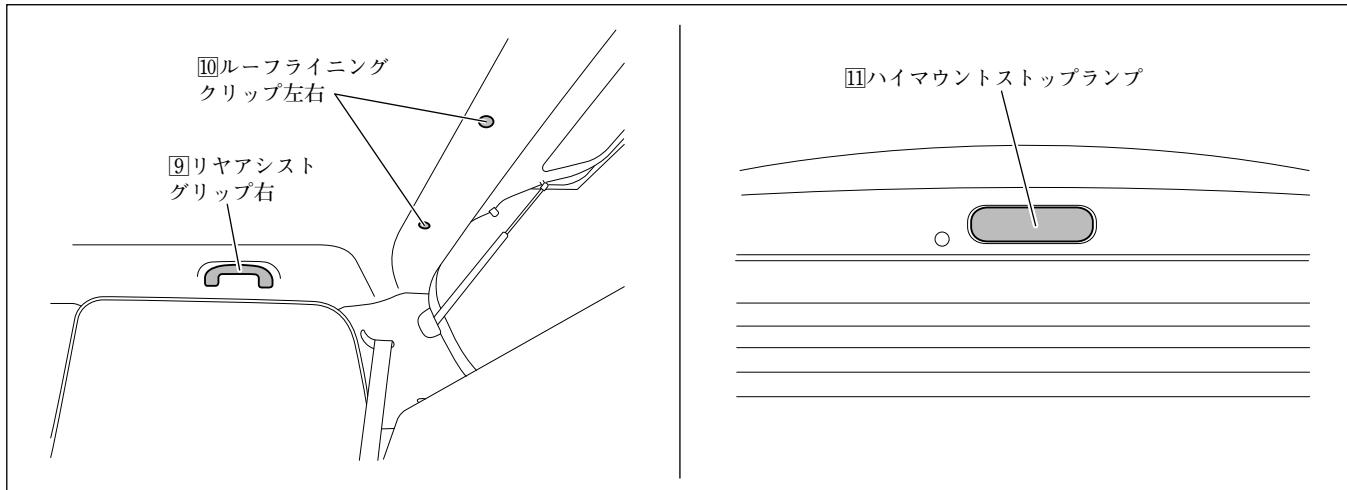
注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

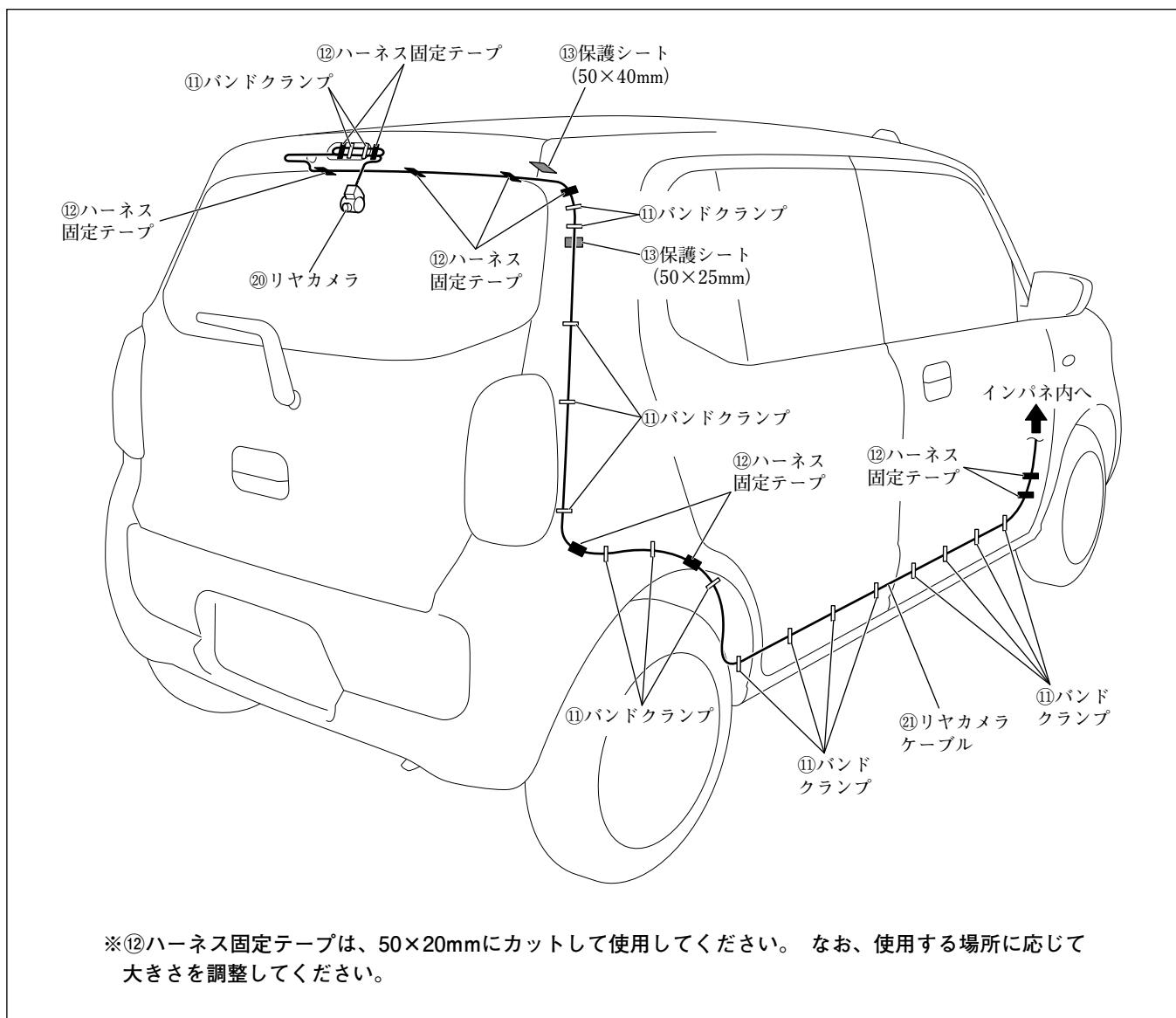
リヤカメラ





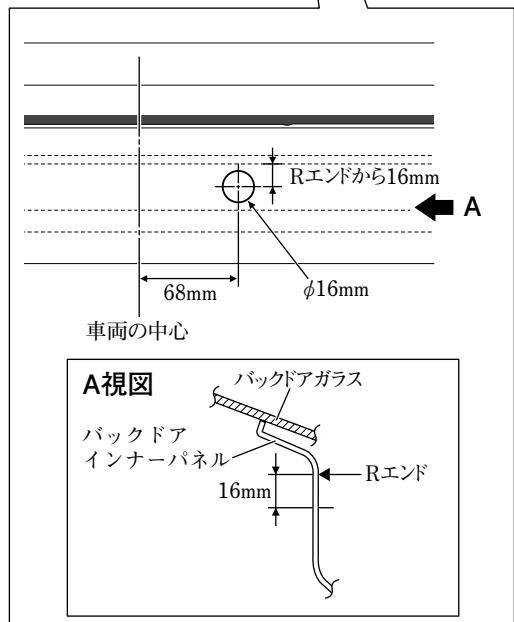
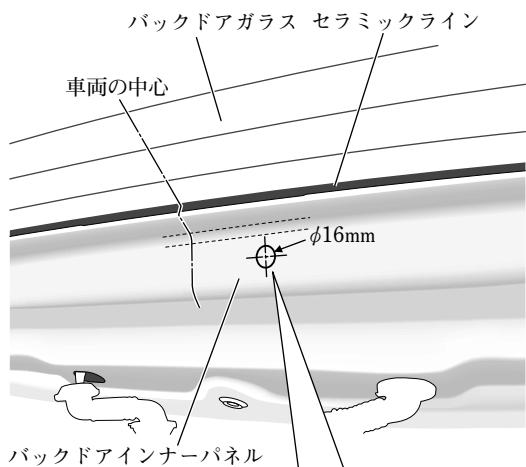
● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備

バックドア上部中央



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

!**警告**

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

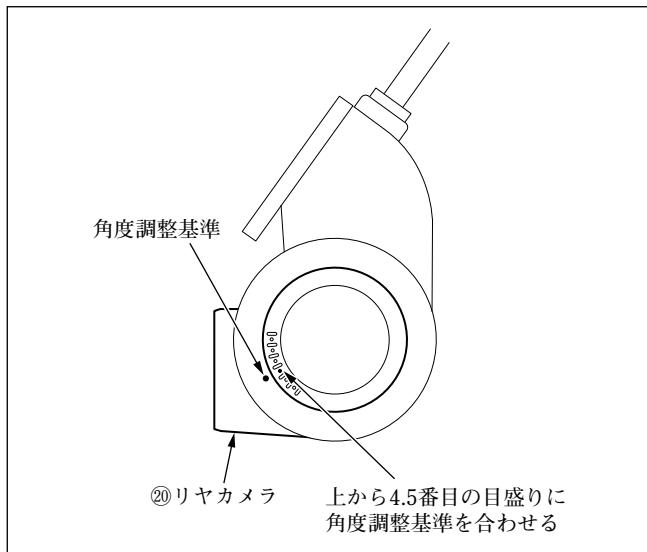
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- 穴貫通時にパネルの切れ端がハイマウントストップランプ取付穴から飛び出しあります。テープ等で一時的にハイマウントストップランプ取付穴を塞いだ状態で穴開けを行ってください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストップバー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

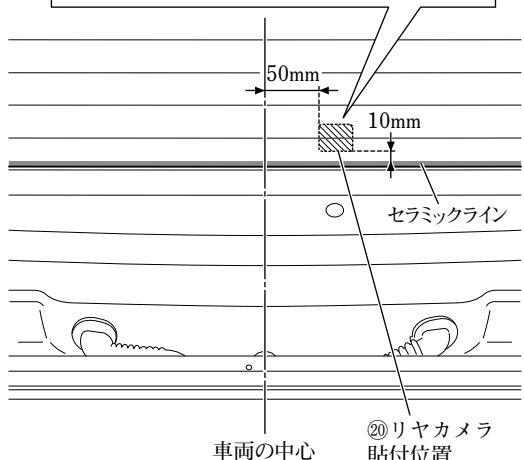
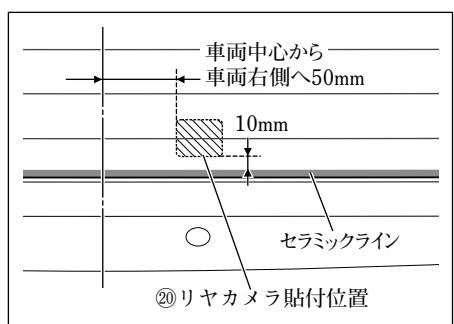


(4) ②①リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

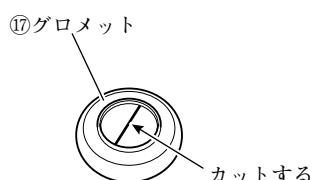
● リヤカメラの取付方法



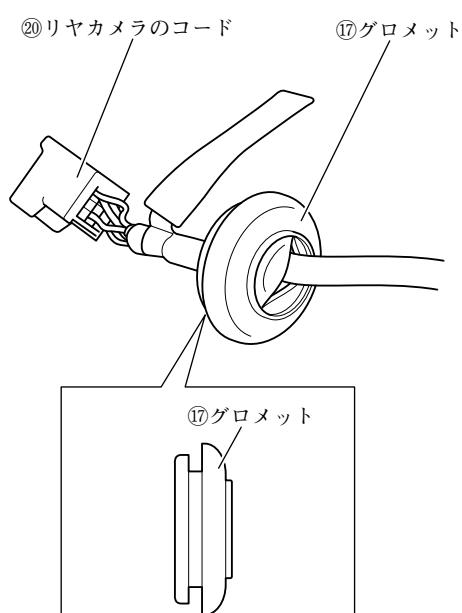
(1) ②①リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②①リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②①リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②①リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②①リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



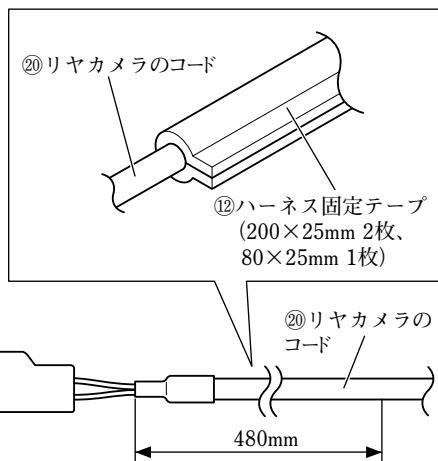
(2) ⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。



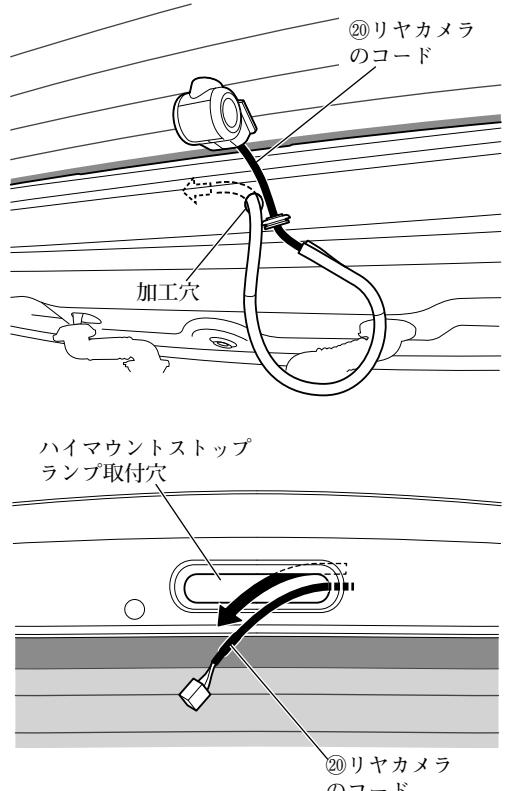
(3) ⑦グロメットを②①リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

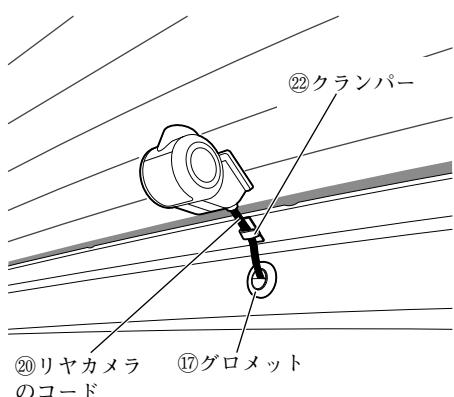
- ⑦グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②①リヤカメラのコードを⑦グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑫ハーネス固定テープを②①リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) 針金等を使用して②①リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。



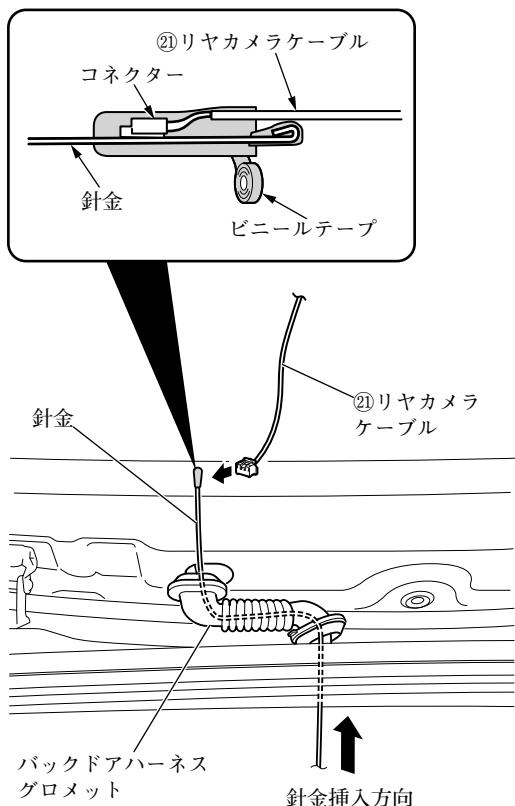
(6) ⑯グロメットを取り付けてください。

(7) ②②クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

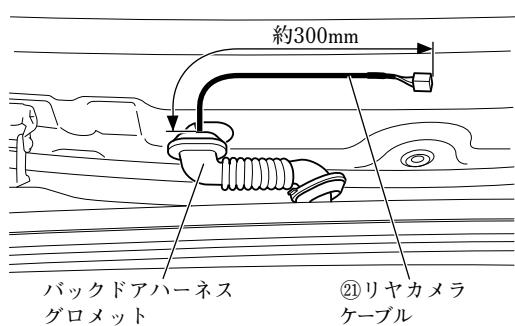
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



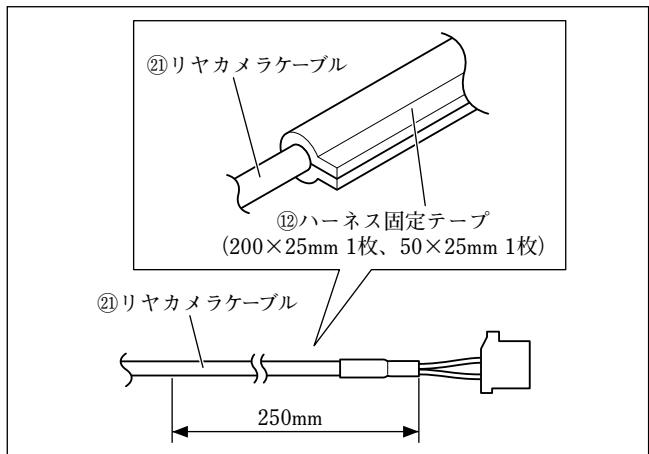
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

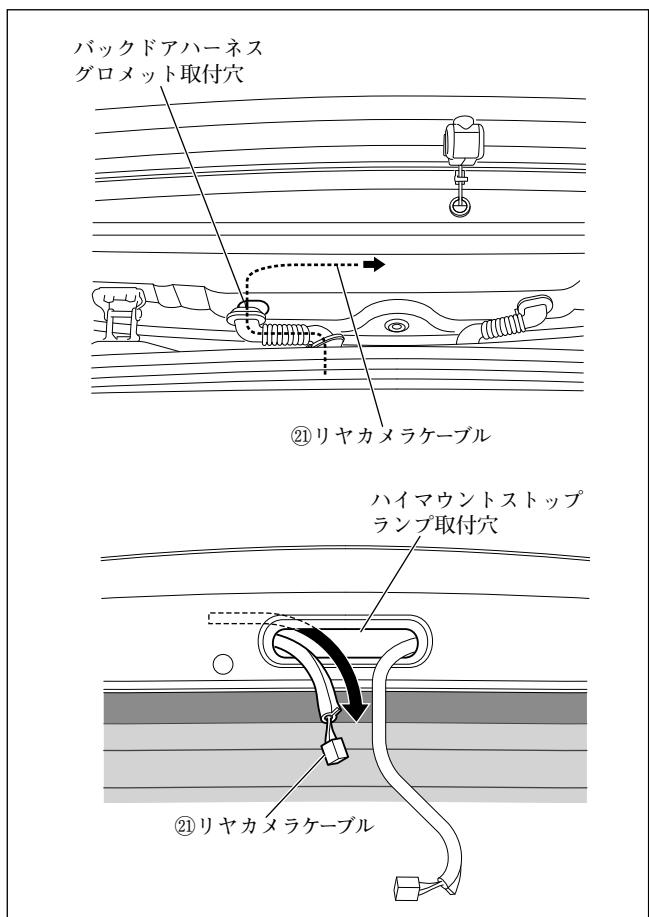
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



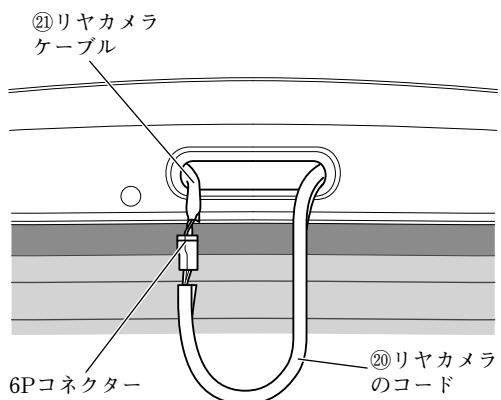
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

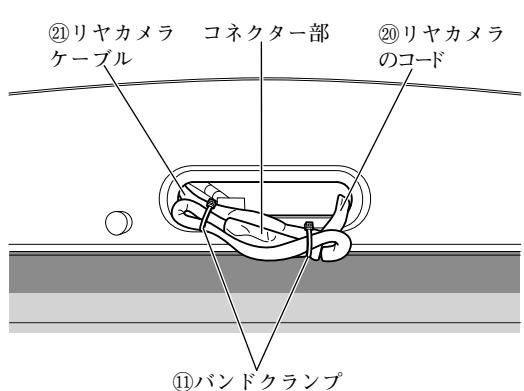


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

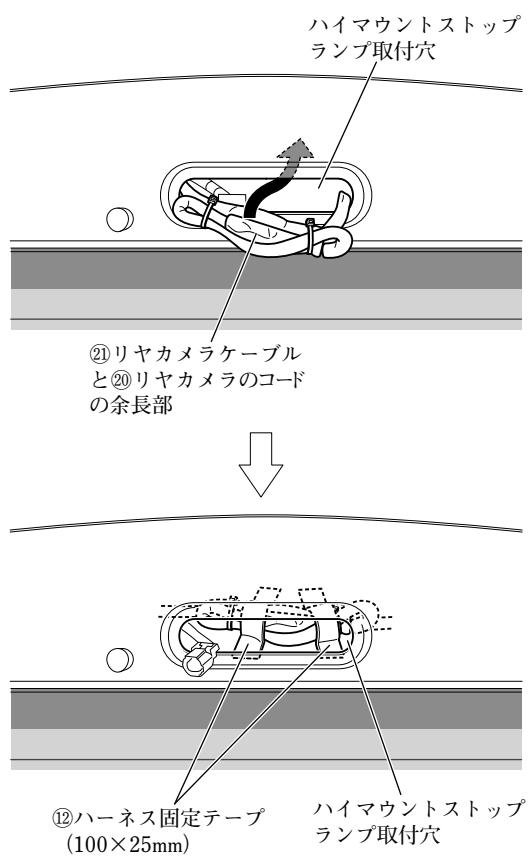


(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

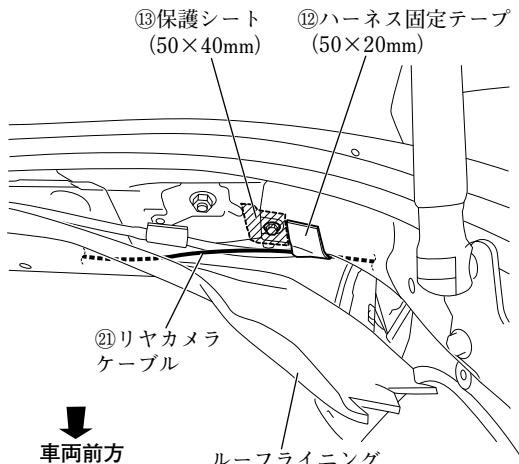
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右

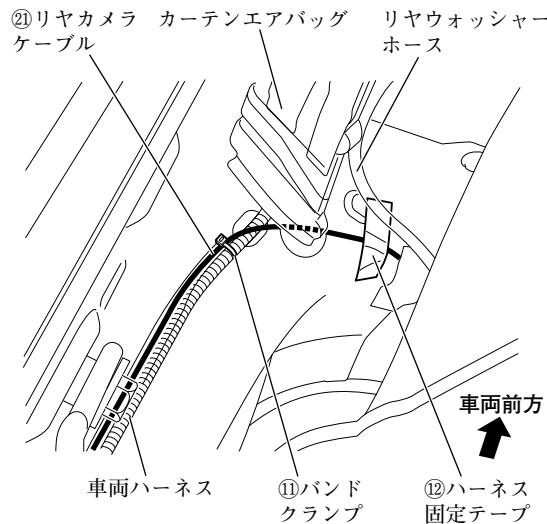


(1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

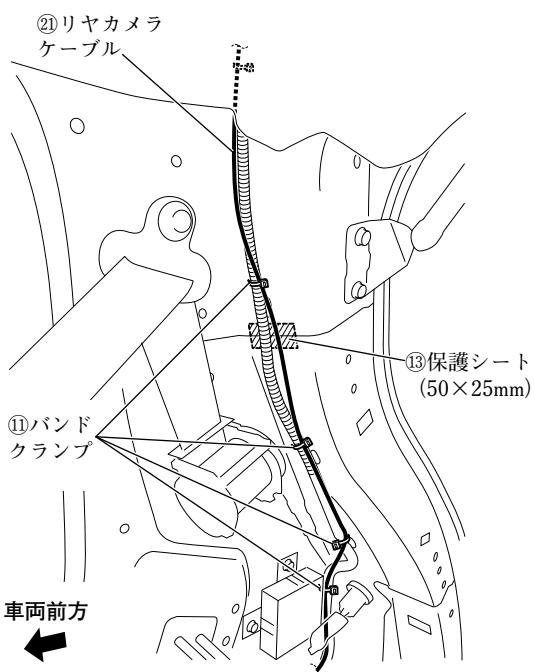
- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右クォーターピラーパー部（ルーフライニング裏）



(2) カーテンエアバッグ展開時の妨げとならないように必ず車両ハーネス等に沿わせてください。

右クォーターピラ一部



(3) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

エブリイの場合

●車両部品の取り外し方法

注記

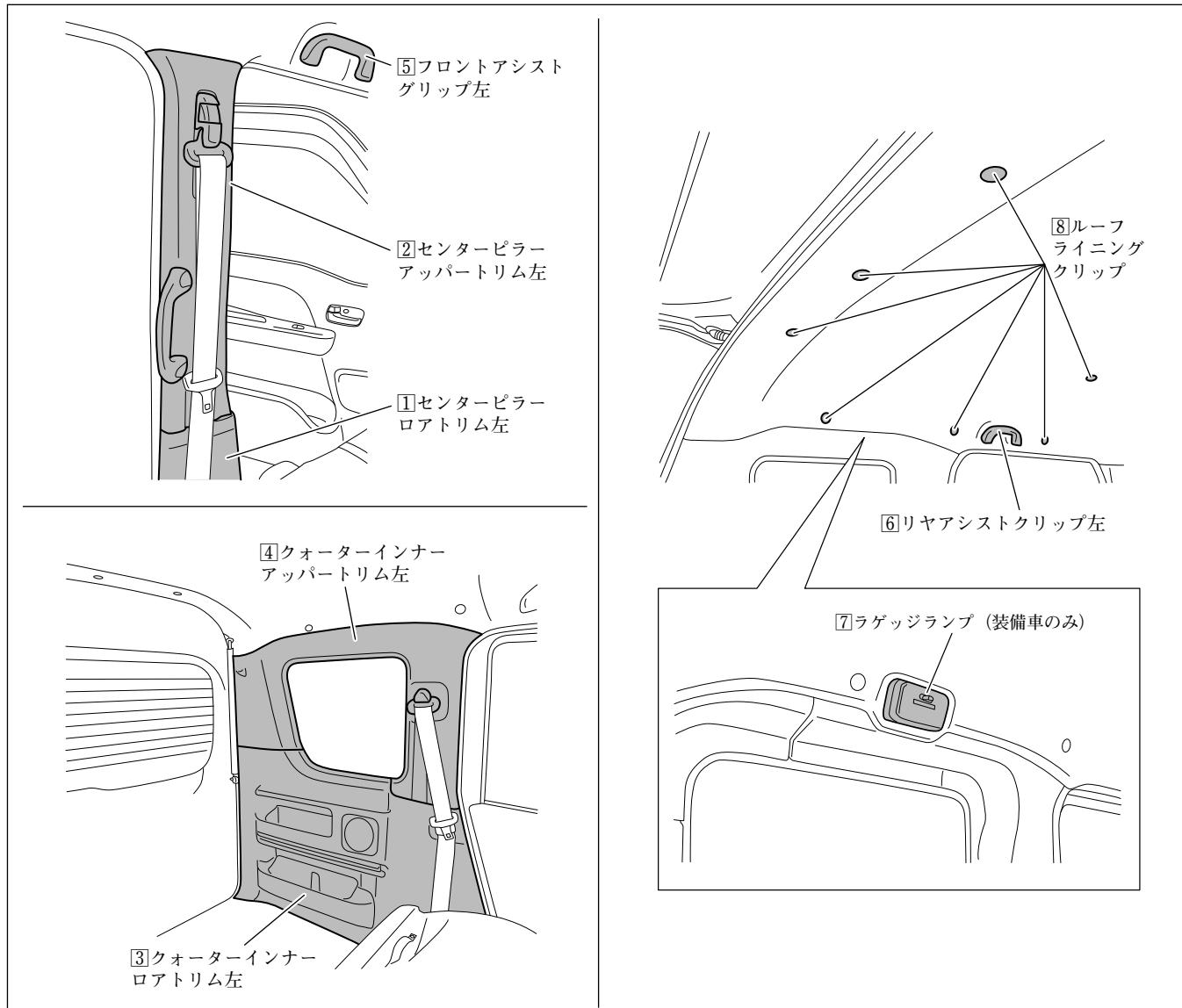
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

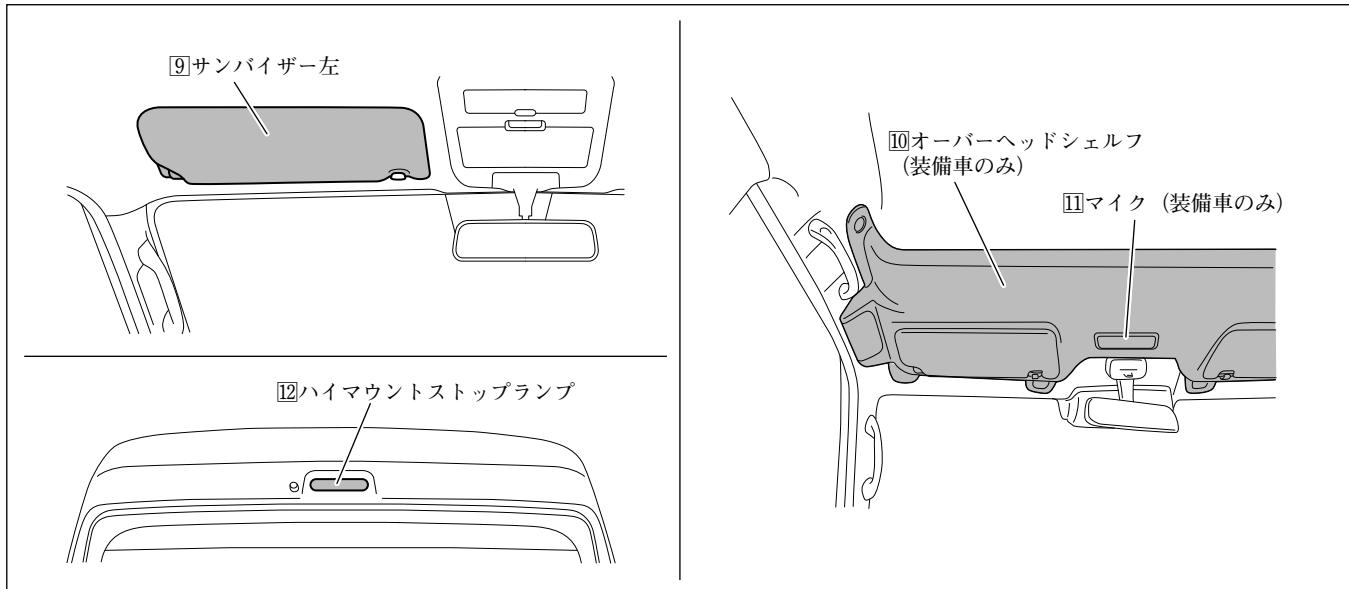


車両部品の取り外し方法についてはワゴンタイプの車両を代表として記載しています。バンタイプの車両も同様に取り外してください。

図に示す車両部品を取り外してください。

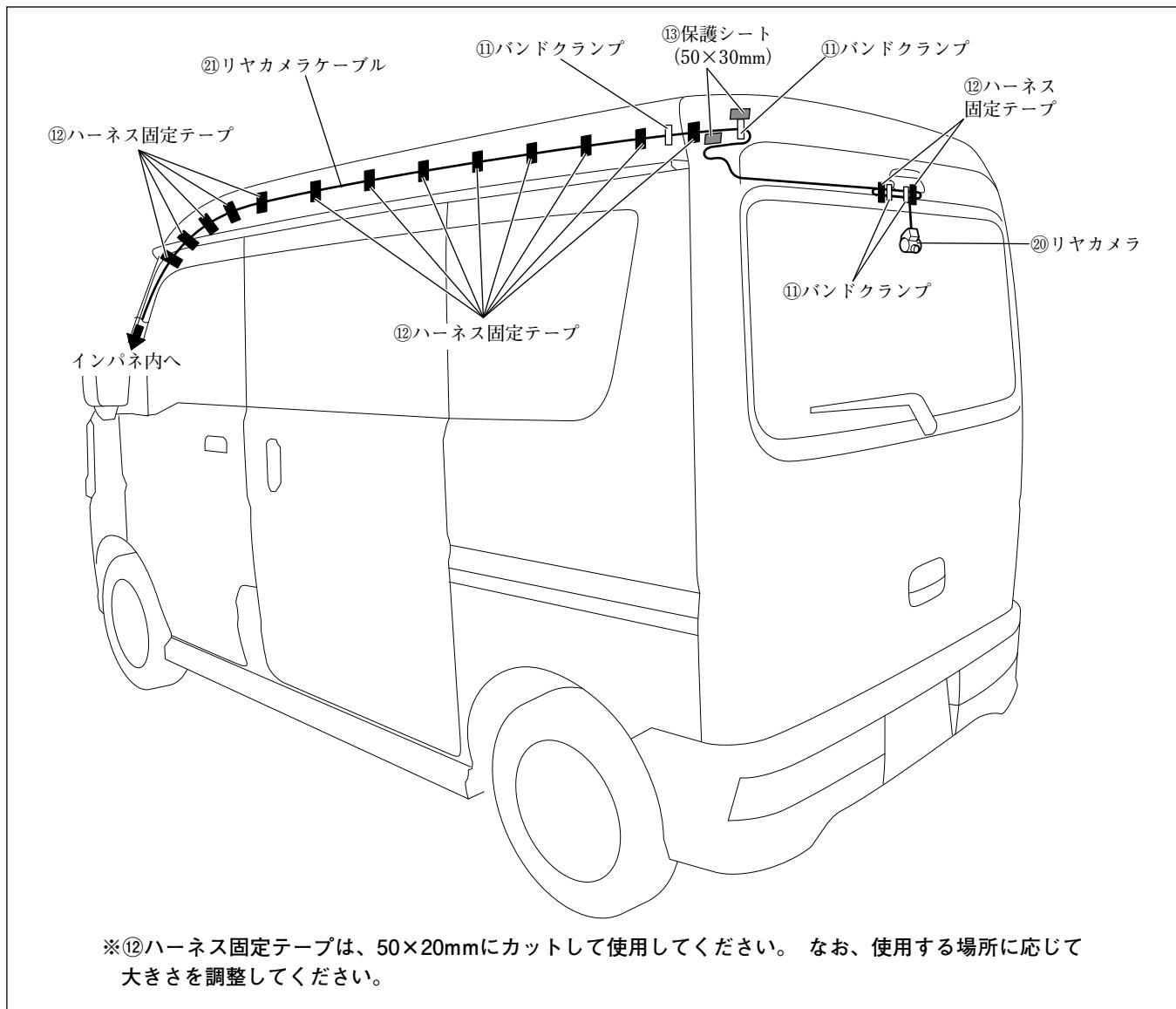
リヤカメラ



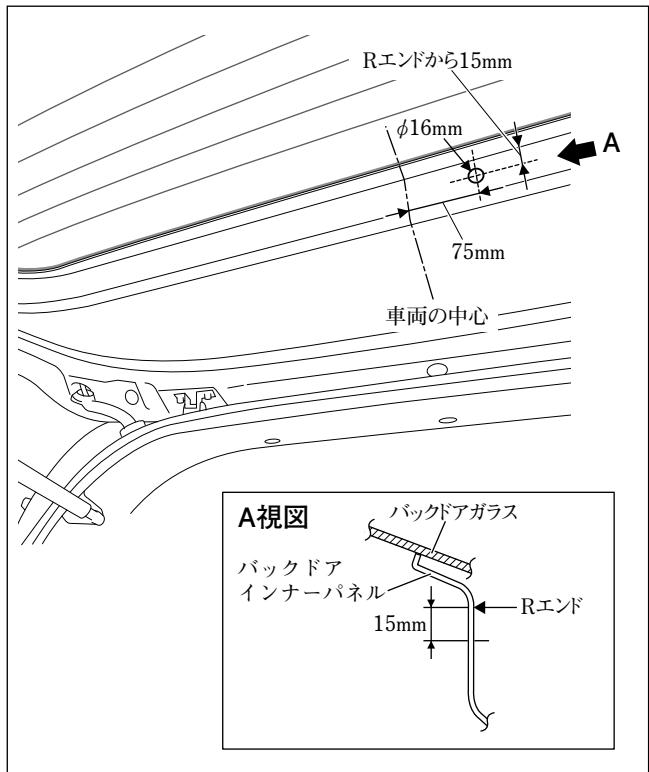


● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

⚠ 警告

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

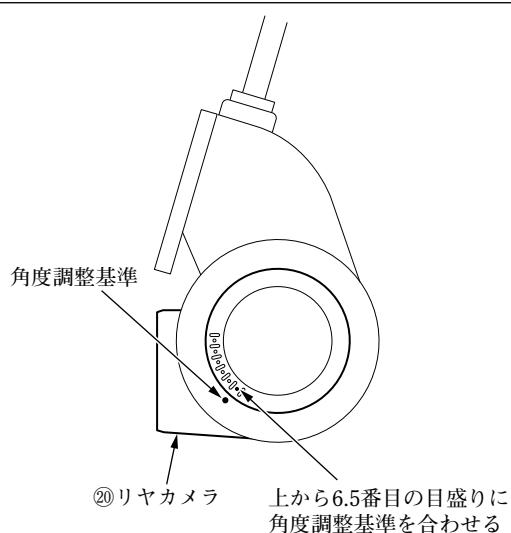
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当てるください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。



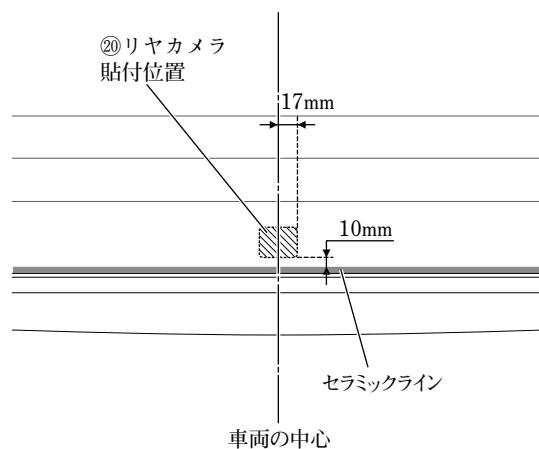
(4) ②①リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

● リヤカメラの取付方法

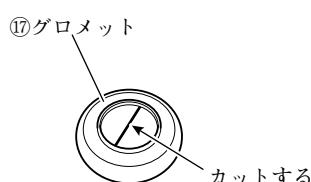
車両内側から見た図です



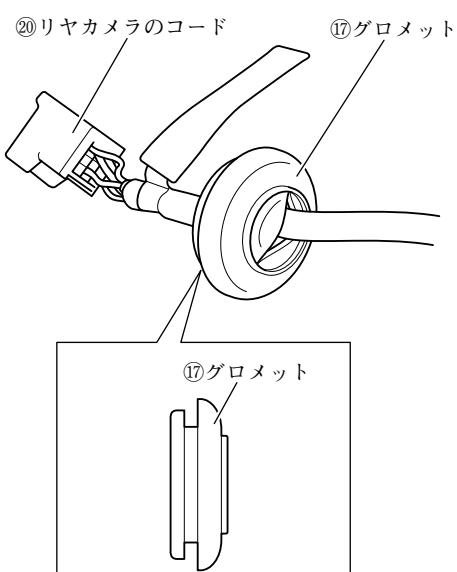
(1) ②①リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②①リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②①リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②①リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②①リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



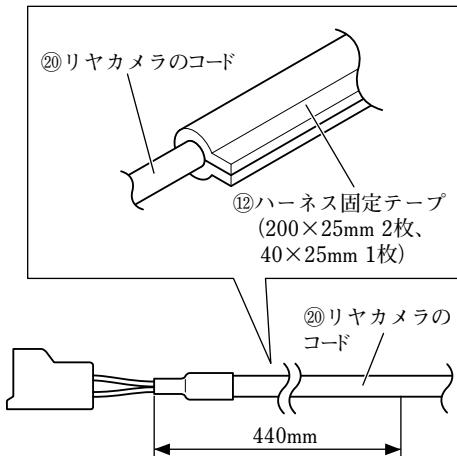
(2) ②⑦グロメットを図のように切り込み加工してください。



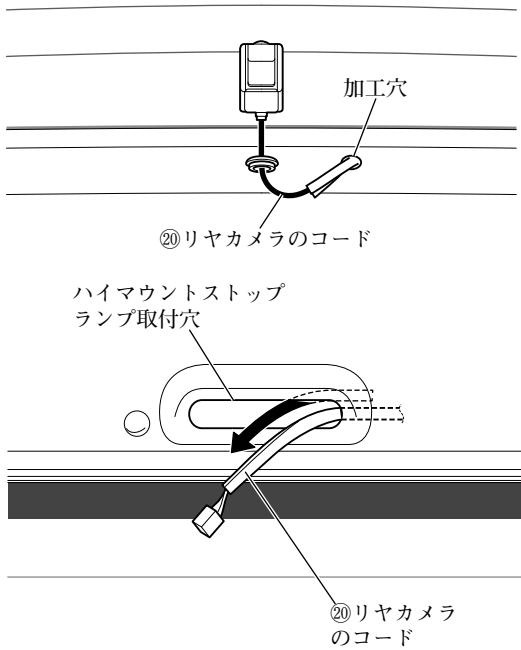
(3) ⑯グロメットを⑯リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

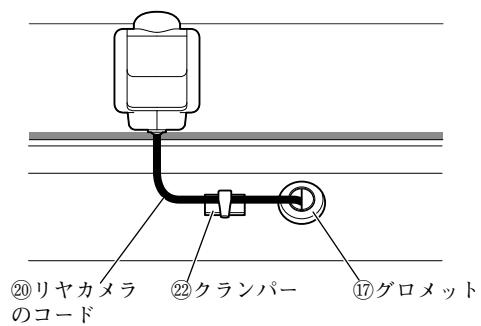
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑯リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑯ハーネス固定テープを⑯リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) 針金等を使用して⑯リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。

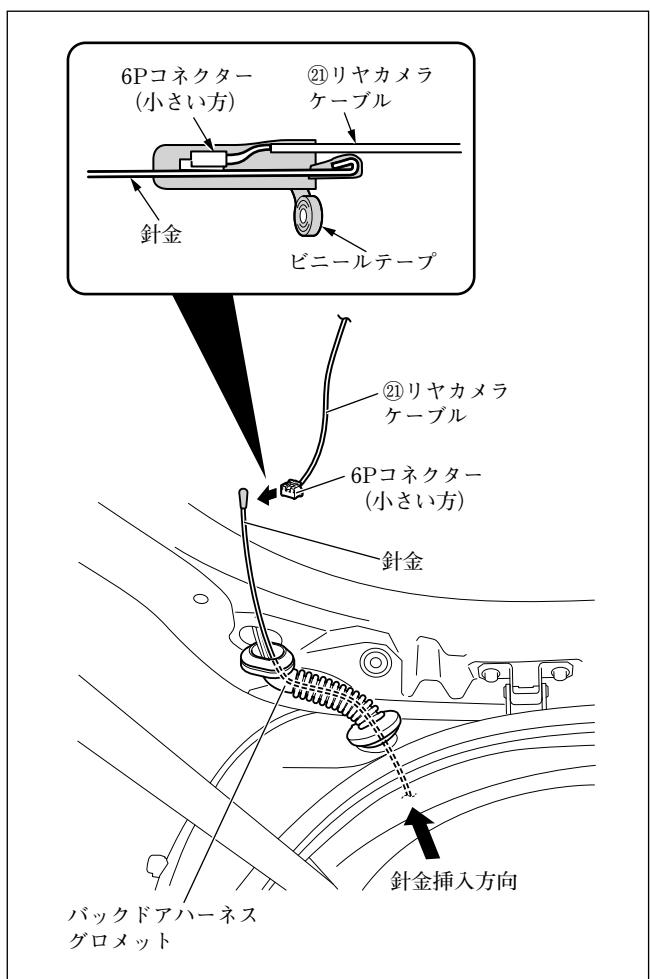


- (6) ⑦グロメットを加工穴に取り付けてください。
- (7) ②②クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

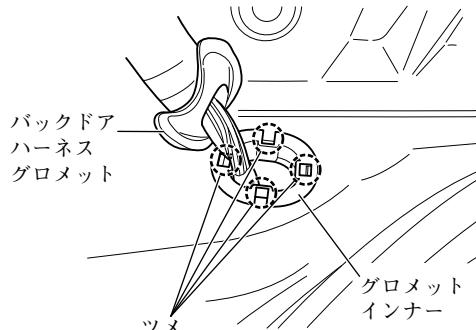
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



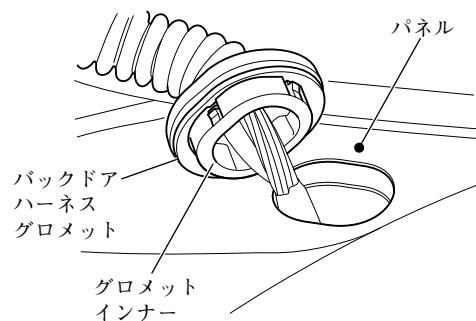
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテープィングをしてください。
- (2) 先端をテープィングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテープィングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

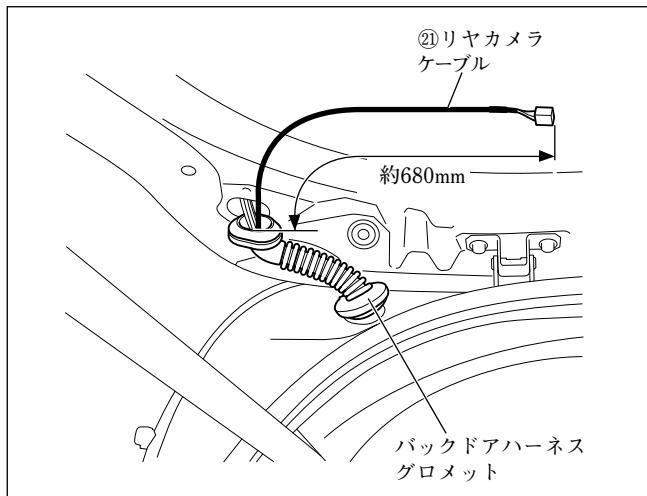
- グロメットインナーを外す際は、ツメを縮めてください。



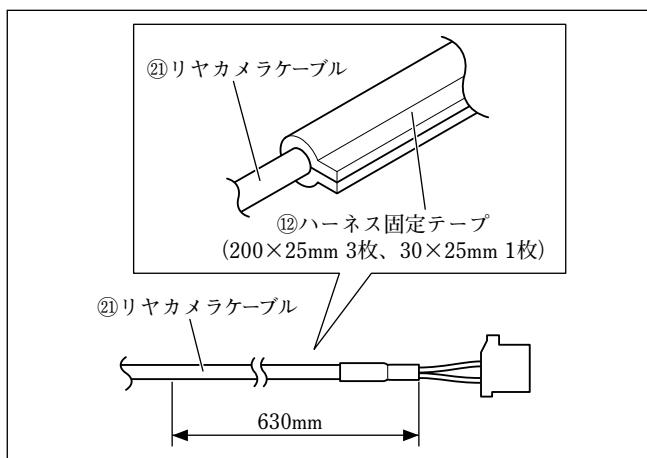
- バックドアハーネスグロメットを復元する際は、グロメットインナーをバックドアハーネスグロメット側へはめてからパネルへはめ込んでください。



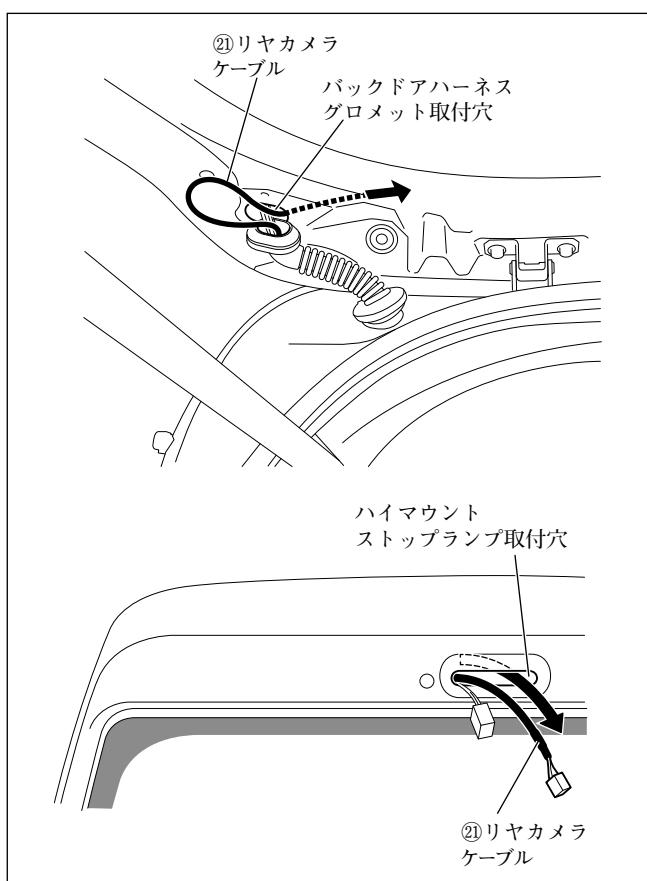
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテープィングしてください。



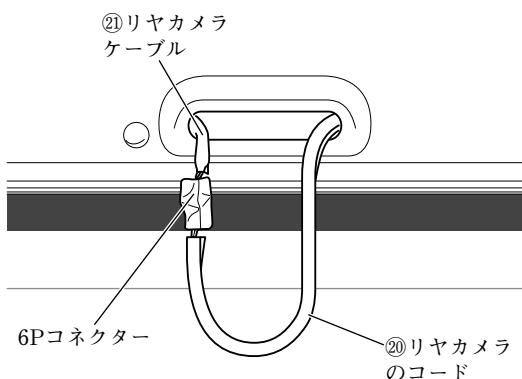
(5) バックドアハーネスグロメットから⑪リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

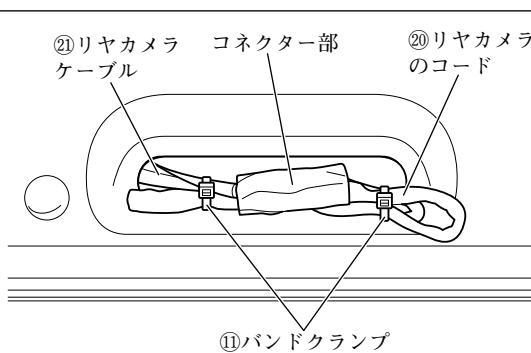


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

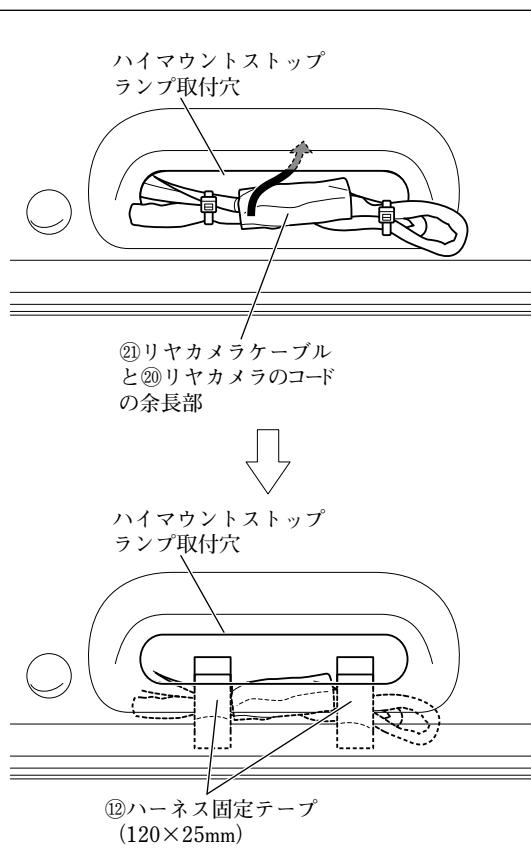


(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに②②ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、②②バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、②②ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ②②ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

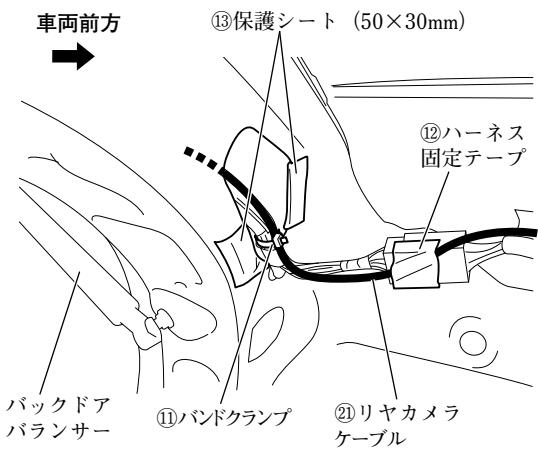
配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

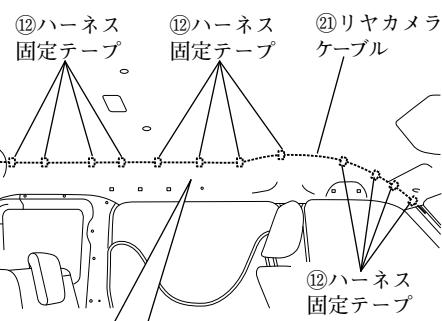
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

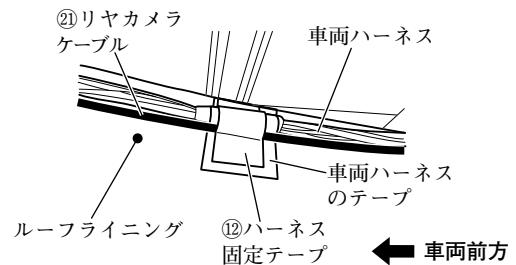
ルーフライニングをめくった図



→ 車両前方



ルーフライニングをめくった図



← 車両前方

ハスラーの場合

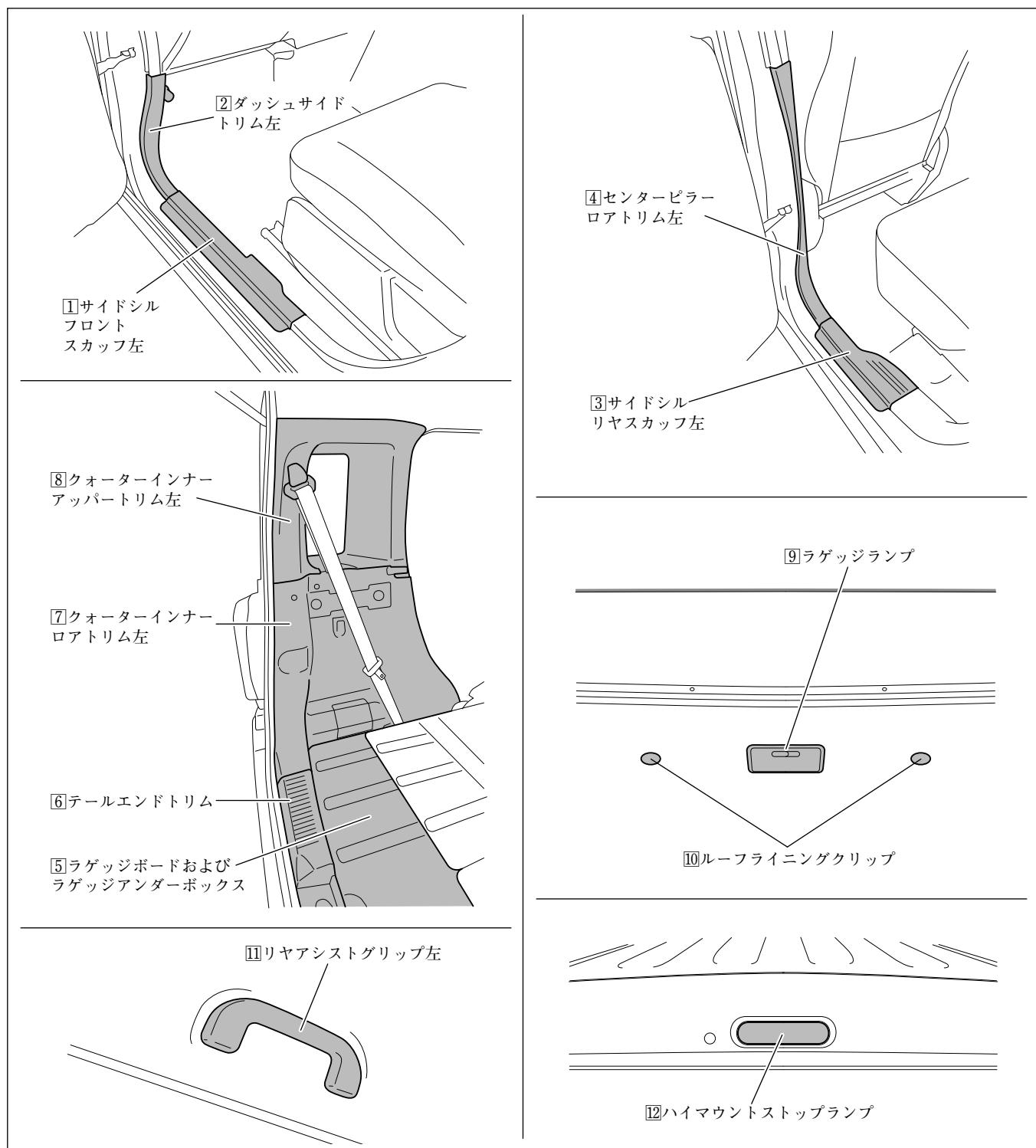
●車両部品の取り外し方法

注記

- ・本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- ・取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

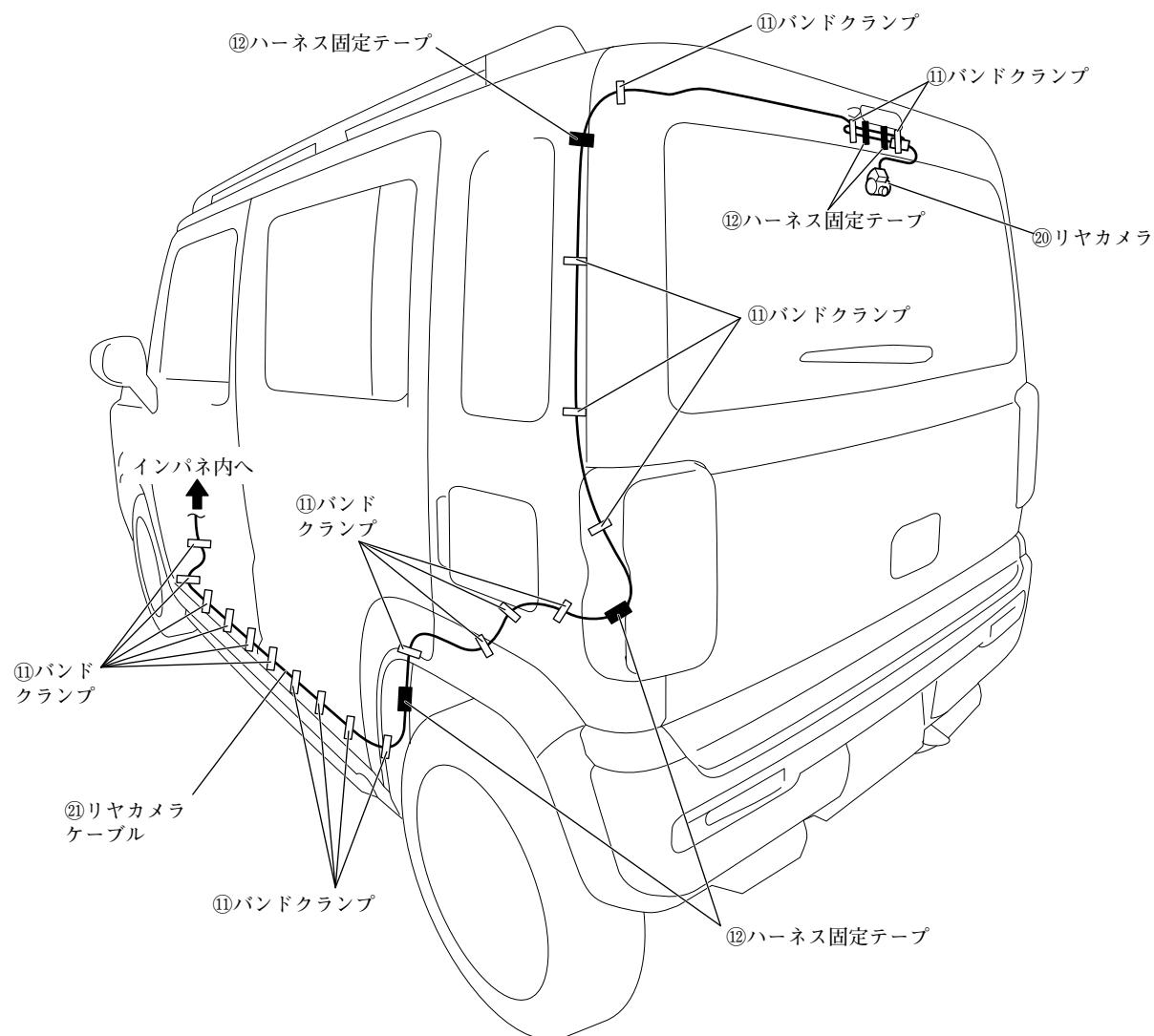
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ



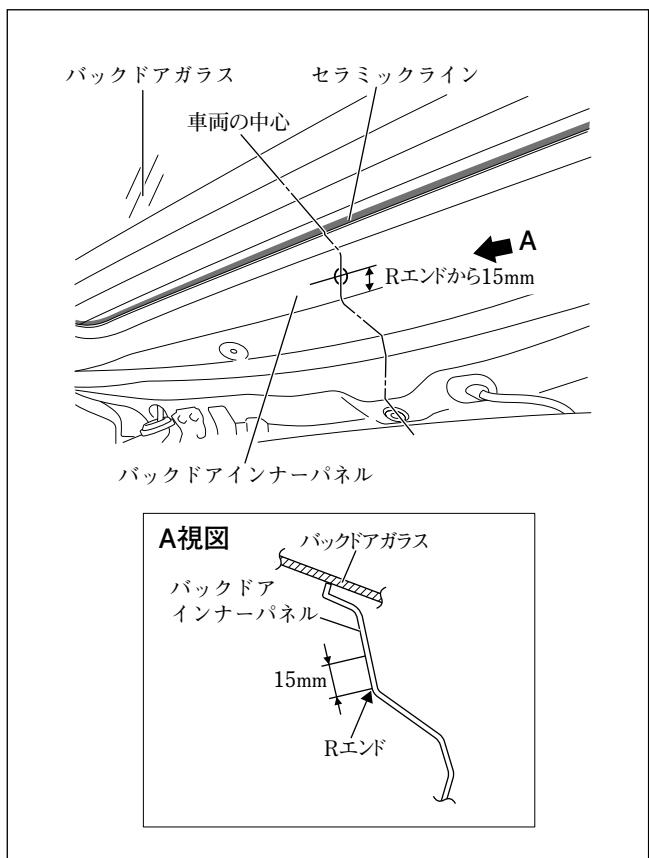
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

!**警告**

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

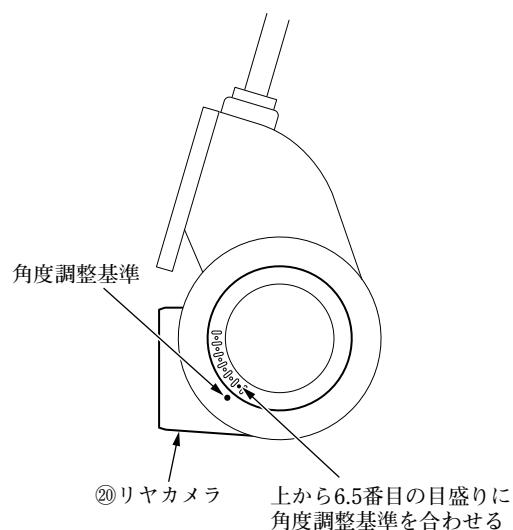
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

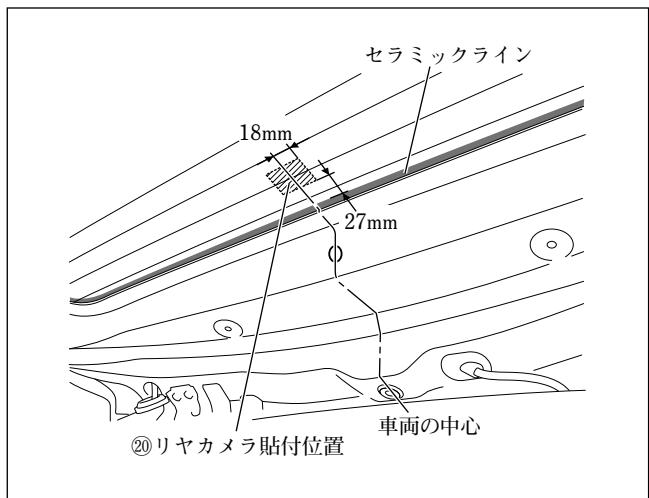


(4) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

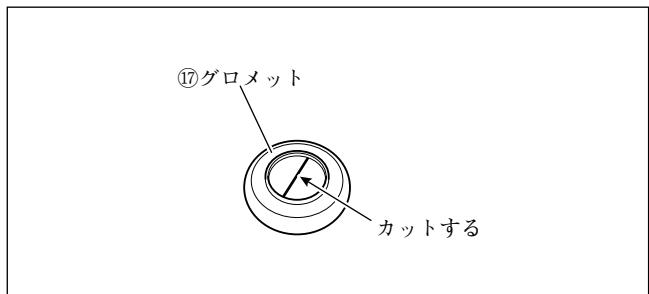
● リヤカメラの取付方法



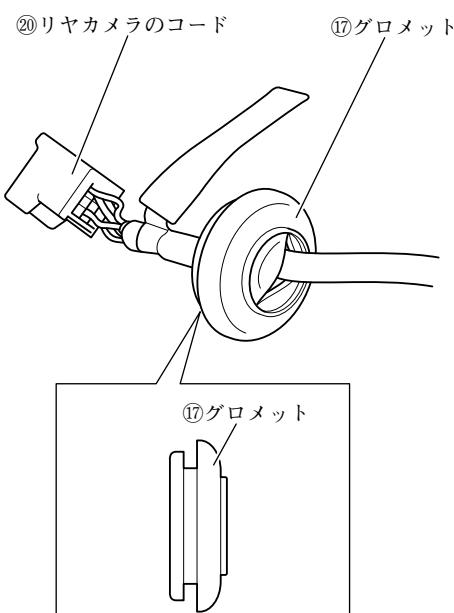
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



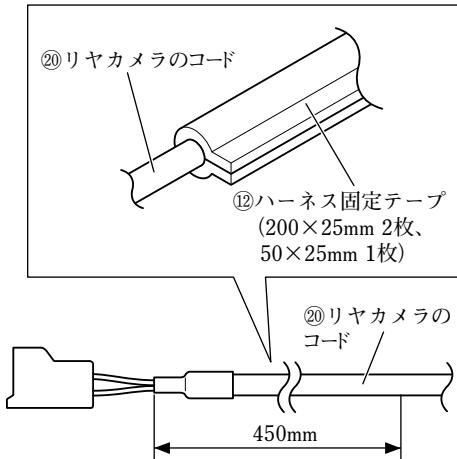
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



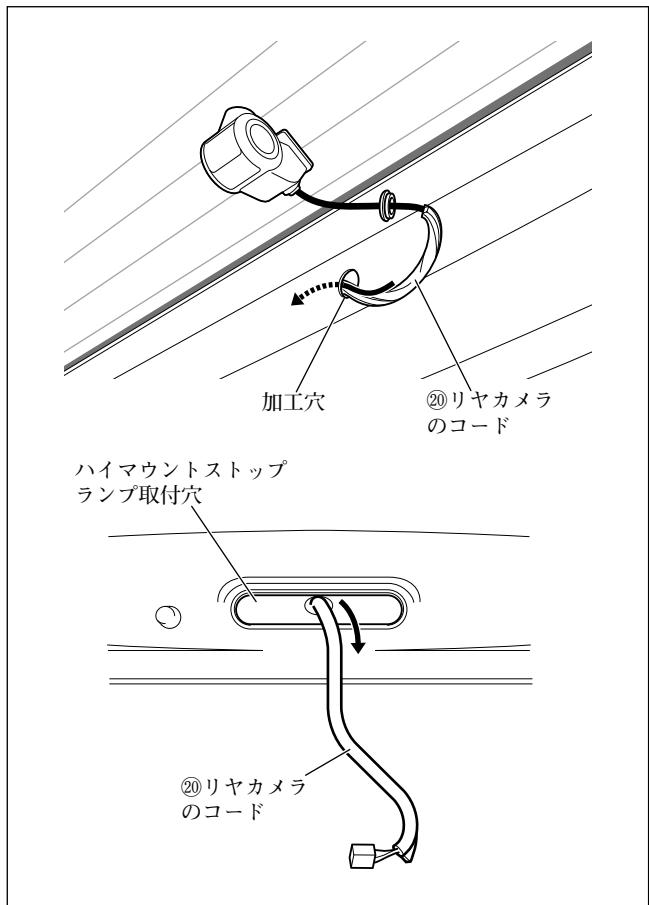
(3) ⑯グロメットを⑯リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

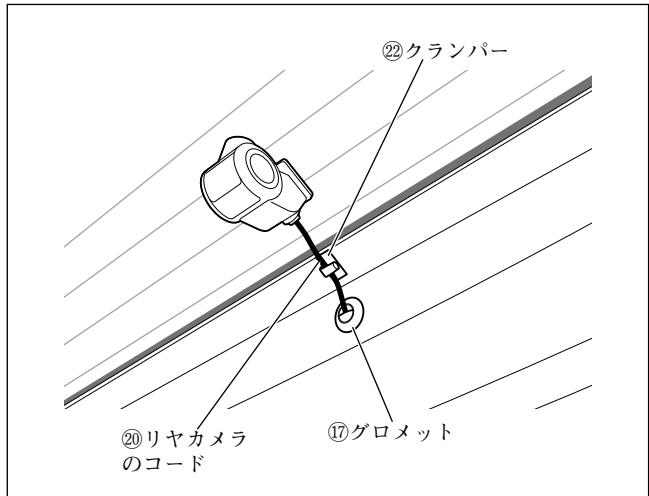
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑯リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑯ハーネス固定テープを⑯リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) 針金等を使用して②②リヤカメラのコードを加工穴からハイマウントストップランプ取付穴へとバックドアパネル内に通してください。

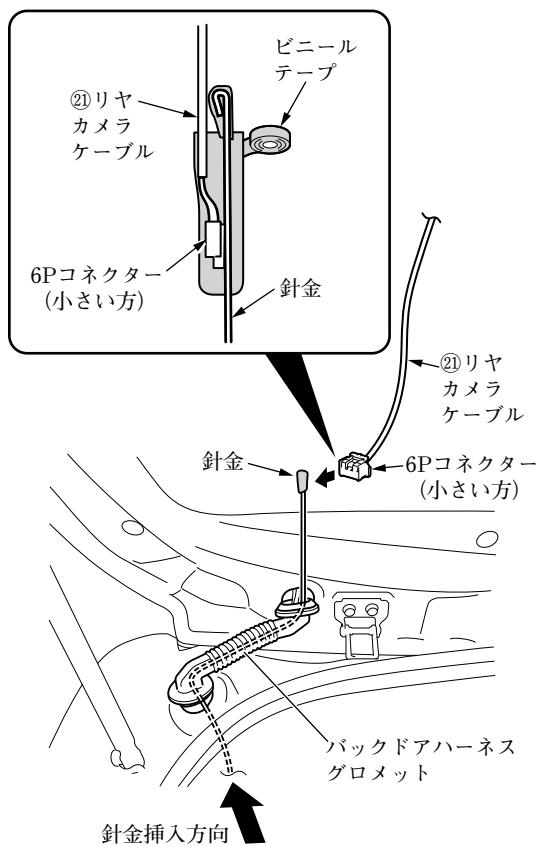


(6) ⑯⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。
(7) ②②クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

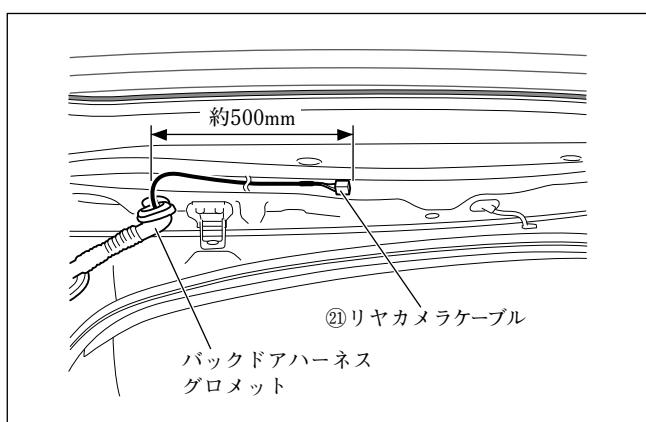
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



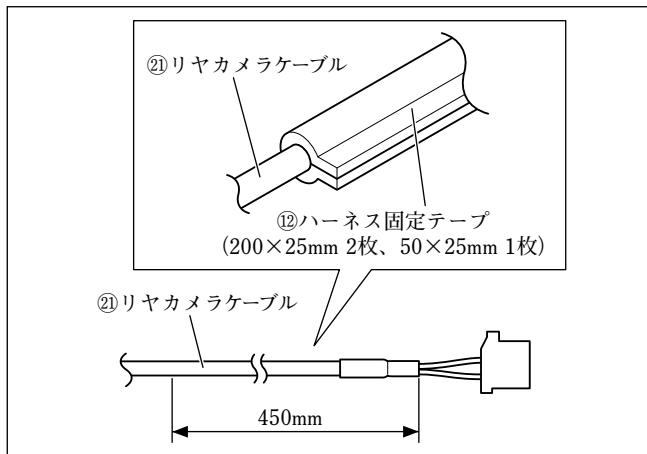
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

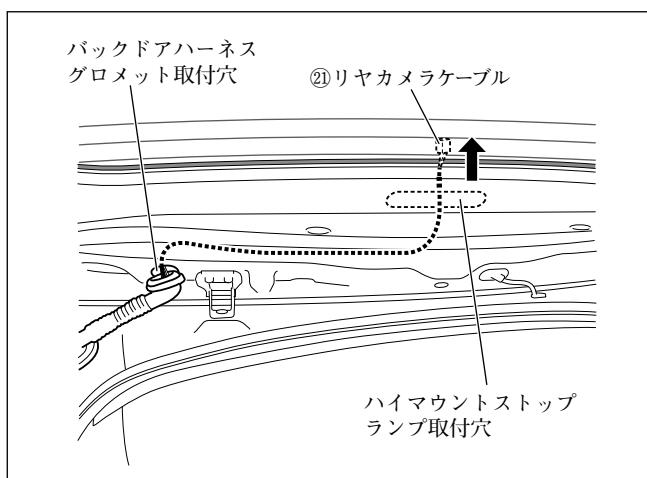
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



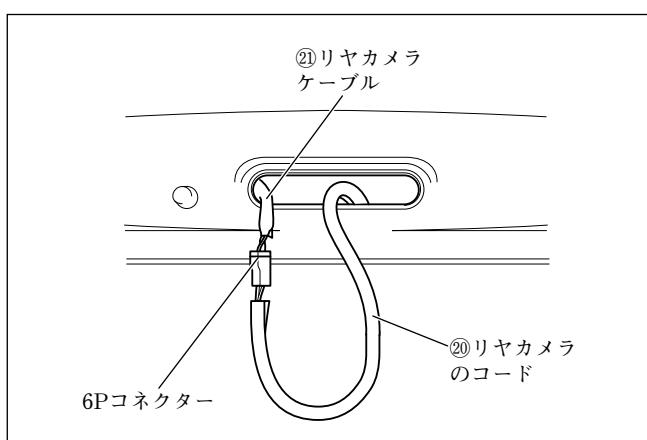
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

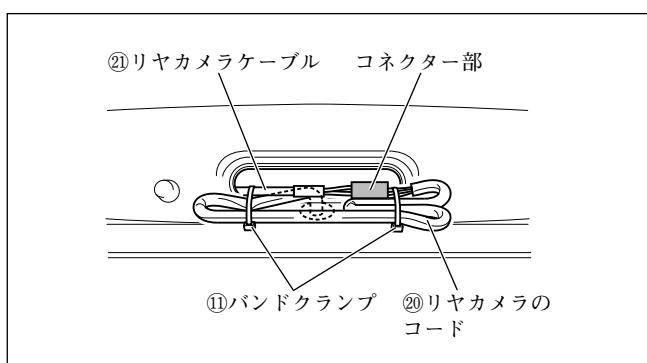


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

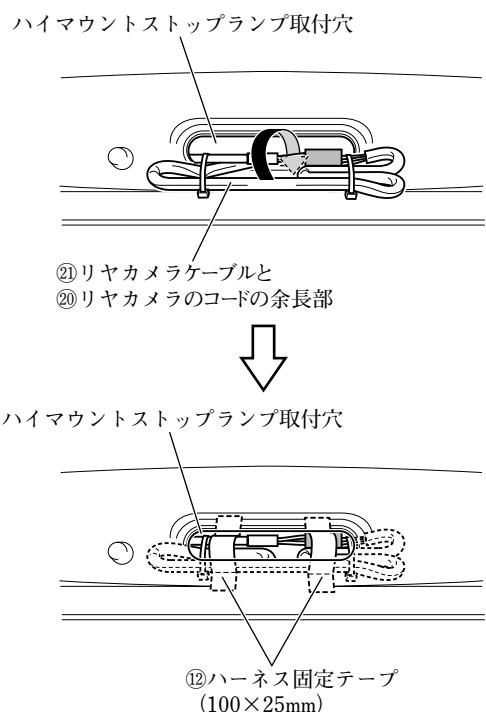


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ⑪リヤカメラケーブルと⑩リヤカメラのコードの余長を束ね、⑫バンドクランプで固定してください。



(11) ⑪リヤカメラケーブルと⑩リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して⑪リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ジムニー／ジムニーシエラ／ジムニーノマドの場合

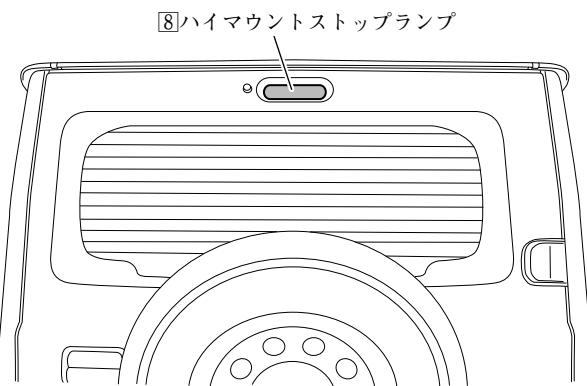
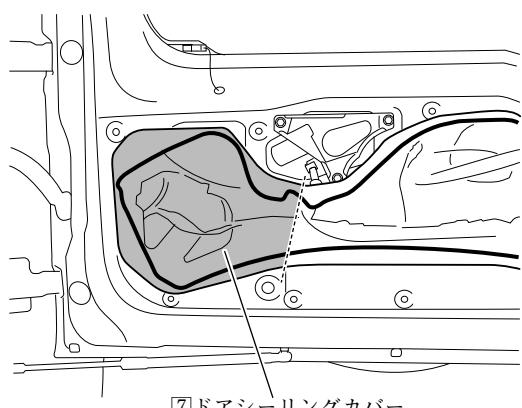
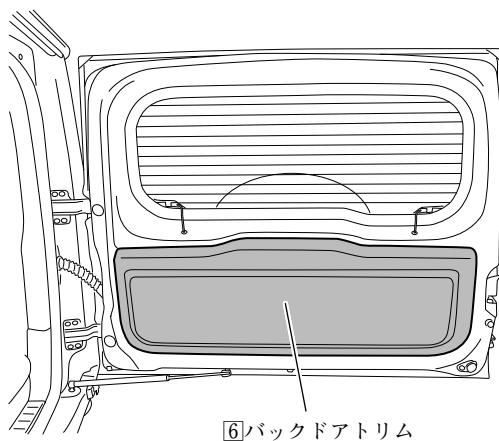
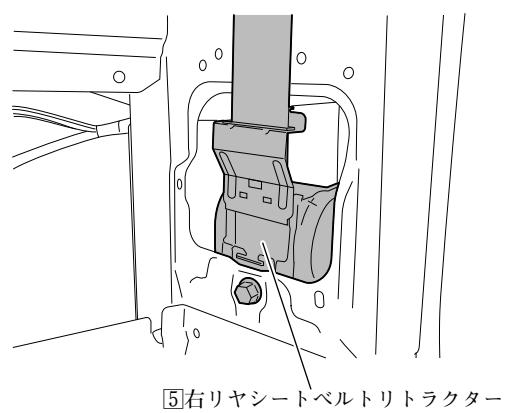
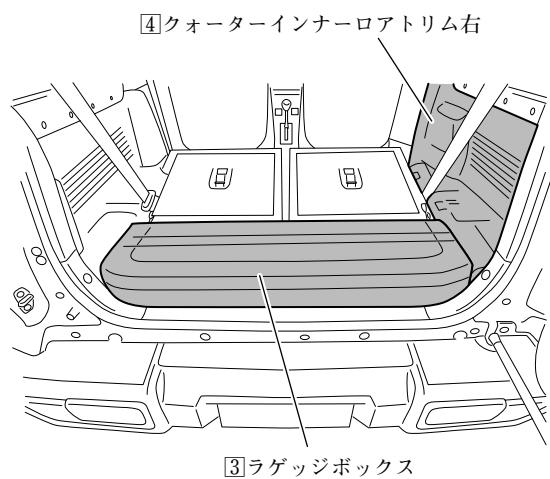
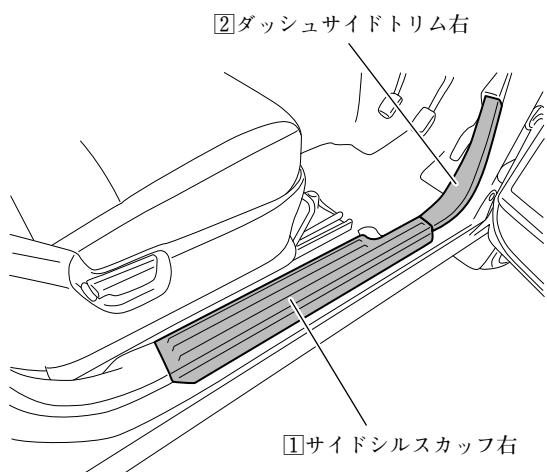
●車両部品の取り外し方法

注記

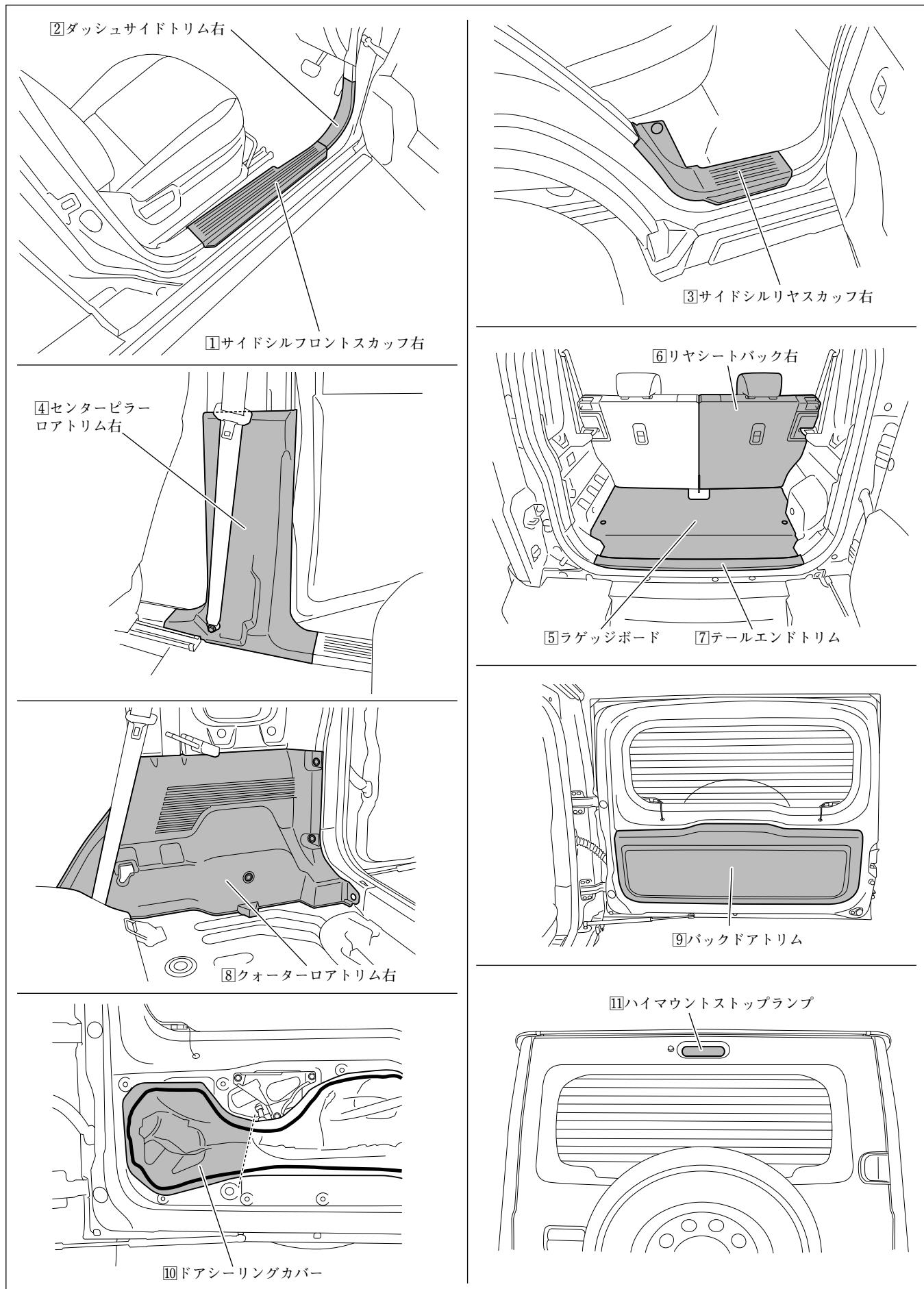
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ（ジムニー／ジムニーシエラ）



リヤカメラ（ジムニーノマド）

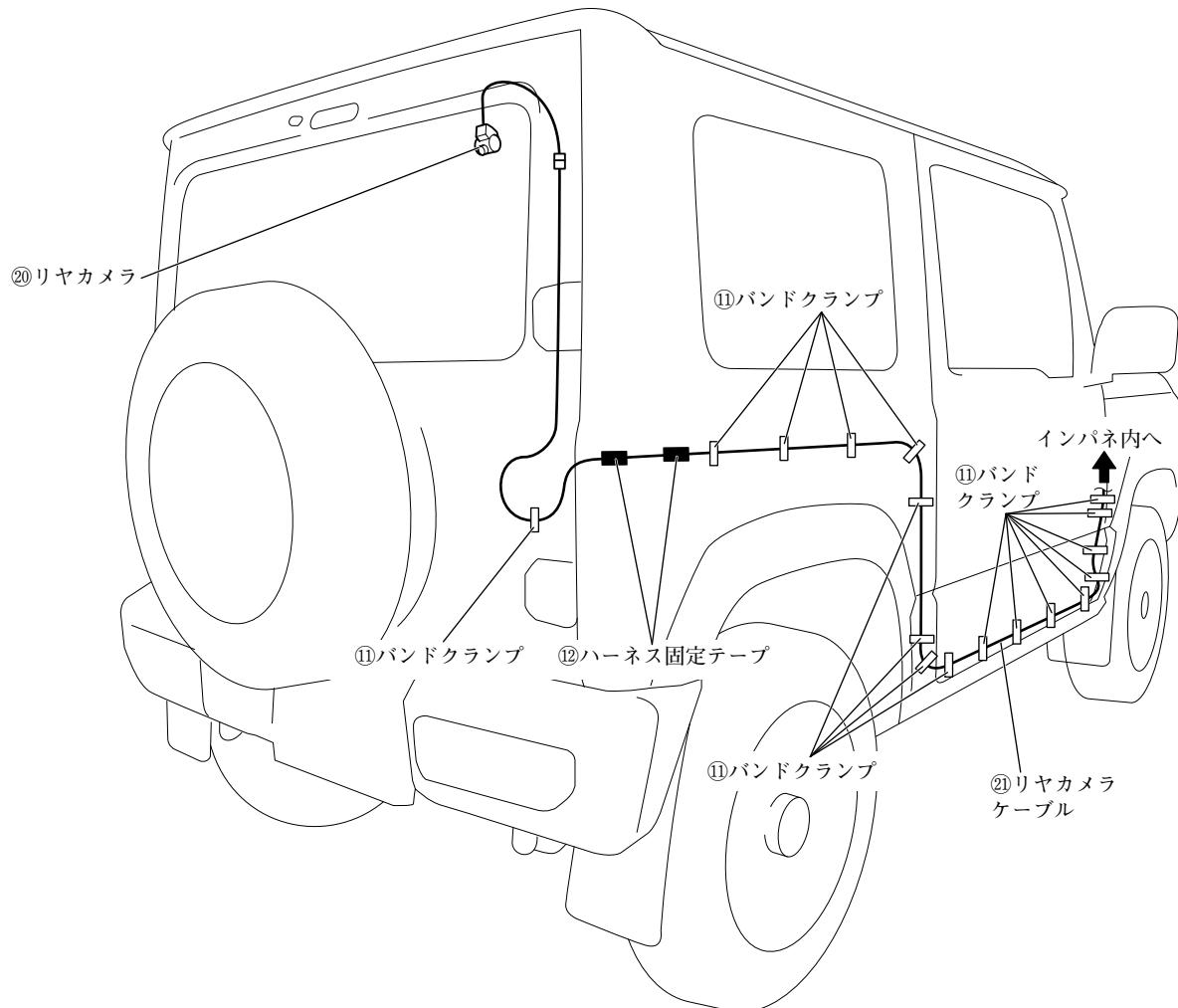


● 取付概要

リヤカメラ（ジムニー／ジムニーシエラ）

注記

本製品と、ドライブレコーダー（連動3カメラ）とでは、②リヤカメラの取付位置や、穴開け位置などが異なります。

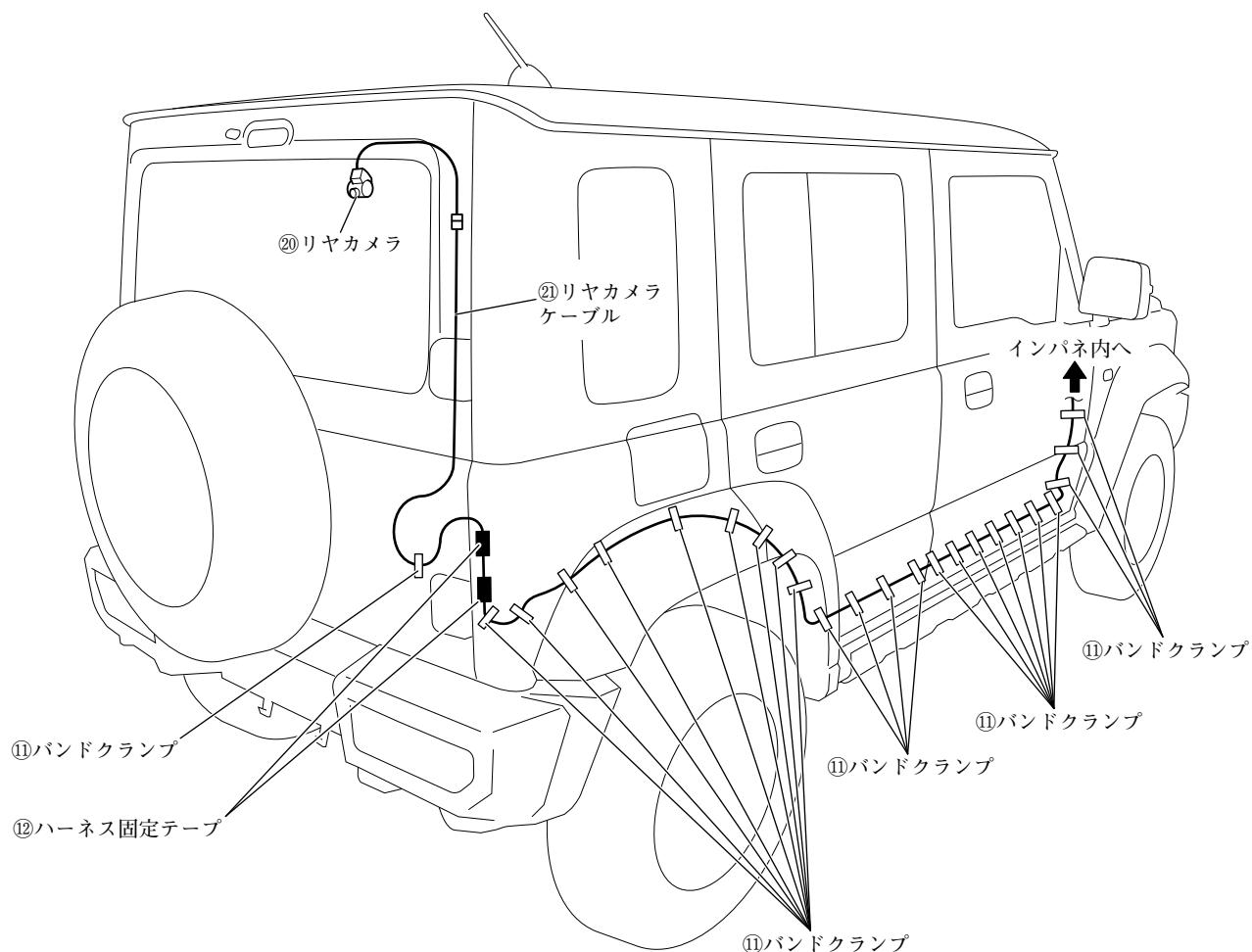


※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

リヤカメラ（ジムニーノマド）

注記

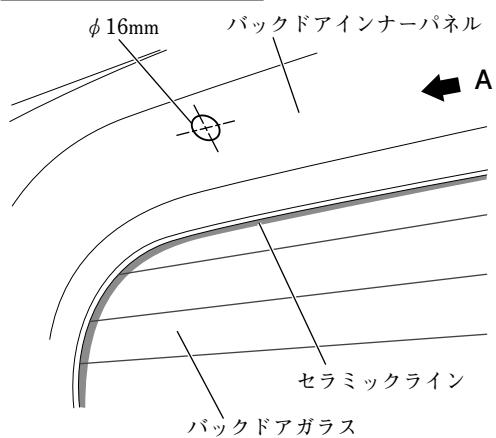
本製品と、ドライブレコーダー（連動3カメラ）とでは、②①リヤカメラの取付位置や、穴開け位置などが異なります。



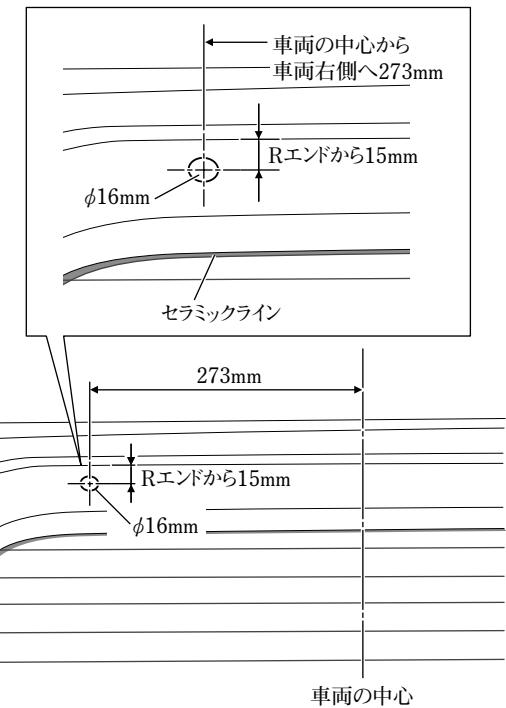
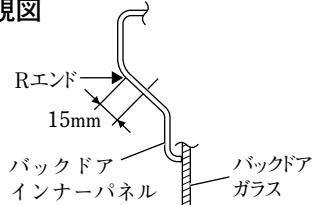
※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備

車両内側から見た図です



A 視図



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。



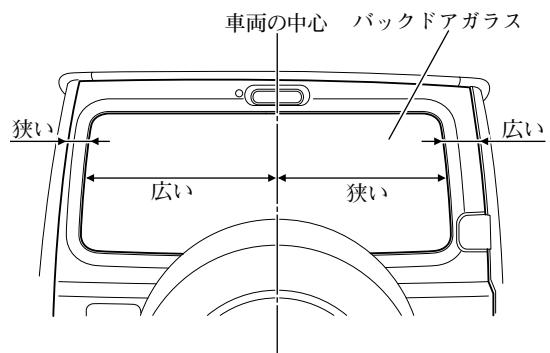
穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。



- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- バックドアガラスは、車両の中心ではありません。バックドアガラスを車両の中心として取り付けを行うと、正しい位置へ取り付けが出来なくなります。

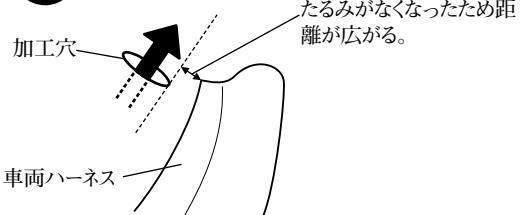


- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

👉 アドバイス

車両ハーネスを引っ張り、たるみをなくすことでホールソーとの距離を広げることができます。

ハイマウントストップランプ取付穴から加工穴裏側を見た図です

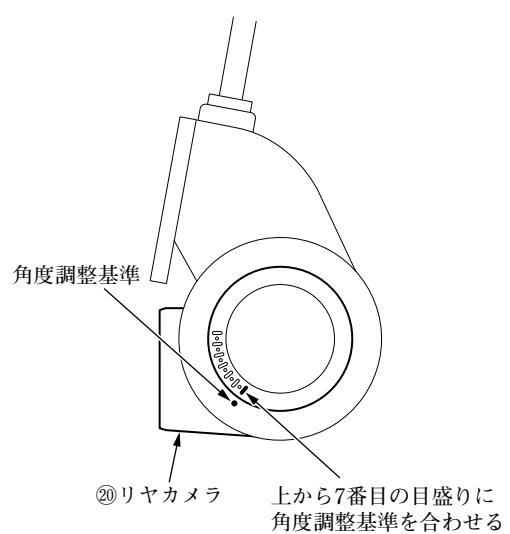


(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドルを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。



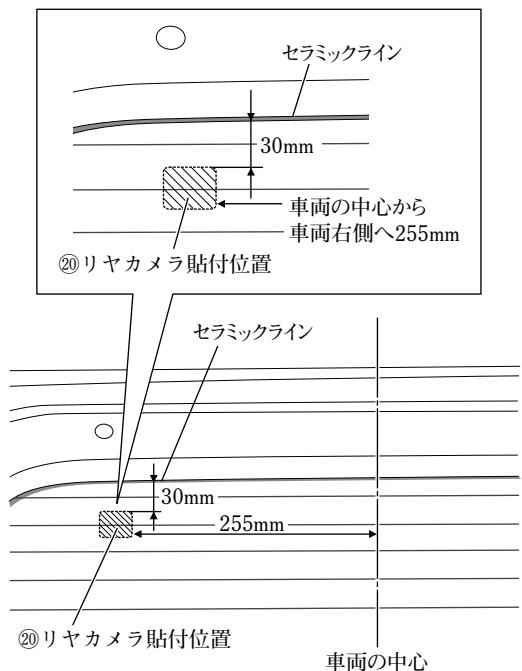
(4) ②①リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

● リヤカメラの取付方法

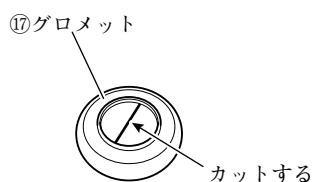
車両内側から見た図です



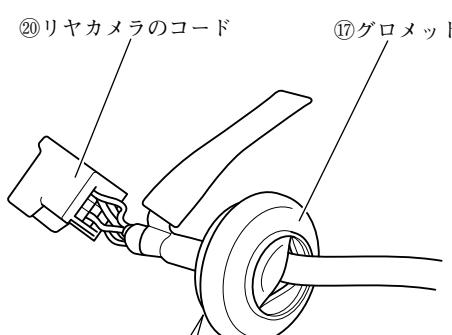
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



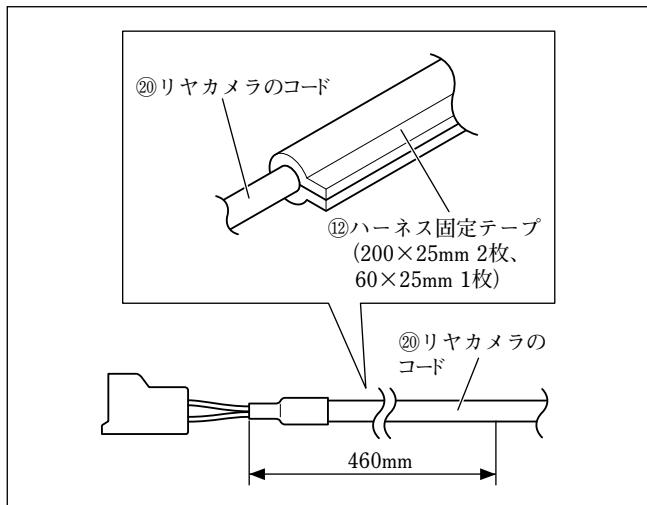
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



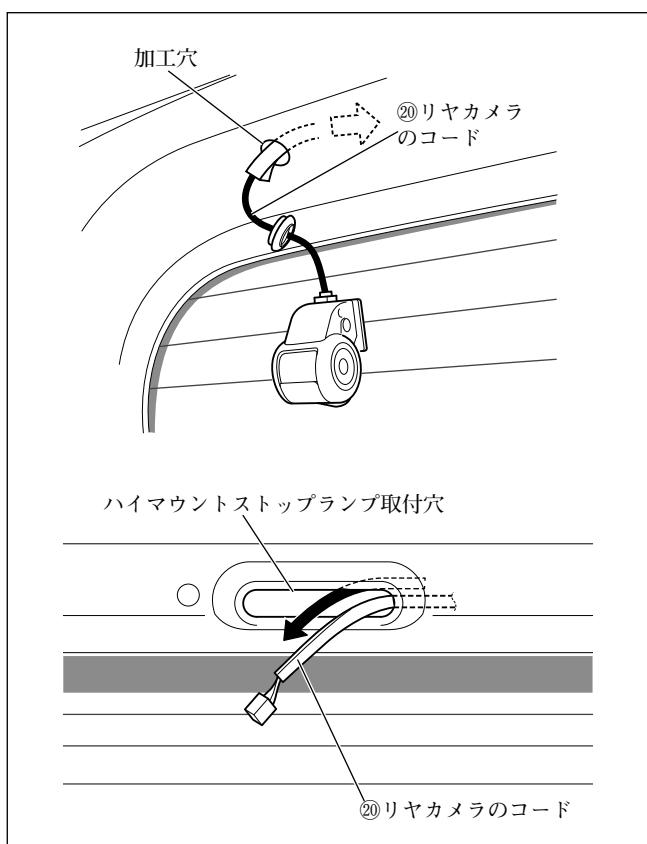
(3) ⑯グロメットを②⓪リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

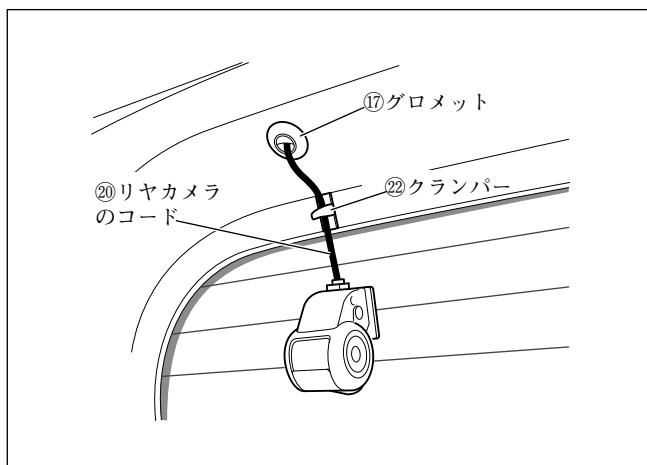
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②⓪リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑫ハーネス固定テープを②①リヤカメラのコードに巻き付けてください。



(5) 針金等を使用して②①リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。



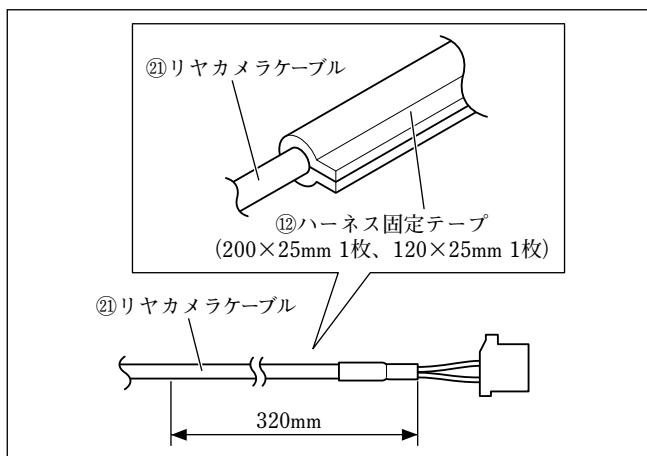
(6) ⑪グロメットを加工穴に取り付けてください。

(7) ⑫クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

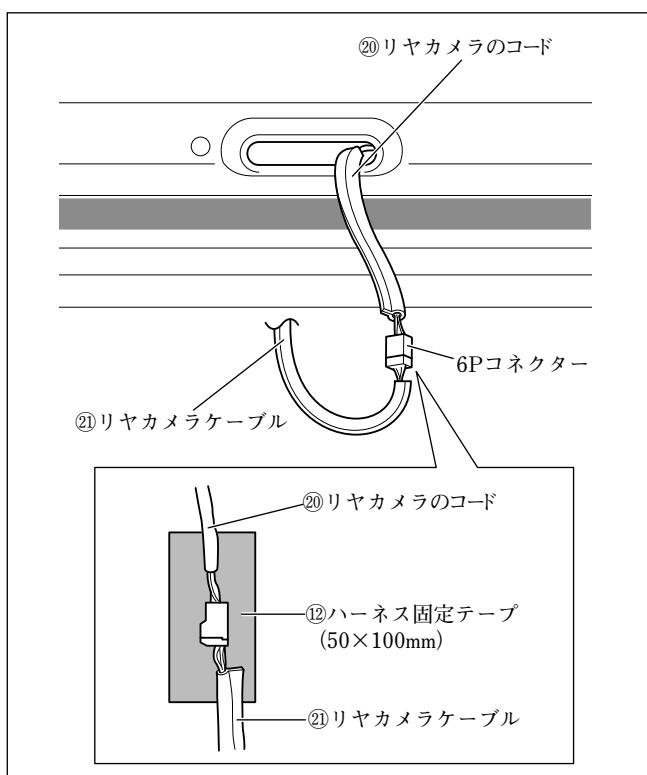
注記

- ⑫クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

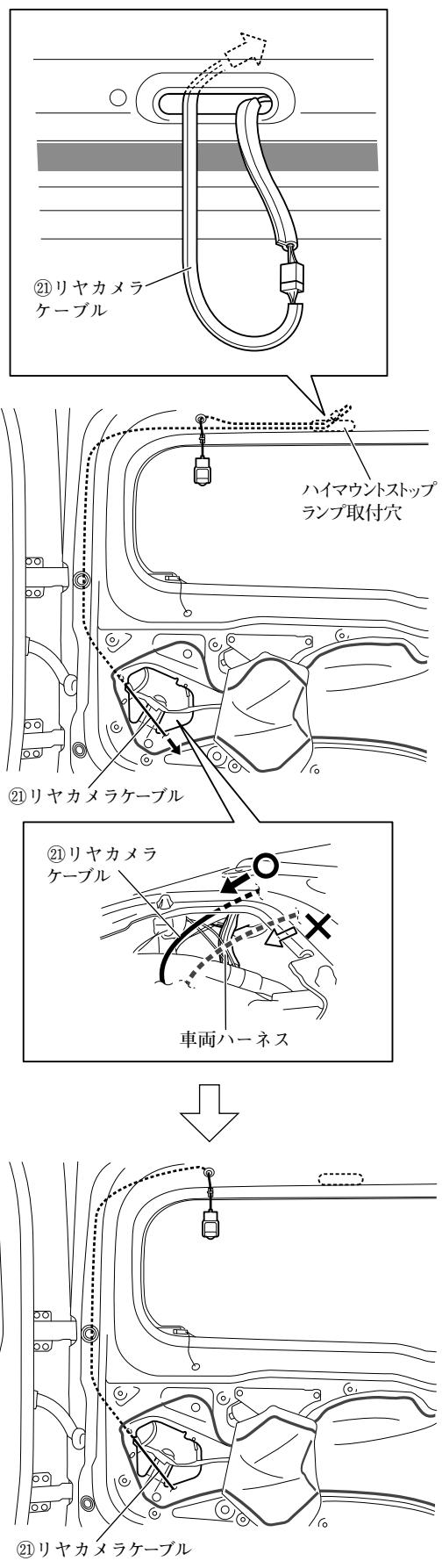
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



(1) ②ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに巻き付けてください。



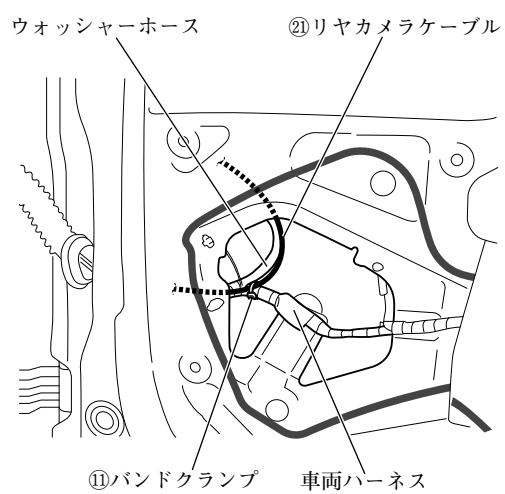
(2) ②リヤカメラケーブルのコネクターと②リヤカメラのコネクターを接続してください。
(3) 異音防止のため、接続したコネクターに②ハーネス固定テープを巻き付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）」参照)



(4) 針金等を使用して②リヤカメラケーブルをハイマウントストップランプ取付穴からバックドア下部へバックドアパネル内に通してください。

注記

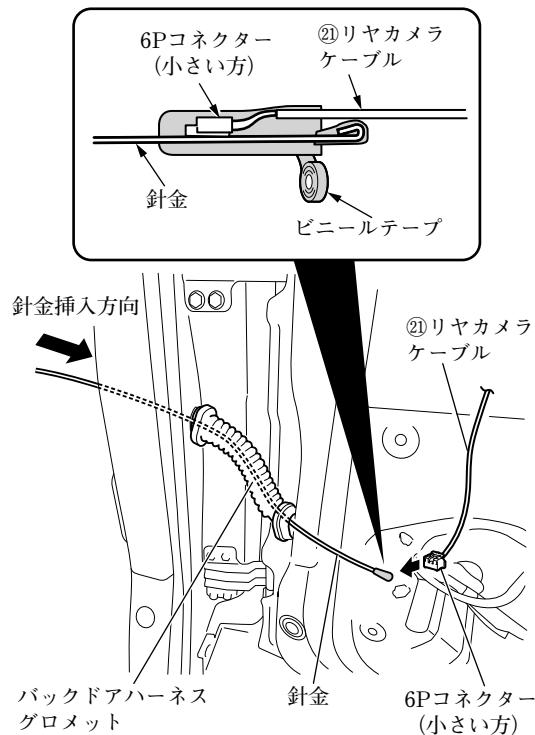
- ②リヤカメラケーブルは、車両ハーネスに沿った所を通してください。
- ②リヤカメラケーブルおよび②リヤカメラのコードのたるみがなくなるまで引き込んでください。



(5) ⑪バンドクランプで②リヤカメラケーブルを車両ハーネスに固定してください。

注記

ウォッシャーホースには固定しないでください。



(6) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。

(7) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。

(8) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。

(9) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

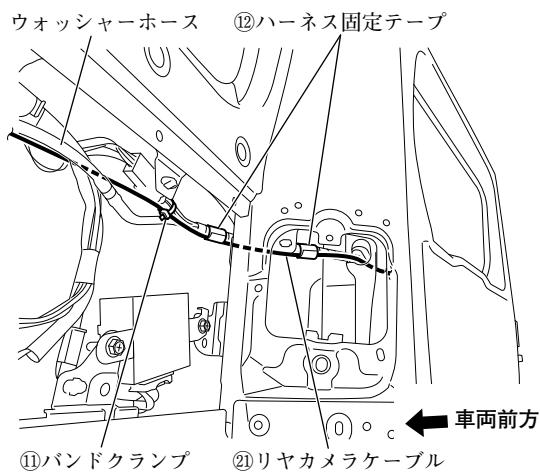
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

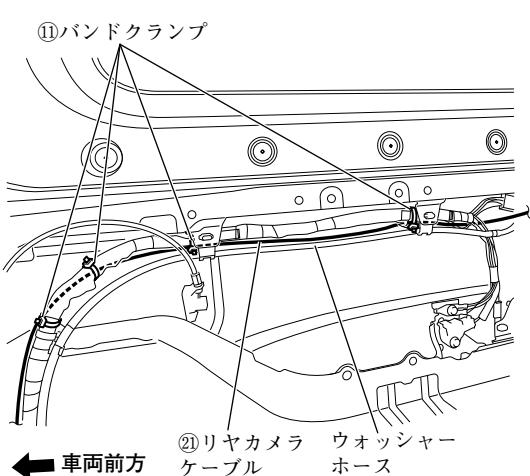
👉 アドバイス

ここではジムニー／ジムニーシエラに取り付ける場合を例としています。

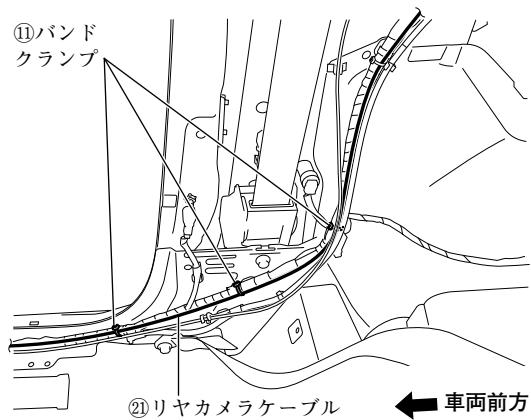
バックドア開口部右



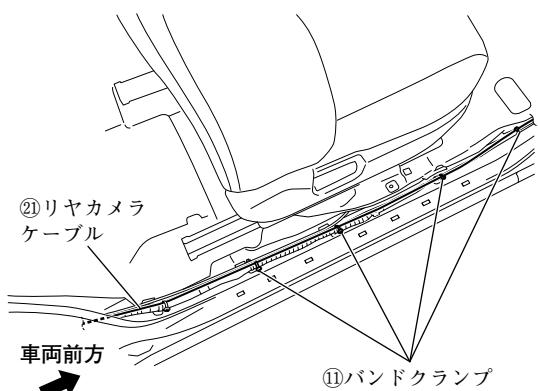
クオーターロアトリム取付部



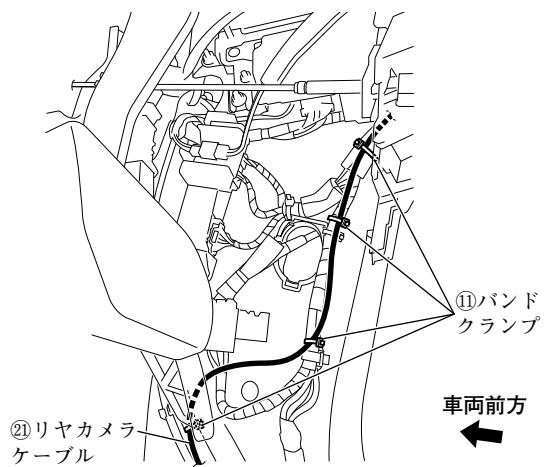
クォーターロアトリム取付部前側



サイドシルフロントスカッフ取付部



ダッシュサイドトリム取付部



ラパンの場合

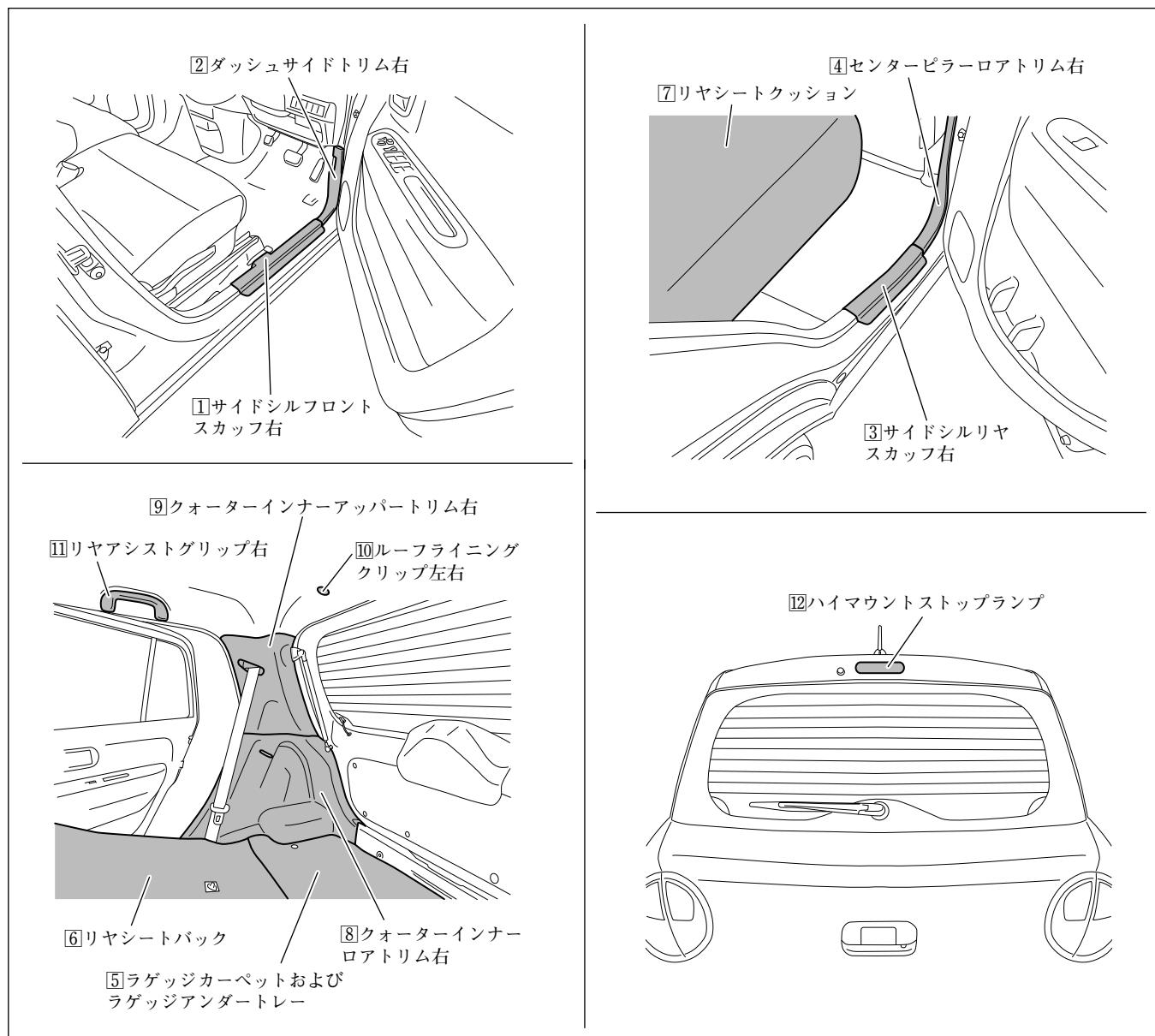
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

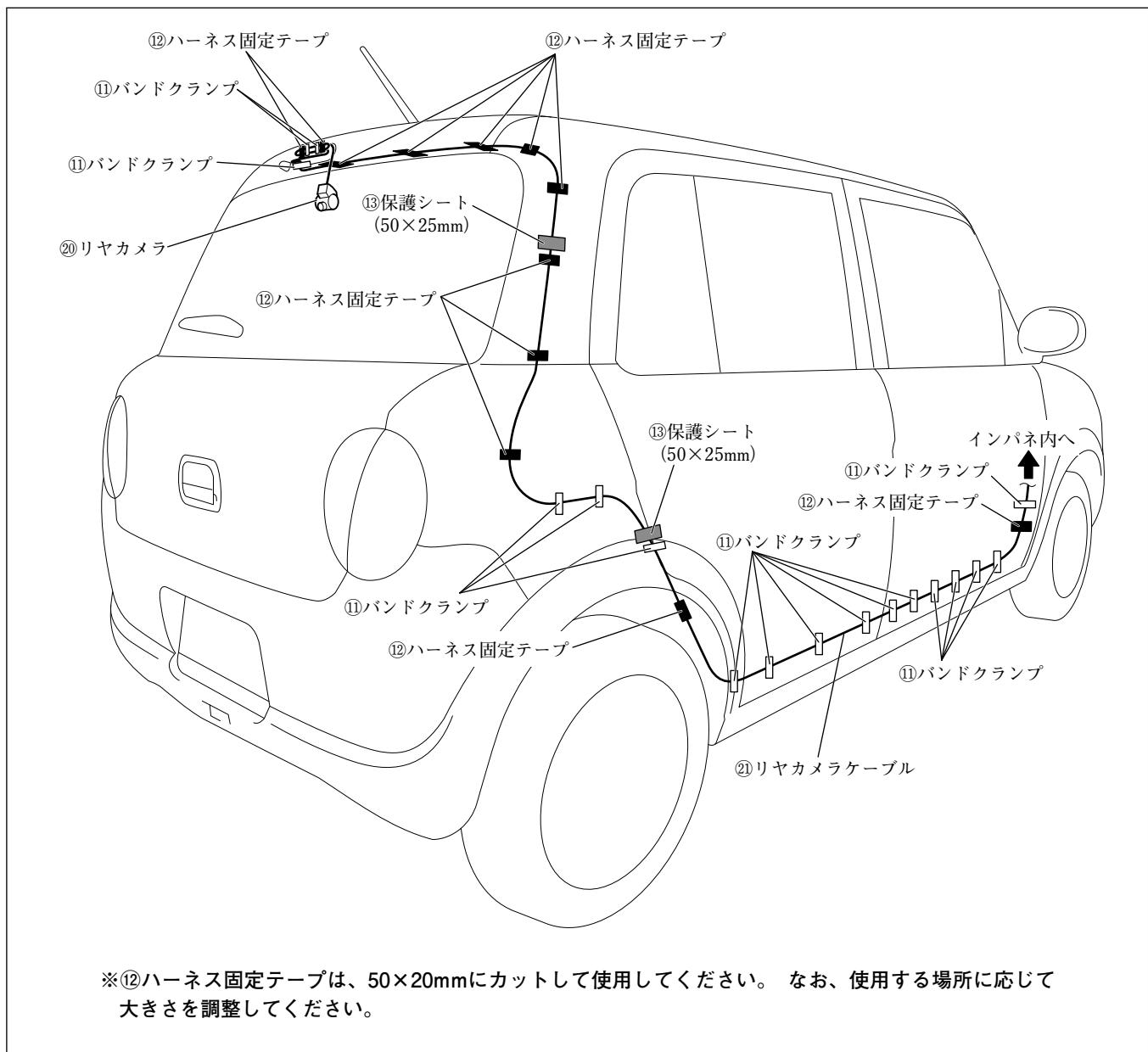
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ



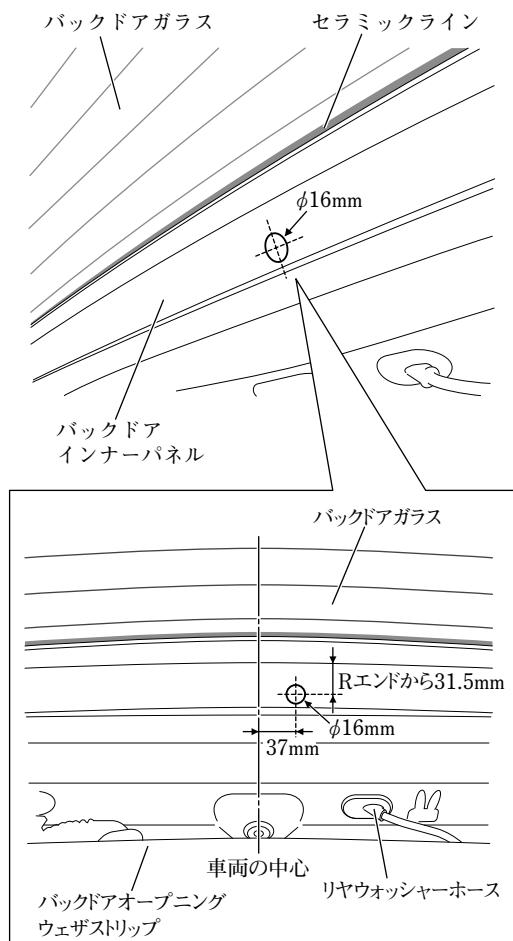
● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備

バックドア上部中央



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

!**警告**

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

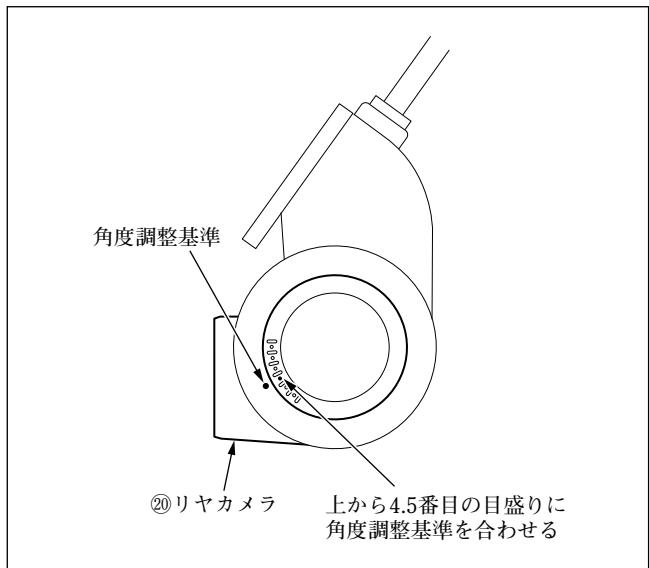
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- 穴貫通時にパネルの切れ端がハイマウントストップランプ取付穴から飛び出しがあります。テープ等で一時的にハイマウントストップランプ取付穴を塞いだ状態で穴開けを行ってください。
- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

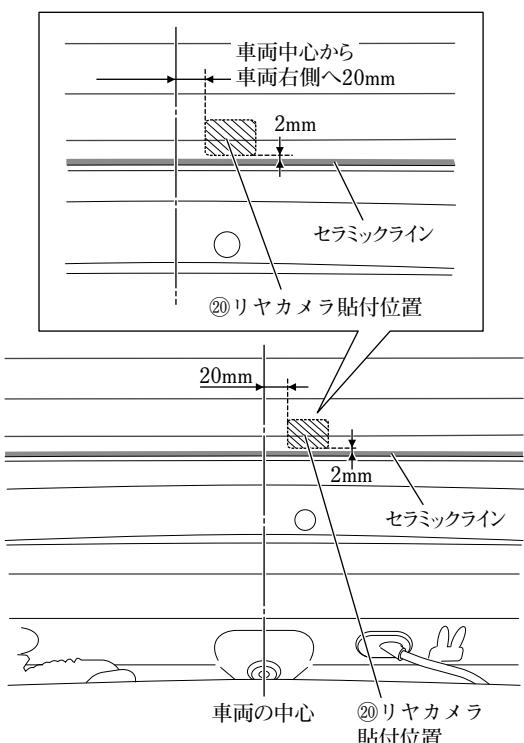


(4) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

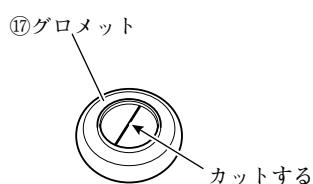
● リヤカメラの取付方法



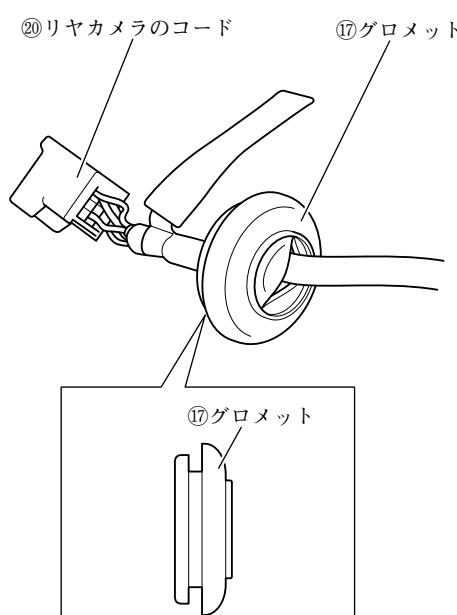
(1) ②②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②②リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



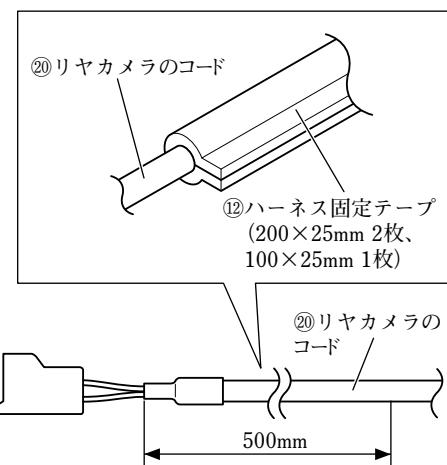
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



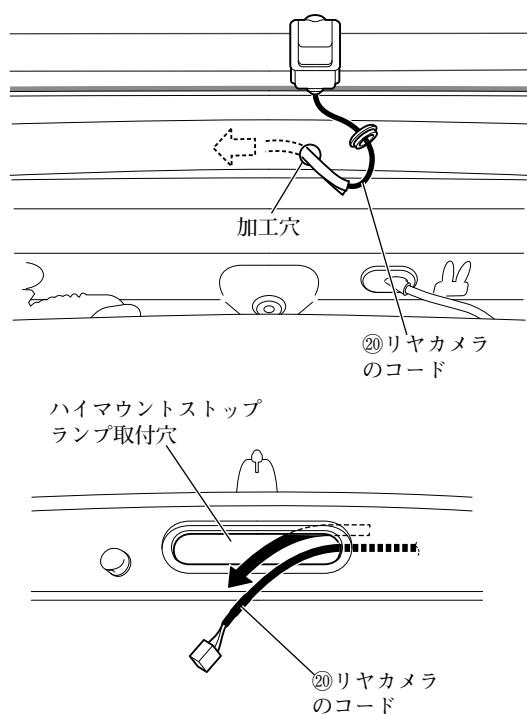
(3) ⑯グロメットを②②リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

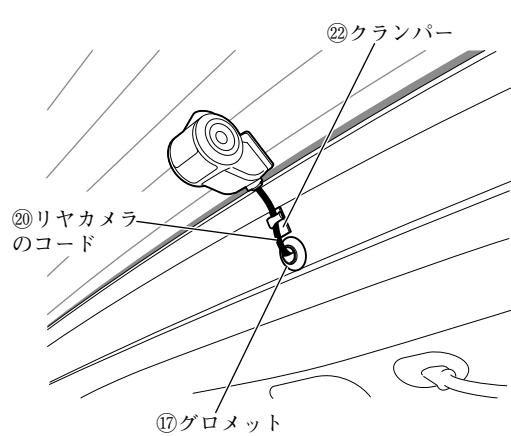
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②②リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) 針金等を使用して②リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。



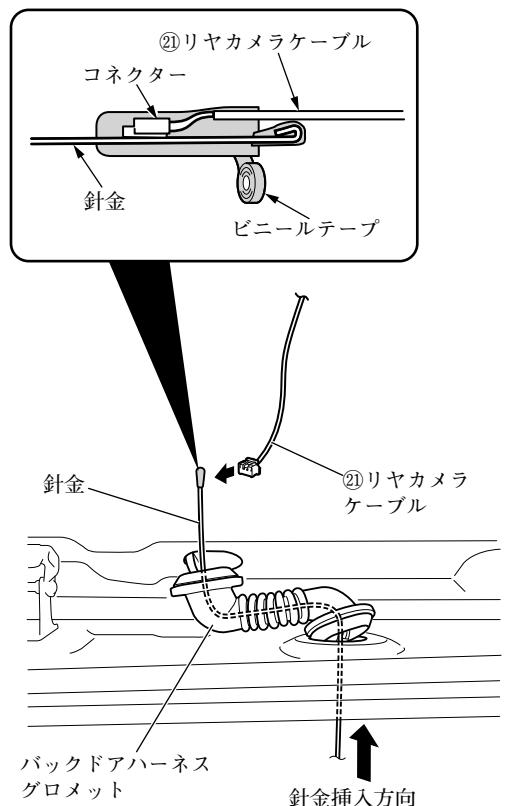
(6) ⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。

(7) ⑫クランパーで②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑫クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

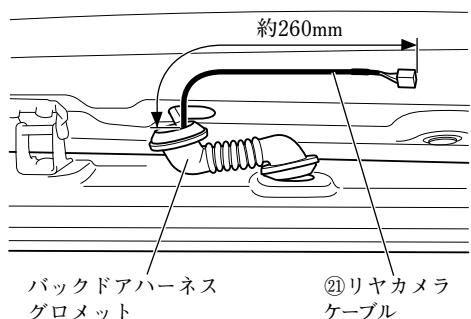
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



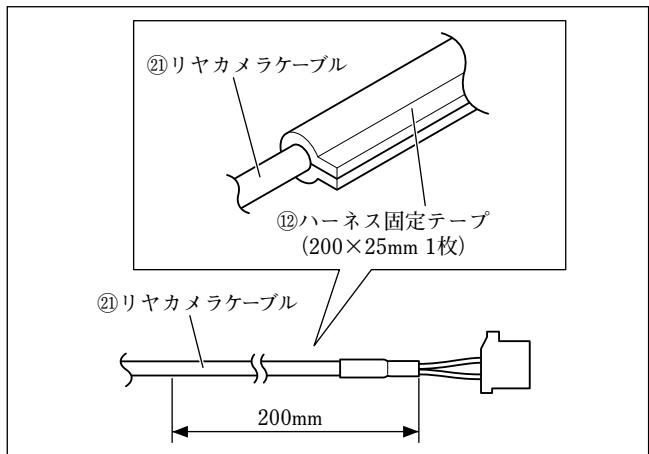
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

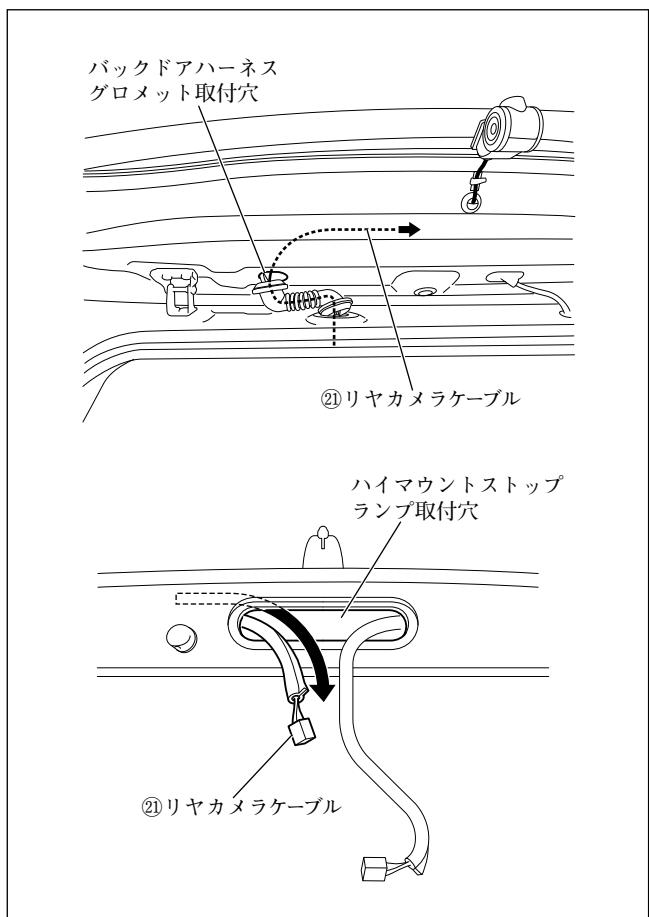
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



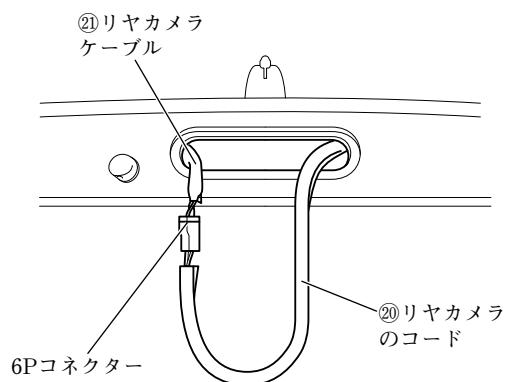
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

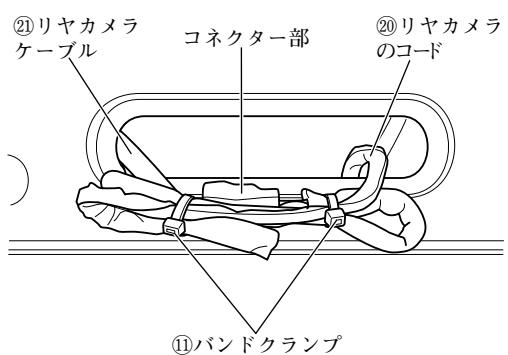


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

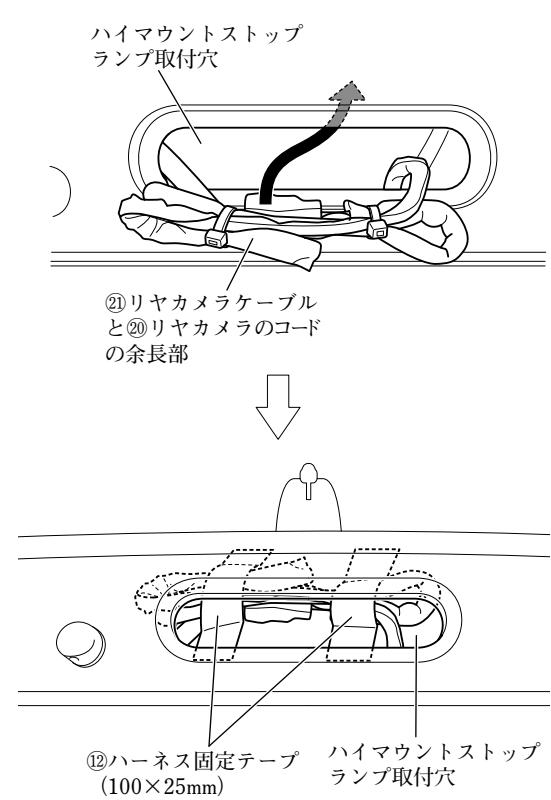


(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに②②ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、②②バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、②②ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ②②ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

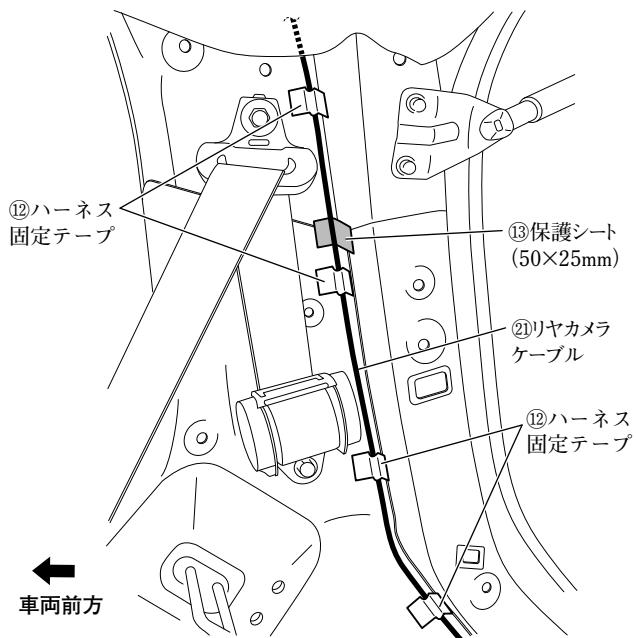
配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

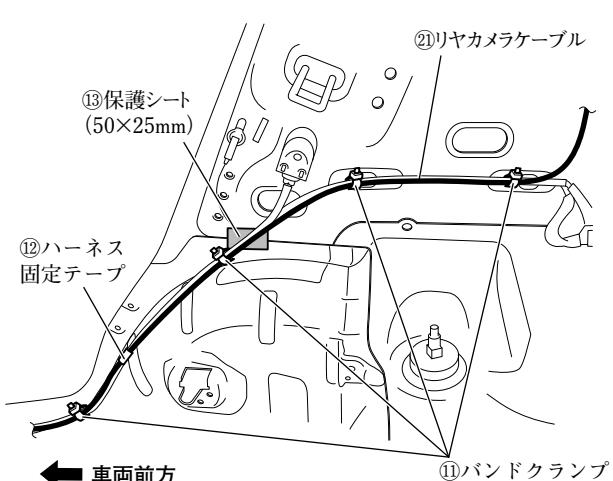
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右リヤクォーターピラー上部



右リヤクォーターピラーダ下部



スペーシアの場合

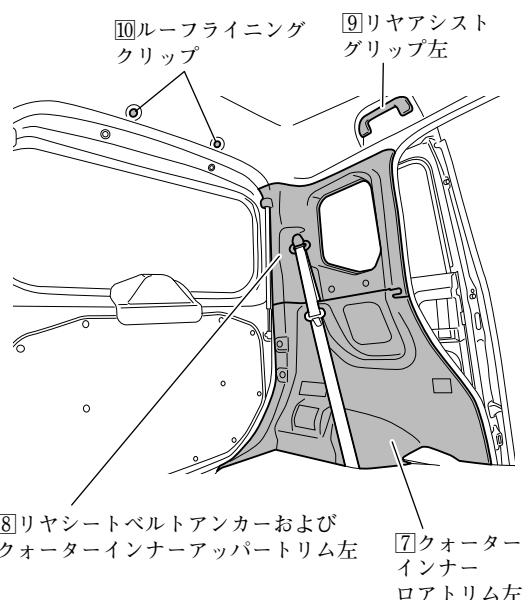
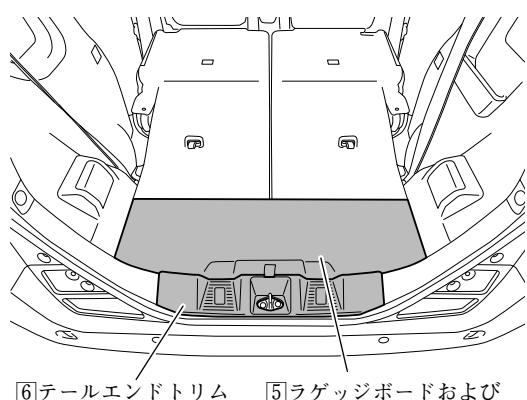
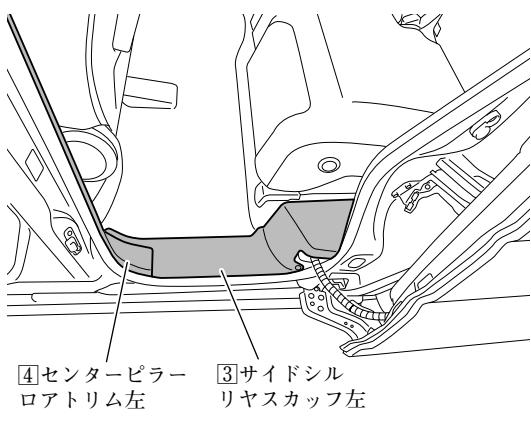
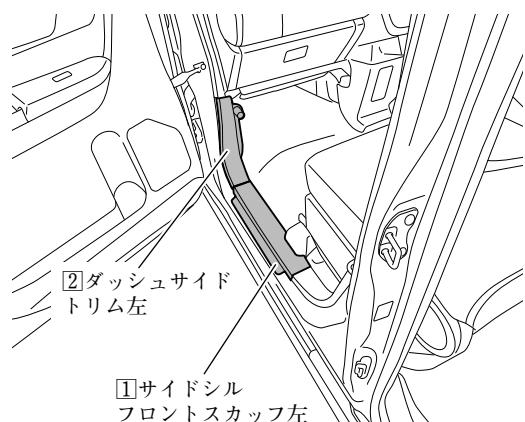
●車両部品の取り外し方法

注記

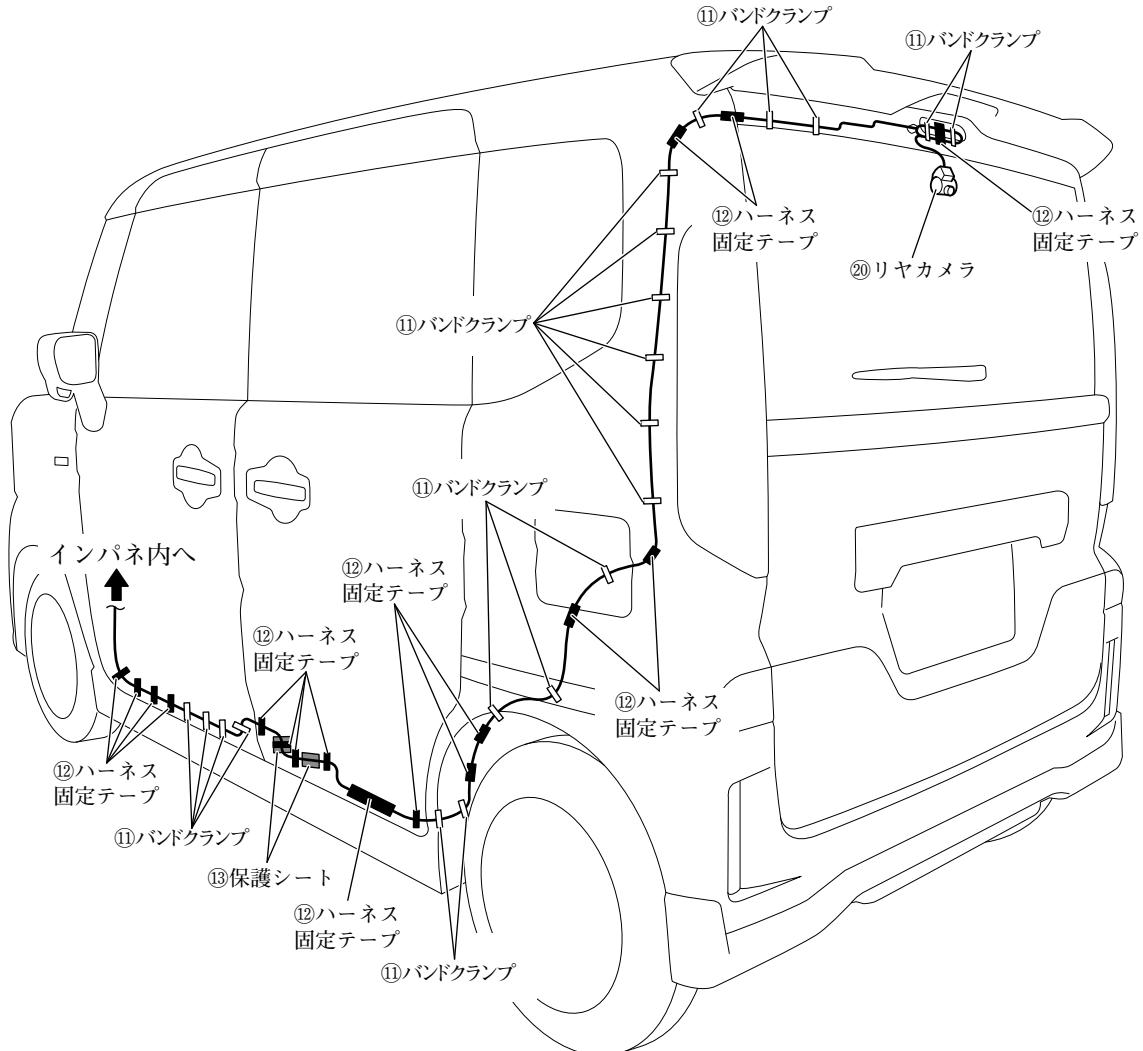
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

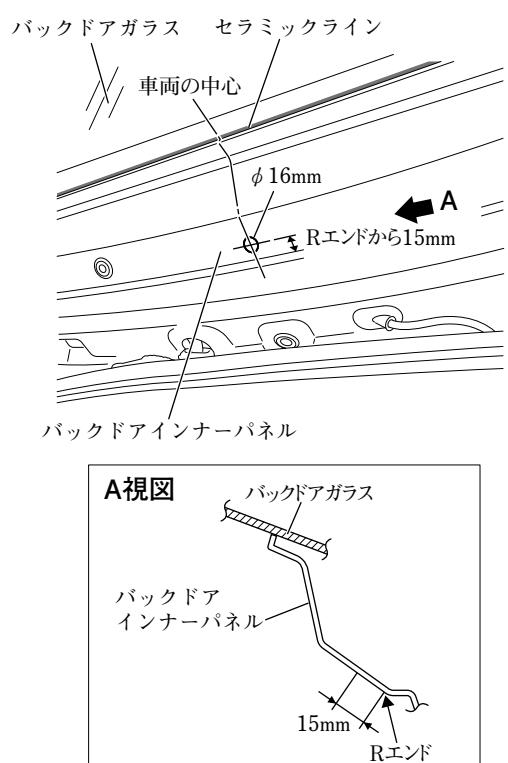


- 取付概要



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

!**警告**

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

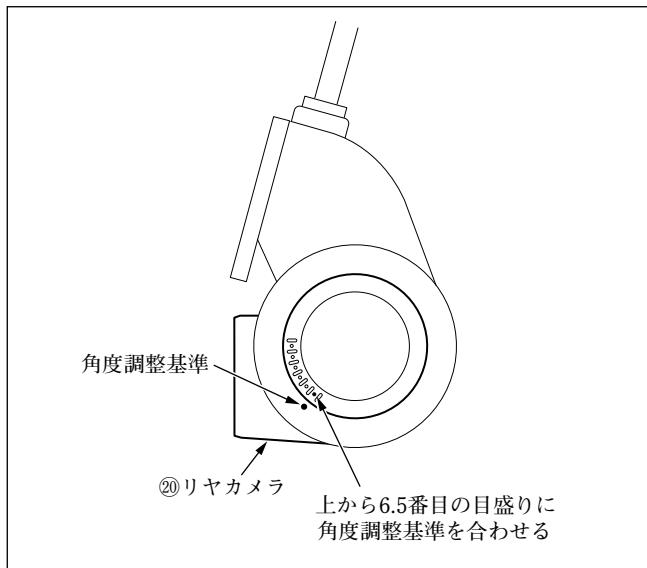
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

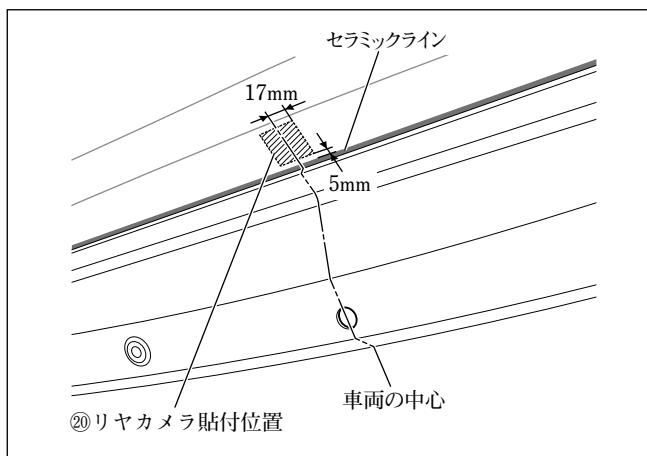


(4) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

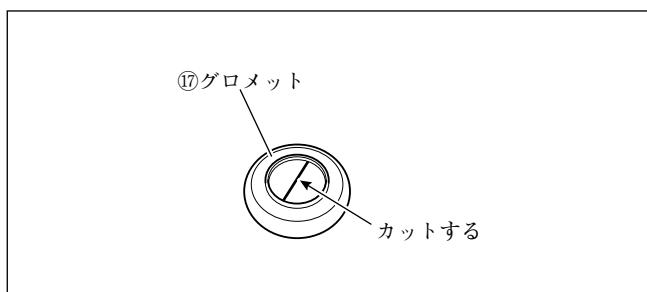
● リヤカメラの取付方法



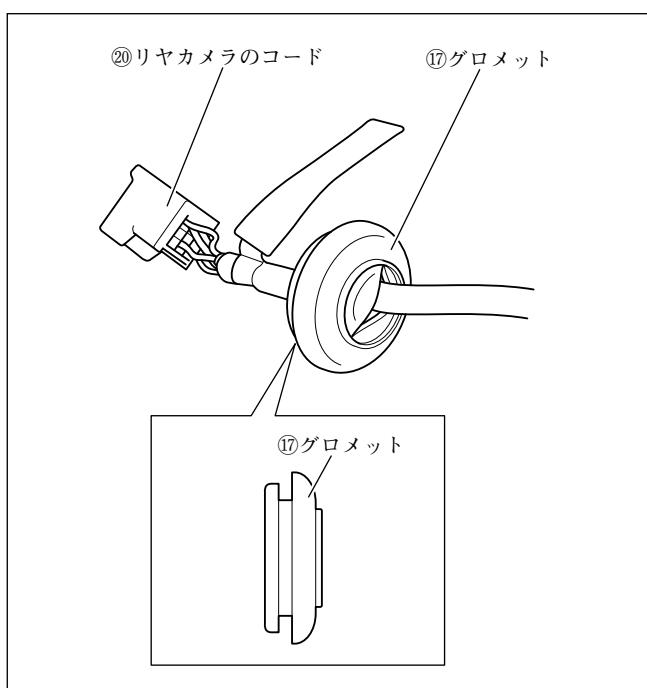
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



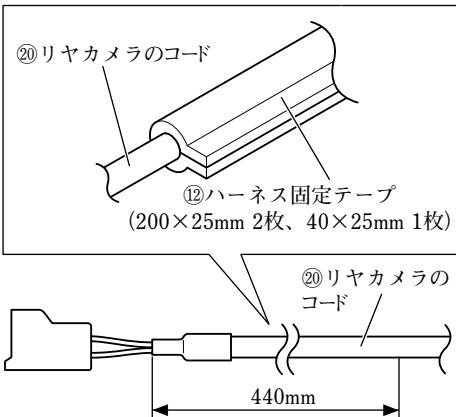
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



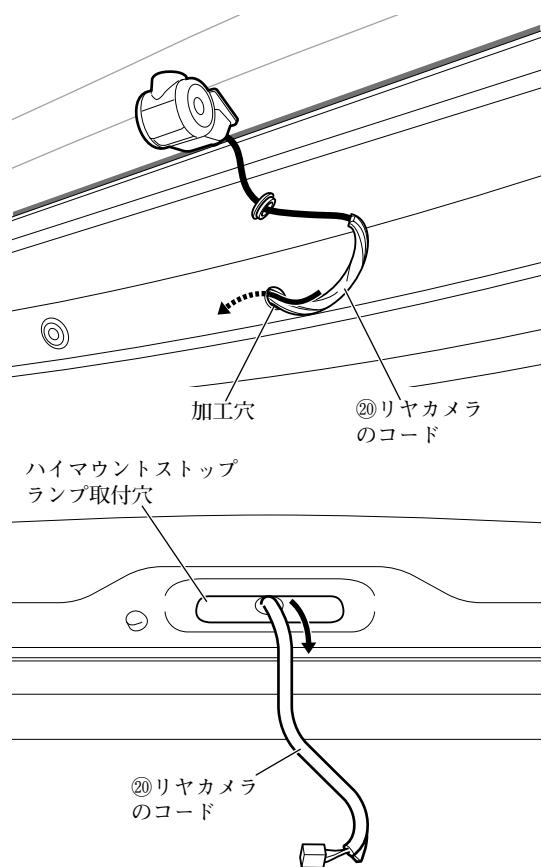
(3) ⑯グロメットを②⓪リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

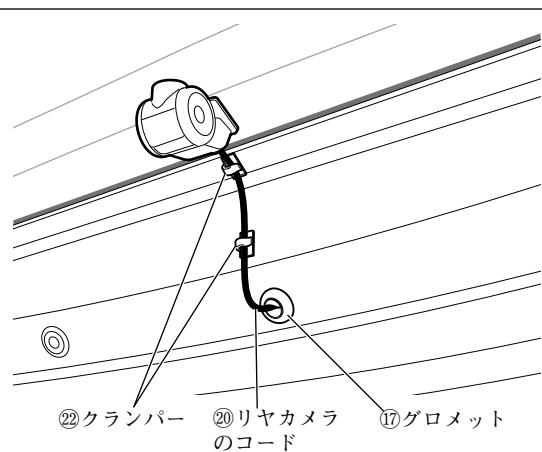
- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②⓪リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) 針金等を利用して②ⓧリヤカメラのコードを加工穴からハイマウントストップランプ取付穴へとバックドアパネル内を通してください。

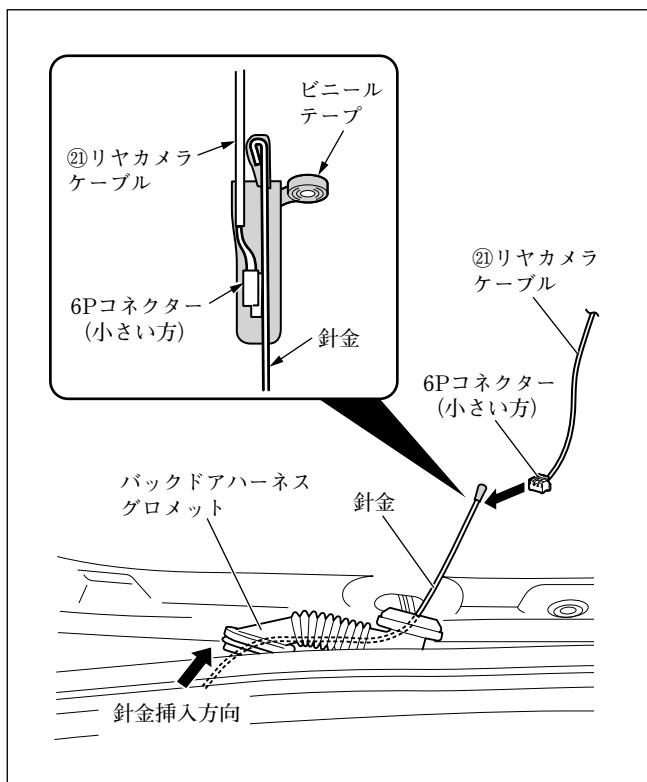


(6) ⑯グロメットを加工穴に取り付けてください。
 (7) ②㉚クランパーで②ⓧリヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②㉚クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

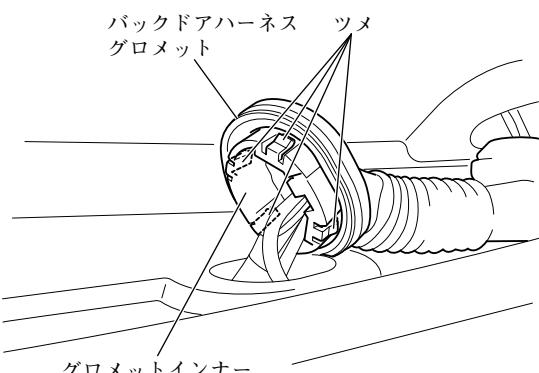
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



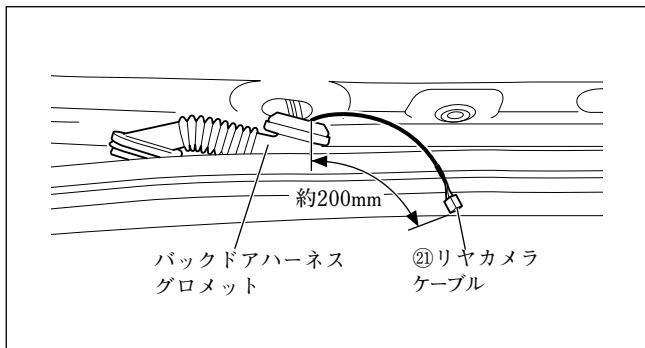
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

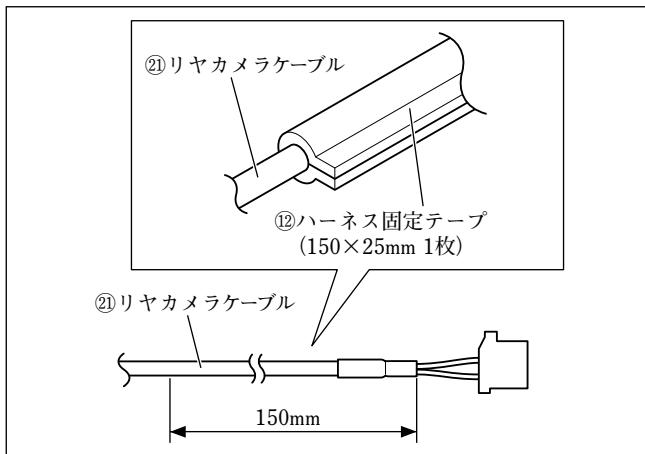
- バックドアハーネスグロメットのルーフパネル側には、グロメットインナーがあります。取り外すにはルーフライニングをめくり、ツメを縮めてください。



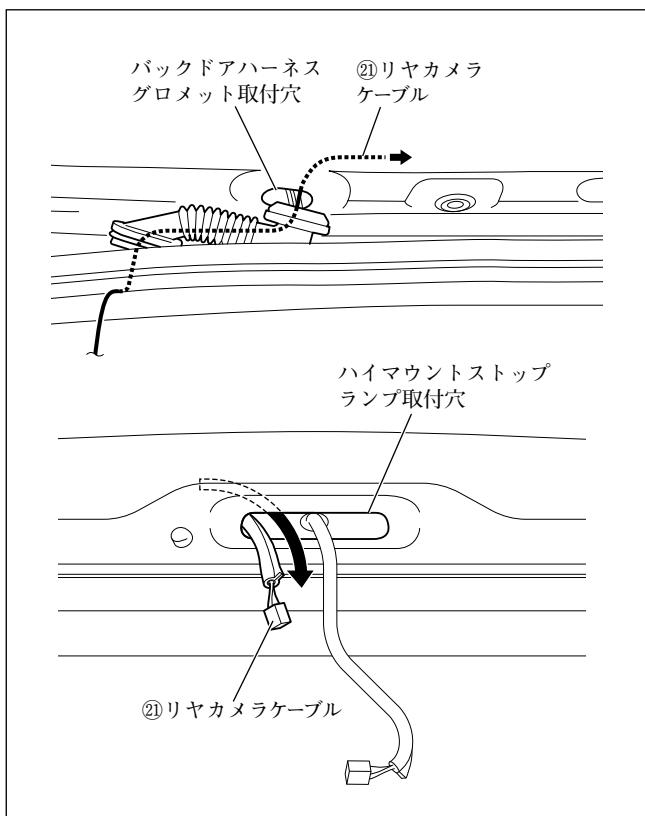
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



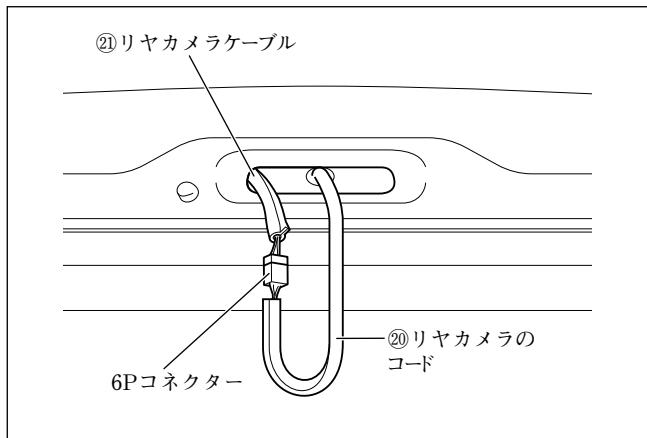
(5) パックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ②ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

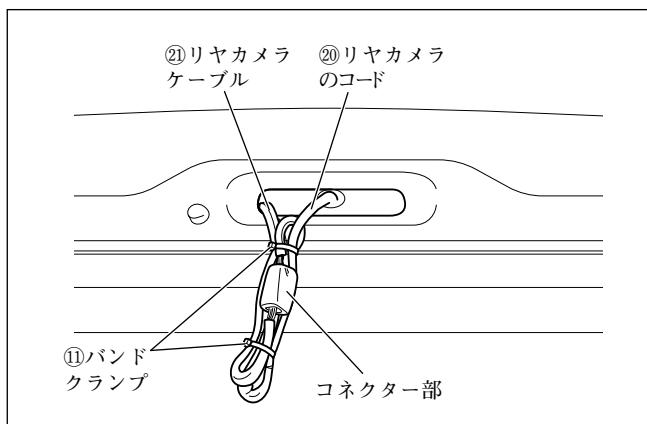


(7) 針金等を使用して②リヤカメラケーブルをパックドアパネル内に通してください。

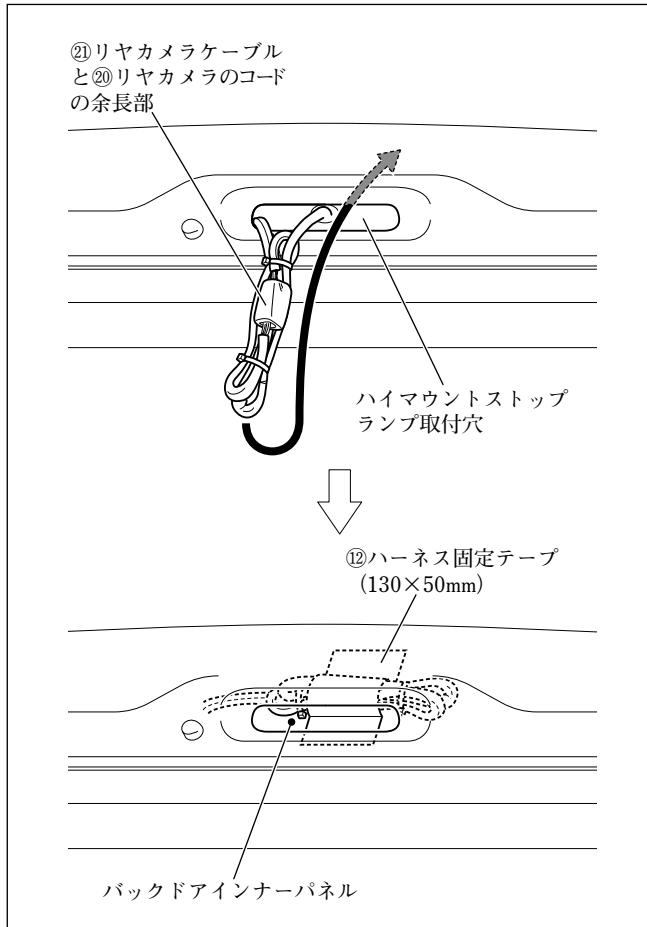


(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②②リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ハイマウントストップランプと干渉しない位置へ貼り付けてください。

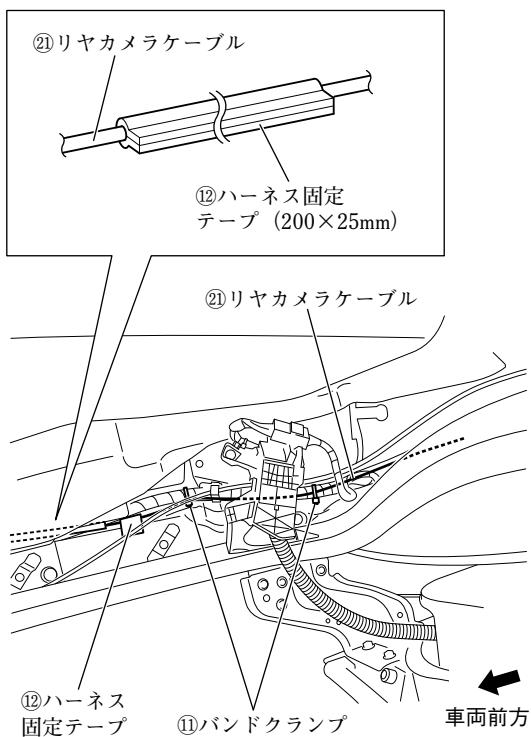
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

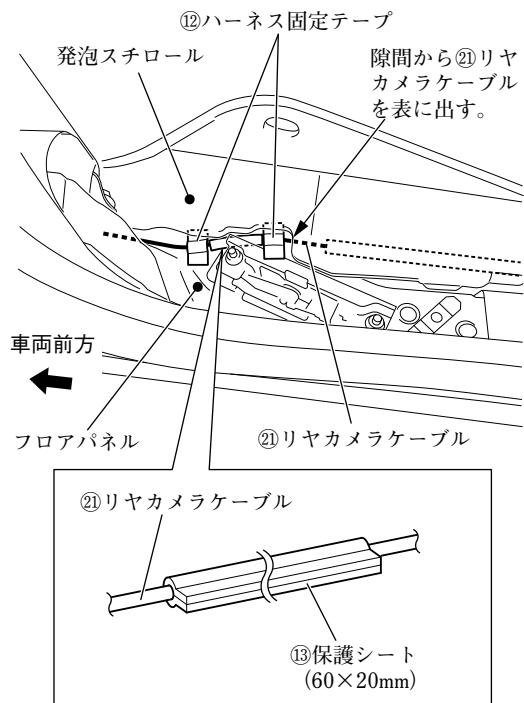
配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

左リヤサイドシル部後ろ側



- (1) 配線を保護するため、図示箇所の②リヤカメラケーブルに⑫ハーネス固定テープ（200×25mm）を巻き付けてください。

左リヤサイドシル部前側



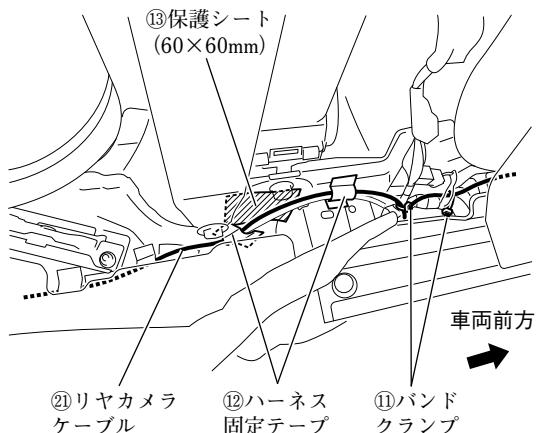
(2) 図示箇所の②リヤカメラケーブルは、発泡スチロールとフロアパネルの隙間から表へ出してください。

(3) 配線を保護するため、図示箇所の②リヤカメラケーブルに③保護シート (60×20mm) を巻き付けてください。

注記

- ③保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

左Bピラー部



(4) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ③保護シートおよび②ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(5) シートベルトと干渉しないように②リヤカメラケーブルを配線してください。

スペーシアベースの場合

本書に記載の取付位置は推奨となります。他の用品と取付位置が重なる場合、取付位置の調整をしてください。

注記

別売のETC2.0車載器をビルトイン取付キットを使用せずに取り付ける場合は、ETC2.0車載器本体をグローブボックス内に取り付けてください。

●車両部品の取り外し方法

注記

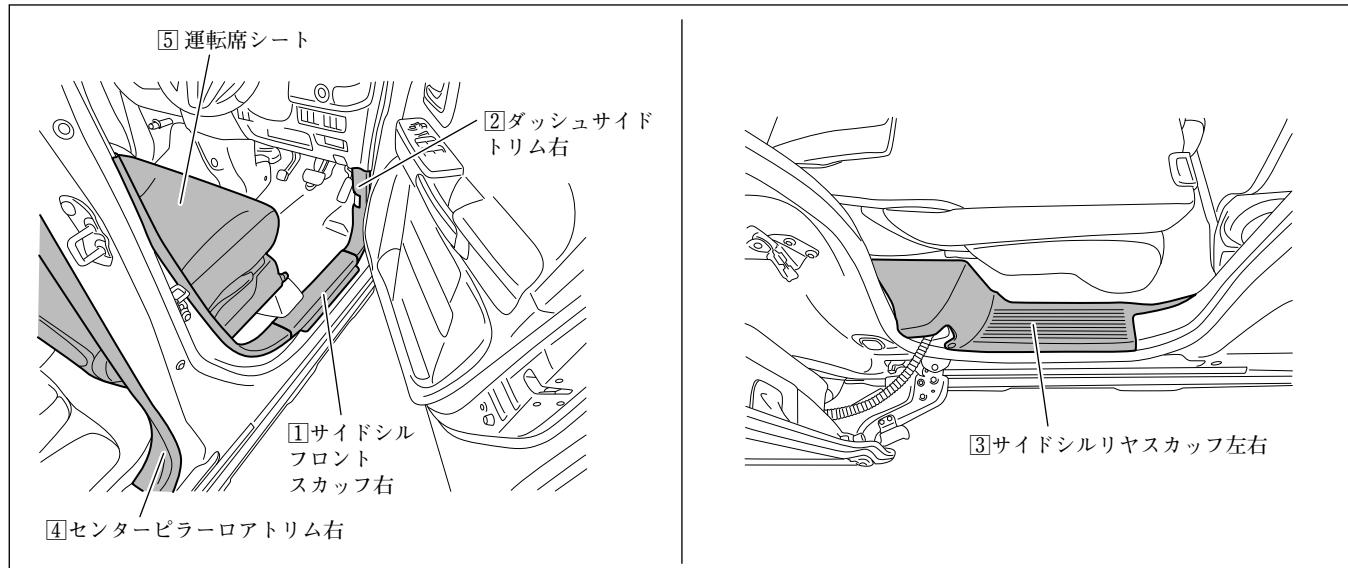
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

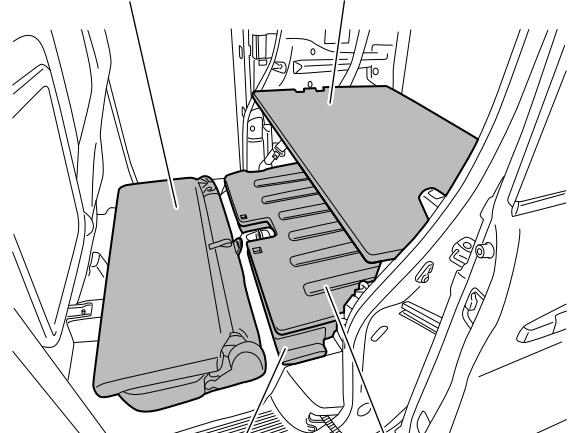
リヤカメラ

👉アドバイス

運転席シートを取り外すと作業性が向上します。

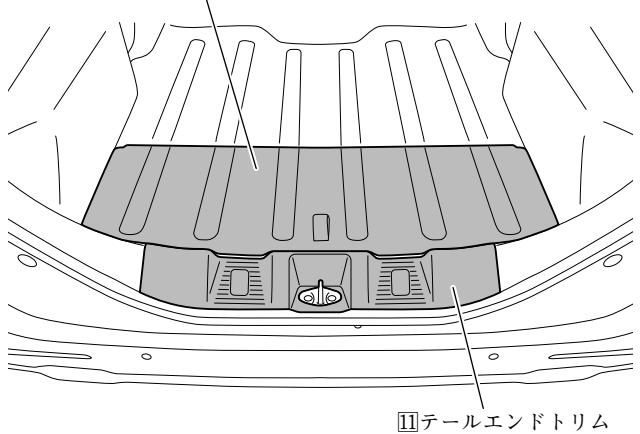


⑥ リヤシート ⑦ ラゲッジトノボード



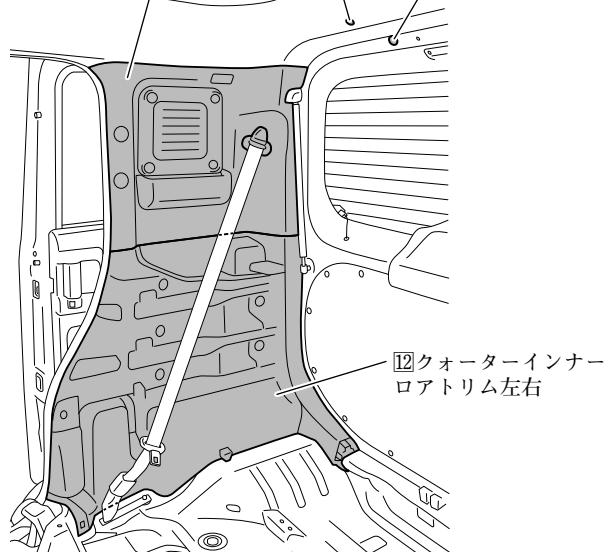
⑨ ツールボックス ⑧ ラゲッジボード

⑩ ラゲッジボードおよびラゲッジアンダートレー

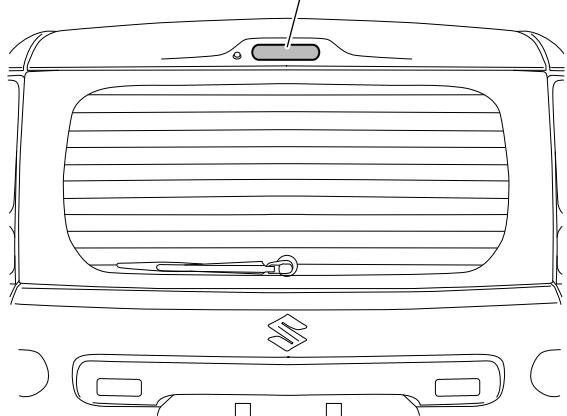


⑪ テールエンドトリム

⑭ ルーフライニングクリップ左右

⑬ クォーターインナー
アッパートリム左右⑮ パックドアサービス
ホールキャップ
(ケーブル引き込み用)⑫ クォーターインナー
ロアトリム左右

⑯ ハイマウントストップランプ

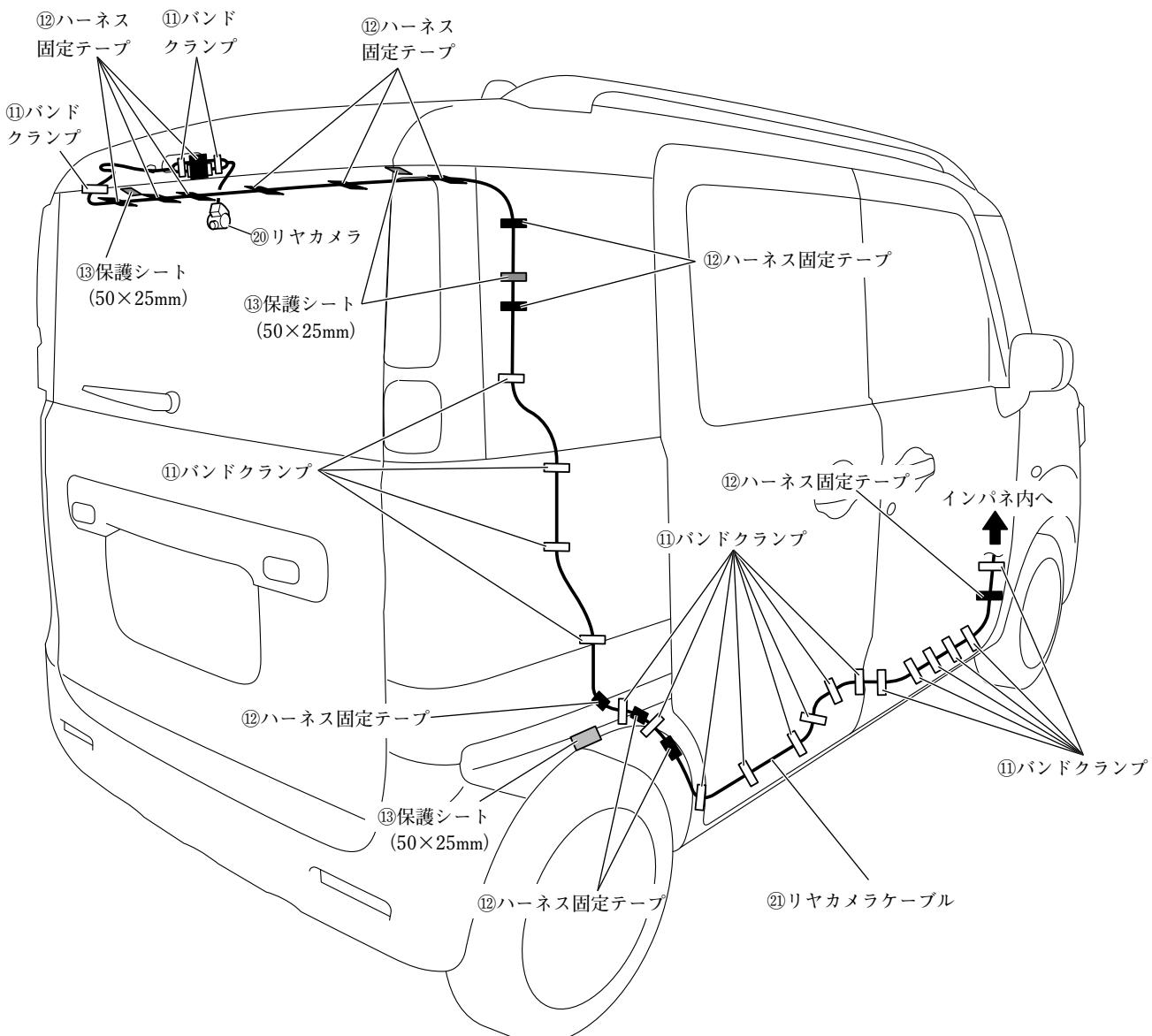


● 取付概要

リヤカメラ

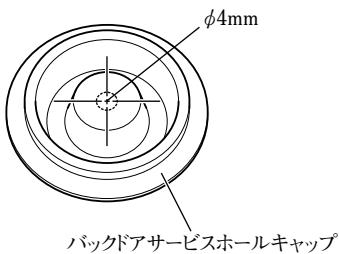
注記

スペーシアベースの運転席シートの下の配線は、リヤシート取付部のサイレンサーパットを割らないよう慎重に持ち上げながら作業を行ってください。なお、運転席シートを取り外すとサイレンサーパットが取り外しでき、作業性が向上します。



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



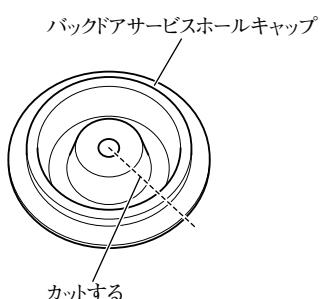
(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央に穴（ ϕ 4mm）を開けてください。

⚠ 注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

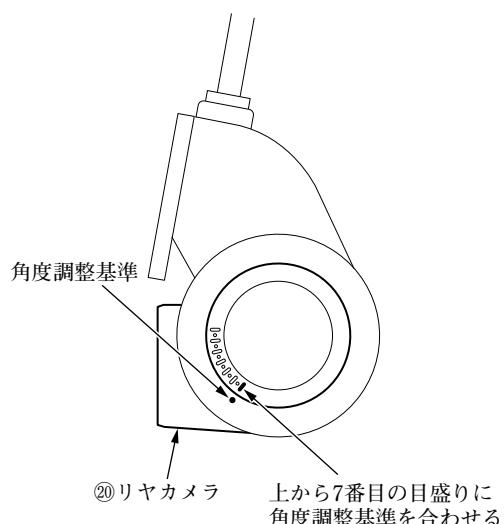


(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

(3) バックドアサービスホールキャップの図示位置をカッターナイフ等でカットしてください。

⚠ 注意

カットする際は、耐切創手袋を使用してください。



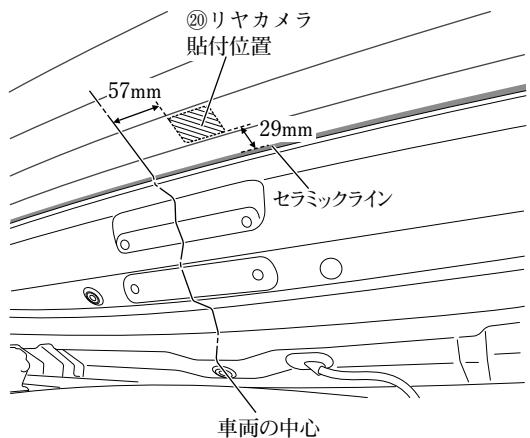
(4) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

● リヤカメラの取付方法

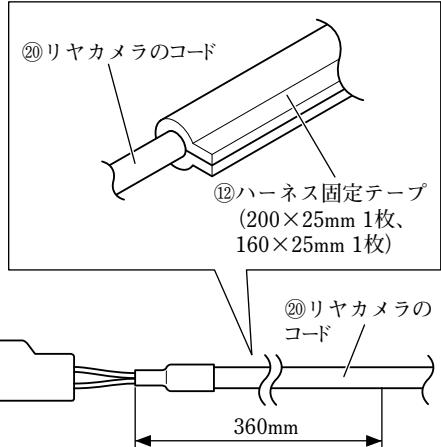
バックドア上部中央



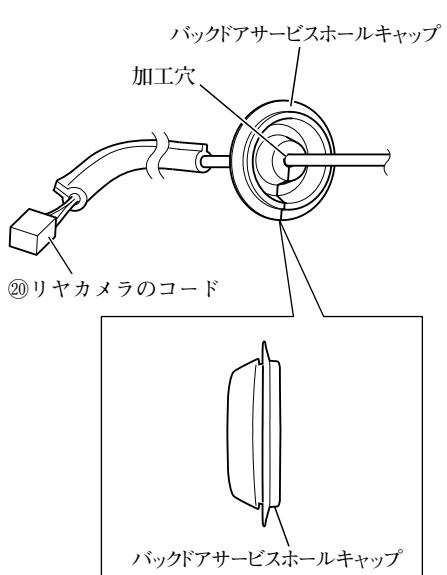
(1) ②②リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②②リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②②リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②②リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②②リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



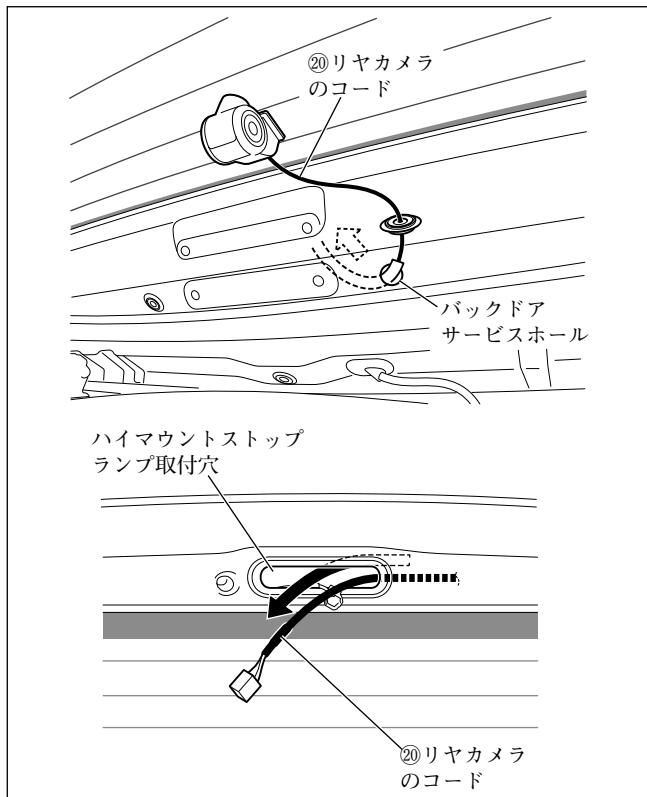
(2) ②②ハーネス固定テープを②②リヤカメラのコードに貼り付けてください。



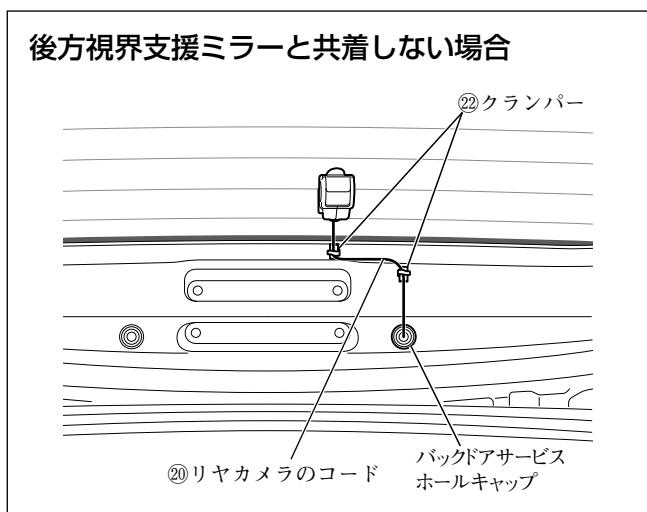
(3) ②②リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(4) 針金等を使用して②①リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。



(5) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

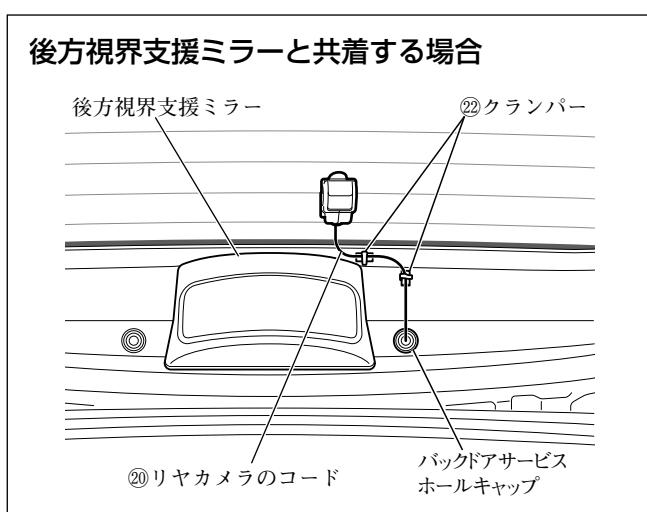
注記

バックドアサービスホールキャップは、カット部が②①リヤカメラのコードでかくれる向きに取り付けてください。

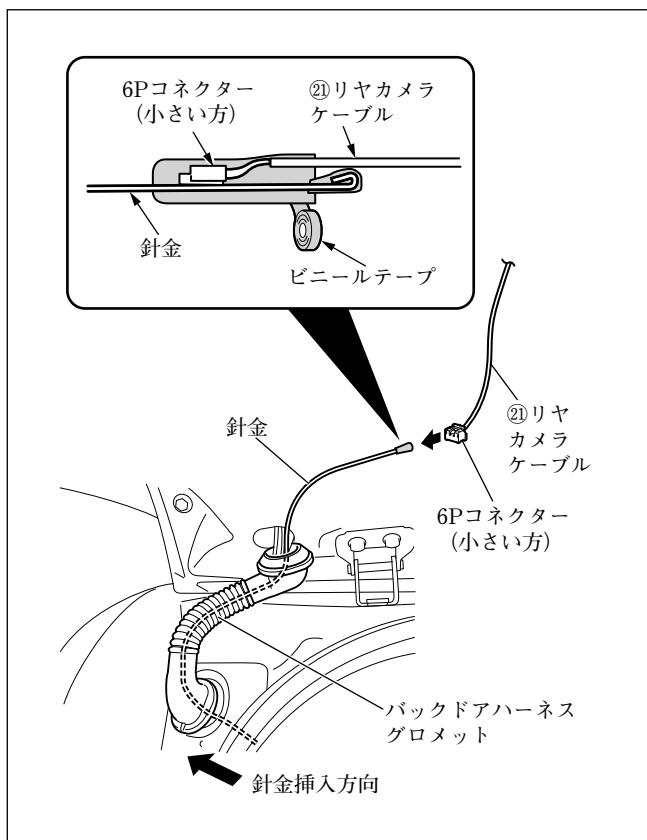
(6) ②②クランパー（2個）で②①リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ・後方視界支援ミラーと同時取り付けする場合は、ミラーを先に取り付けてください。
- ・②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- ・気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



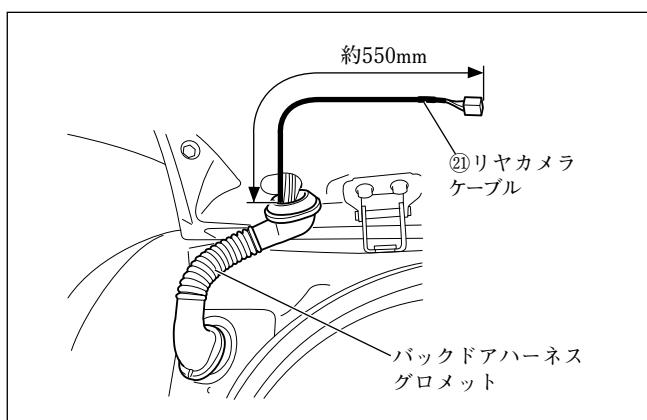
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



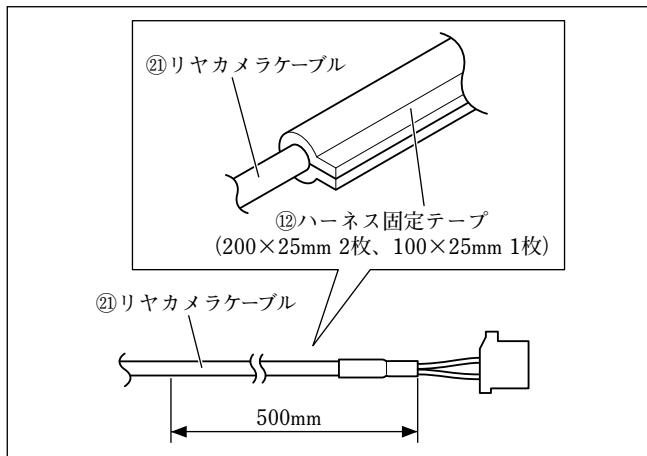
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

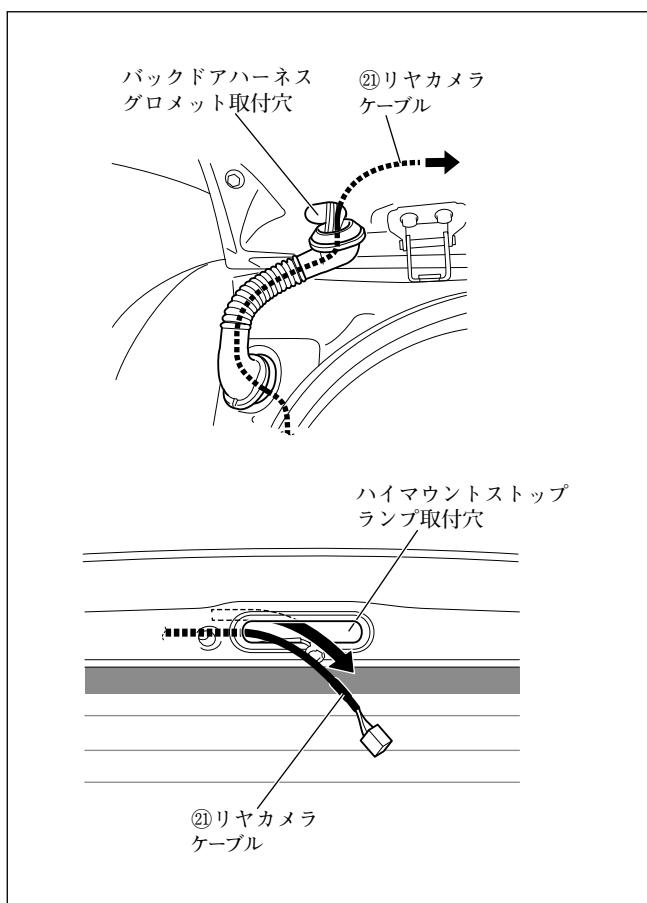
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



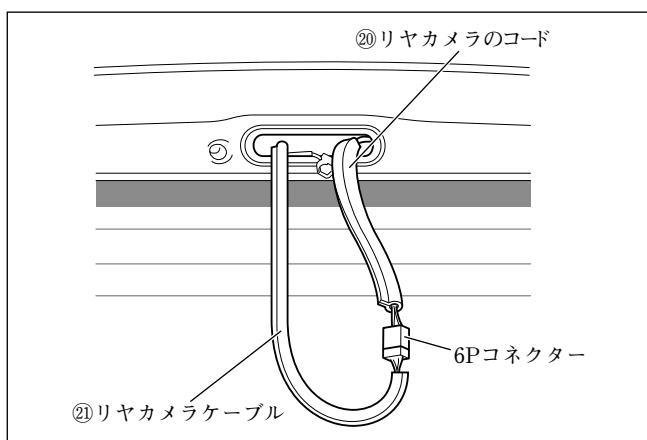
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

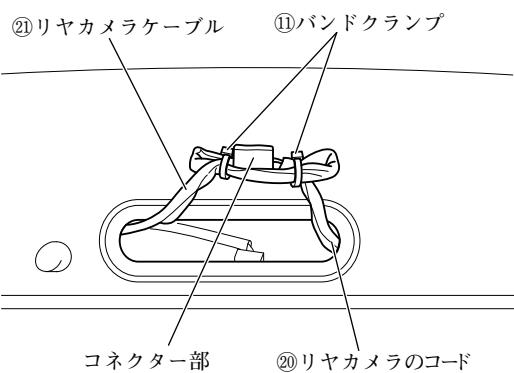


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

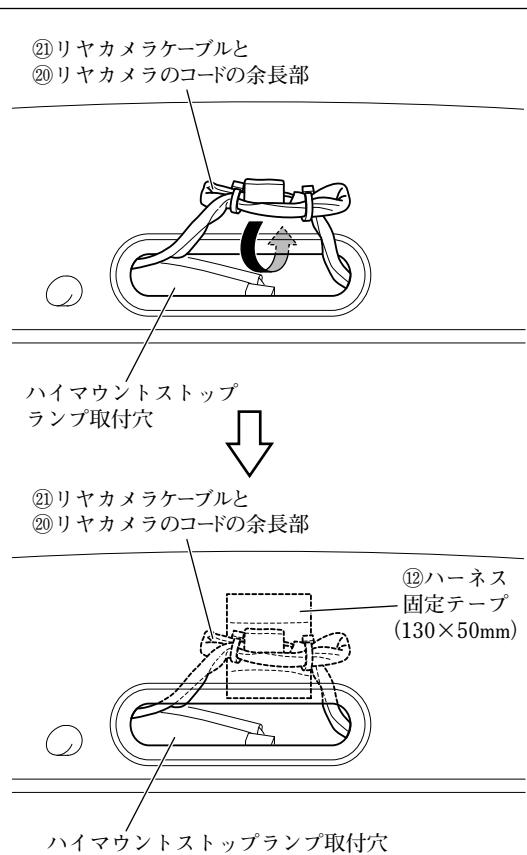


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長を束ね、③③バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、③③ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ③③ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

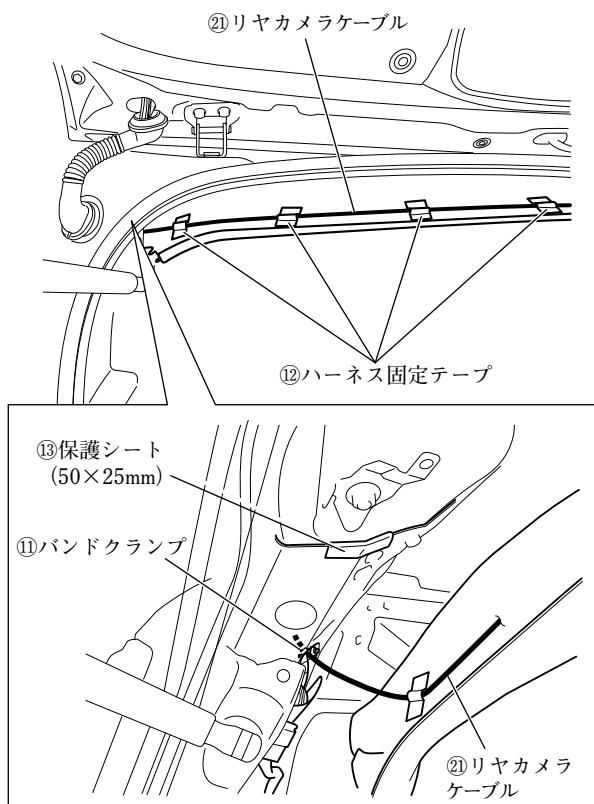
配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

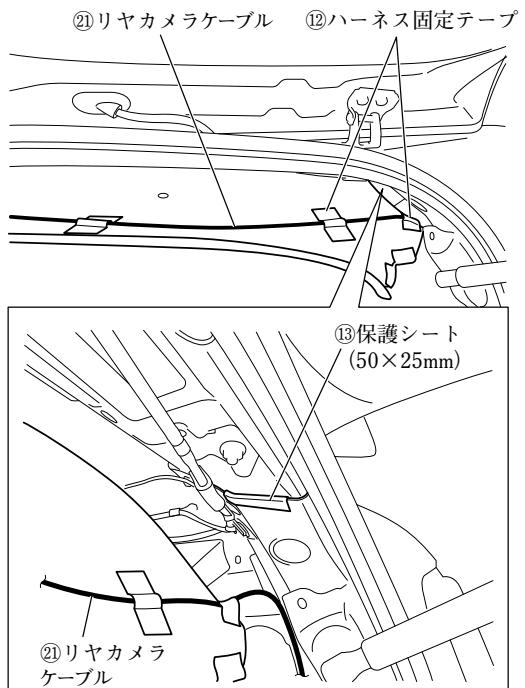
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

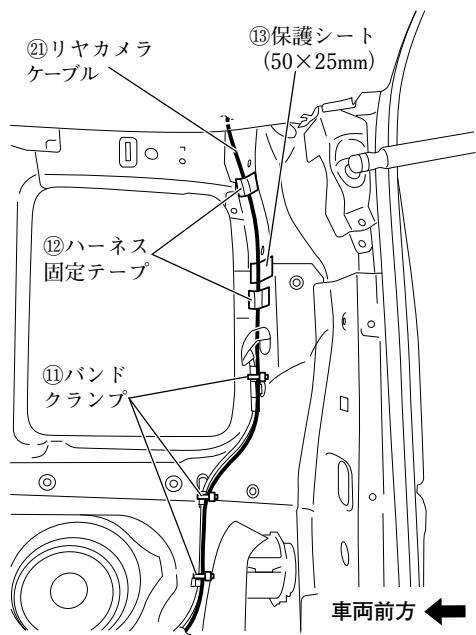
バックドア開口部左



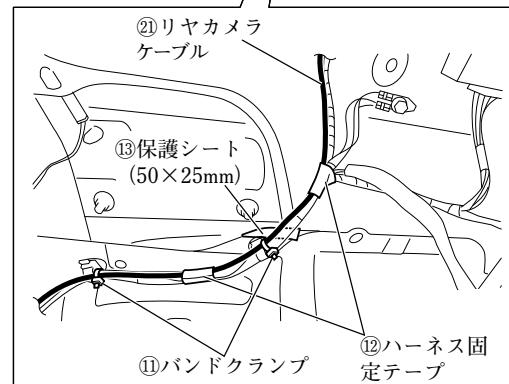
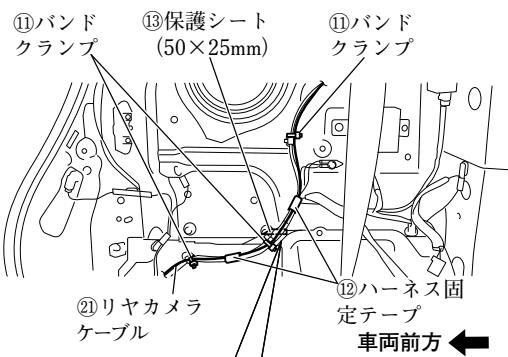
バックドア開口部右



右リヤクォーターピラー上部



右リヤクォーターピラー下部



ワゴンRの場合

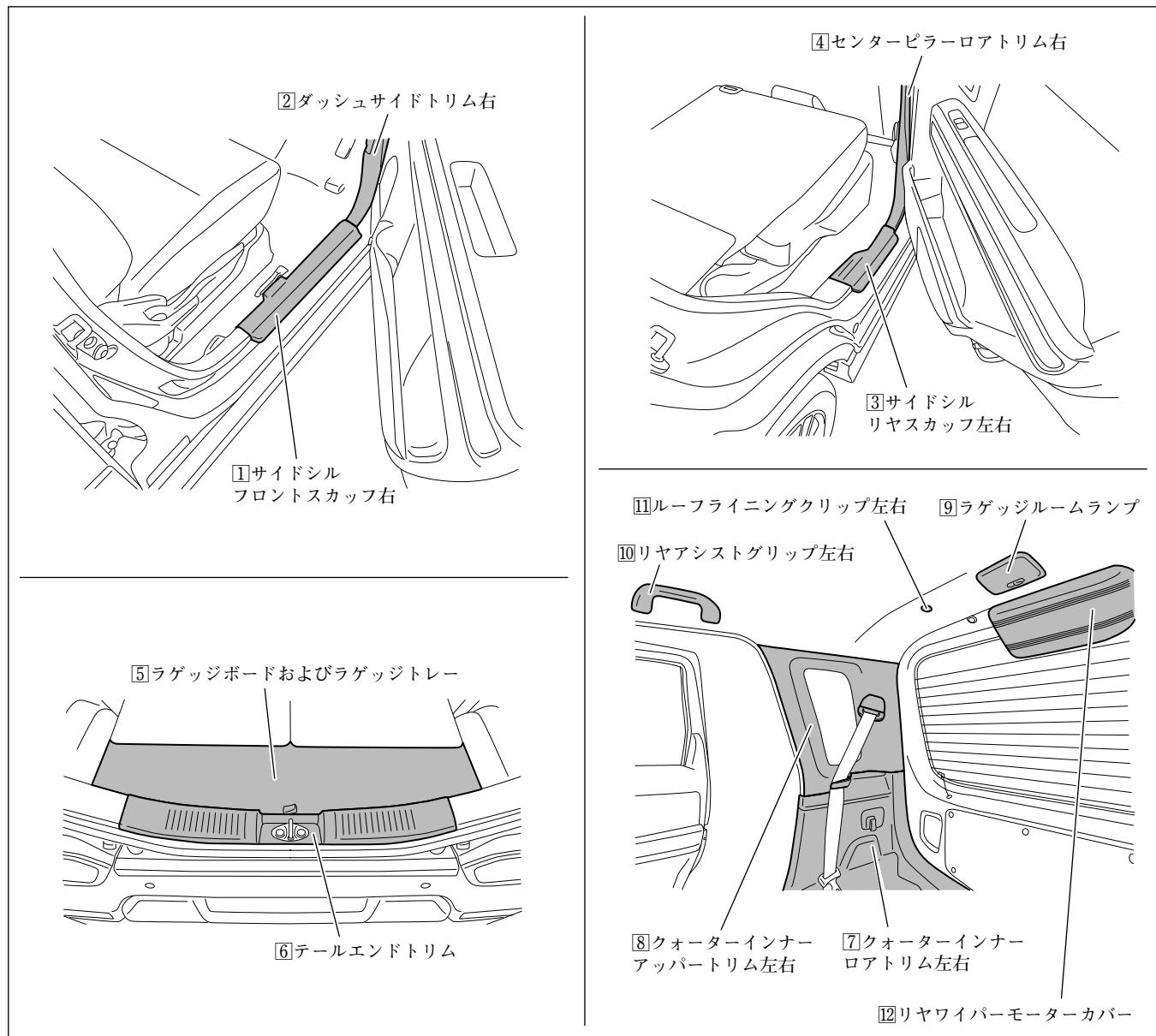
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

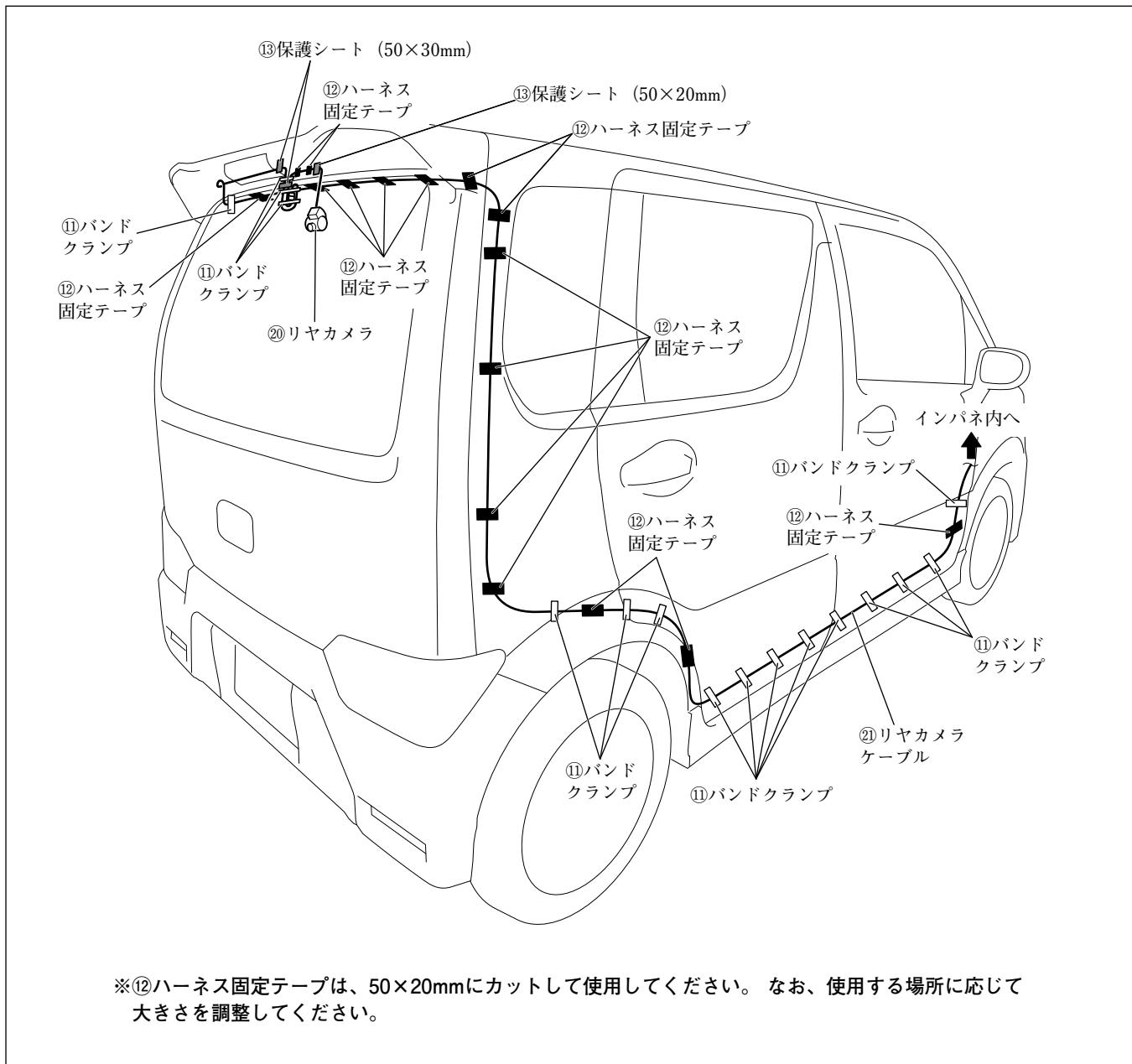


注記

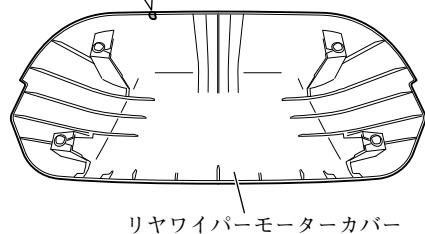
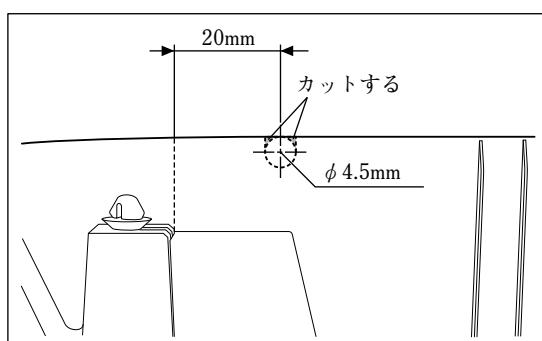
リヤワイパーモーターカバーは取り外すとクリップ (77290-65P00 : 4個) が傷みます。必ず新品と交換してください。

● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備



(1) 図示箇所に穴 ($\phi 4.5\text{mm}$) を開けてください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。

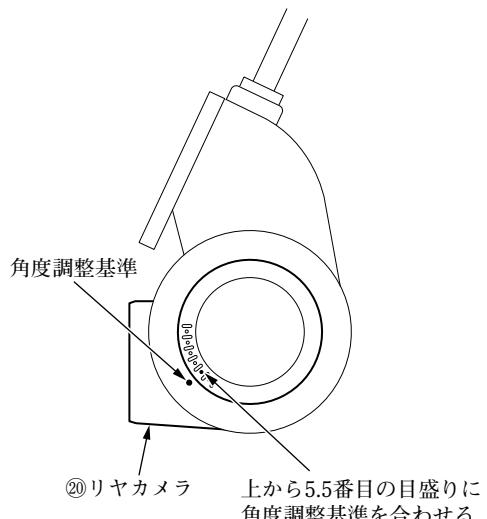
(2) 図示箇所をカットしてください。

(3) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

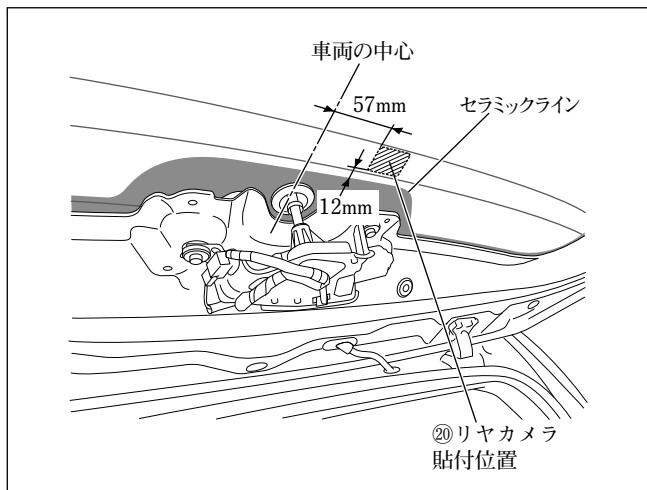
(4) ⑩リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。



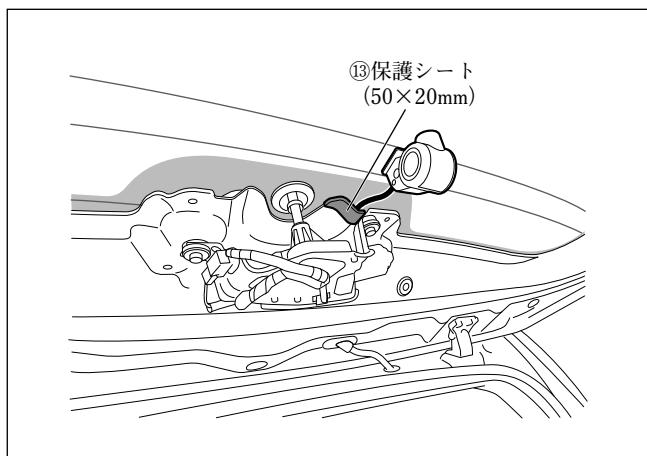
● リヤカメラの取付方法



(1) ⑩リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

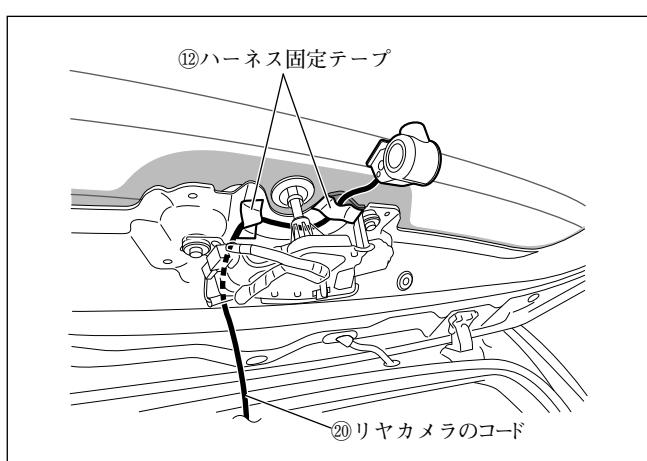
- ⑩リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑩リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑩リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と⑩リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



(2) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

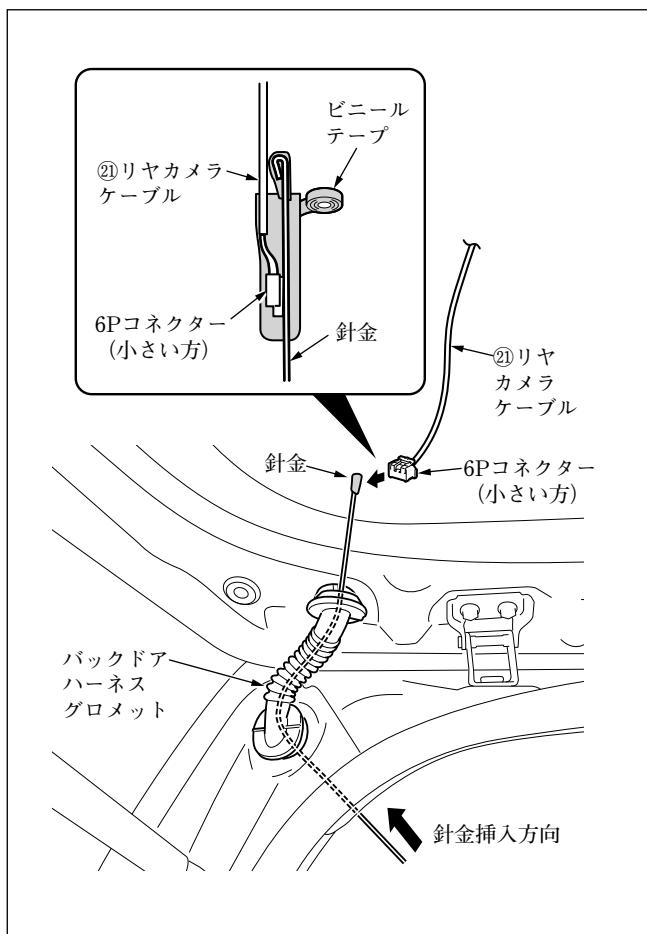


(3) ⑩リヤカメラのコードを配線し、⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

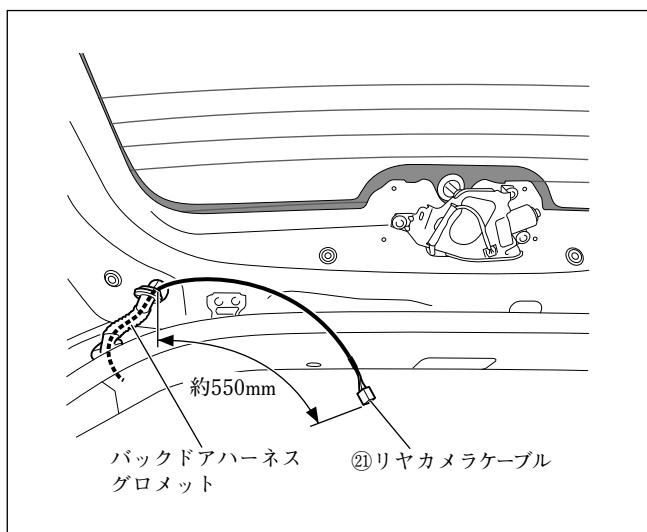
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



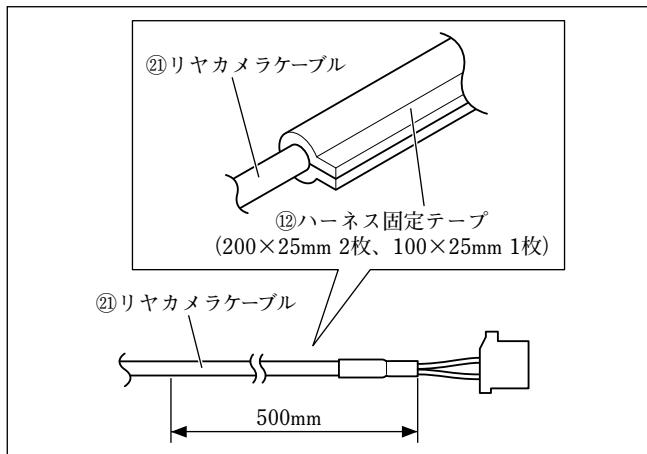
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

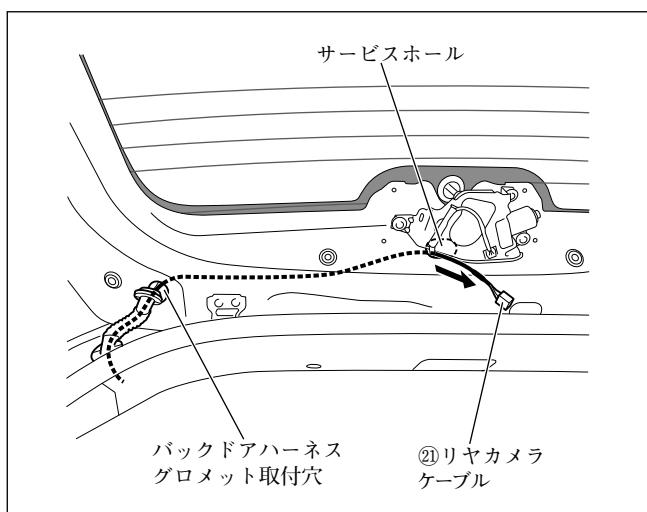
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



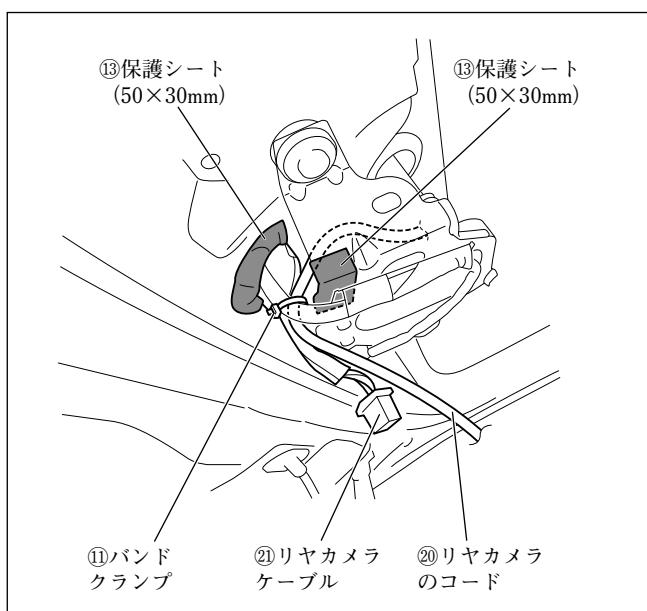
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。



(7) 針金等を使用して②①リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

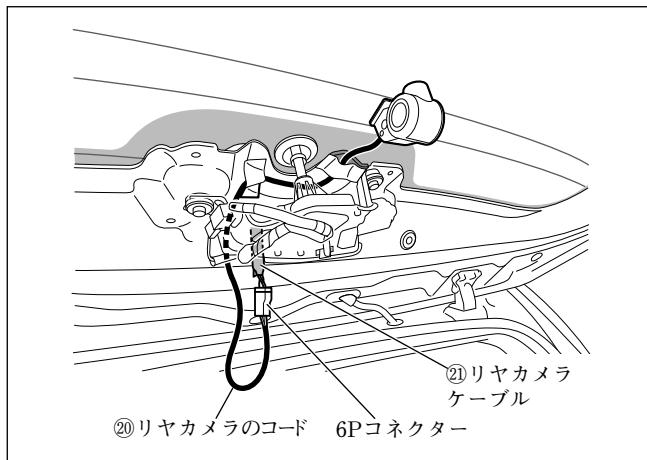


(8) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

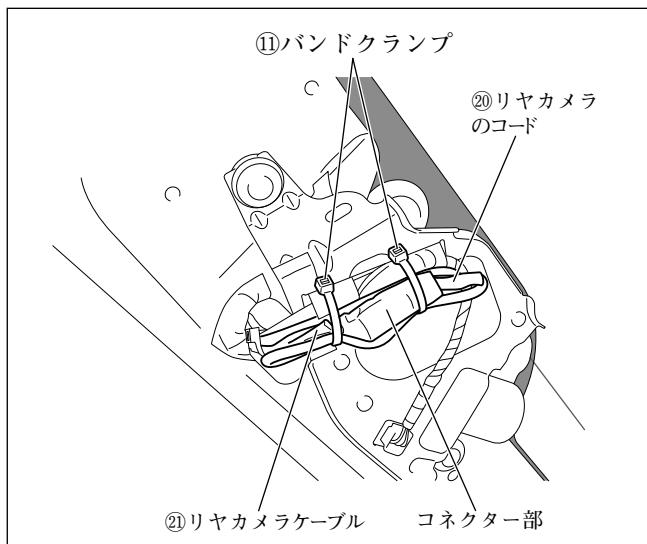
- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

(9) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードを⑪バンドクランプで固定してください。

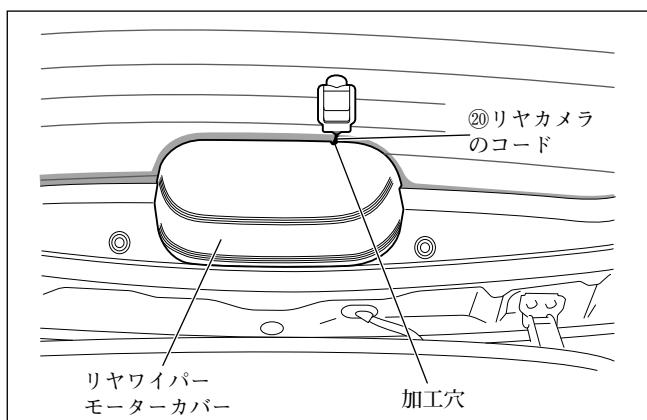


(10) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(11) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(12) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(13) リヤワイパー モーターカバーを復元する際は、②①リヤカメラのコードを加工穴へ通してください。

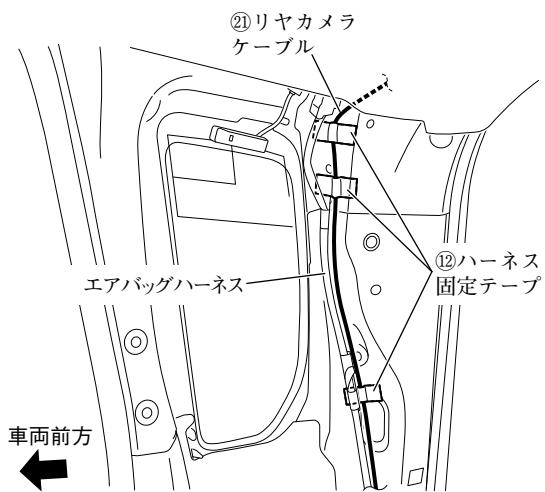
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

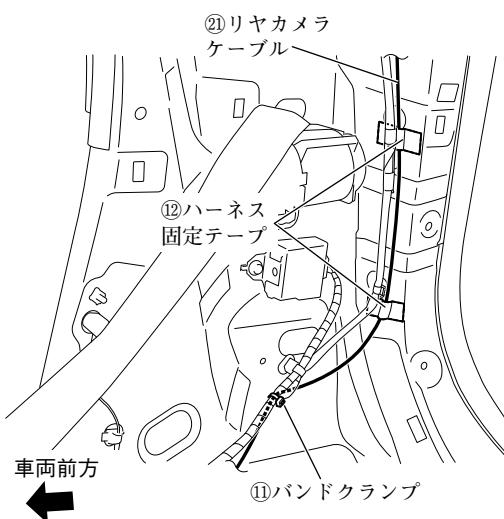
注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

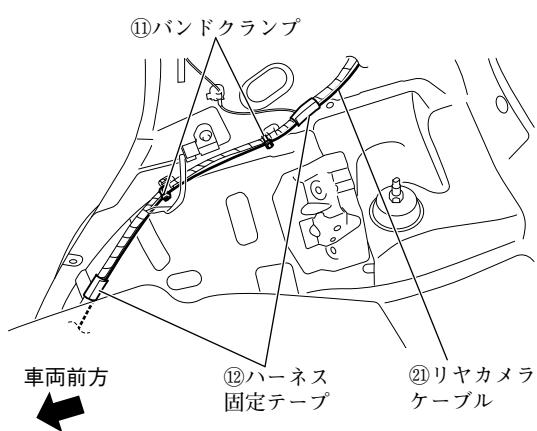
右クォーターピラー部



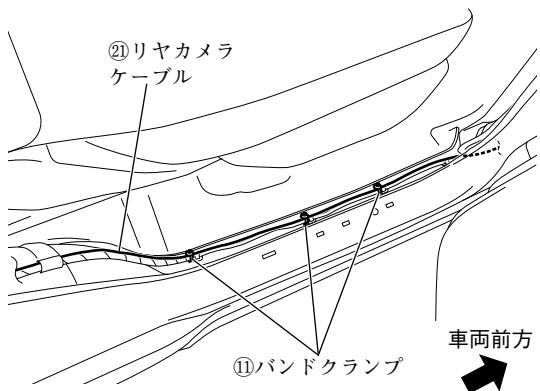
右リヤホイールハウス上



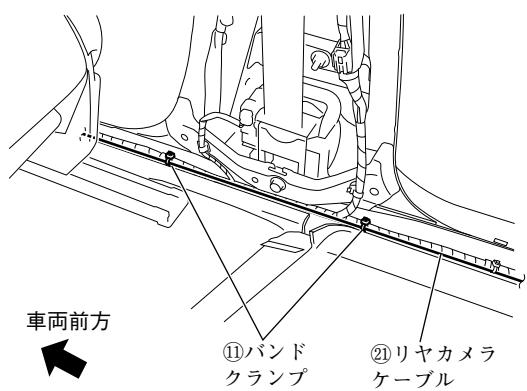
右リヤホイールハウス部



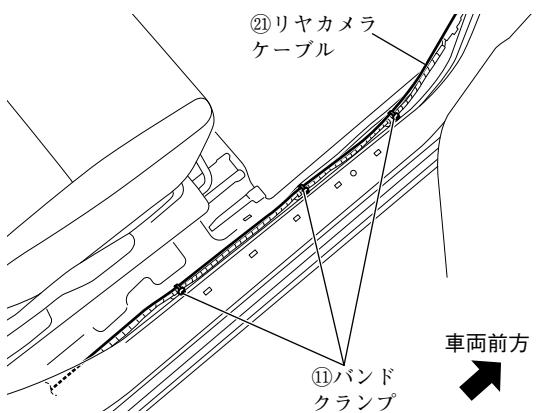
右リヤサイドシル部



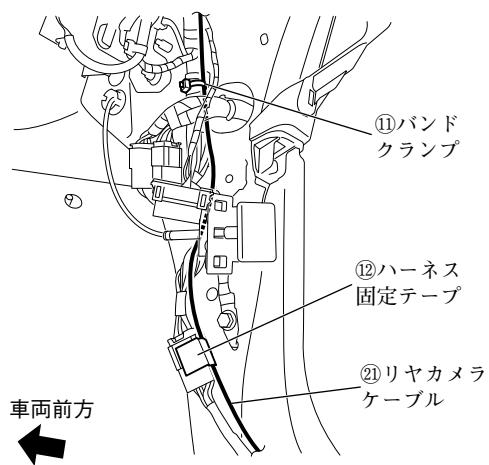
右センターピラー部



右フロントサイドシル部



右ダッシュサイド部



ワゴンRスマイルの場合

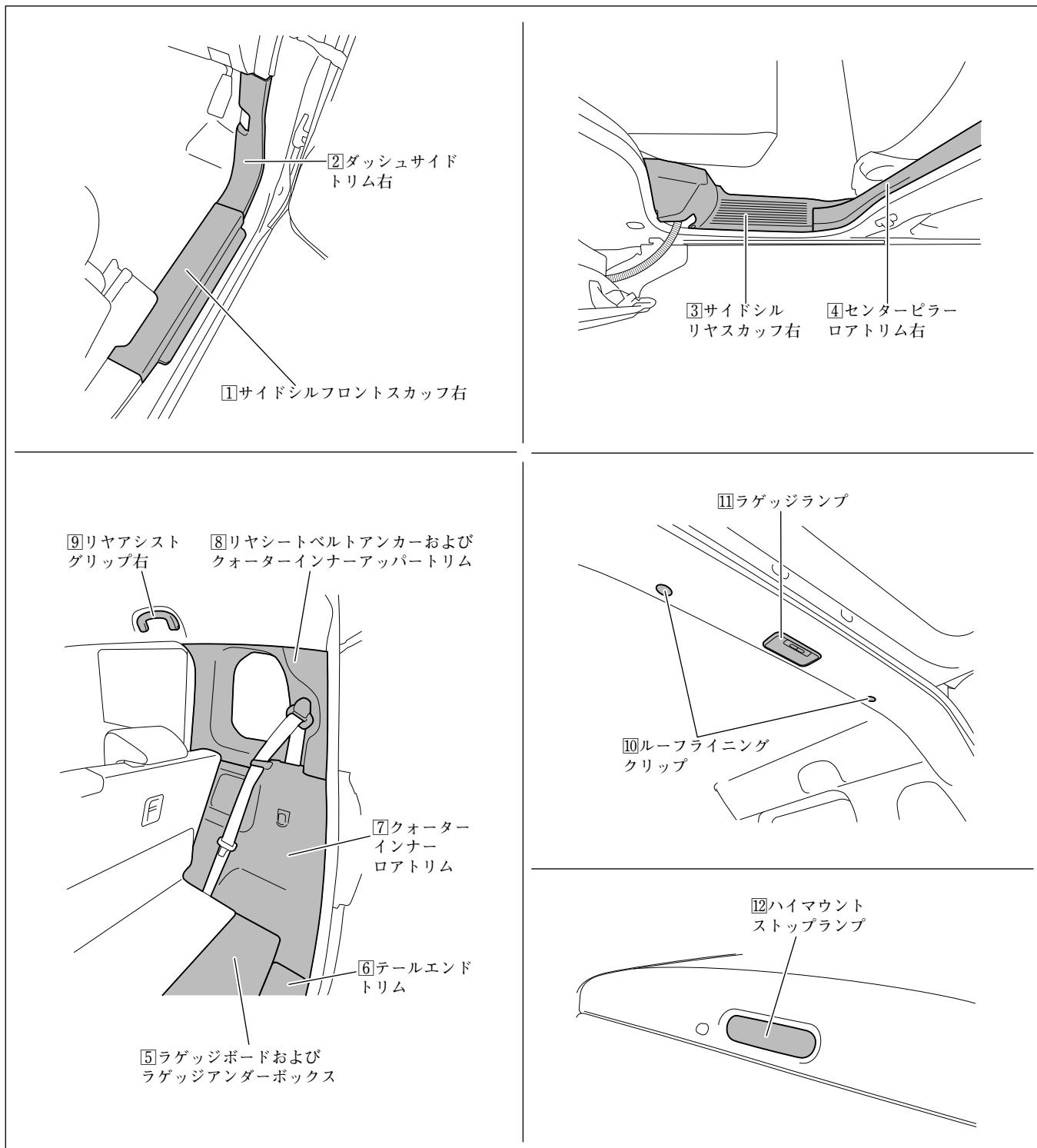
●車両部品の取り外し方法

注記

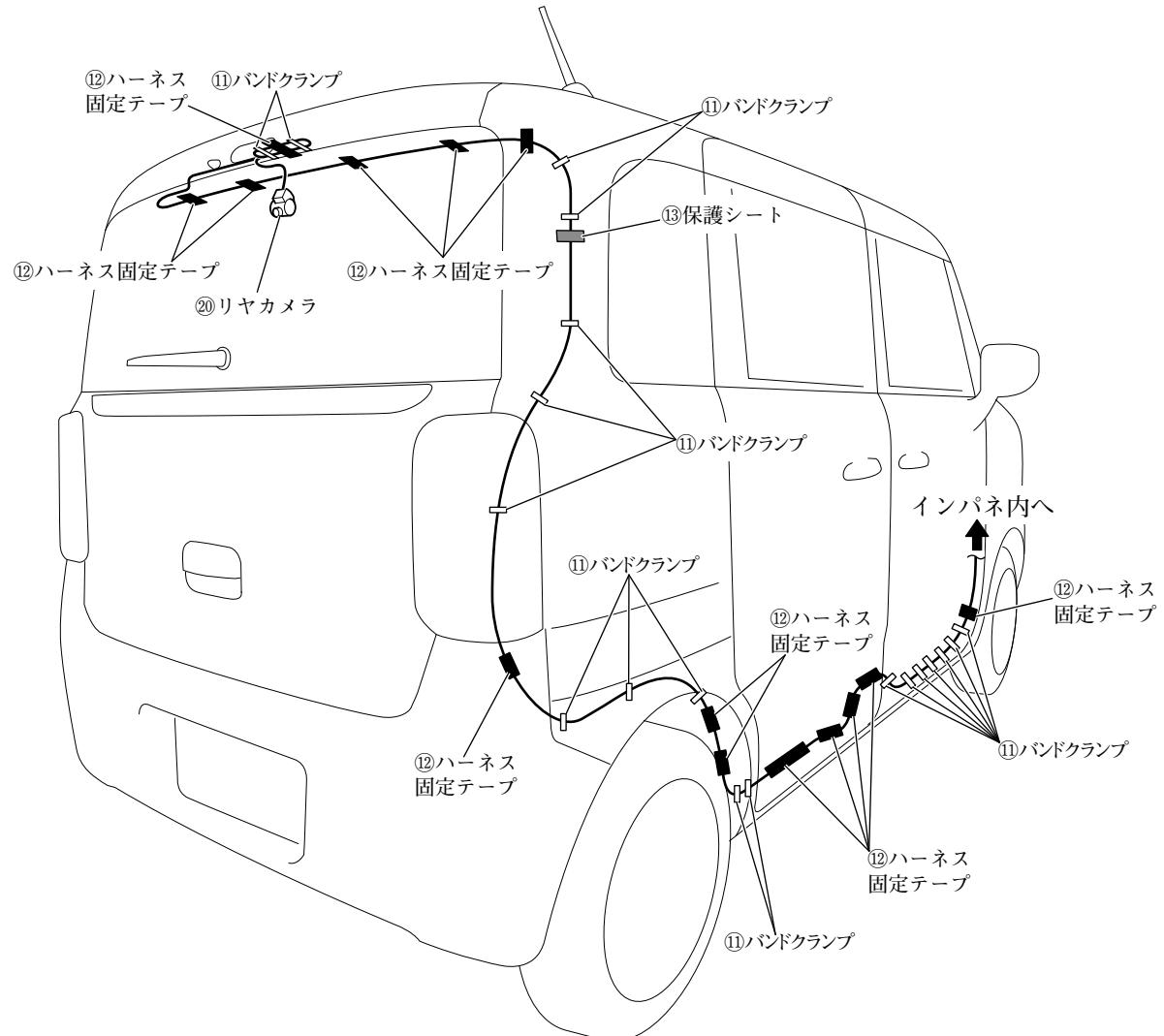
- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

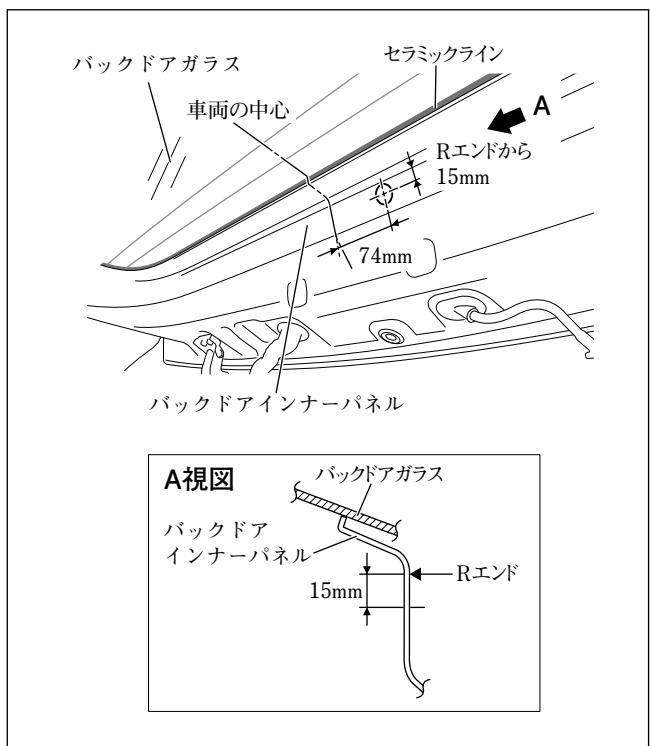


- 取付概要



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) バックドアを開け、バックドアインナーパネル図示箇所にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

!**警告**

穴開けの際は切削粉が飛散するため、必ず保護メガネを着用してください。

!**注意**

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

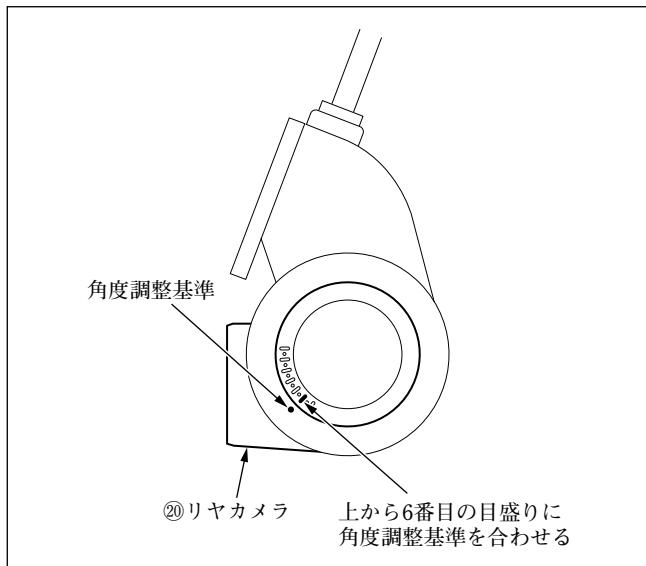
- 車両配線やリヤウォッシャーホースなどを傷付けないよう、配線やホースを一時的にずらしたり、抜き出したりしてください。
- 切削粉がバックドアハーネスグロメットや、車室内などに入り込まないように養生をしてください。
- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

注記

- ヤスリで穴を仕上げるときは、穴の周囲に保護用のテープ（ガムテープ）を貼り付け、ボディに傷が付かないようにしてください。
また、ヤスリでバックドアハーネス等を傷付けないようにしてください。
- バックドアパネル内の切り粉や削りくずをマグネットハンドを使い取り除いてください。異音や錆の原因になります。

(3) 加工穴の切断面にタッチアップペイントを十分に塗り、乾燥させてください。

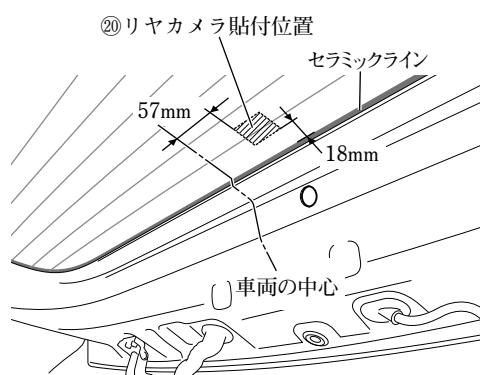


(4) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

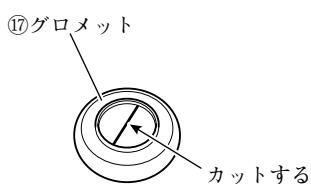
● リヤカメラの取付方法



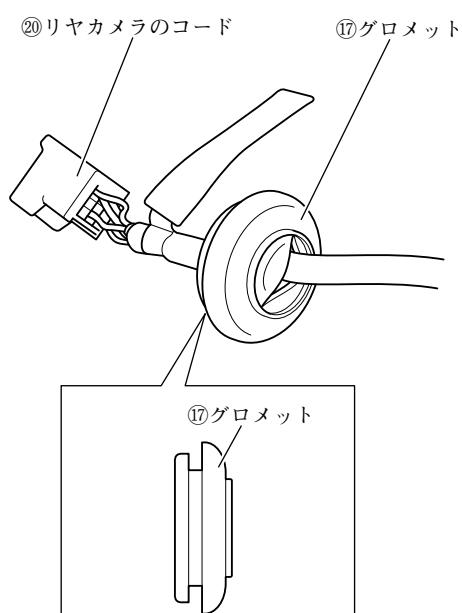
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



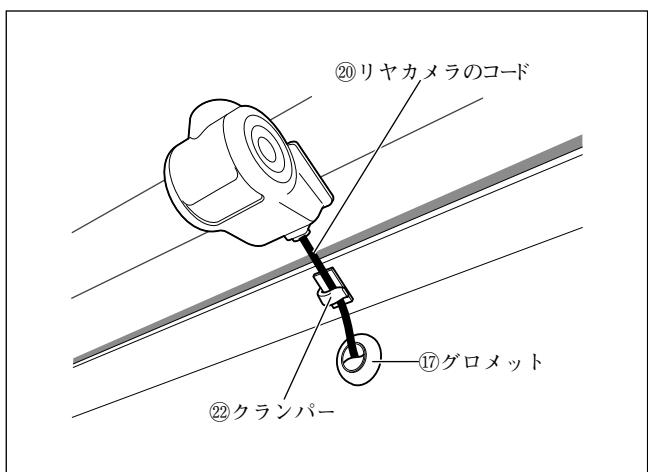
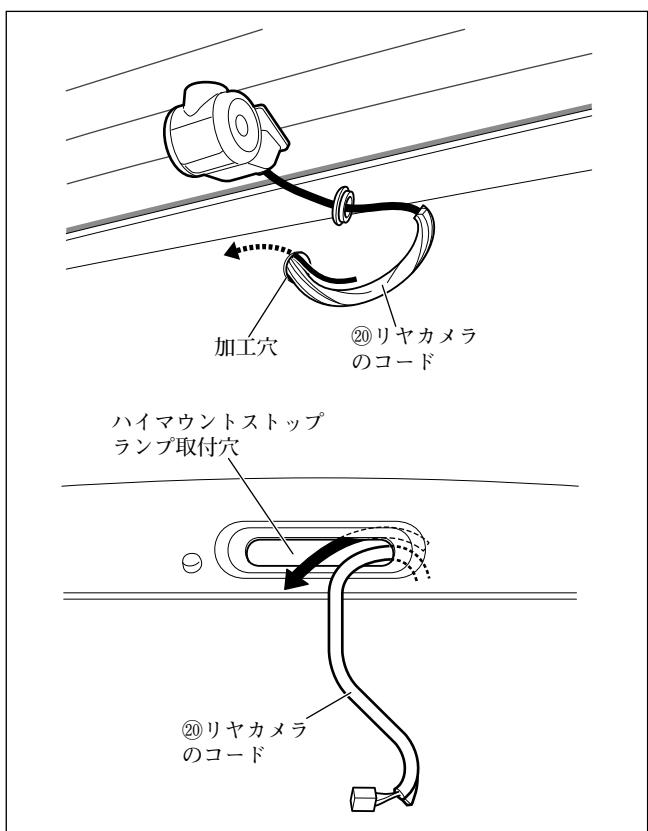
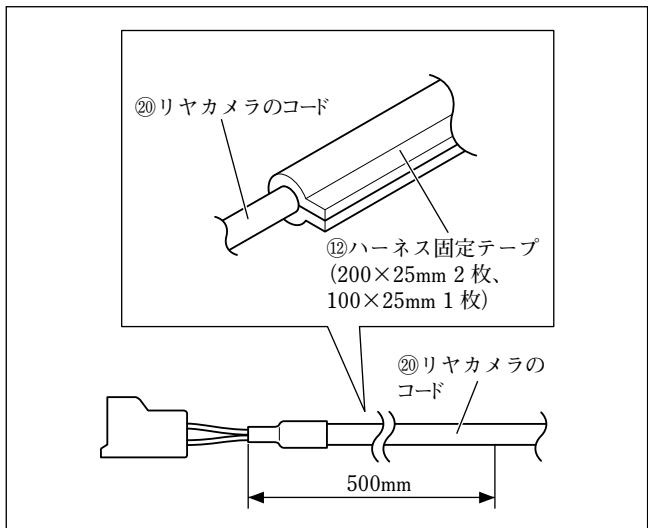
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



(3) ⑯グロメットを②⓪リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②⓪リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



(4) ⑫ハーネス固定テープを⑯リヤカメラのコードに貼り付けてください。

(5) 針金等を利用して⑯リヤカメラのコードを加工穴からハイマウントストップランプ取付穴へとバックドアパネル内を通して下さい。

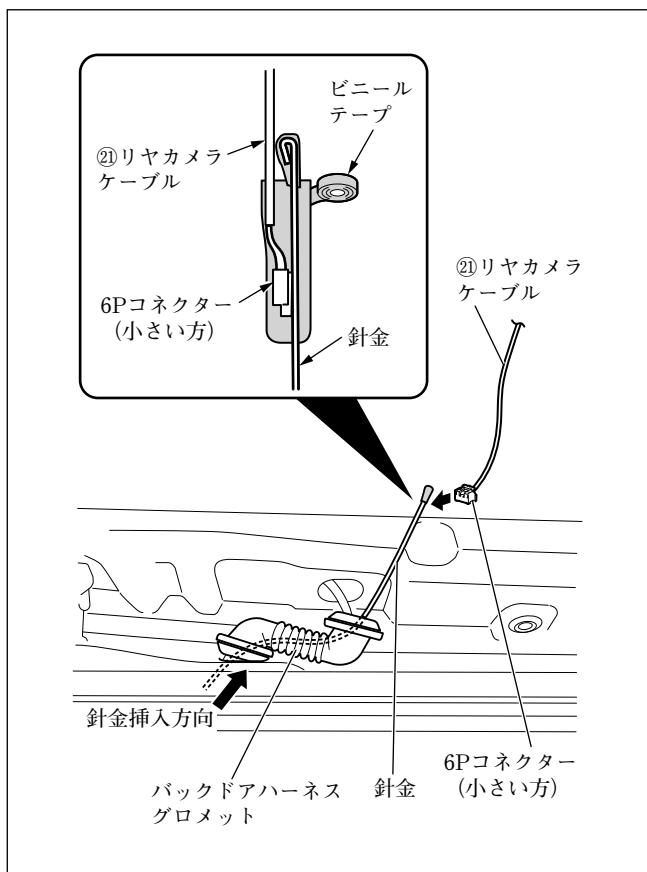
(6) ⑯リヤカメラのコード
⑦ ⑯リヤカメラのコード
⑧ クランパー
⑨ グロメット

(7) ⑯リヤカメラのコード
⑦ ⑯リヤカメラのコード
⑧ クランパー
⑨ グロメット

注記

- ⑧クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

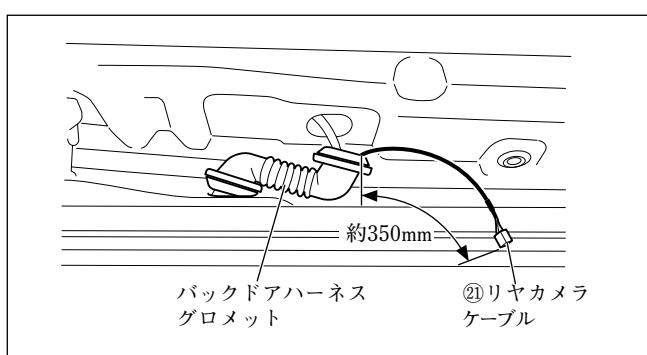
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



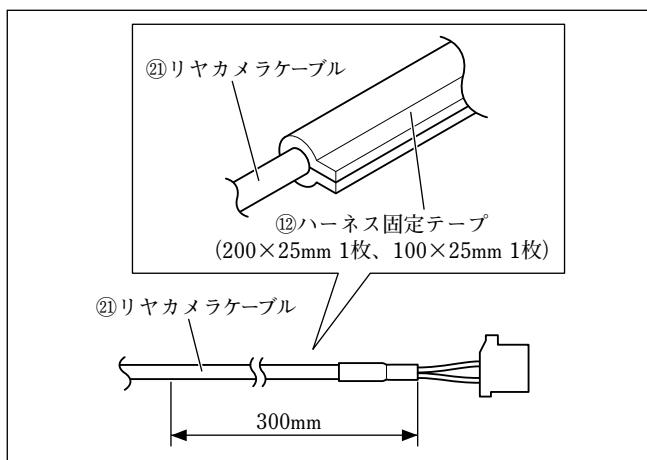
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

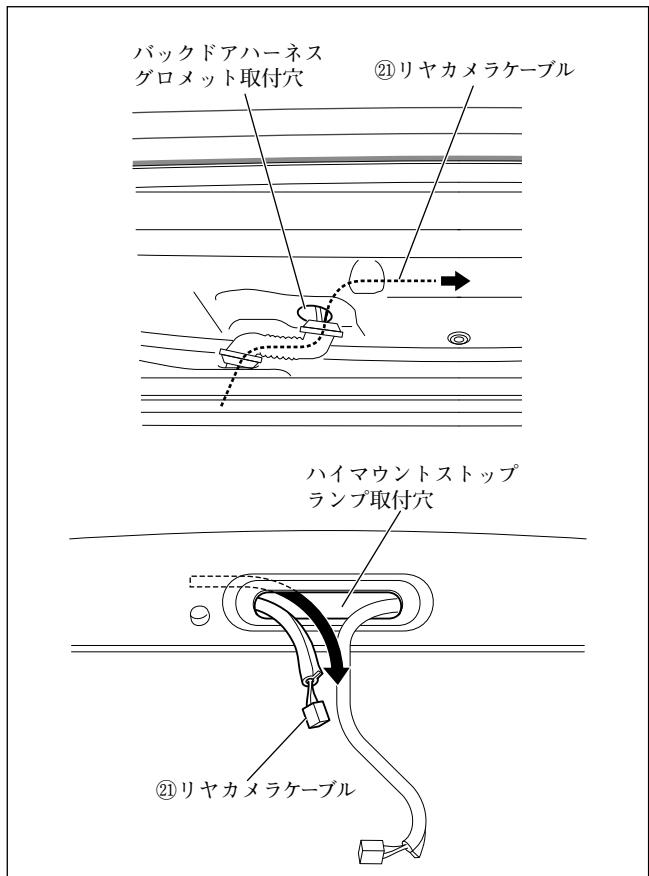
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



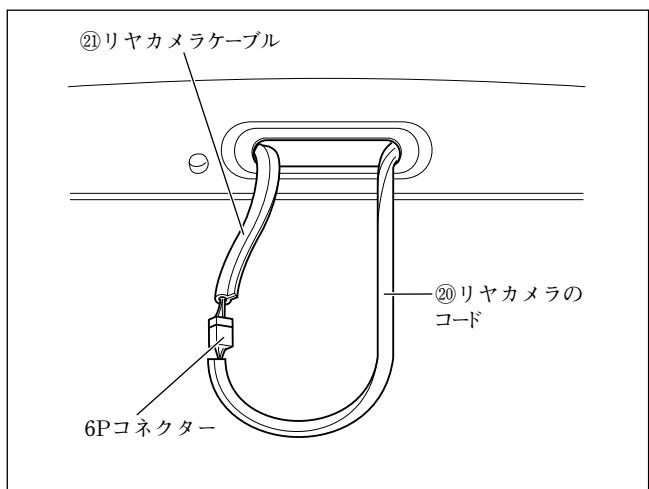
- (5) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



- (6) ②②ハーネス固定テープを②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

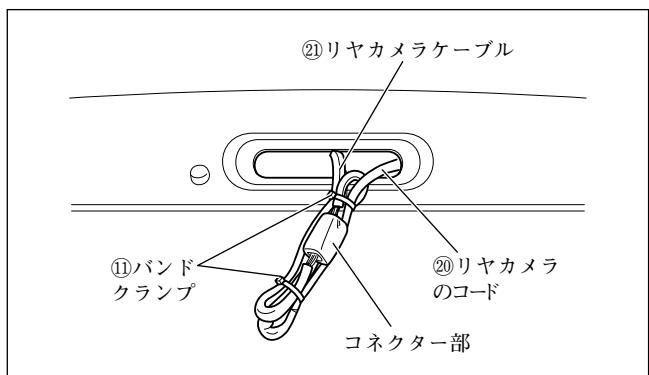


(7) 針金等を使用して②①リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

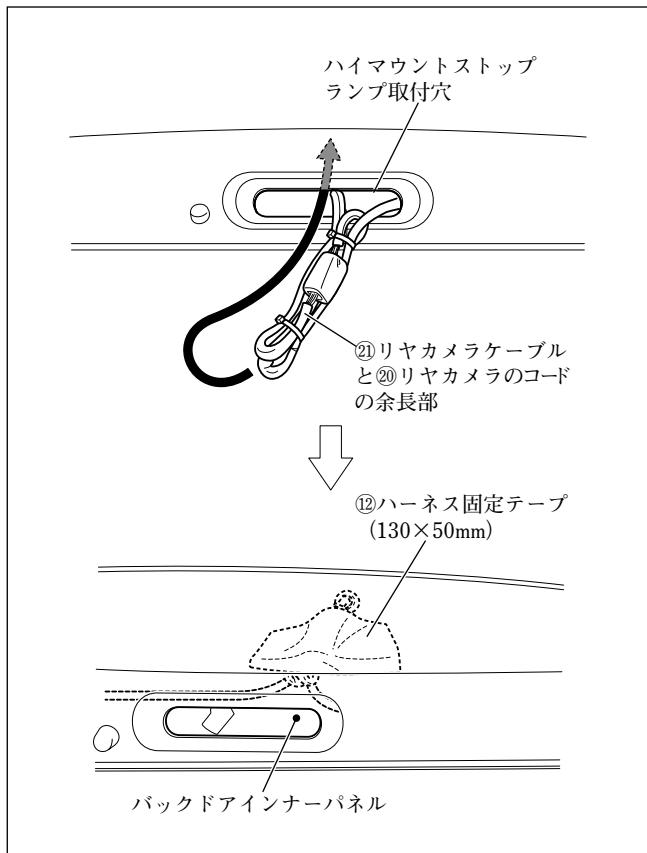


(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンド クランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をハイマウントストップランプ取付穴からバックドアパネル内に入れ、②②ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ②②ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭きとつてから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき (15°C以下) は、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- ハイマウントストップランプと干渉しない位置へ貼り付けてください。

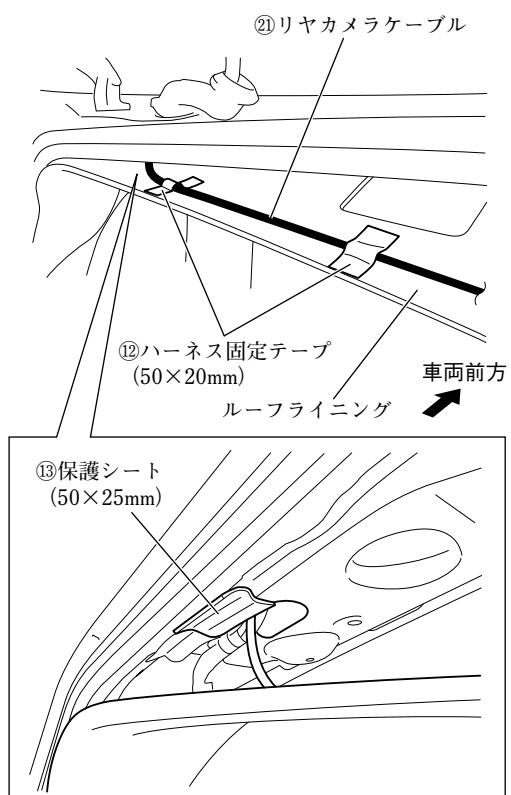
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部

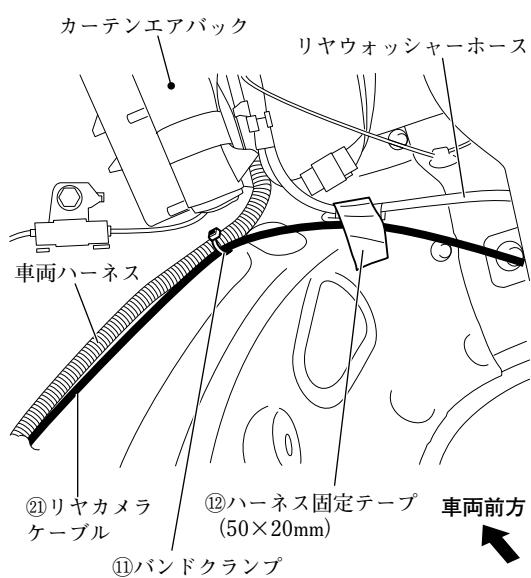


(1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

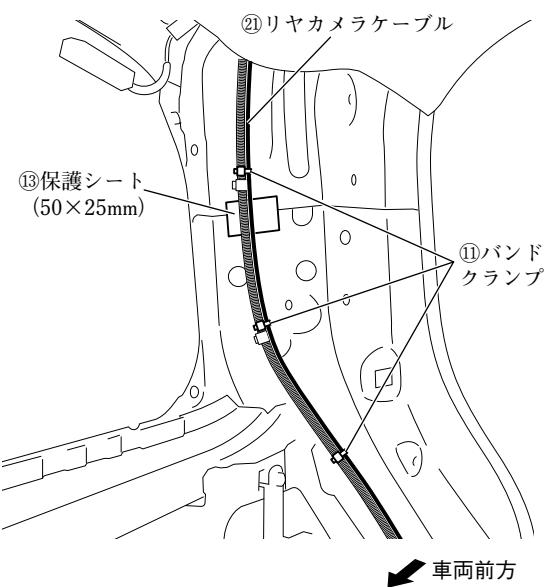
- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右クォーターピラー部（ルーフライニング裏）



(2) カーテンエアパック展開時の妨げとならないように必ず車両ハーネス等に沿わせてください。

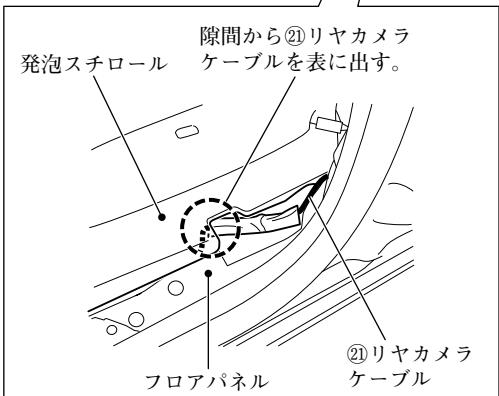
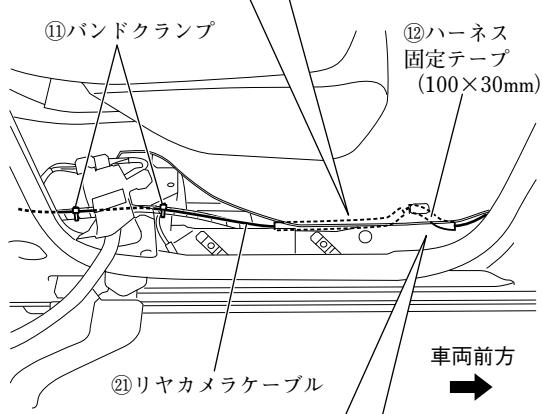
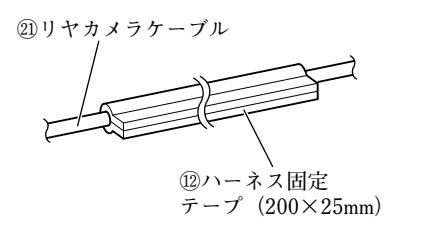
右クォーターピラ一部



(3) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

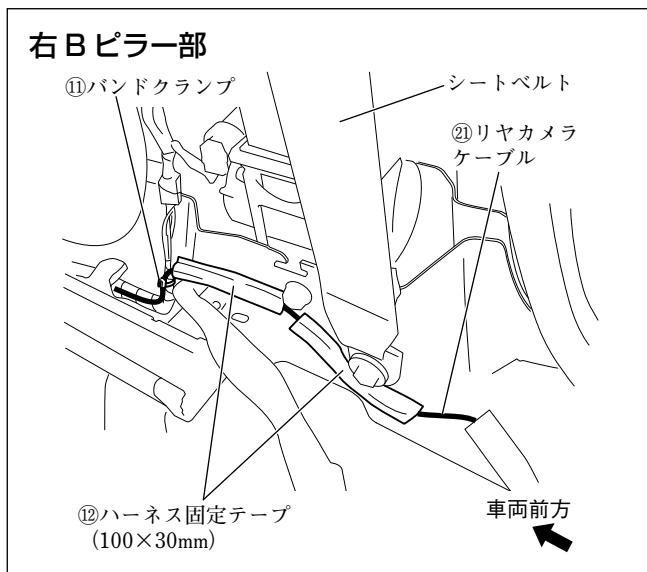
注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(4) 配線を保護するため、図示箇所の⑪リヤカメラケーブルに⑫ハーネス固定テープ（200×25mm）を巻き付けてください。

(5) 図示箇所の⑪リヤカメラケーブルは、発泡スチロールとフロアパネルの隙間から表へ出してください。



(6) シートベルトと干渉しないように⑫リヤカメラケーブルを配線してください。

eビターラの場合

●車両部品の取り外し方法

eビターラは、電気自動車ですので作業の途中に高電圧回路が露出することがあります。

警告

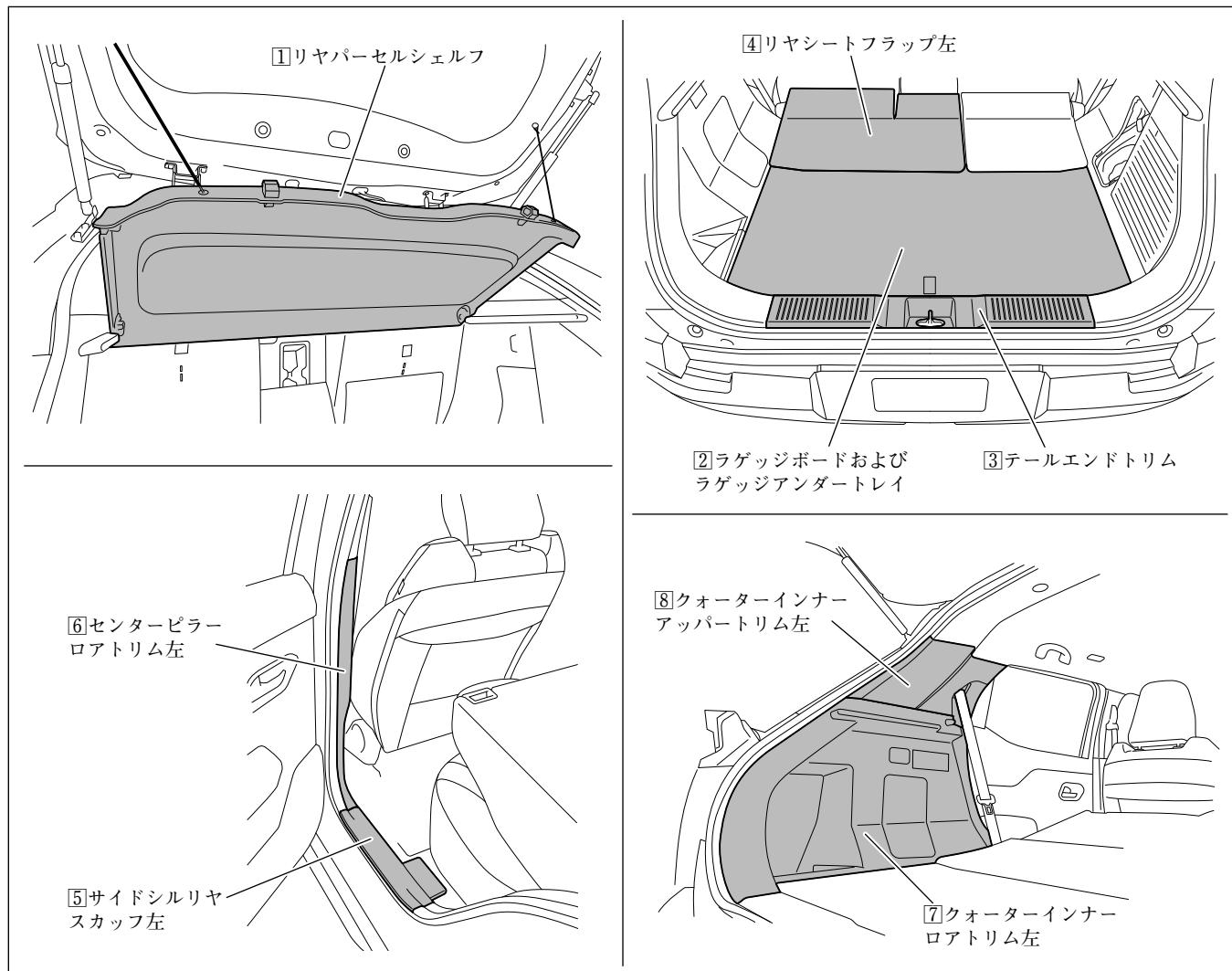
「高電圧ケーブル（オレンジ色のハーネス）」には、みだりに触らないでください。感電や漏電の原因となります。

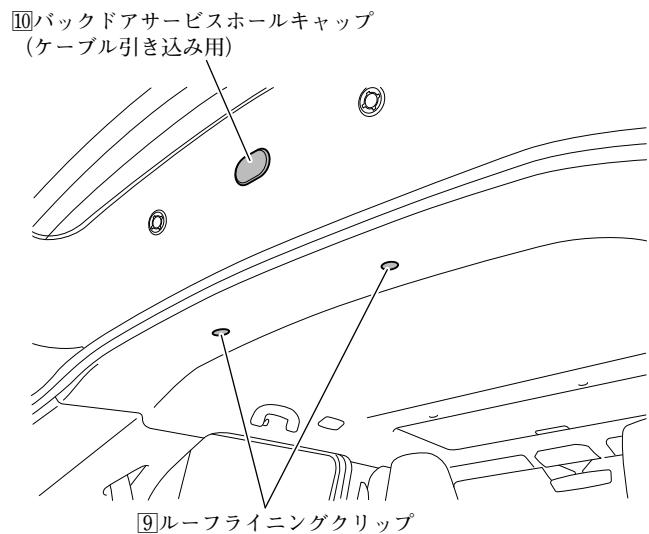
注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

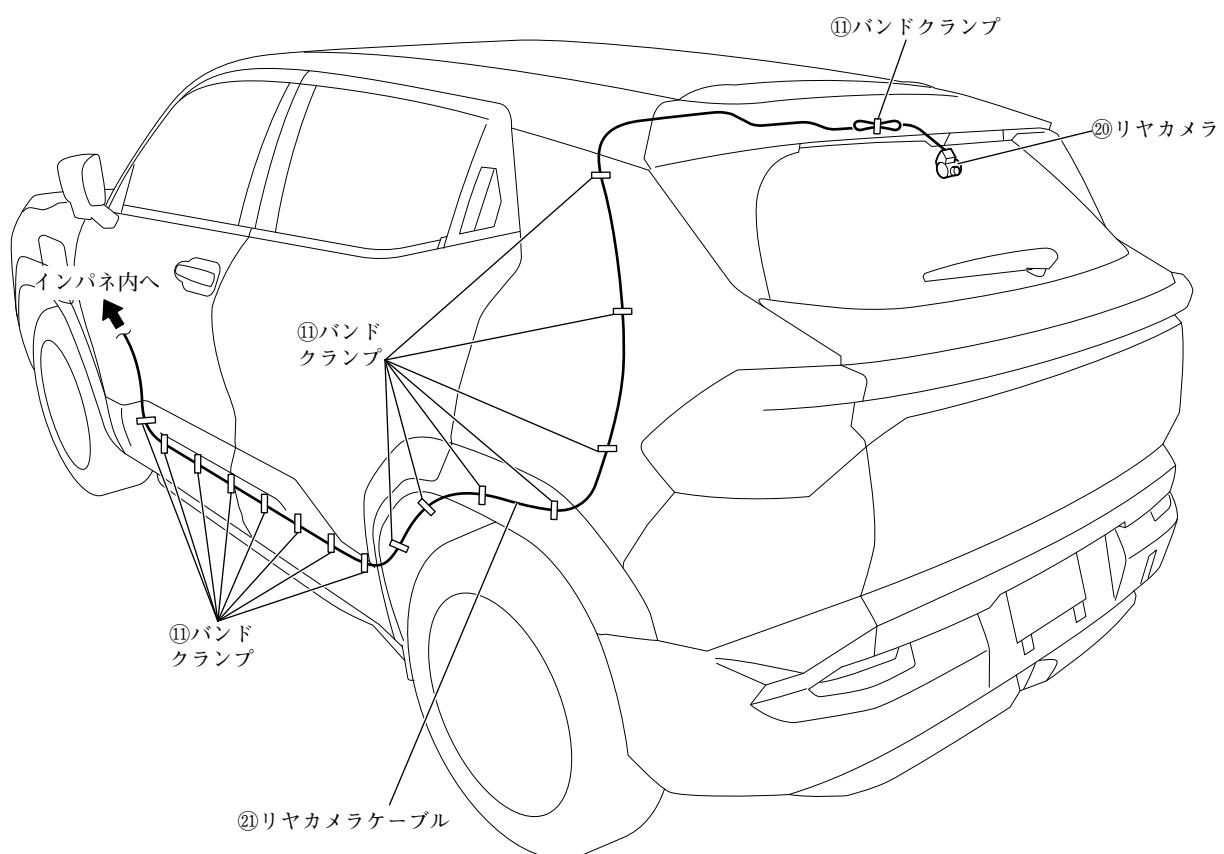
リヤカメラ





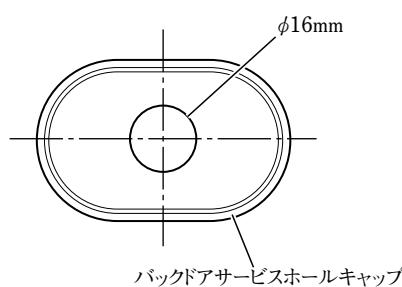
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のパックドアサービスホールキャップの中央にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

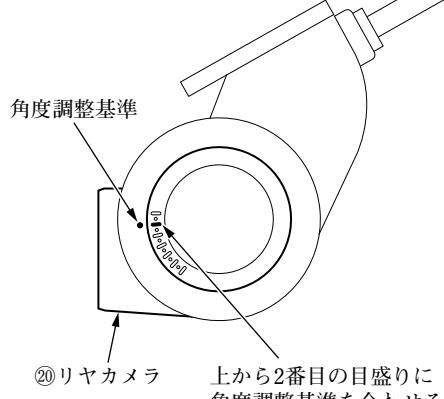
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

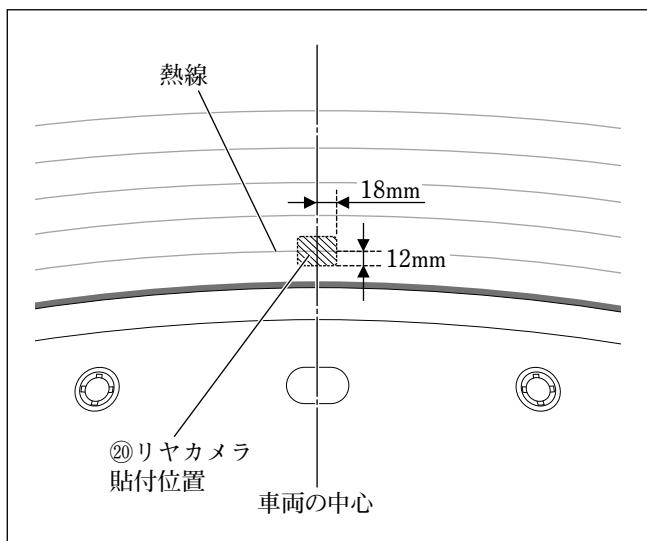


(3) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

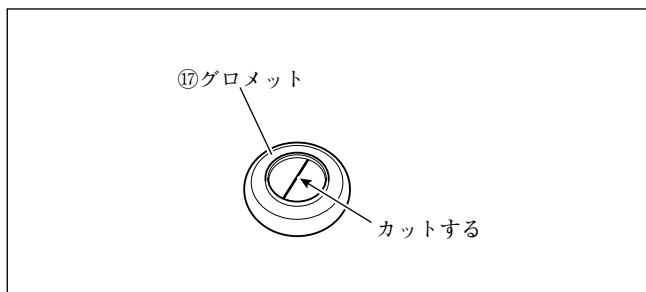
● リヤカメラの取付方法



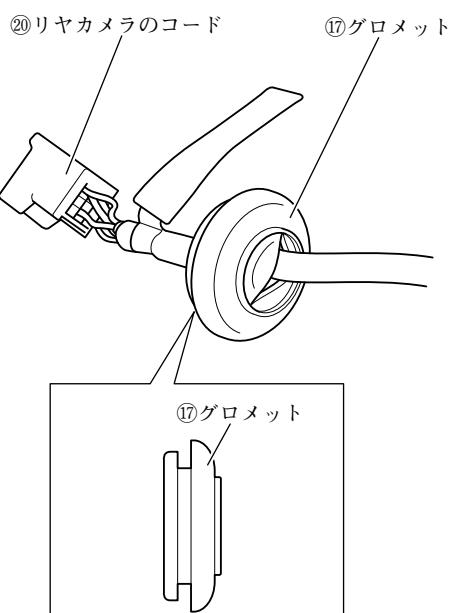
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



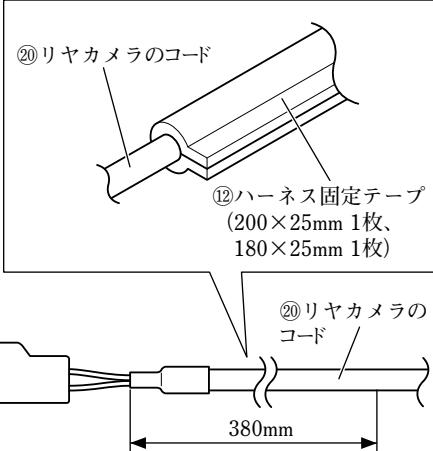
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



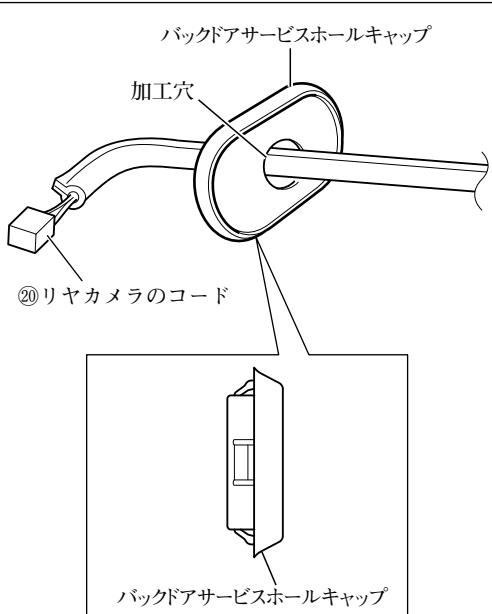
(3) ⑯グロメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



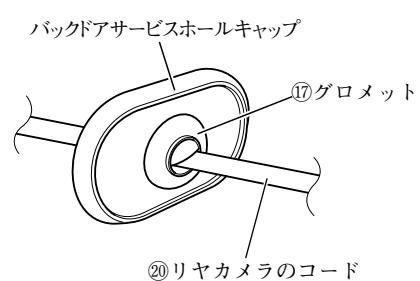
(4) ⑯ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ②ⓧリヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

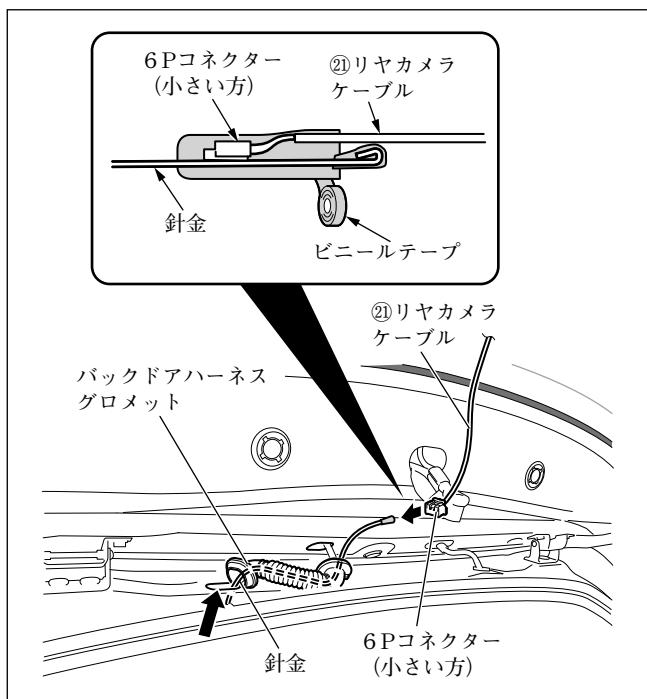
注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯ グローブをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

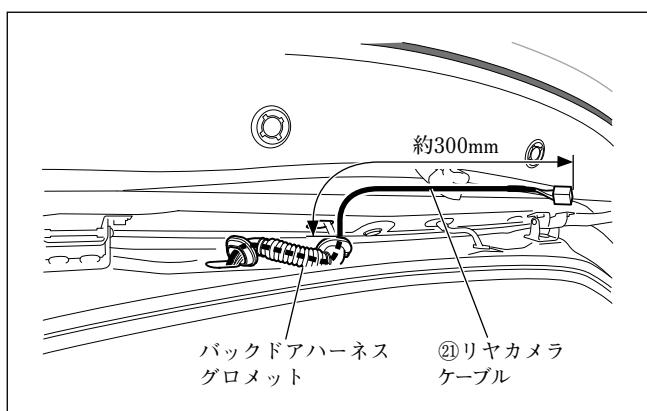
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



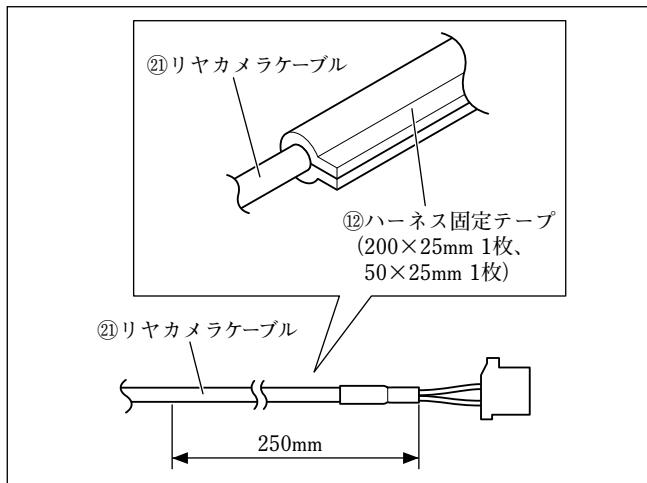
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

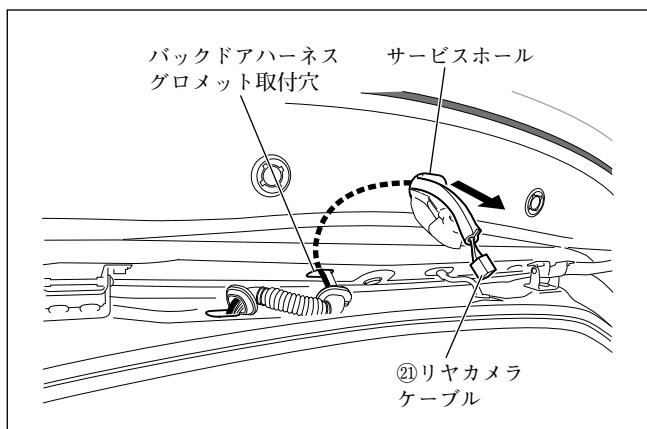
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテーピングしてください。



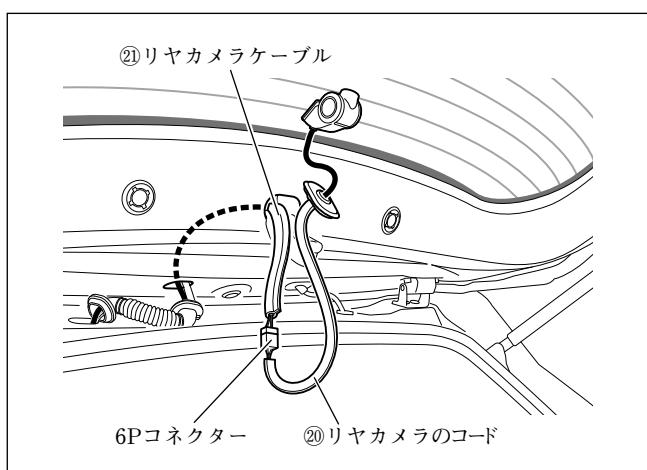
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを②①リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

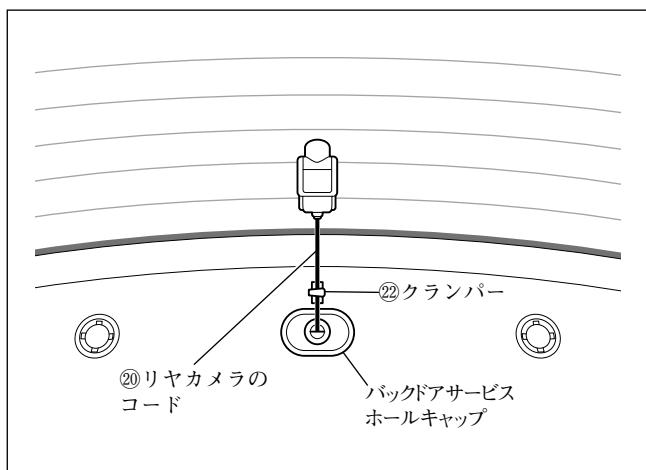
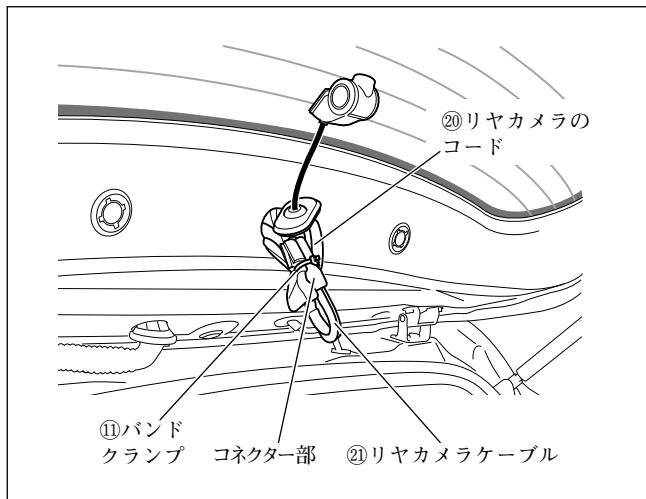


(7) 針金等を使用して②①リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。



(8) ②①リヤカメラケーブルのコネクターと②①リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、①⑪バンドクランプで車両ハーネスに固定してください。

(11) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れてください。

(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(13) ②②クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

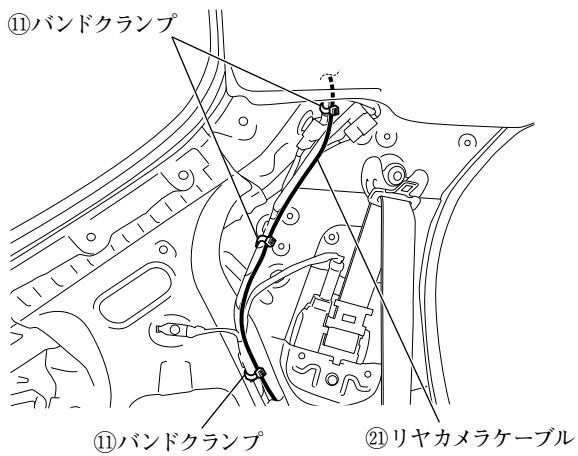
注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

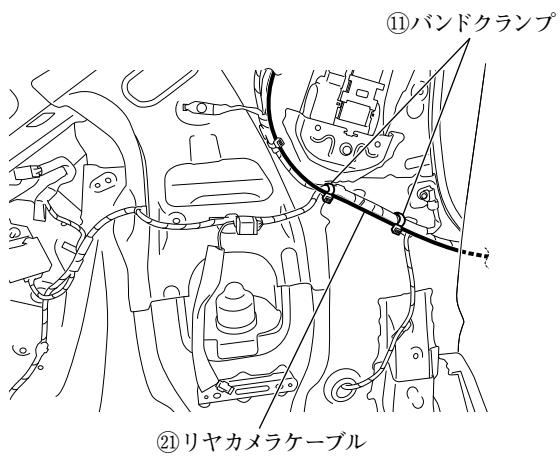
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプで固定してください。

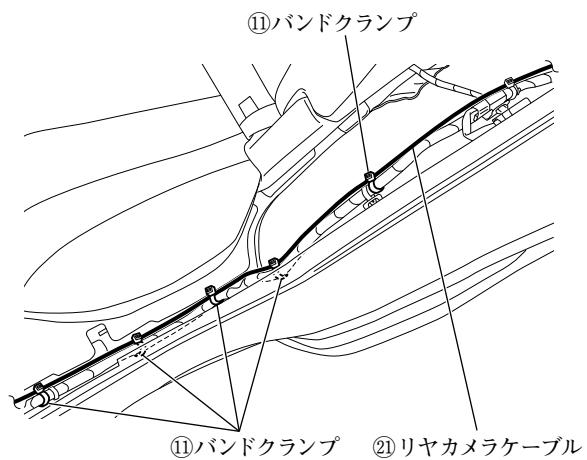
左クォーターピラー部



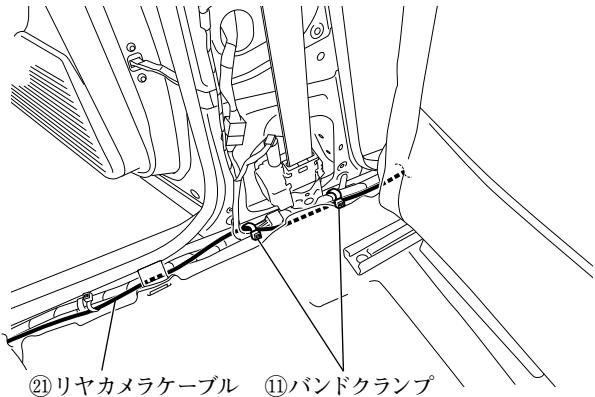
左リヤホイールハウス部



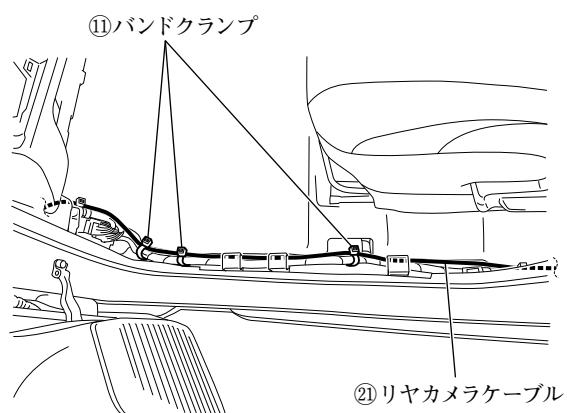
左リヤサイドシル部



左センターピラー部



左フロントサイドシル部



フロンクスの場合

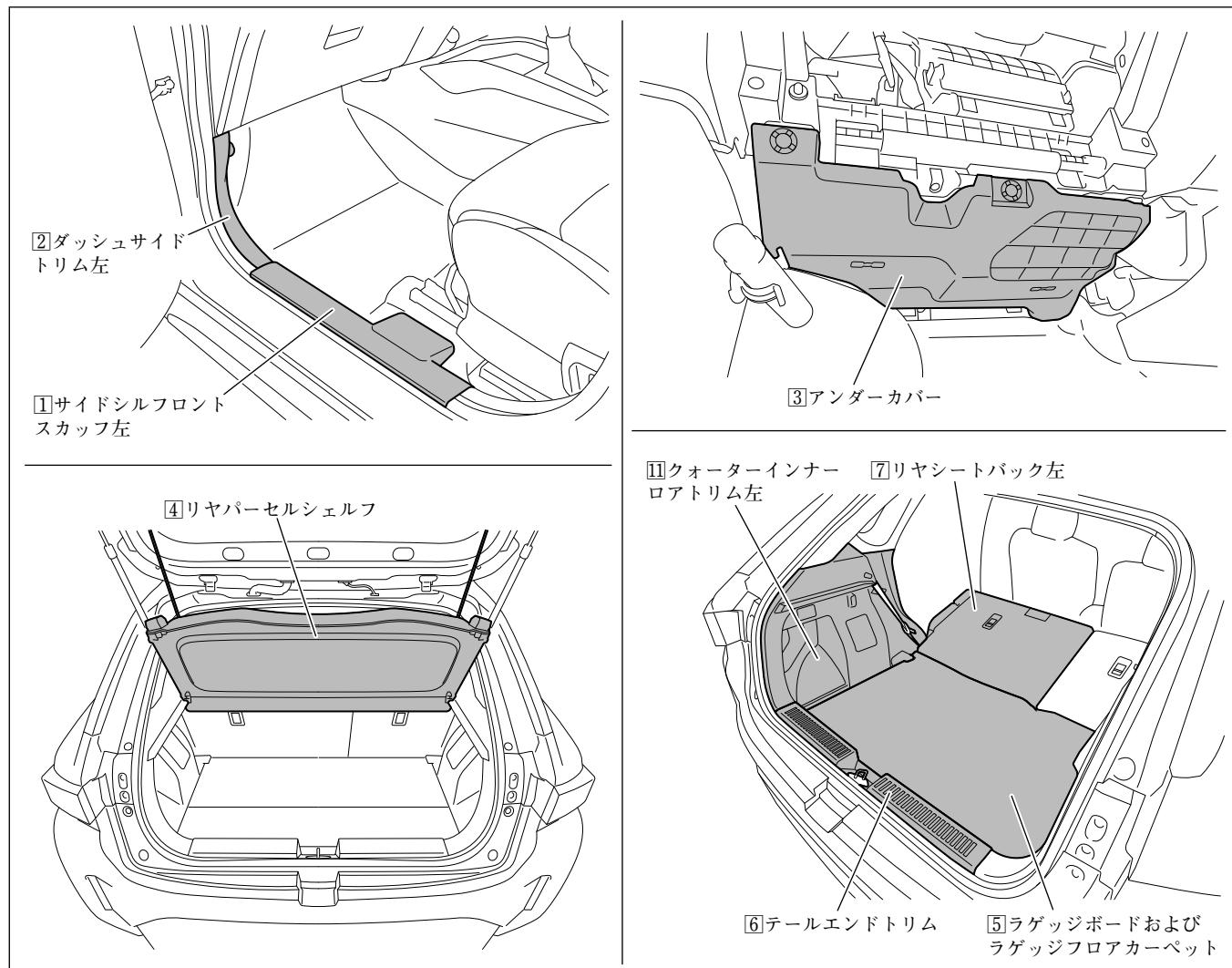
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

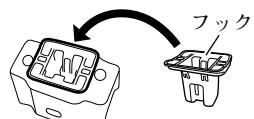
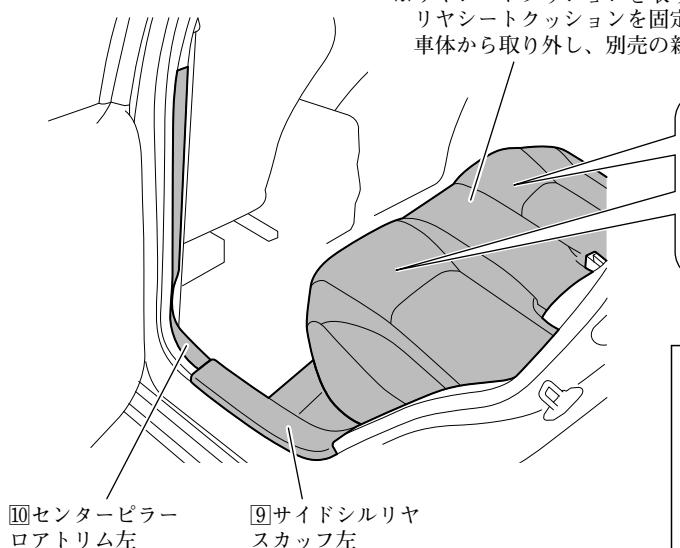
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ



[8]リヤシートクッション

※リヤシートクッションを取り外した場合は、
リヤシートクッションを固定しているフック（左右各1個）を
車体から取り外し、別売の新品部品に交換してください。



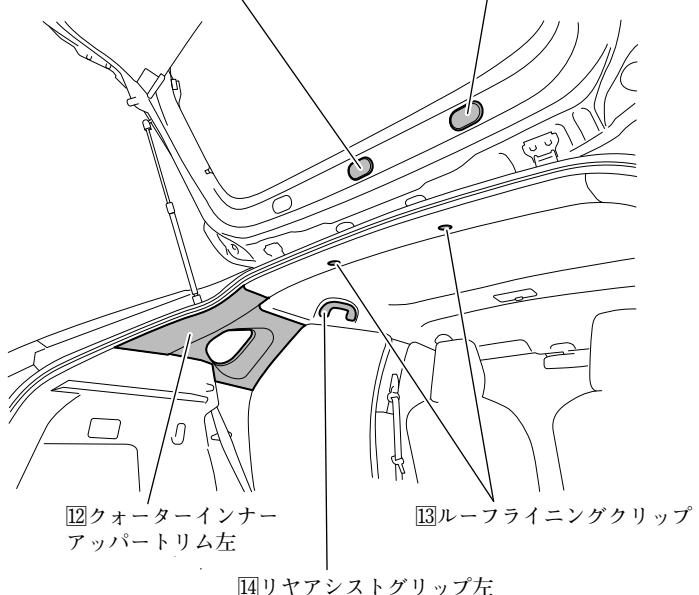
**!
警告**

- フックは再使用できません。必ず別売の新品部品と交換してください。
- 新品部品に交換しないとリヤシートクッションが確実に固定されない可能性があり、シートが正常に機能せず重大な損害を負うおそれがあります。

なお、車両部品の取外し／取付けは、必ず車両のサービスマニュアルを参照して行ってください。

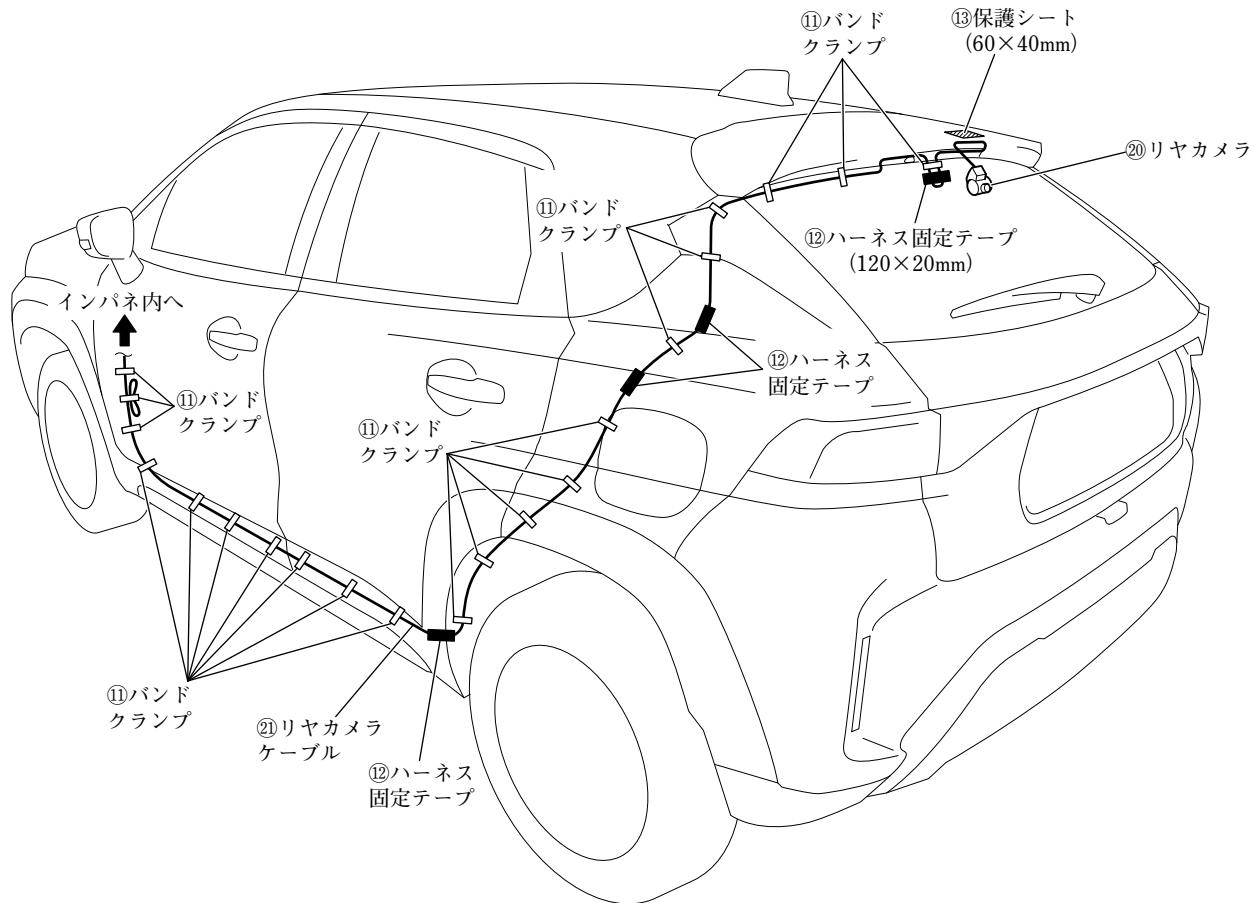
[15]バックドアサービスホールキャップ
(ケーブル配線用)

[15]バックドアサービスホールキャップ
(ケーブル引き込み用)



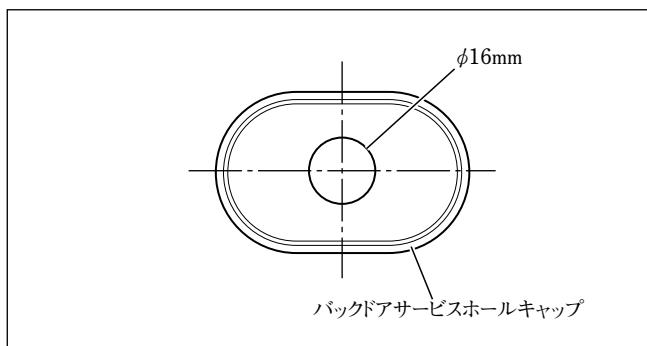
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のパックドアサービスホールキャップの中央にホールソーで $\phi 16\text{mm}$ の穴を開けてください。

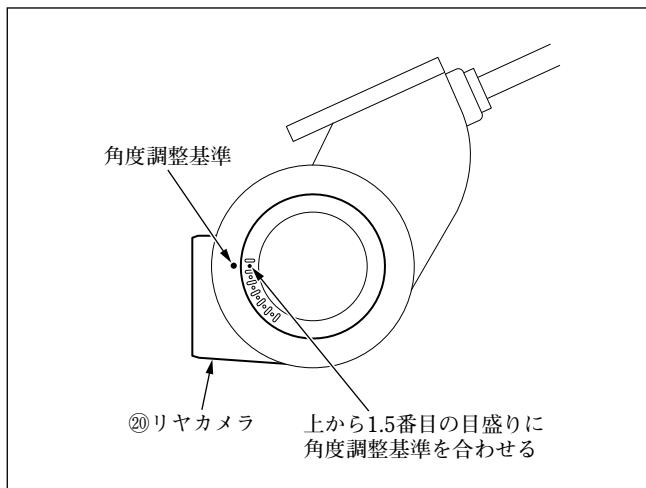
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から 10mm 以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

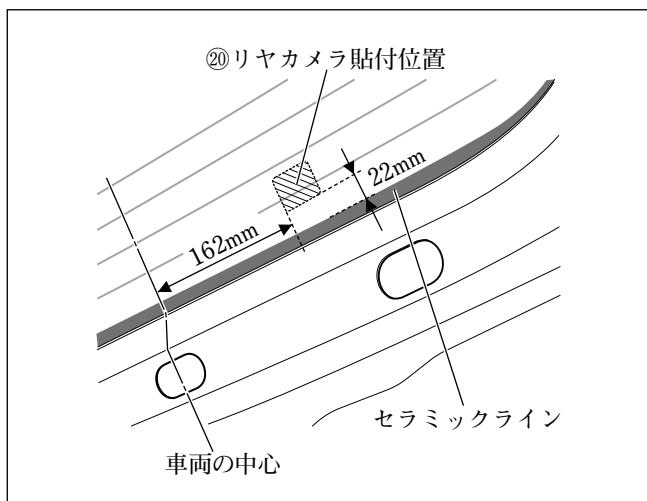


(3) ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

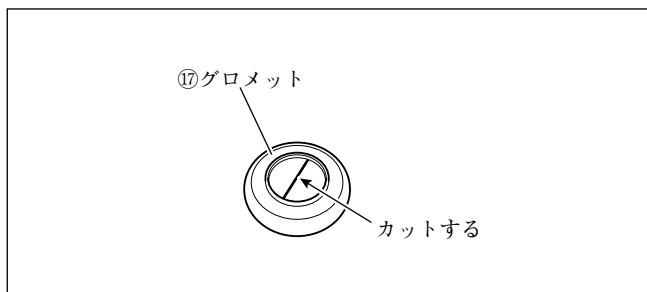
● リヤカメラの取付方法



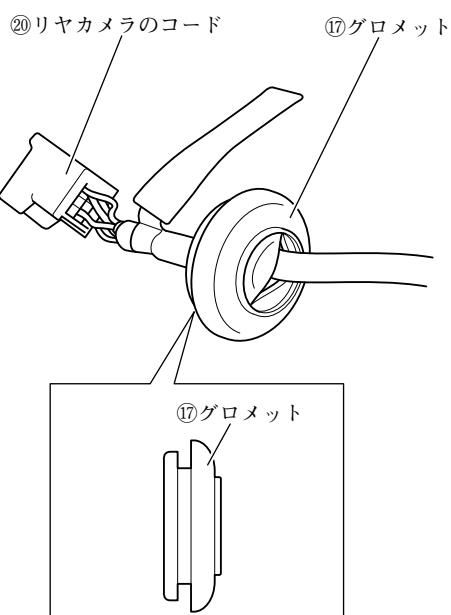
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



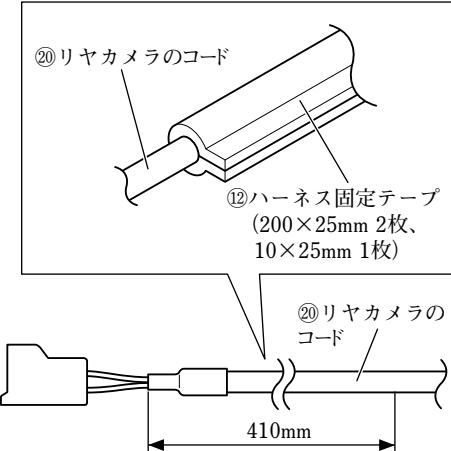
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



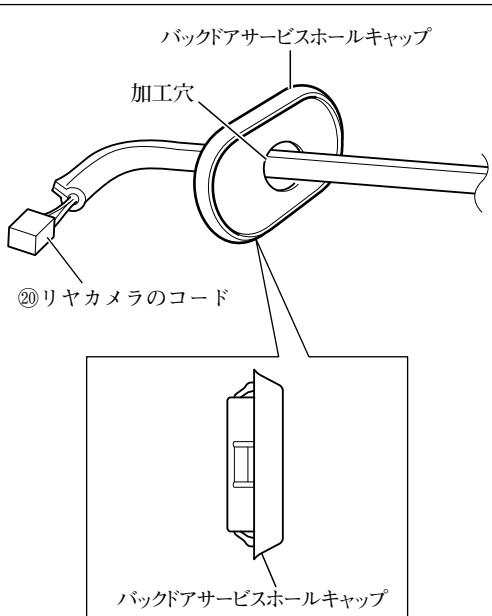
(3) ⑦ glove box to ②ⓧ rear camera cable connection.

注記

- ⑦ glove box is to be attached in the orientation shown in the figure.
- For damage prevention, when passing ②ⓧ rear camera cable through ⑦ glove box, do not pull it tightly.



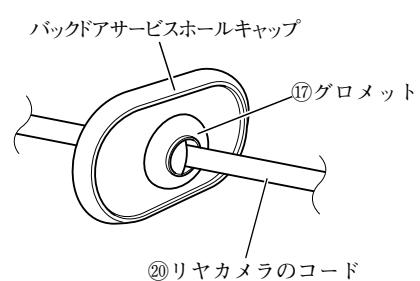
(4) ⑫ harness fix tape to ②ⓧ rear camera cable connection.



(5) ②ⓧ rear camera cable to the rear door service hole cap (バックドアサービスホールキャップ) connection.

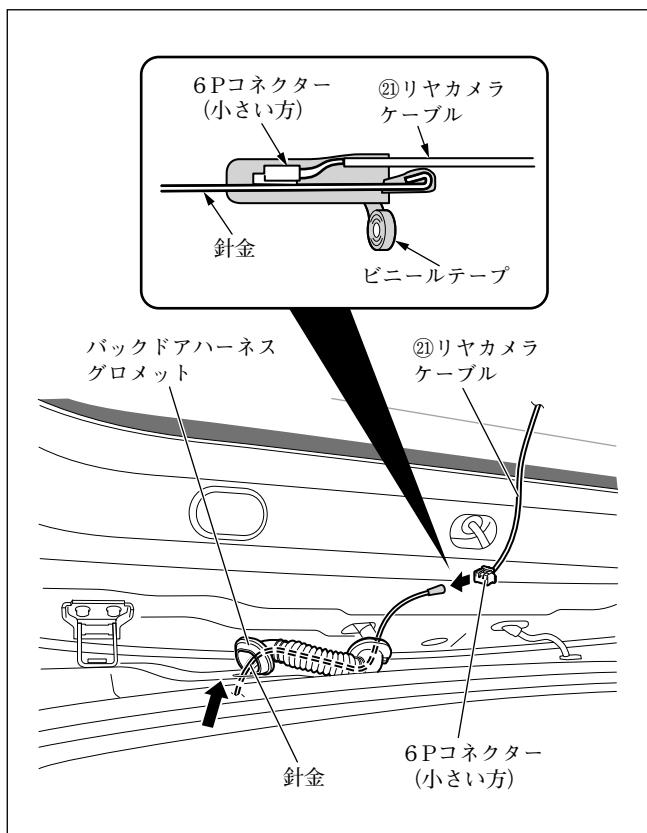
注記

- The rear door service hole cap (バックドアサービスホールキャップ) is to be attached in the orientation shown in the figure.



(6) ⑯ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

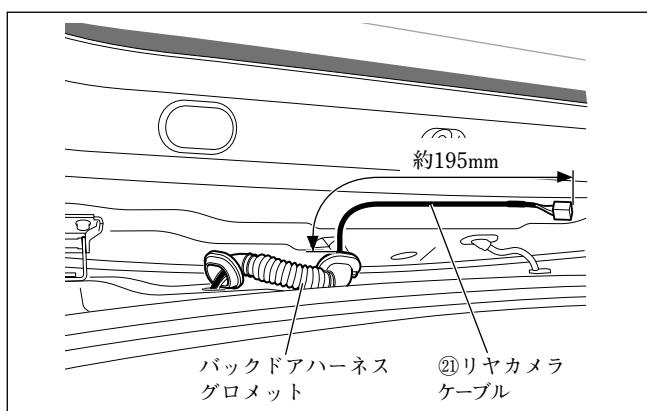
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



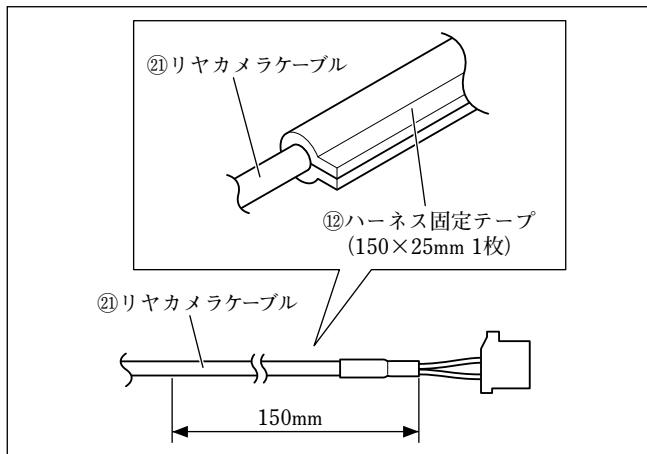
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター (小さい方) を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

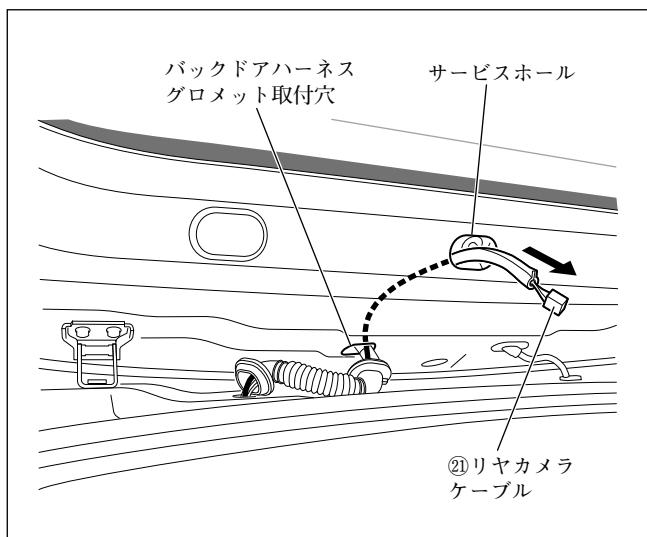
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



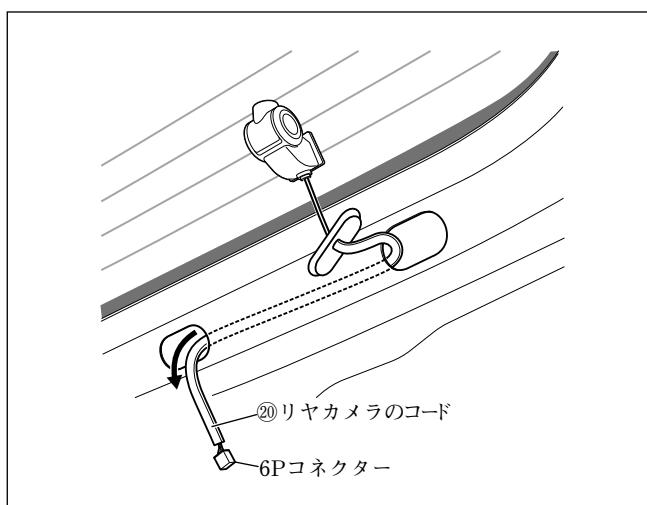
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



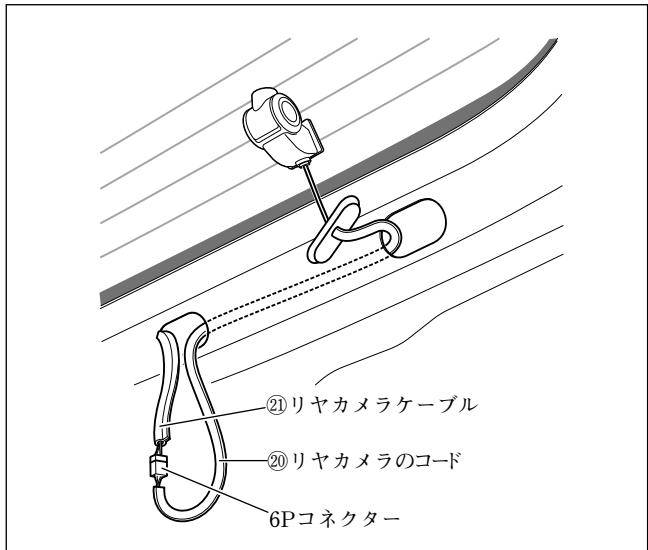
(6) ⑫ハーネス固定テープを②リヤカメラケーブルに貼り付けてください。



(7) 針金等を使用して②リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

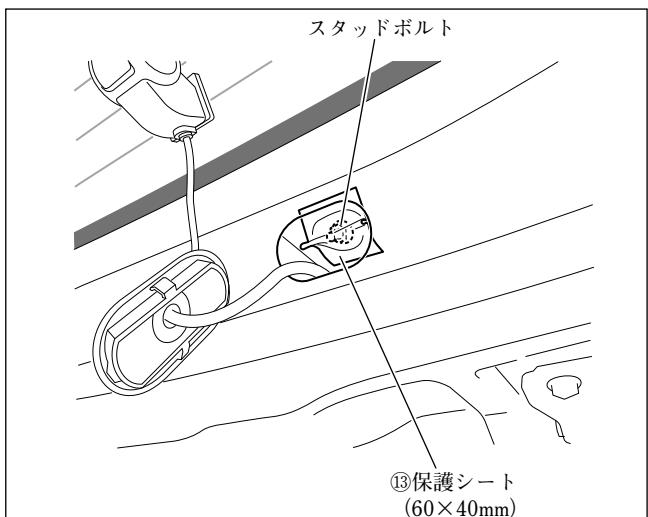


(8) 針金等を使用して②リヤカメラのコードをバックドアパネル内に通してください。



(9) ②1 リヤカメラケーブルのコネクターと②0 リヤカメラのコネクターを接続してください。

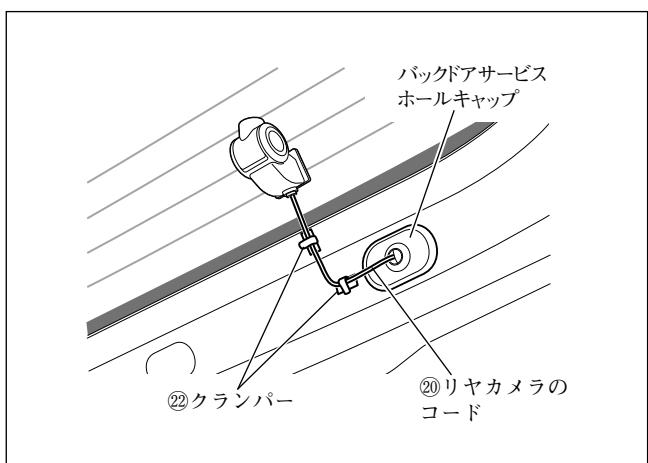
(10) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(11) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

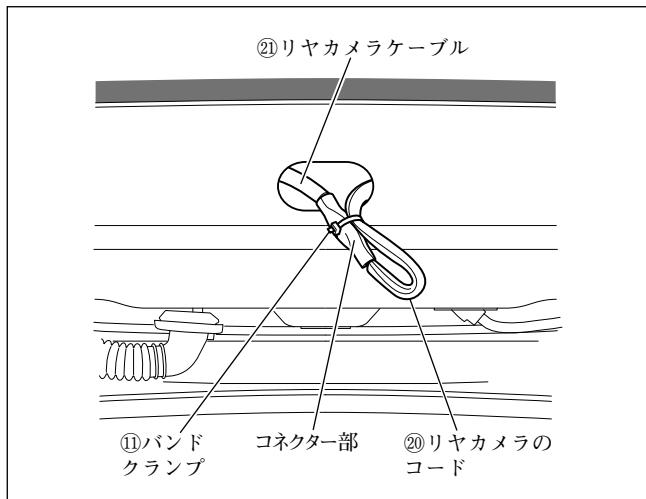


(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

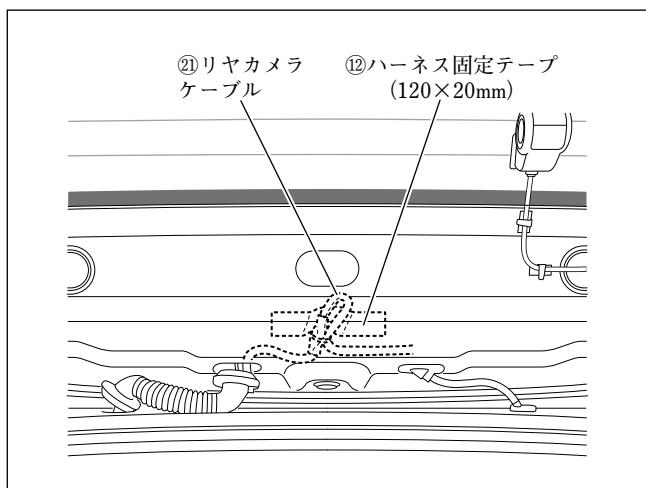
(13) ⑫ クランパーで②0 リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑫ クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(14) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(15) ②①リヤカメラケーブルと②①リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②①リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

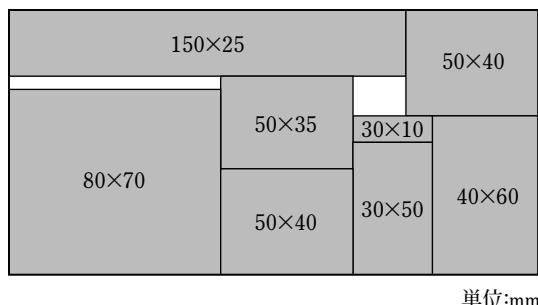
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

ランディの場合

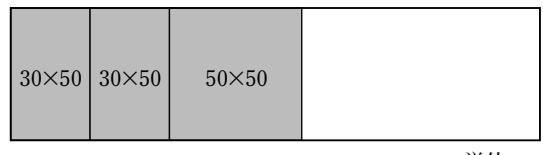
● ランディへ取り付ける際の注意

- ランディへ取り付ける際は、ドライブレコーダーの付属品のみでは⑬保護シートが不足しています。このため同時装着される別売品ナビゲーションに付属の保護シートを併せて使用してください。
- 保護シートは以下の寸法でカットして使用ください。

⑬保護シート
(ドライブレコーダー側付属品 (200×100mm))



保護シート
(別売品ナビゲーション側付属品)



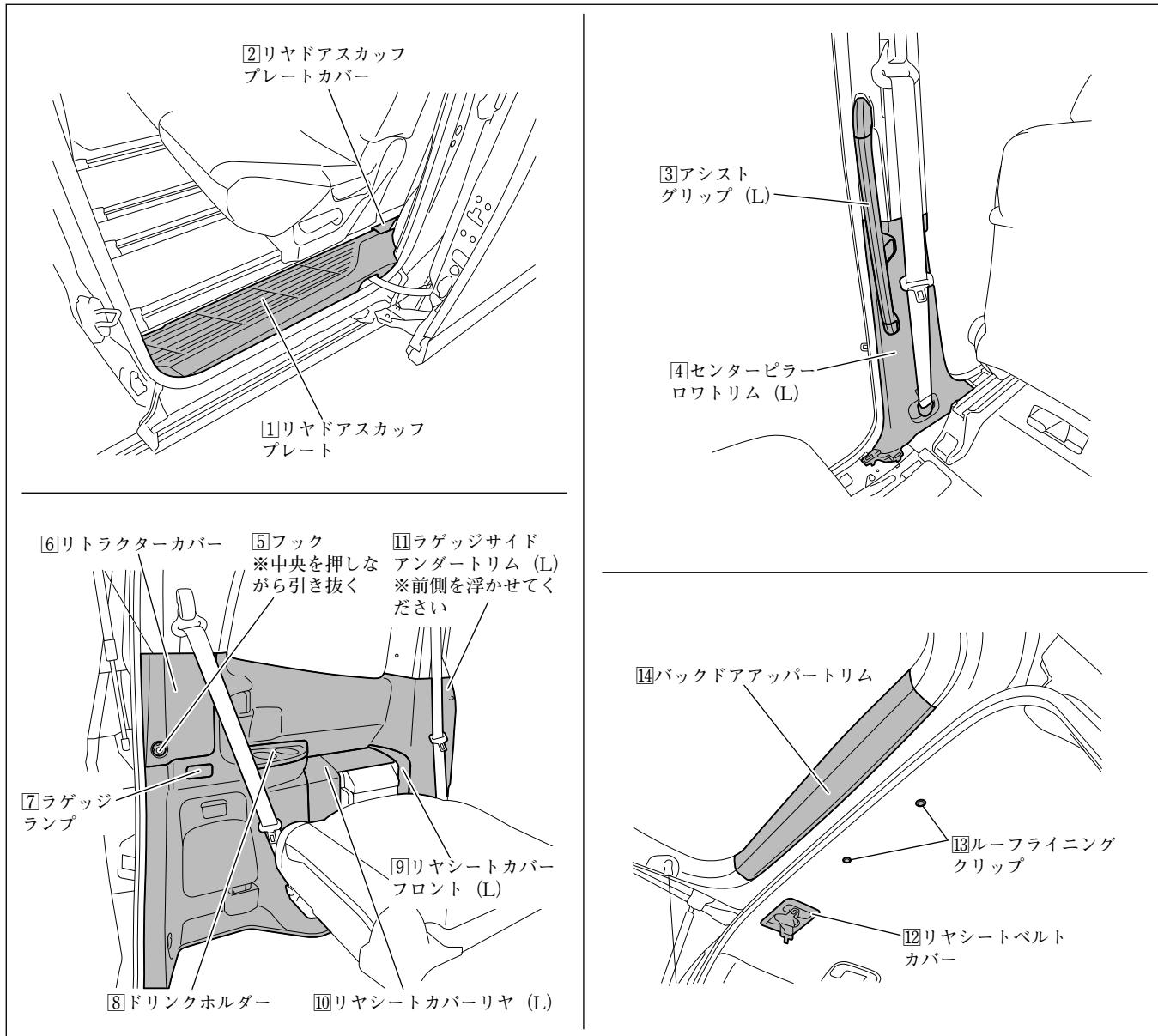
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

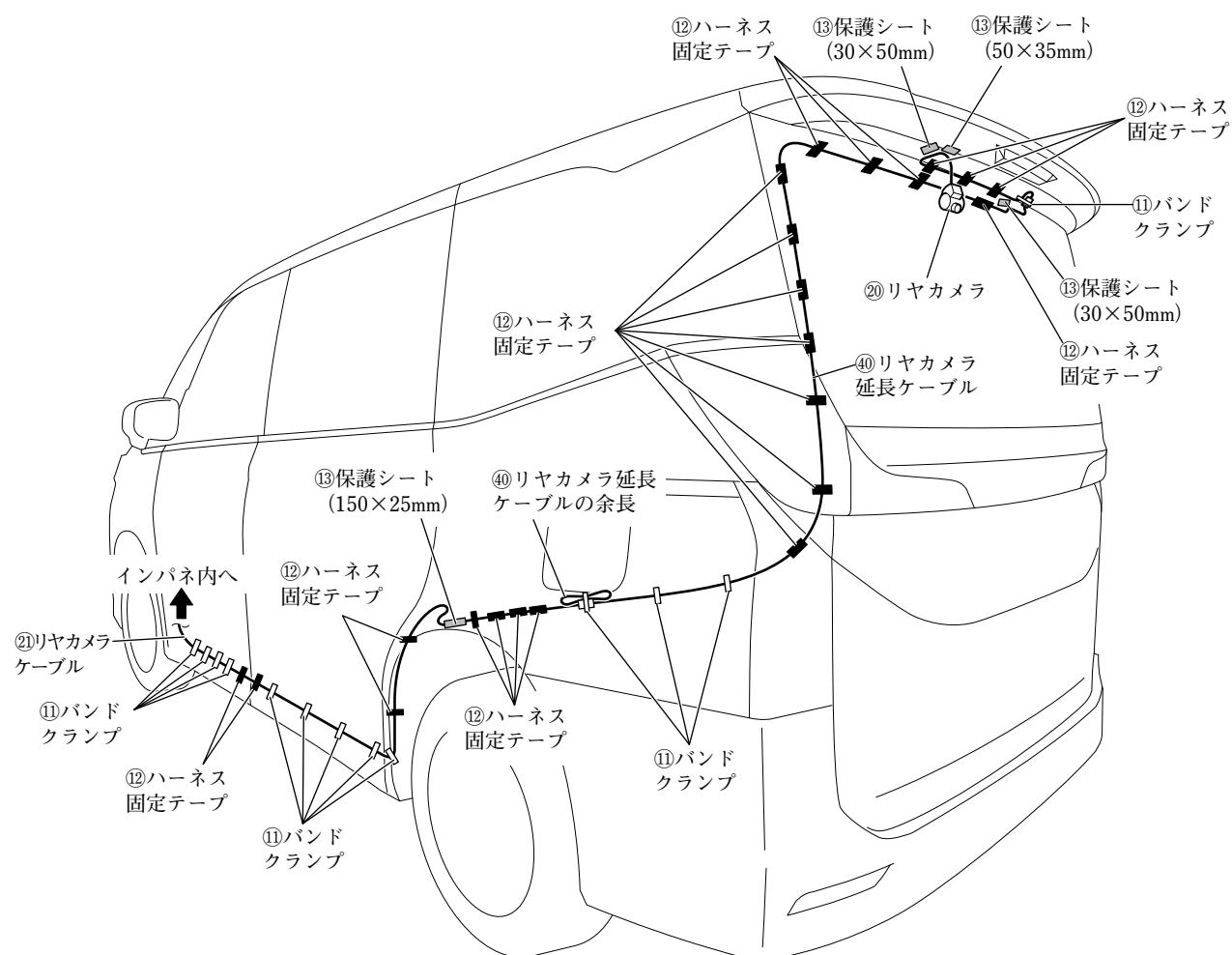


● 取付概要

リヤカメラ

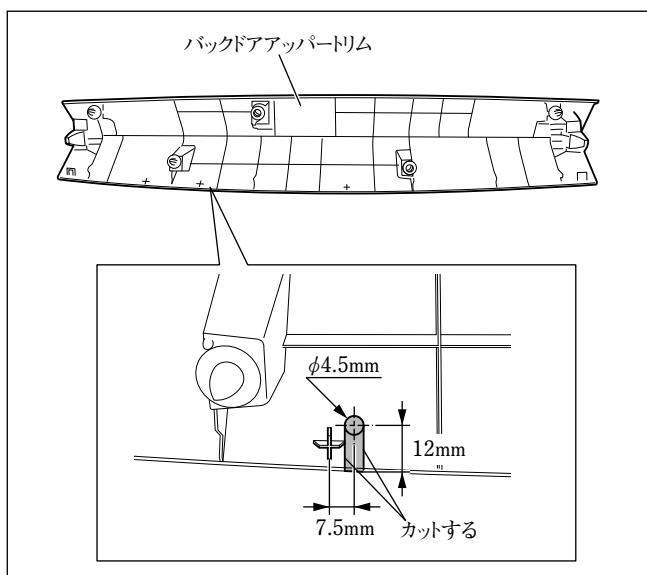
注記

本製品と、ドライブレコーダー（連動3カメラ）とでは、②リヤカメラの取付位置や、切り欠き加工位置などが異なります。



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



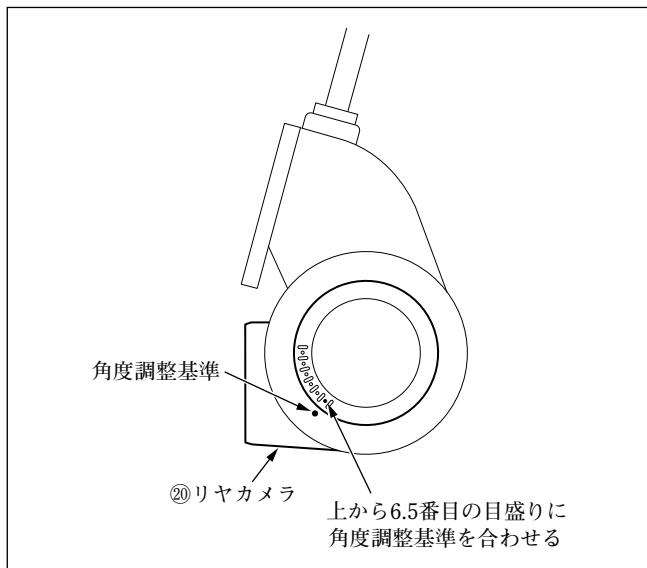
(1) 図示箇所に穴 ($\phi 4.5\text{mm}$) を開けてください。

注意

- ドリルを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ドリルの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ドリルは穴開け面に対して垂直に当てるください。



(2) 図示箇所をカットしてください。

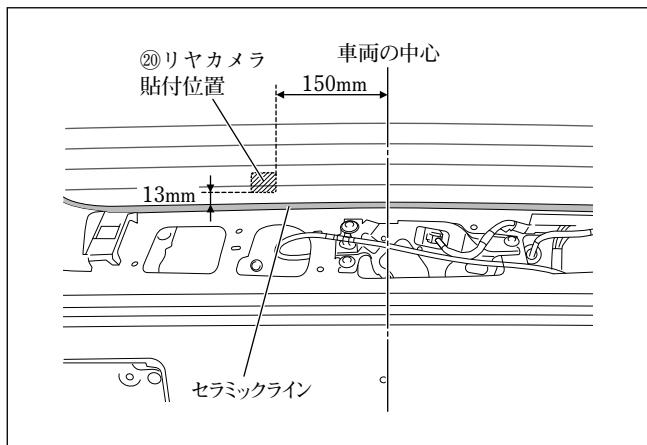
(3) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

(4) ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

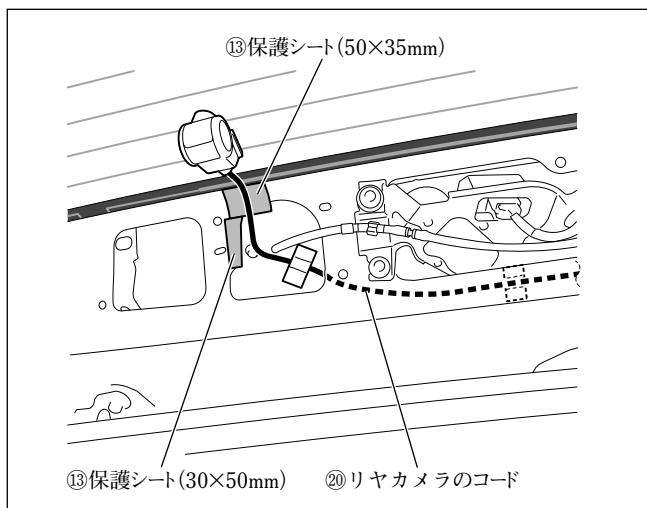
● リヤカメラの取付方法



(1) ⑯リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

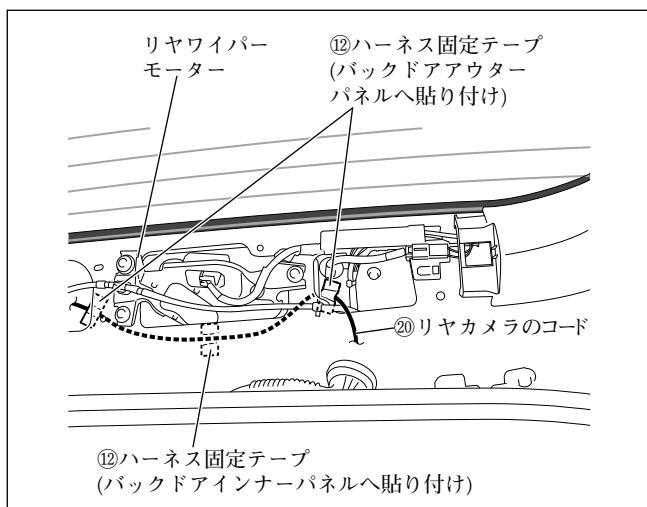
- ⑯リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち⑯リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、⑯リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と⑯リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



(2) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑯保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

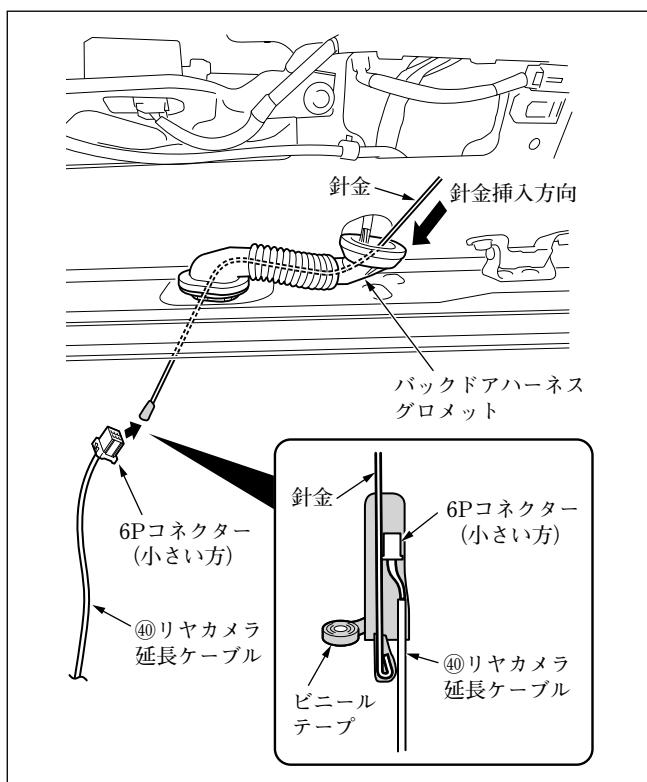


(3) ⑯リヤカメラのコードを配線し、⑯ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- エッジ部およびリヤワイパーモーターの可動部をさけて配線してください。
- ⑯ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

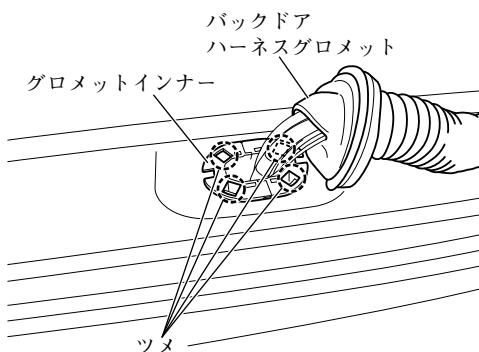
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



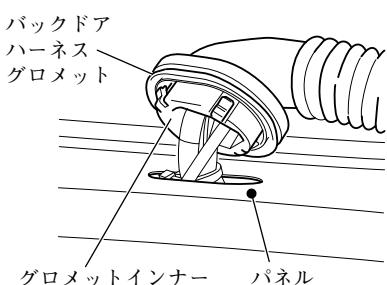
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドア側からバックドアハーネスグロメット室内側に通してください。
- (3) ④リヤカメラ延長ケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金をバックドア側に引き戻し、④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

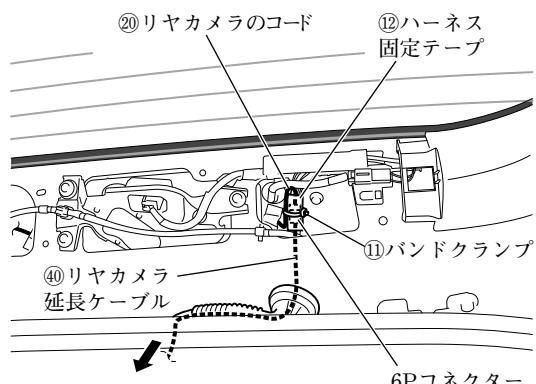
- グロメットインナーを外す際は、ツメを縮めてください。



- バックドアハーネスグロメットを復元する際は、グロメットインナーをバックドアハーネスグロメット側へはめてからパネルへはめ込んでください。



- バックドアハーネスおよび④リヤカメラ延長ケーブル破損防止のため、④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ④リヤカメラ延長ケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりとテーピングしてください。



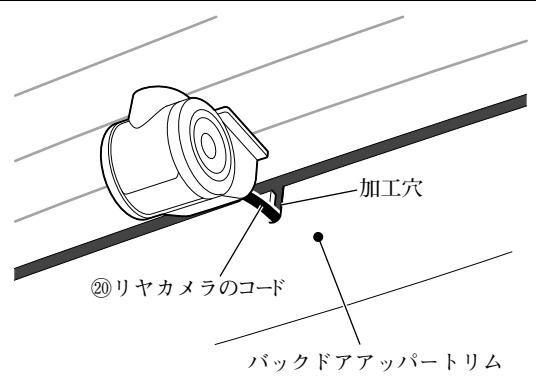
(5) ④①リヤカメラ延長ケーブルのコネクターと②リヤカメラのコネクターを接続してください。

(6) 異音防止のため、接続したコネクターに②ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

(7) ④①リヤカメラ延長ケーブルおよび②リヤカメラのコードのたるみがなくなるまで引き込んでください。

(8) ④①リヤカメラ延長ケーブルと②リヤカメラのコードを⑪バンドクランプで固定してください。

(9) バックドアアップパートリムを復元する際は、②リヤカメラのコードを加工穴へ通してください。

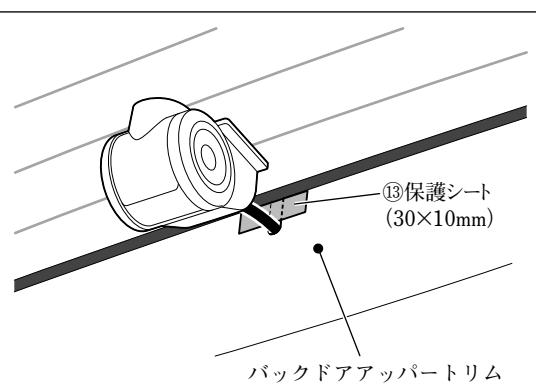


(10) 加工穴を目立たなくするため、図示箇所に⑬保護シートを貼ってください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。

- 気温が低いとき(15°C以下)は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



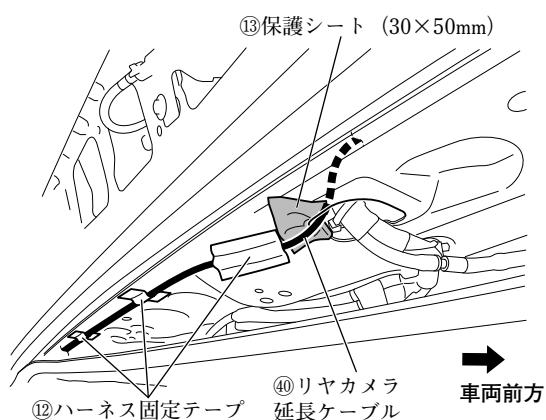
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して⑩リヤカメラ延長ケーブルおよび⑪リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部上（ルーフライニング裏）

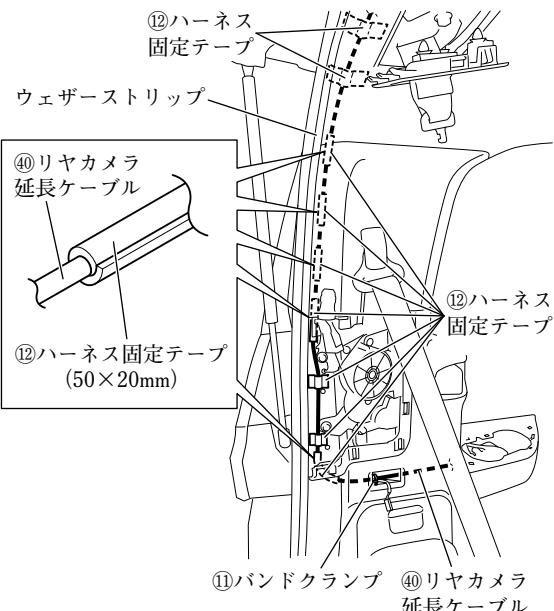


- (1) 配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

バックドア開口部左



- (2) 図示箇所の⑩リヤカメラ延長ケーブルに⑫ハーネス固定テープを巻き付けてください。

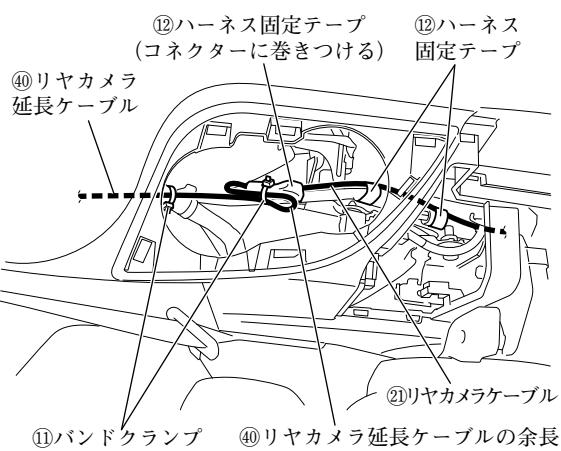
- (3) ウエザーストリップを一時的に外し、トリムと車両パネルの隙間に⑩リヤカメラ延長ケーブルを配線してください。

注記

ウェザーストリップ内にはシーラーが塗られているため、ウェザーストリップを外すとシーラーが露出します。シーラーはルーフライニングなどに付着するととれませんので、他の部品へ付着させないように注意して作業を行ってください。

- (4) 配線ができたらウェザーストリップを復元してください。

ラゲッジサイドアンダートリム部



(5) ④リヤカメラ延長ケーブルのコネクターと②リヤカメラケーブルのコネクターを接続してください。

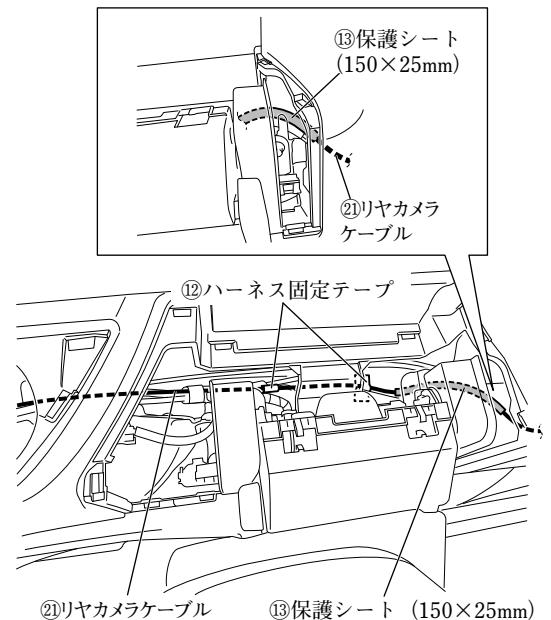
(6) 異音防止のため、接続したコネクターに⑪ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)

(7) ④リヤカメラ延長ケーブルと②リヤカメラケーブルのコネクターは図示位置で固定してください。

注記

コネクターおよびケーブルが可動部や、復元したドリンクホルダーと干渉しない位置へ固定してください。

3列目シート取付部

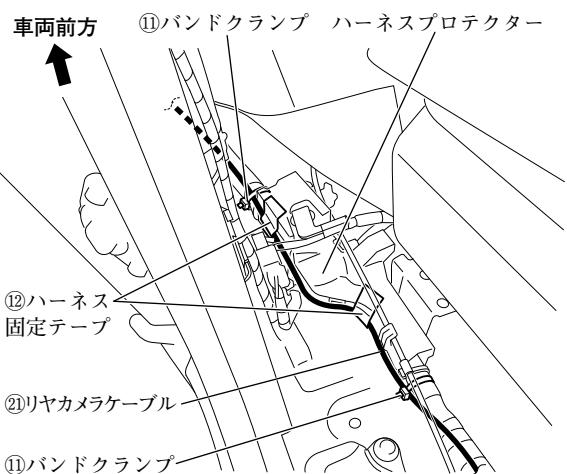


(8) 配線を保護するために、図示箇所の②リヤカメラケーブルに⑪保護シートを巻き付けて配線してください。

注記

- 巻き付けた⑪保護シートがはがれないようにビニールテープを巻いて押さえてください。
- 配線後、3列目シートを上げ／下げし、②リヤカメラケーブルが3列目シート部品の可動部と干渉しないことを確認してください。

センターピラーロワトリム取付部



(9) 図示位置の②リヤカメラケーブルは、ハーネスプロテクターの側面側を通してください。

ソリオの場合

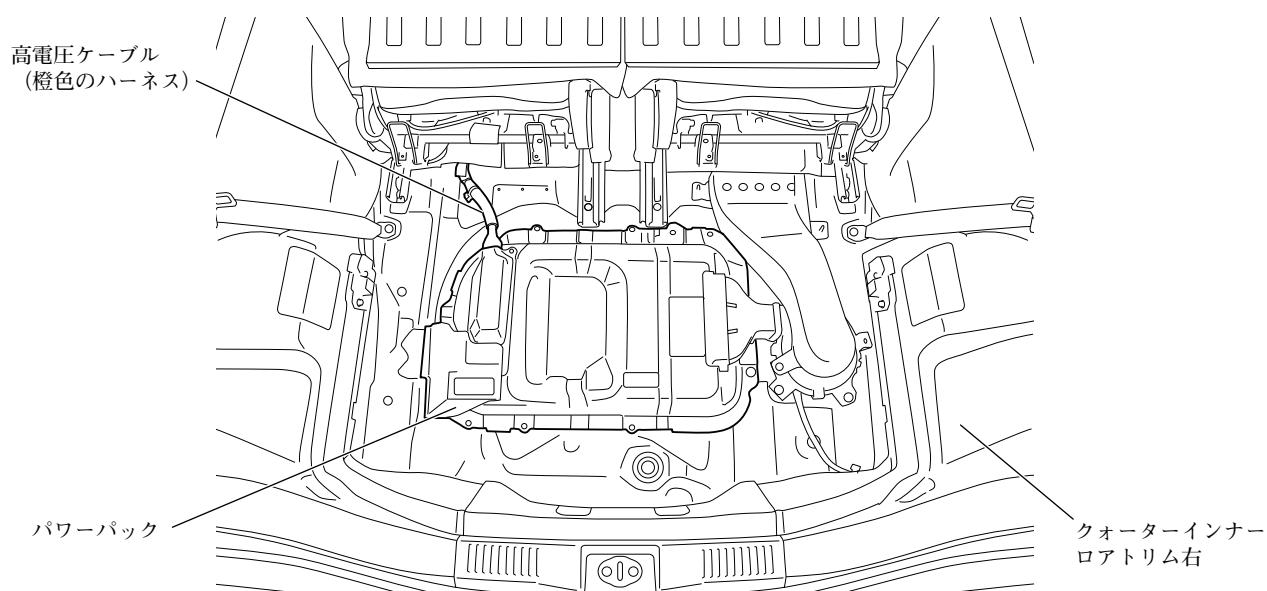
●車両部品の取り外し方法

ソリオのハイブリッド車は、ラゲッジ下部にパワーパック（高電圧バッテリー、インバーター）が取り付けられていますので作業の途中に高電圧回路が露出をします。

このため、有資格者がサービスマニュアルを参照した上で保護具（絶縁手袋や絶縁靴など）を着用し、絶縁工具を使用しながら作業を行わないと感電や漏電などの原因となります。

!**警告**

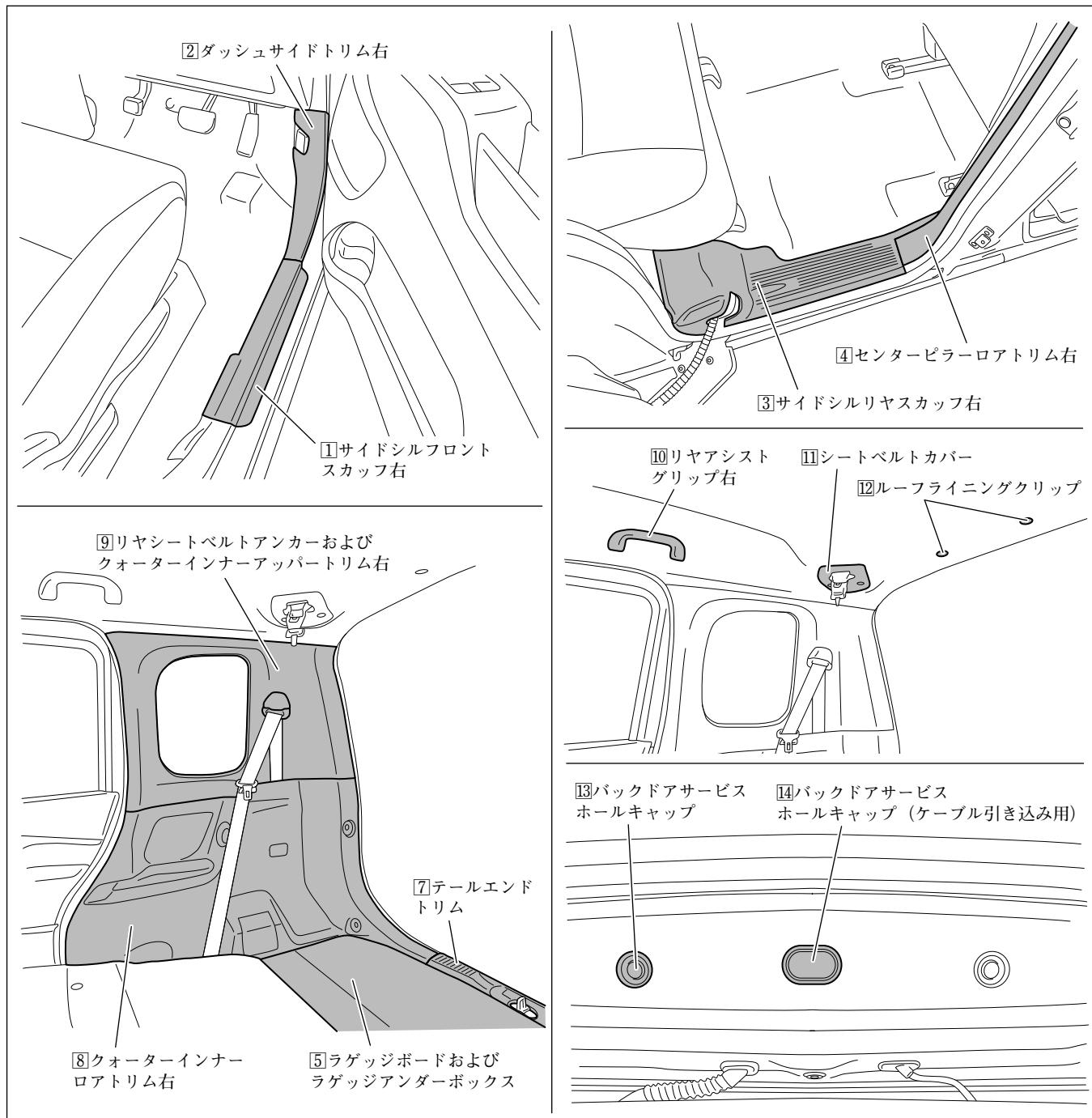
- ハイブリッド車に取り付ける場合、低圧電気取扱業務特別教育を修了した作業者が作業を行ってください。
- ハイブリッド車に取り付ける場合、「高電圧ケーブル（橙色のハーネス）」やラゲッジルーム下部のパワーパックは、みだりに触らないでください。内部に高電圧が印加されているため、感電や重大な傷害のおそれがあります。
- パワーパックに部品や工具を載せないでください。
- パワーパックに衝撃を与えないでください。
- パワーパックを水等の液体で濡らさないでください。
- パワーパックに貼り付けられた警告ラベルの記載を読んで理解をした上で作業を行ってください。

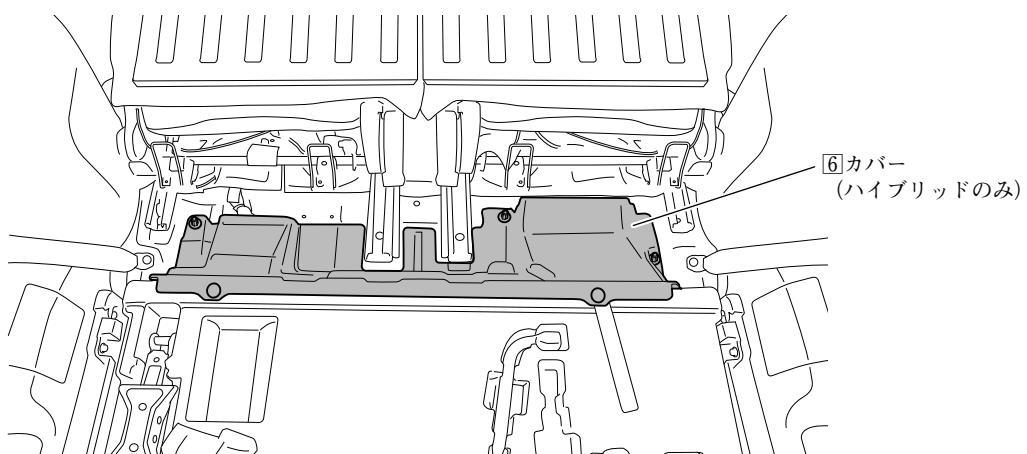


注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。
- ハイブリッド車は、ガソリン車と比べ、ラゲッジ部の脱着部品や脱着方法等が異なります。サービススマニュアルを参照して作業を行ってください。

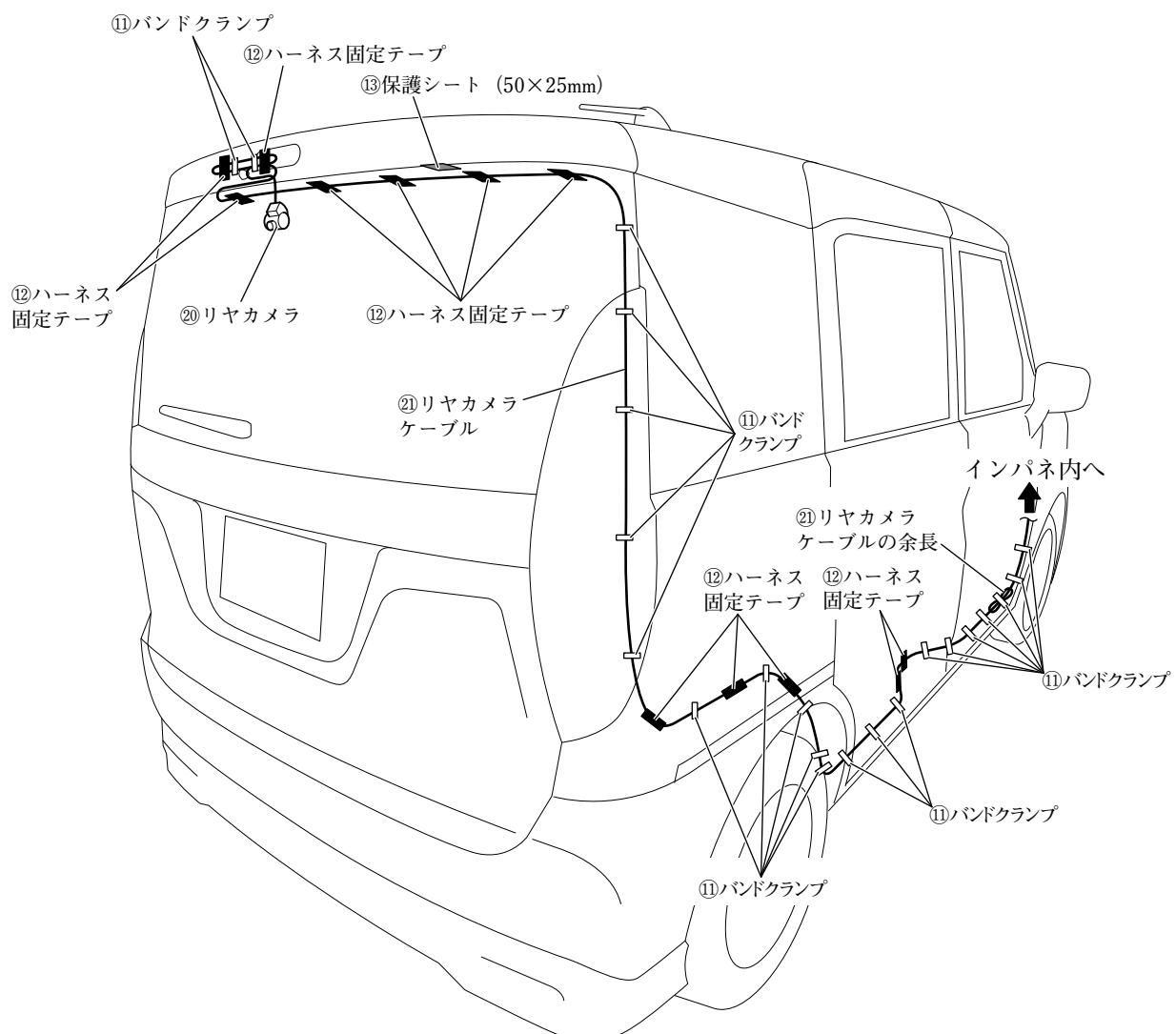
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ



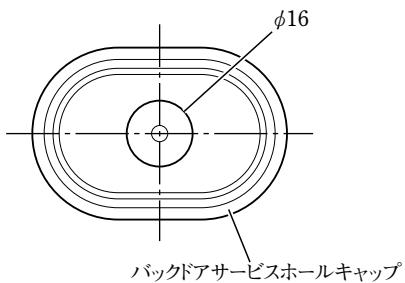
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて
大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央にホールソーでφ16mmの穴を開けてください。

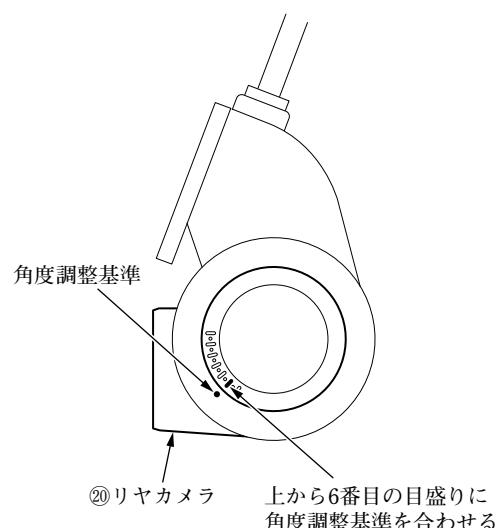
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

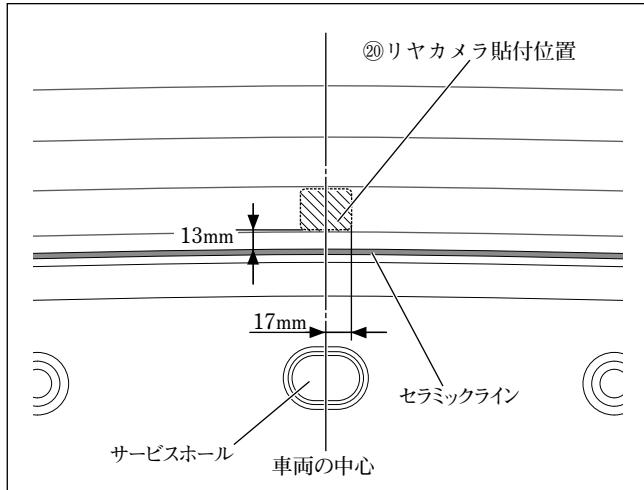


(3) ⑩リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

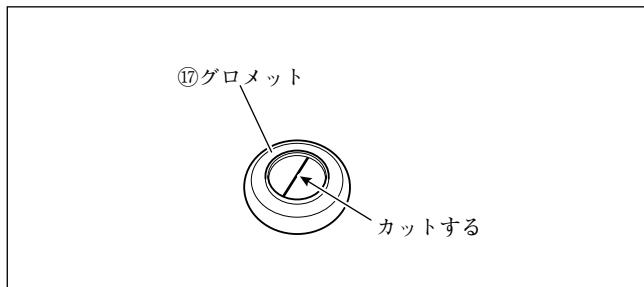
● リヤカメラの取付方法



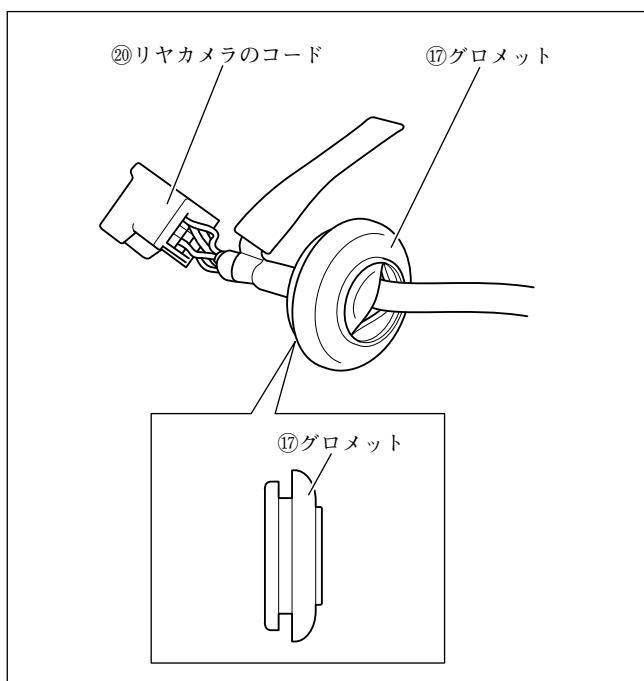
(1) ②ⓧリヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②ⓧリヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②ⓧリヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②ⓧリヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②ⓧリヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



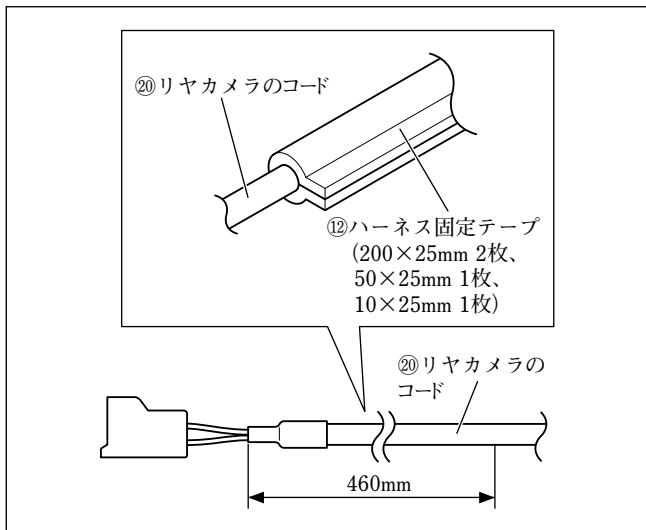
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



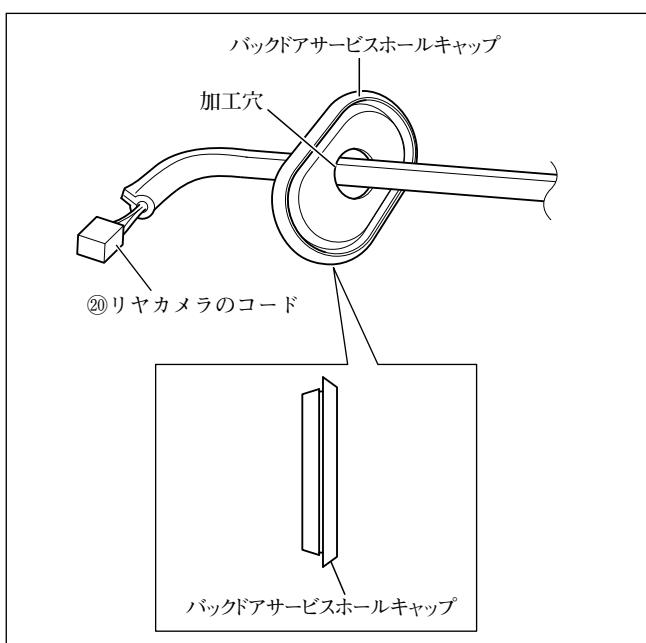
(3) ⑯グロメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



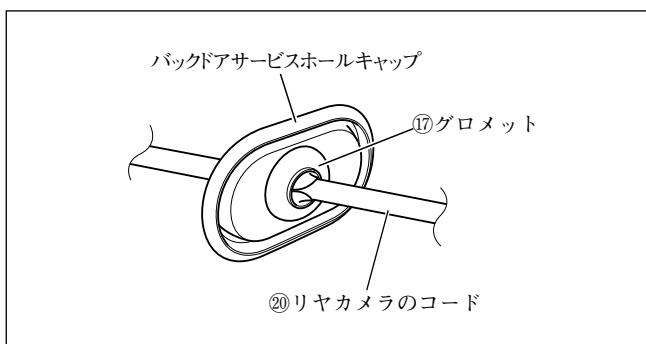
(4) ⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ②ⓧリヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

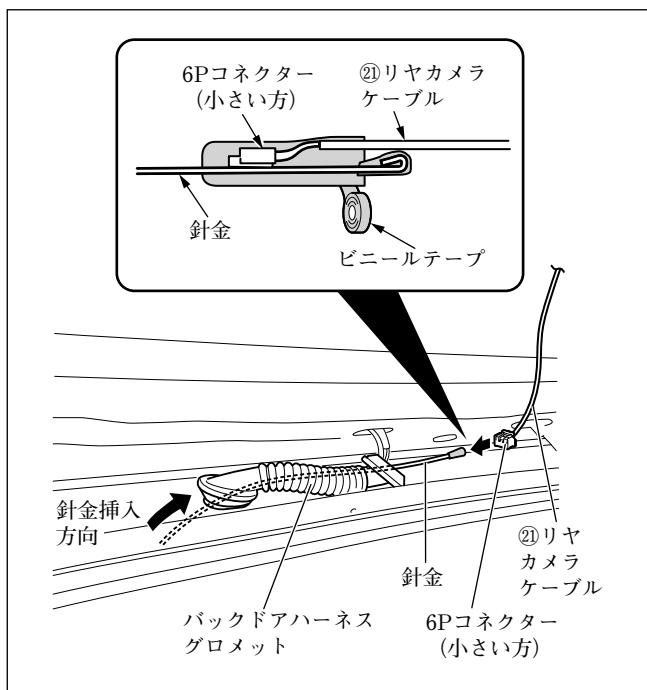
注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

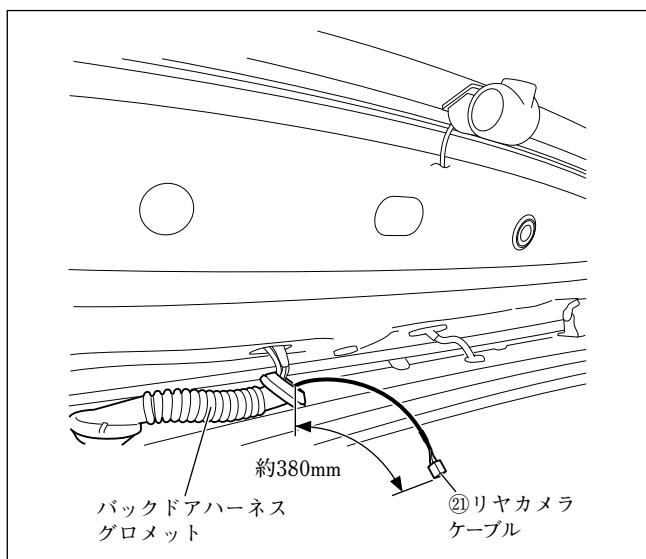
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



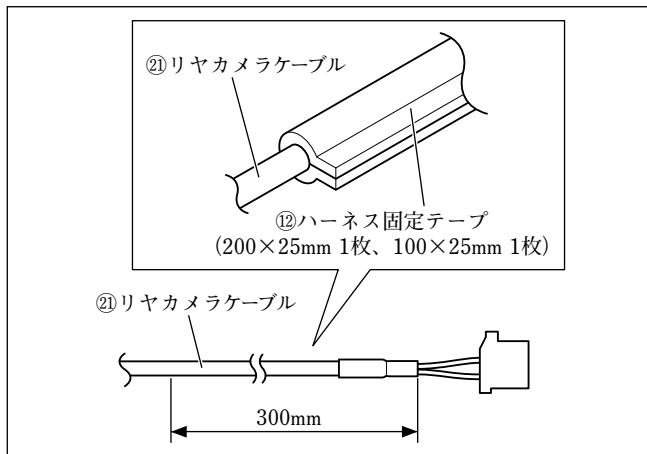
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

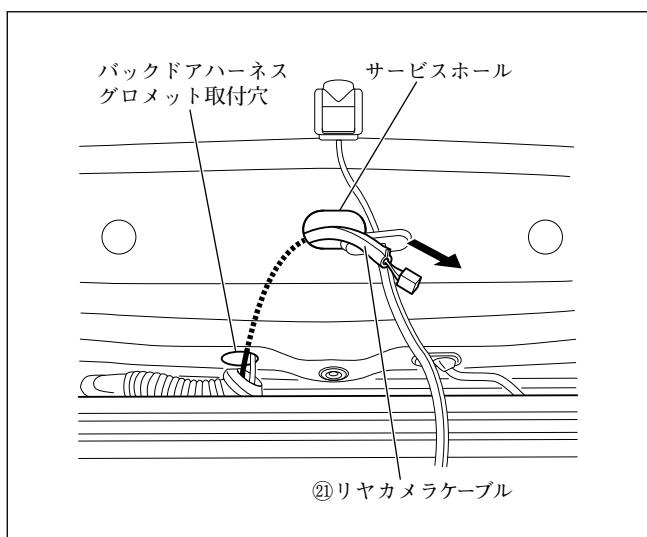
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



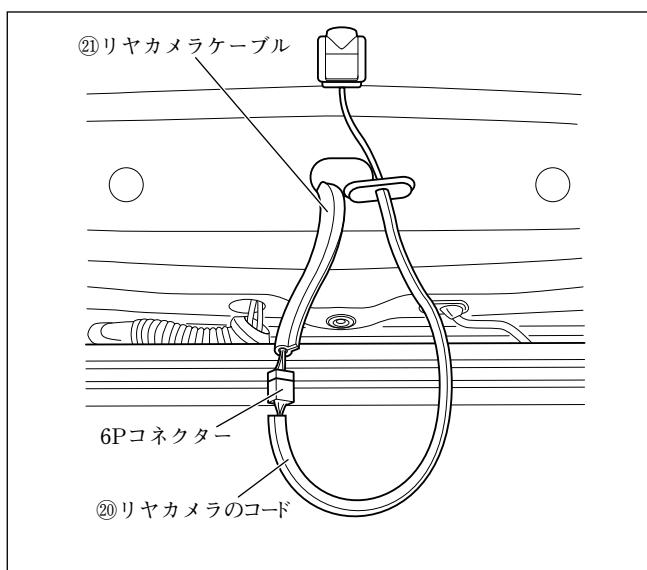
- (5) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

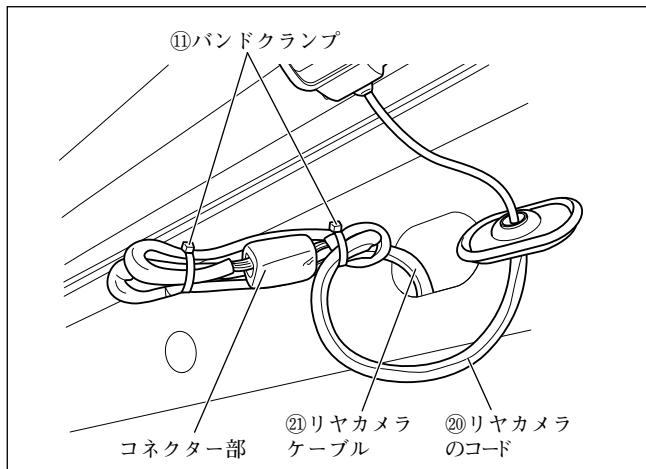


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

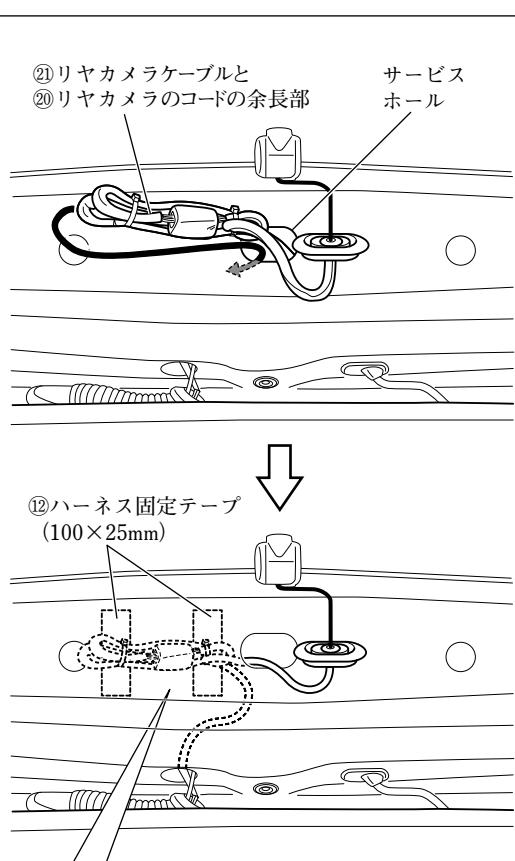


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



(10) ⑪ バンドクランプと⑫ リヤカメラケーブルと⑬ リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪ バンドクランプで固定してください。

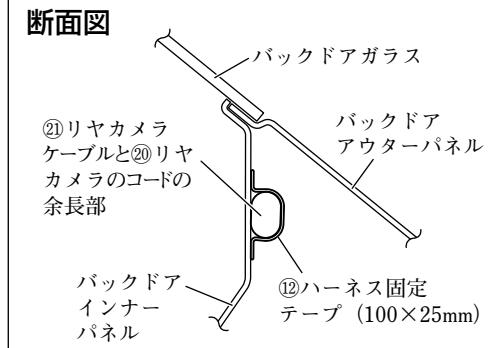


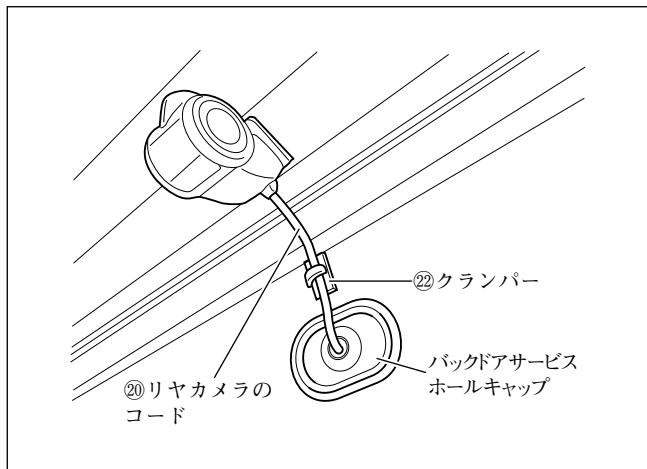
(11) ⑫ リヤカメラケーブルと⑬ リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

断面図





(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(13) ②②クランパーで②①リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

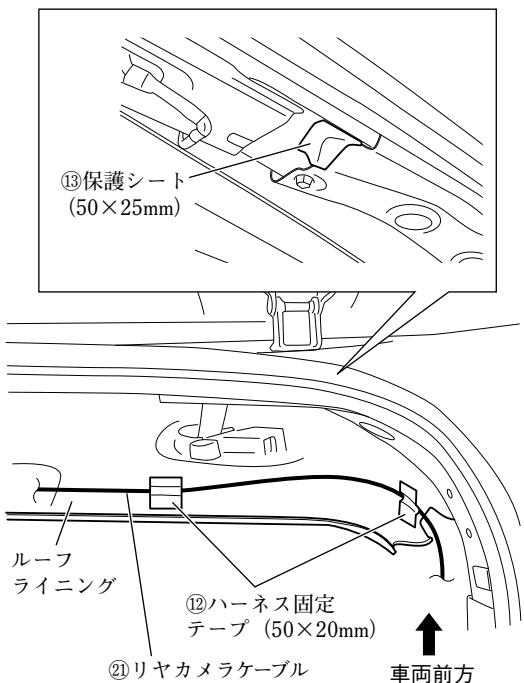
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部右



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

スイフトの場合

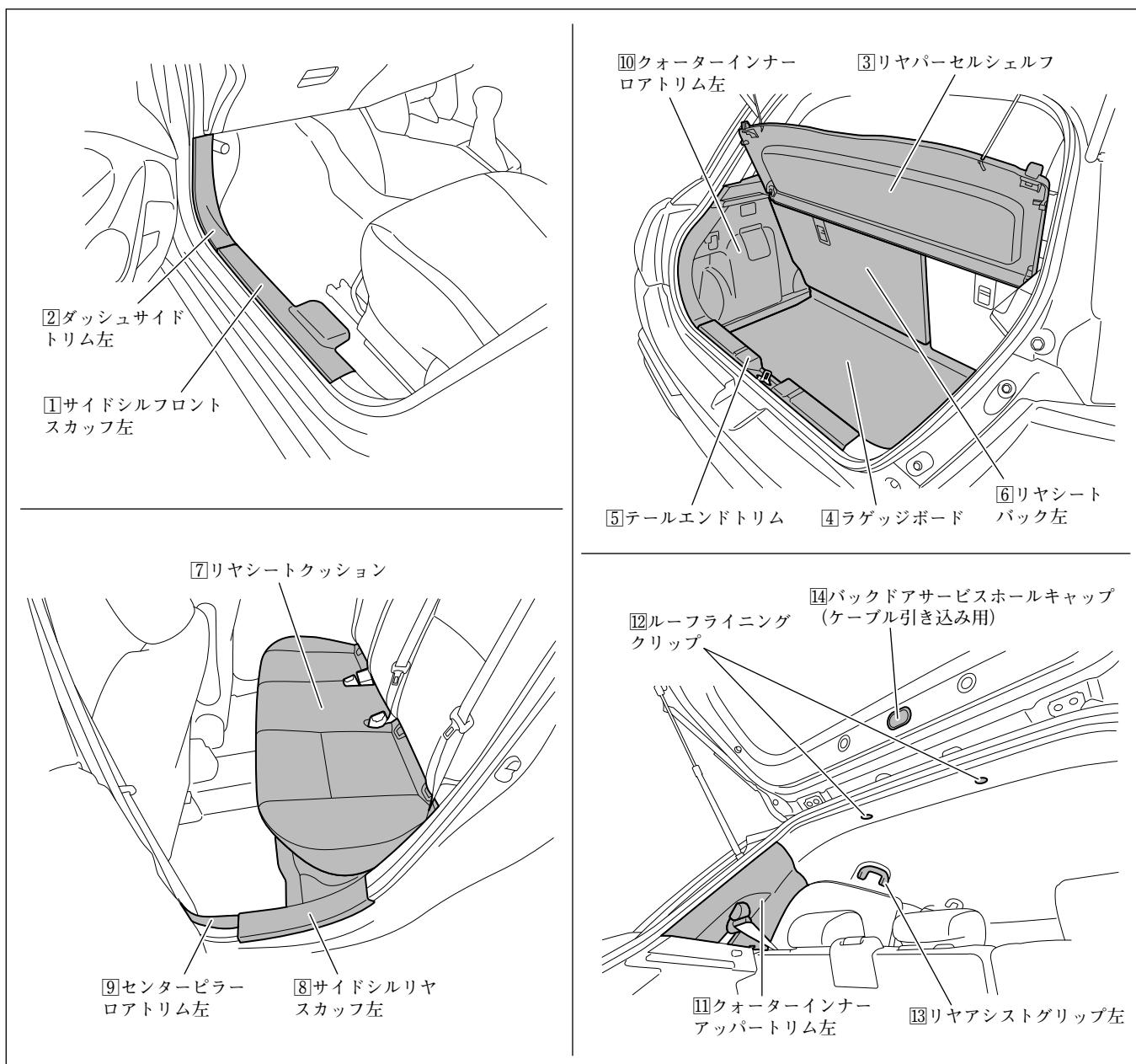
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

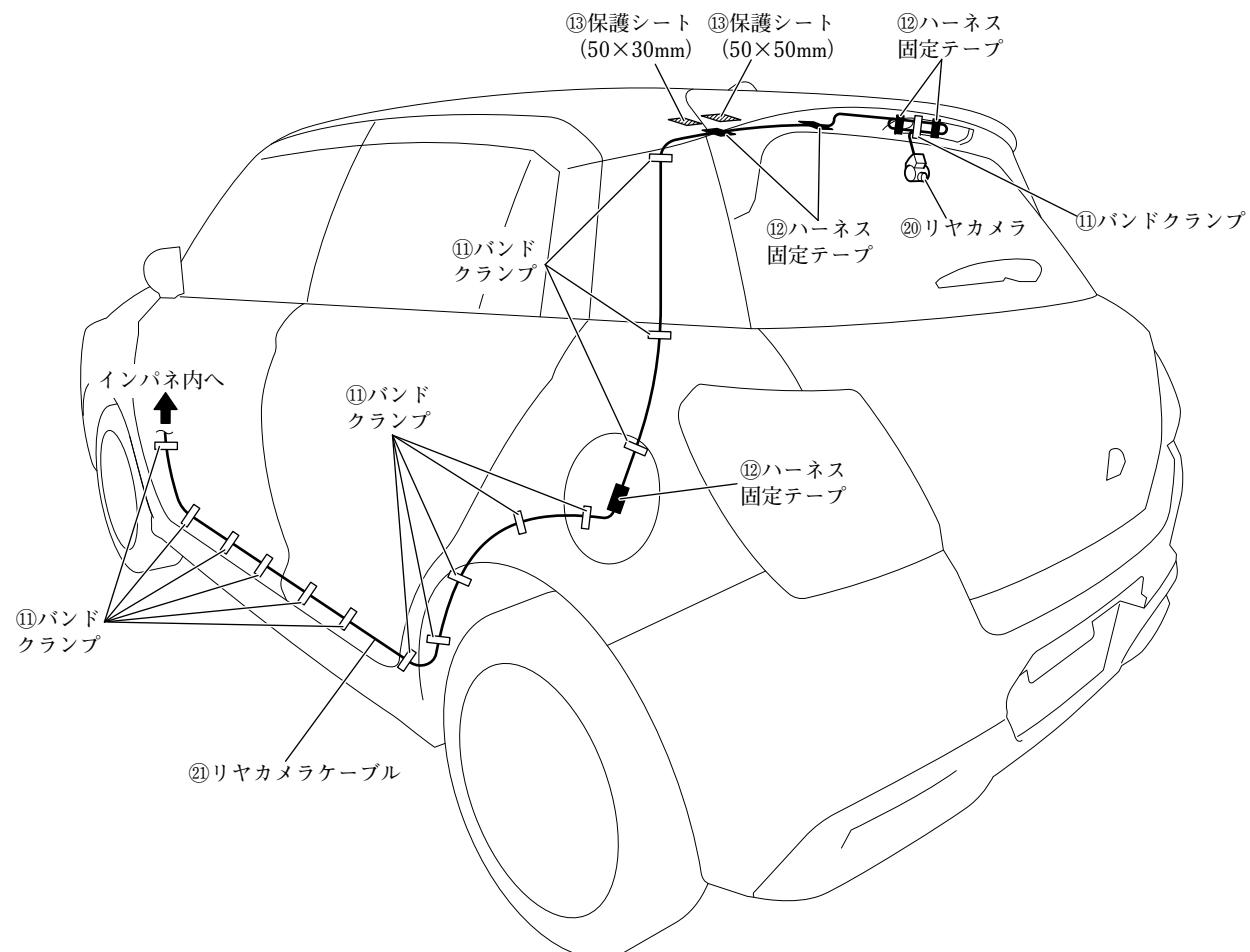
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ



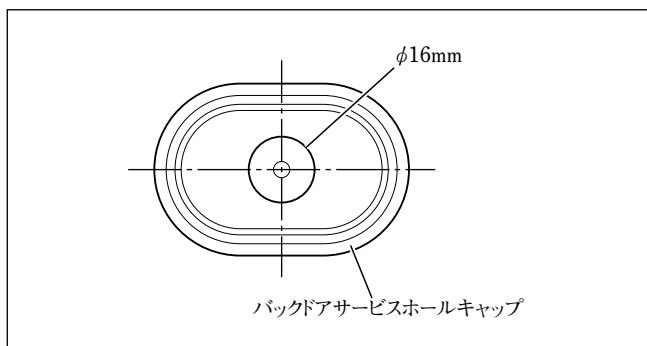
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央にホールソーでφ16mmの穴を開けてください。

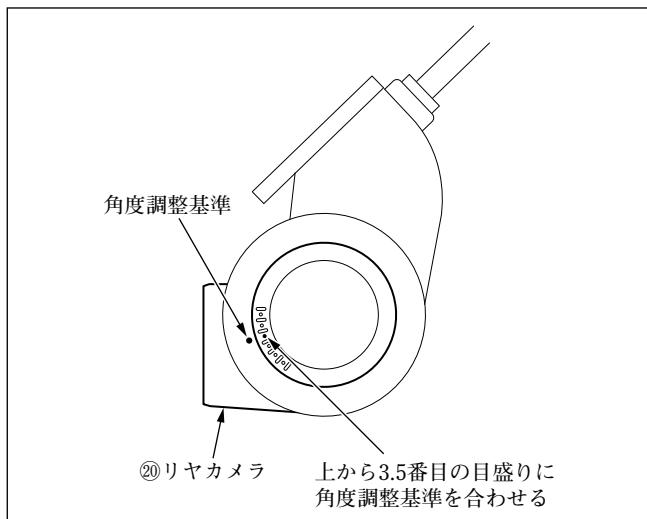
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

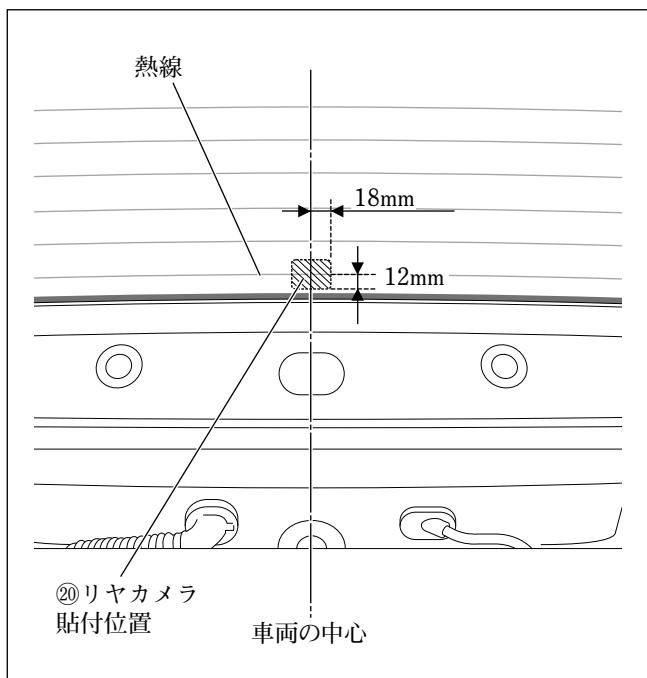


(3) ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

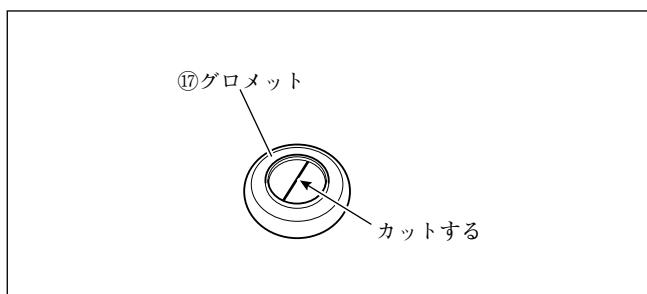
● リヤカメラの取付方法



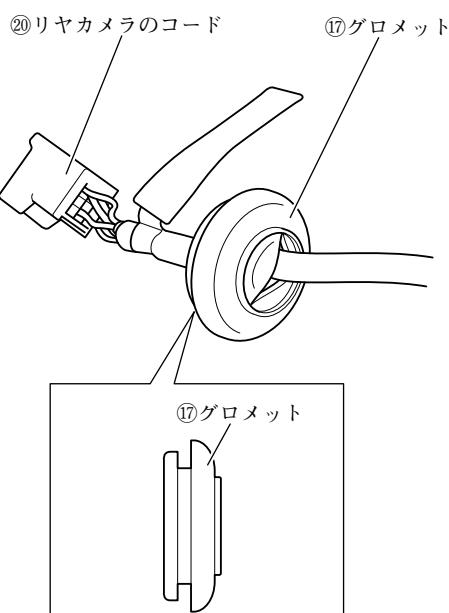
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



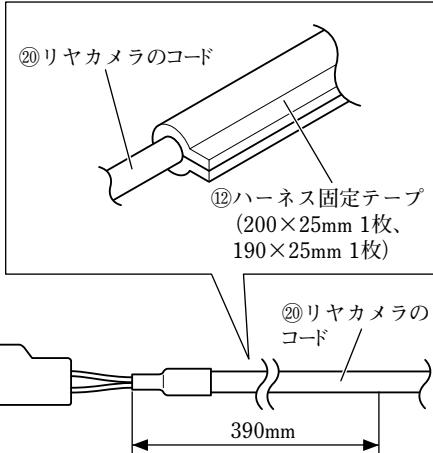
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



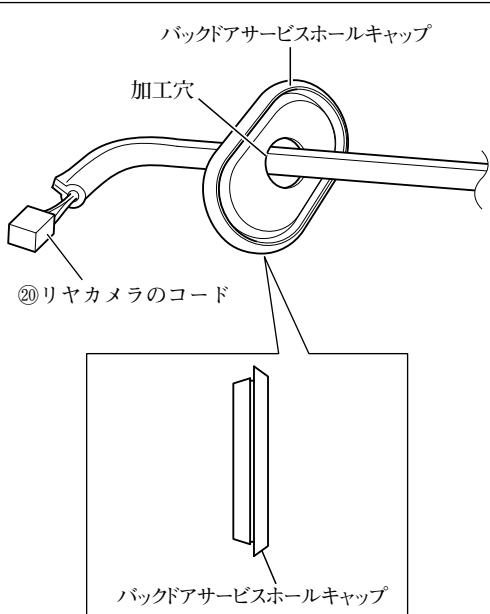
(3) ⑦グローメットを②ⓧリヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑦グローメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②ⓧリヤカメラのコードを⑦グローメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



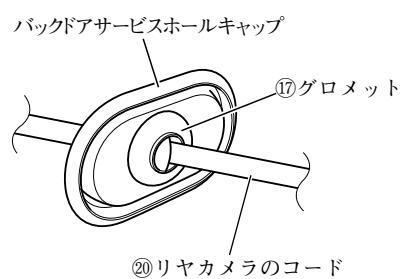
(4) ⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ②ⓧリヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

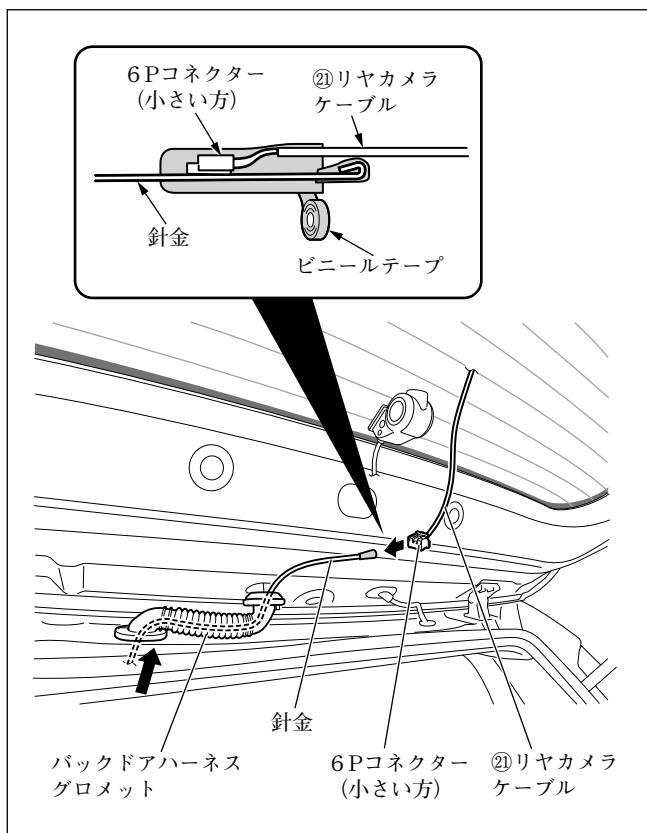
注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

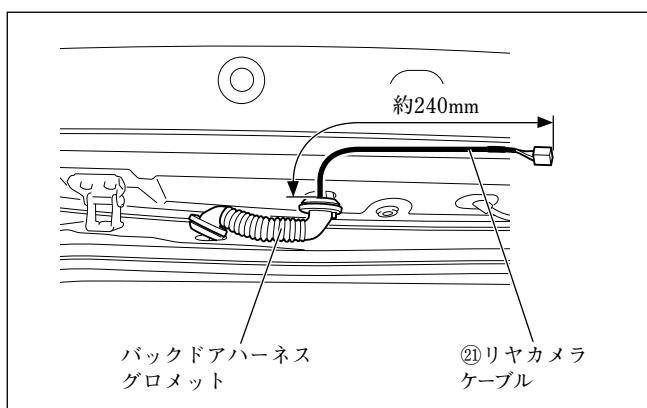
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



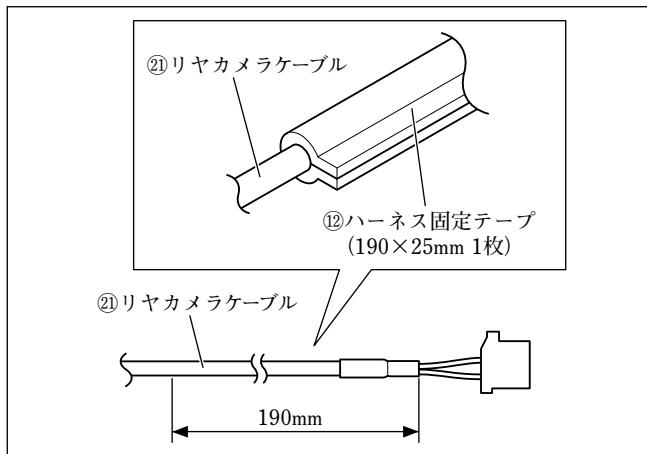
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメットの室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

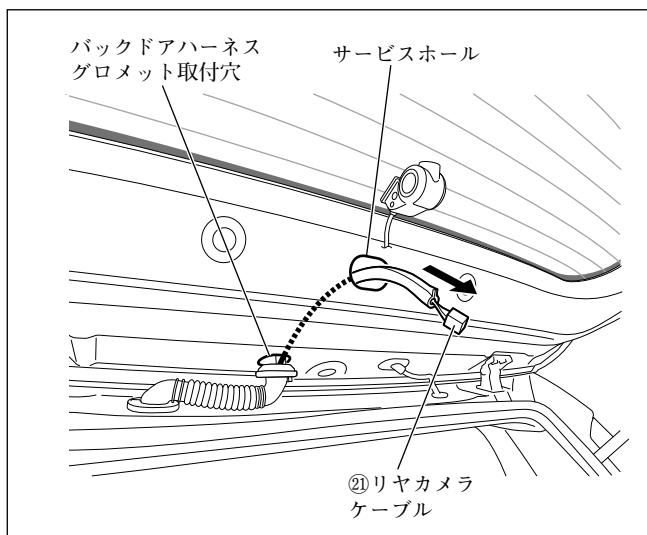
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



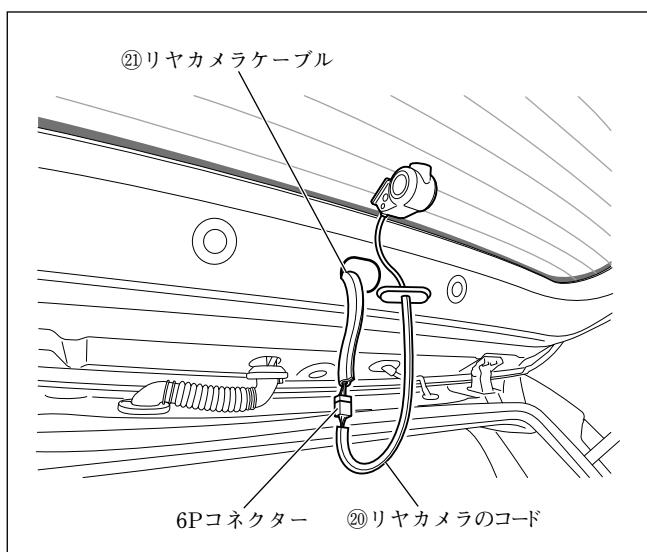
- (5) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

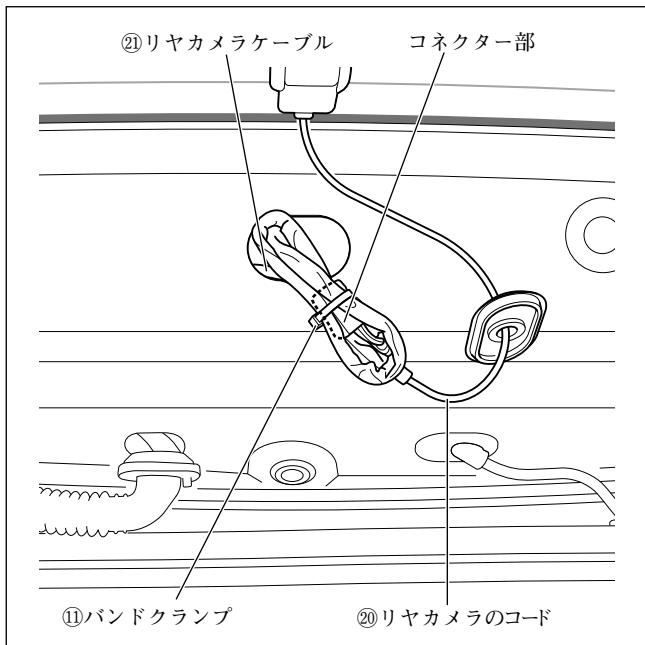


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

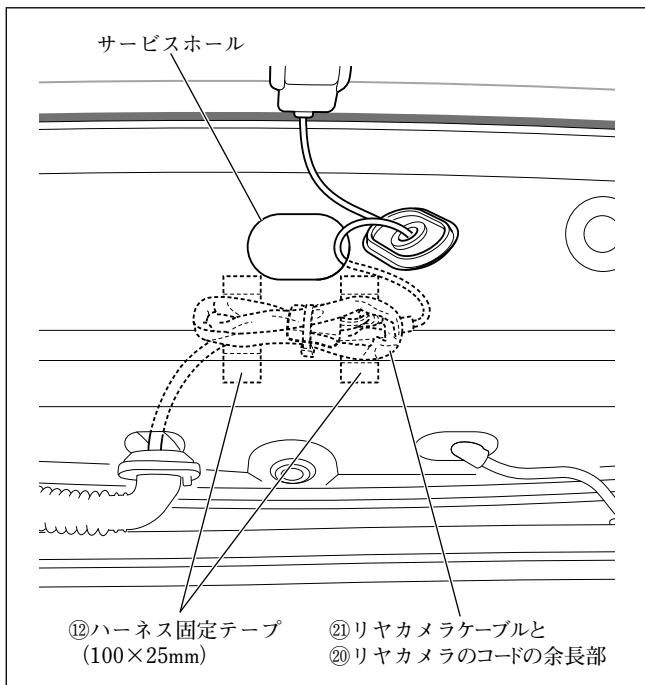


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



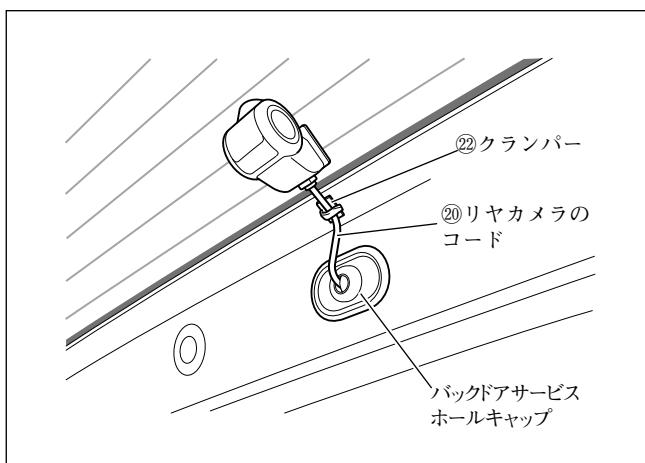
(10) ②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(11) ②リヤカメラケーブルと②リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。
 (13) ②クランパーで②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15℃以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

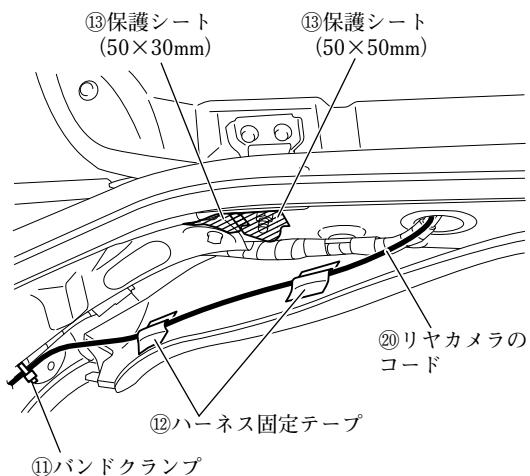
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部左



配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

スイフトスポーツの場合

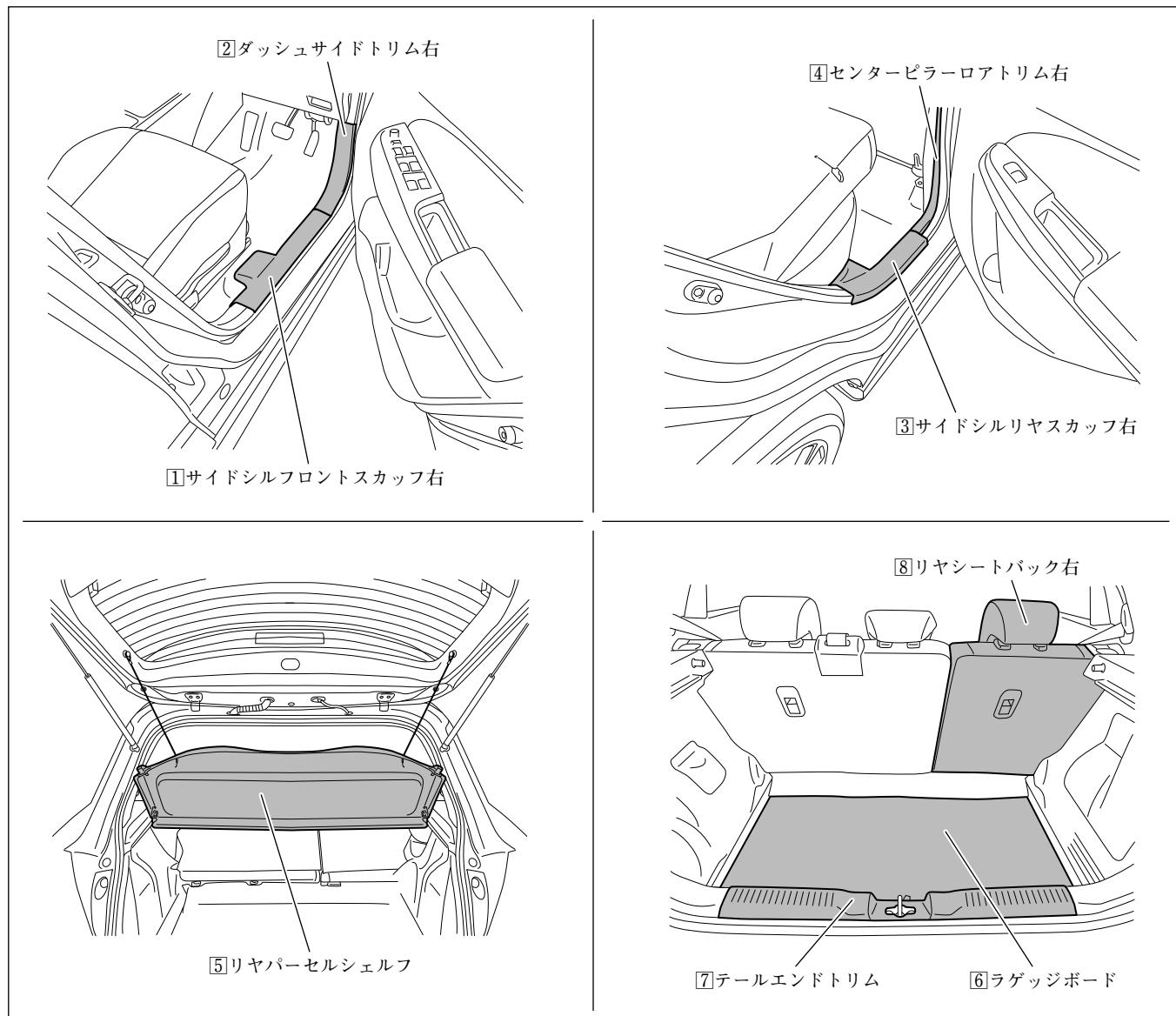
●車両部品の取り外し方法

注記

- ・本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- ・取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

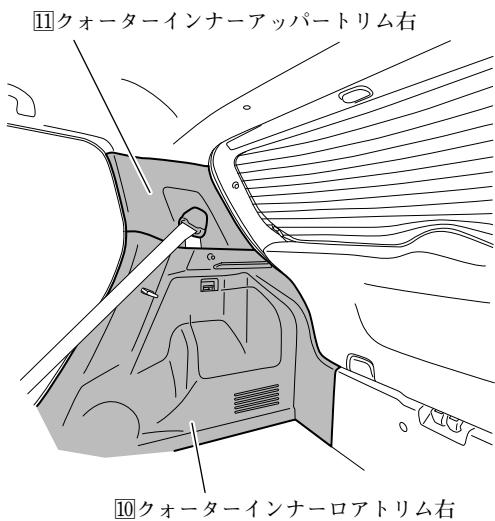
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

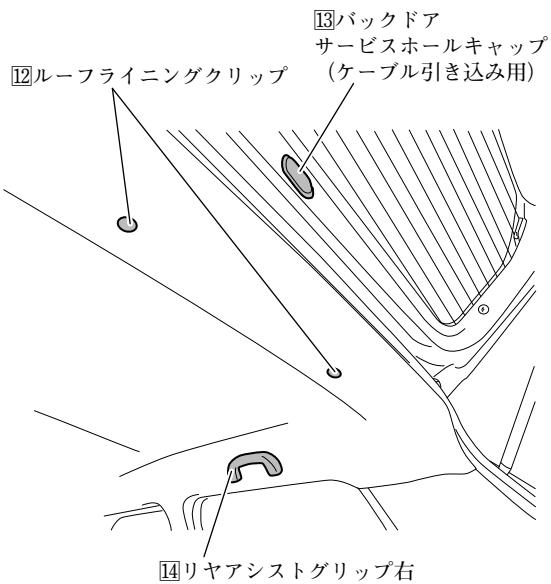




9 リヤシートクッション



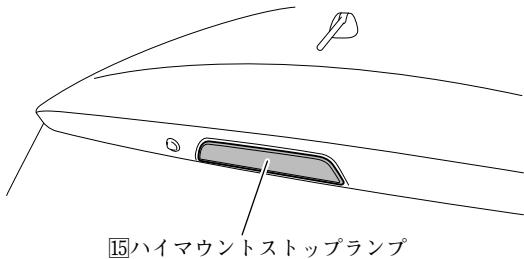
10 クォーターインナーロアトリム右



12 ルーフライニングクリップ

13 バックドア
サービスホールキャップ
(ケーブル引き込み用)

14 リヤアシストグリップ右



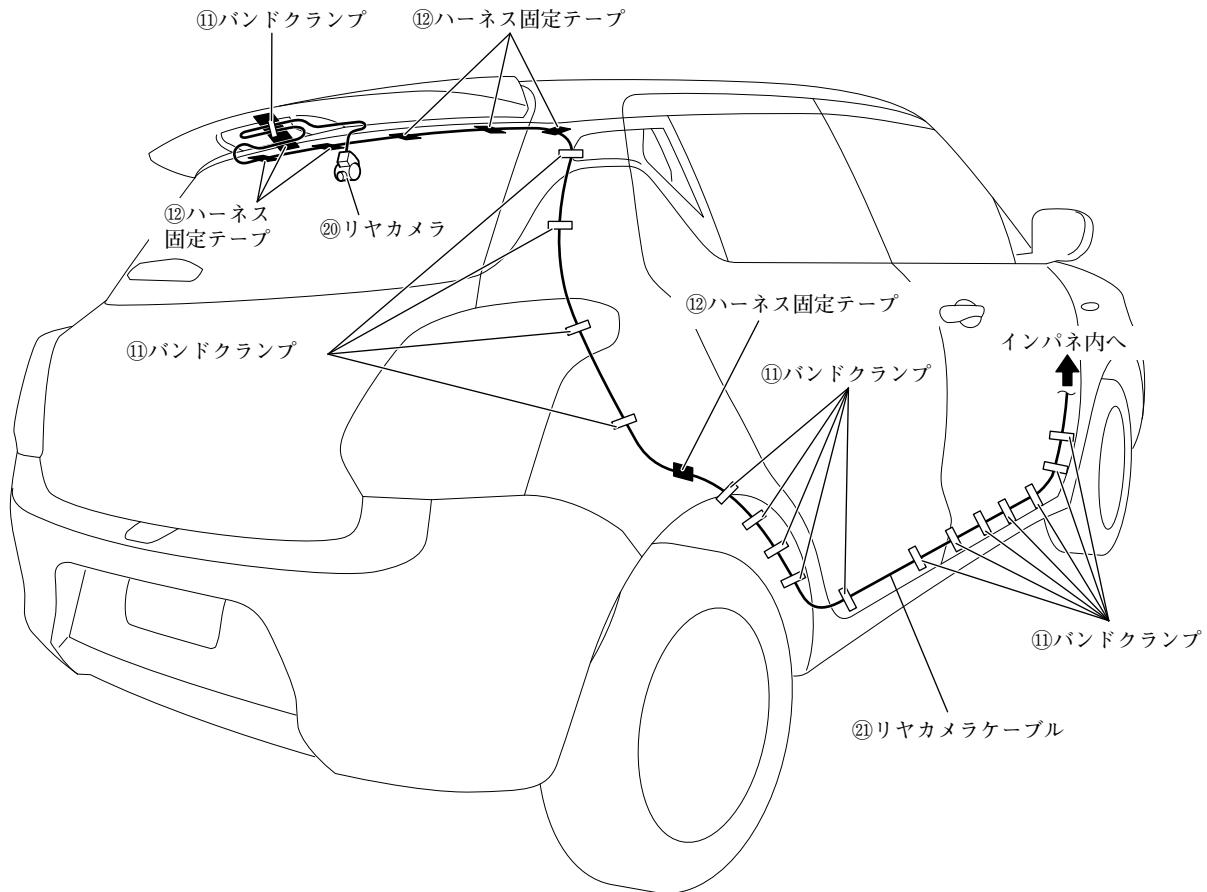
15 ハイマウントストップランプ

アドバイス

ルーフエンドspoイラー非装備車など、ハイマウントストップランプを取り外し可能な車両は、ハイマウントストップランプを外すと作業性が向上します。

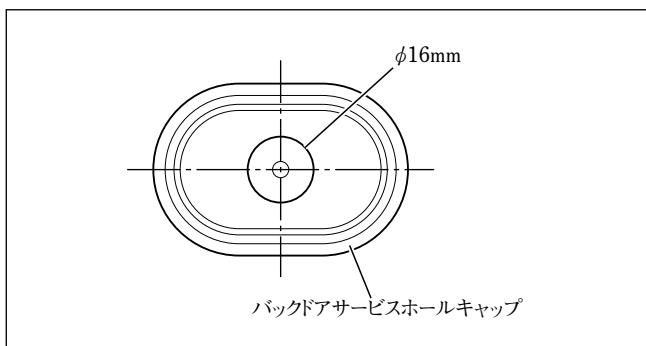
● 取付概要

リヤカメラ



※⑫ハーネス固定テープは、50×20mmにカットして使用してください。なお、使用する場所に応じて大きさを調整してください。

● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央にホールソーでφ16mmの穴を開けてください。

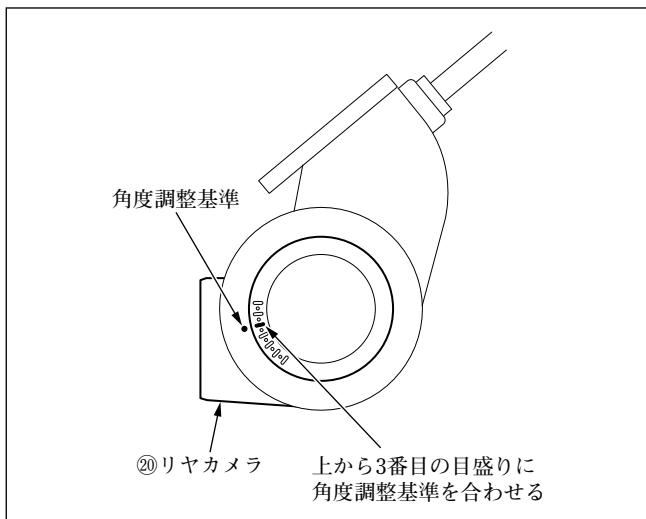
▲注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

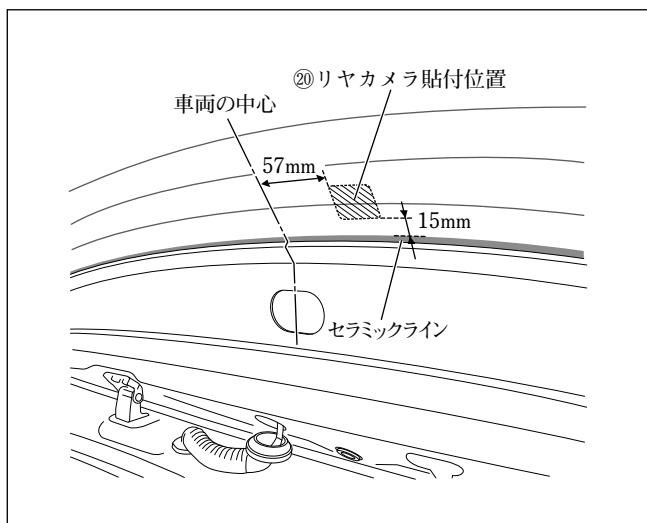


(3) ②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

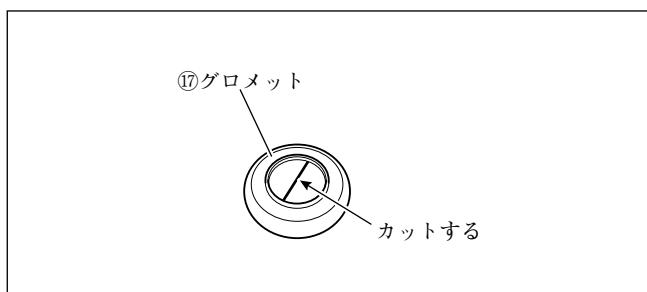
● リヤカメラの取付方法



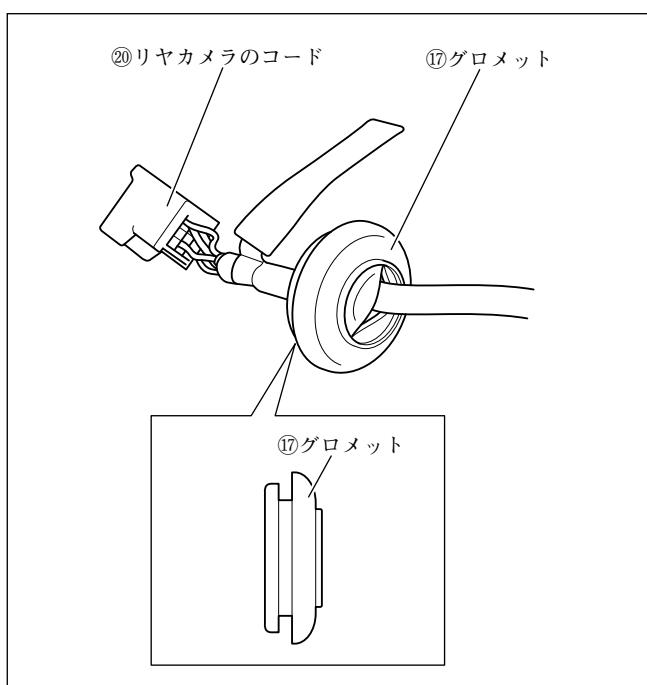
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



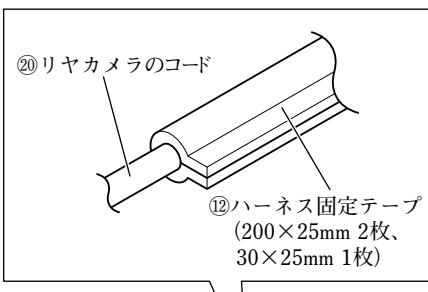
(2) ⑯グロメットを図のように切り込み加工してください。



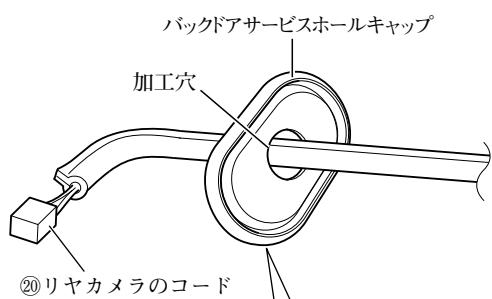
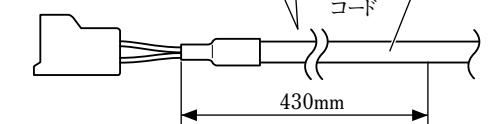
(3) ⑯グロメットを②⓪リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、②⓪リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



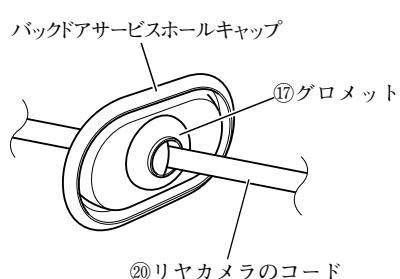
(4) ⑫ハーネス固定テープを②ⓧリヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ②ⓧリヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

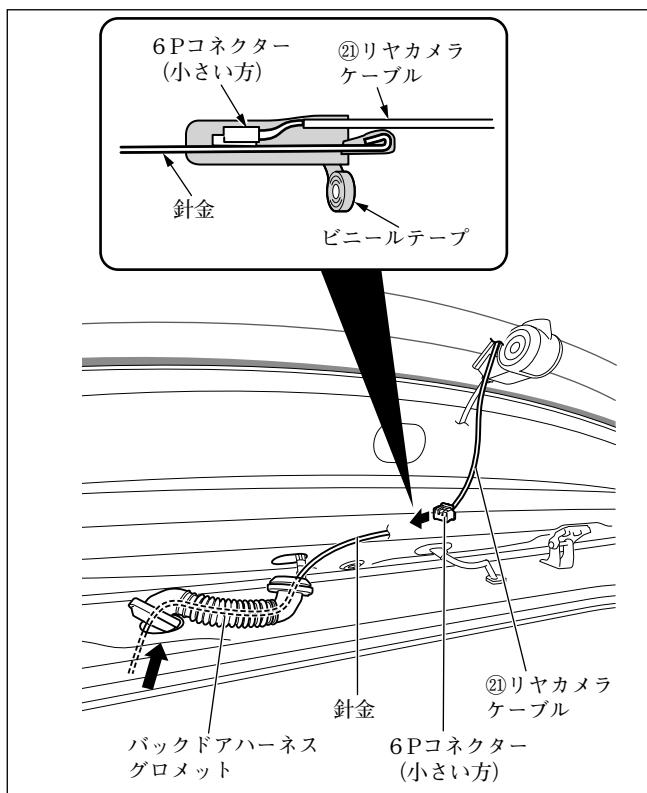
注記

バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯ガロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

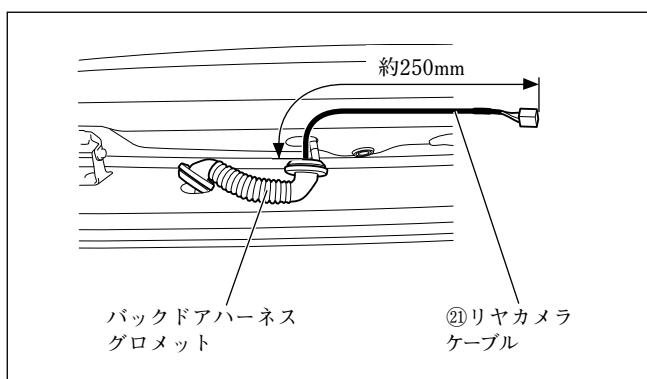
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



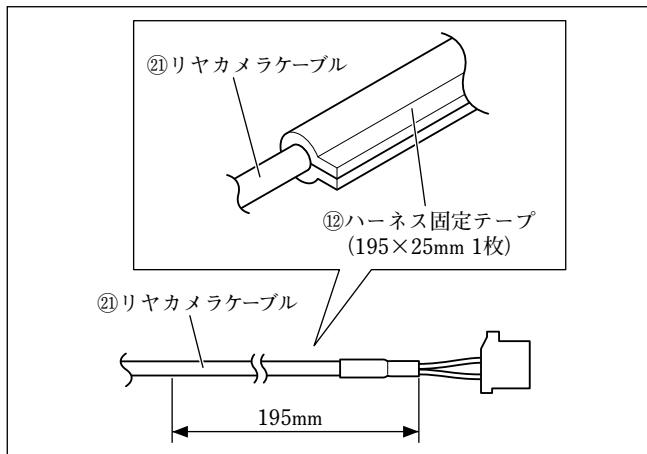
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②①リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

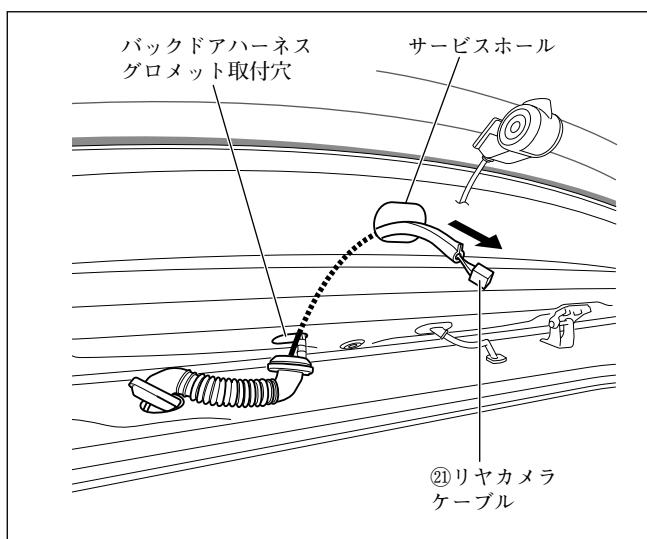
- バックドアハーネスおよび②①リヤカメラケーブル破損防止のため、②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②①リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



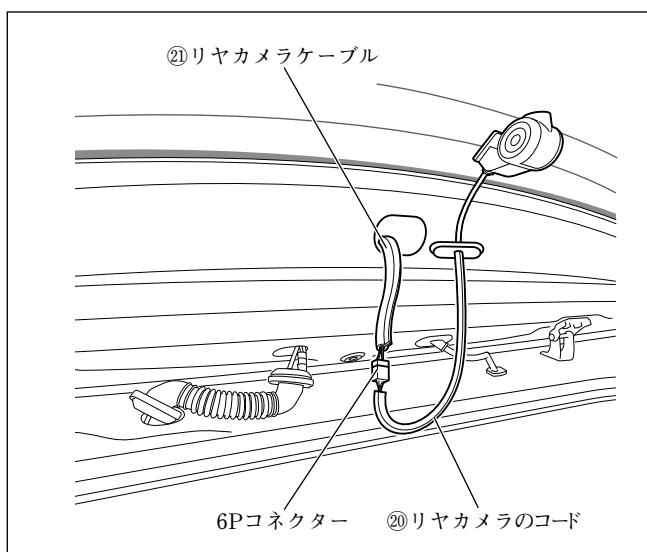
- (5) バックドアハーネスグロメットから②①リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

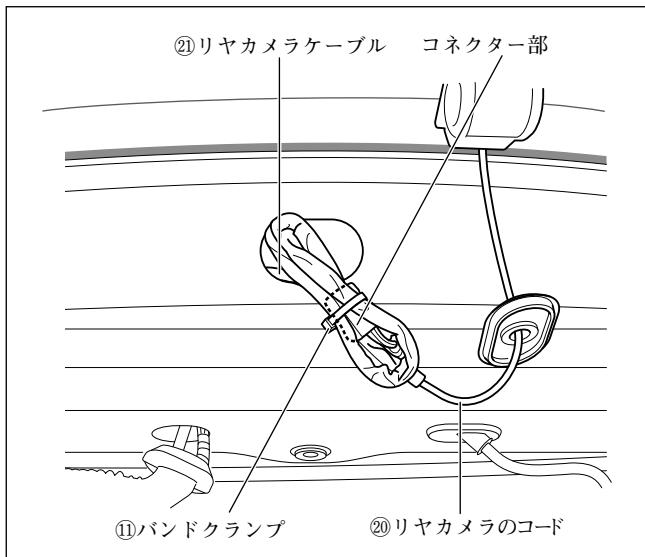


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

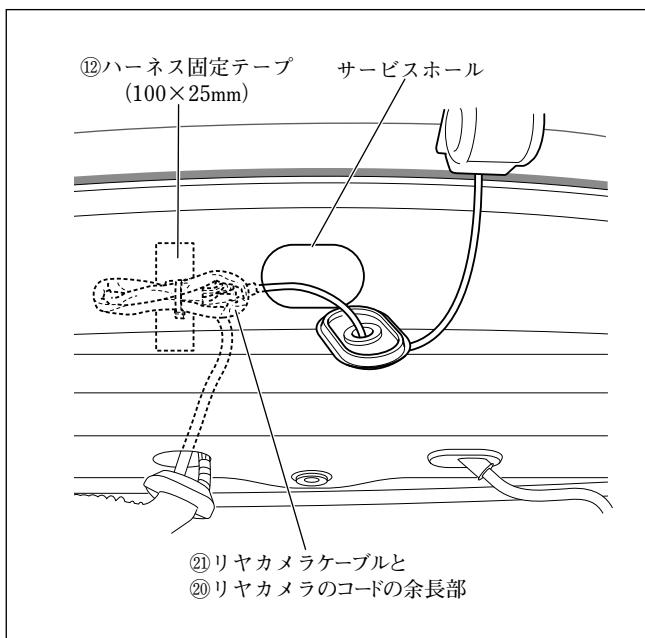


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



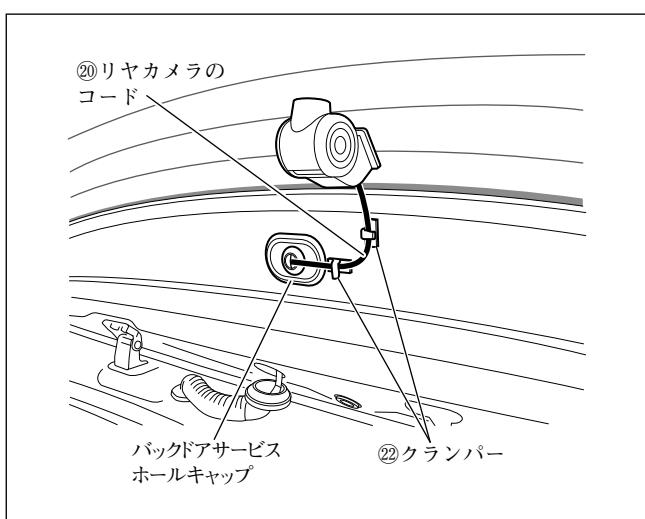
(10) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長を束ね、⑪バンドクランプで固定してください。



(11) ②①リヤカメラケーブルと②②リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ハイマウントストップランプ等と干渉しない位置へ固定してください。
- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。



(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(13) ⑫クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ⑫クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

注記

- ⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

クロスビーの場合

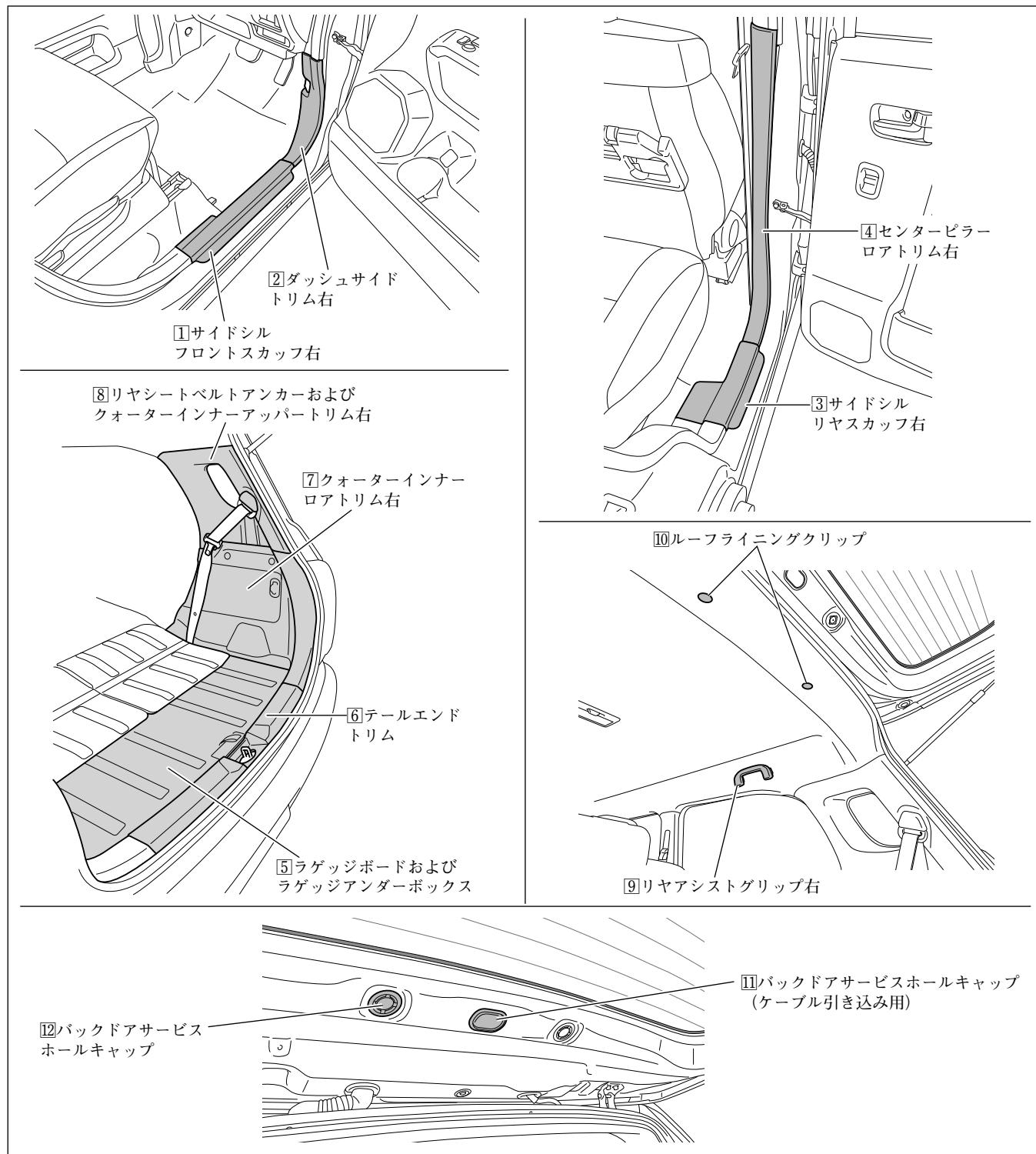
●車両部品の取り外し方法

注記

- 本製品を取り付ける際は、ボディーおよびインパネ等にキズを付けないよう十分ご注意ください。なお、必要に応じてマスキングテープ等で保護をしてください。
- 取り外したスクリュー、ボルトおよびクリップ等は再使用します。紛失しないでください。

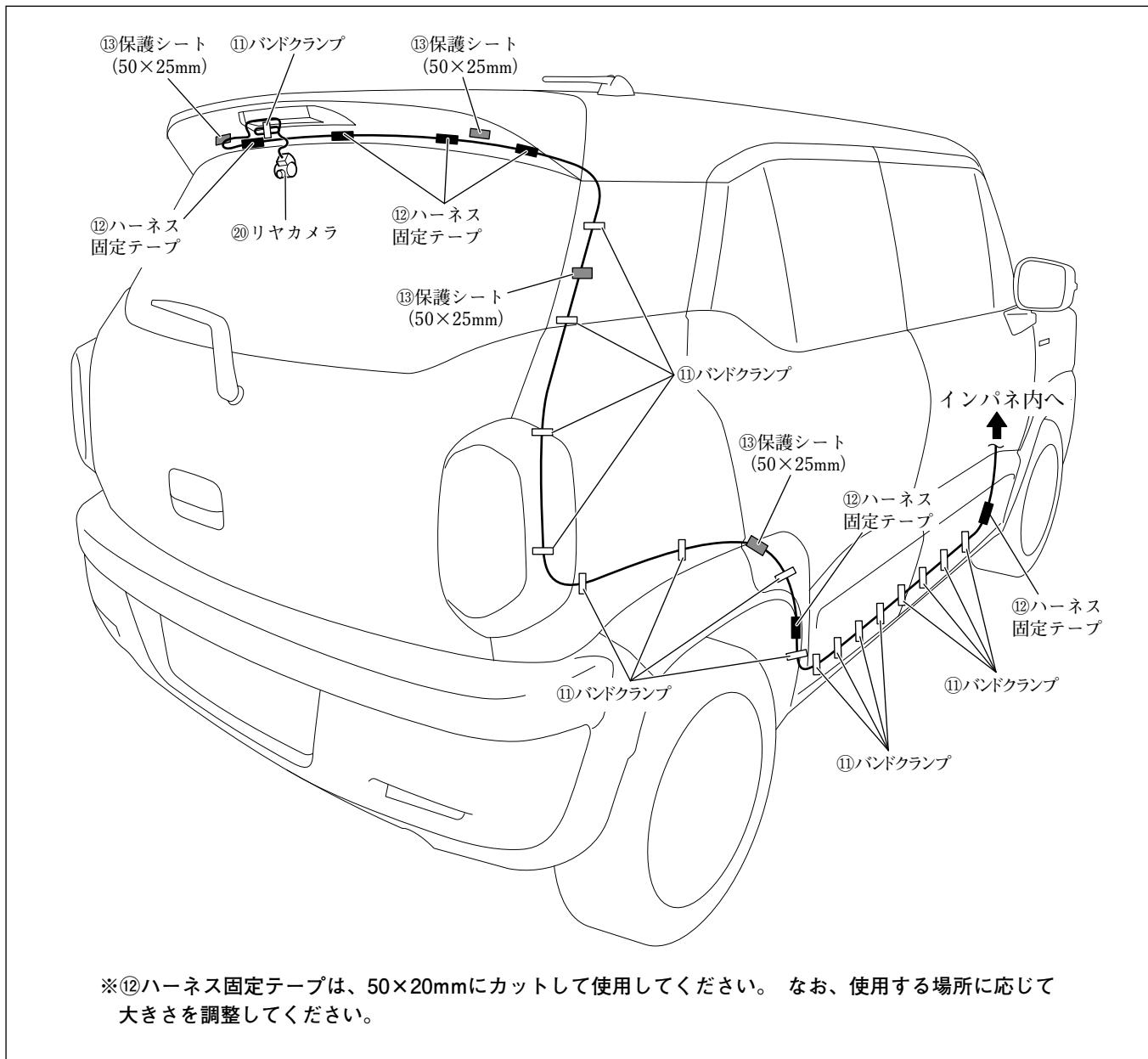
図に示す車両部品を取り外してください。

リヤカメラ

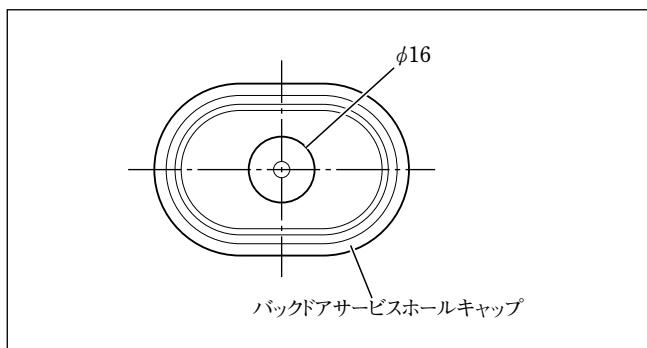


● 取付概要

リヤカメラ



● リヤカメラ取付前の準備



(1) 「車両部品の取り外し方法」の「リヤカメラ」で取り外したケーブル引き込み用のバックドアサービスホールキャップの中央にホールソーでφ16mmの穴を開けてください。

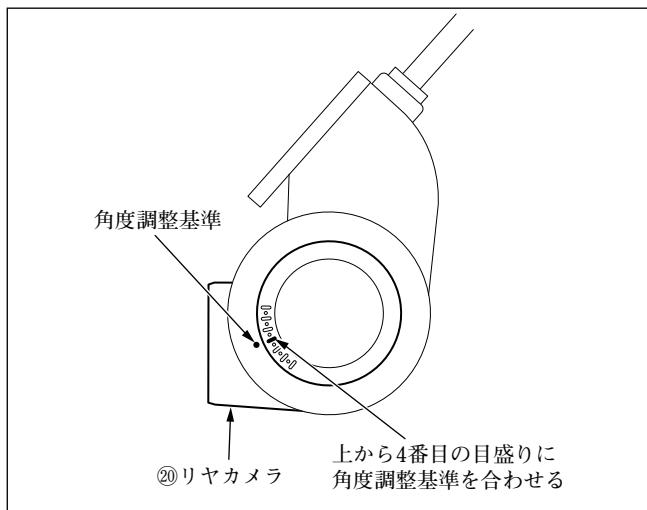
⚠ 注意

- ホールソーを使用する際は、保護メガネ等を使用してください。
- 巻き込み防止のため、電動ドリル作業時は手袋を着用しないでください。

注記

- ホールソーの刃先端部から10mm以内の位置にストッパー（ガムテープ等）を巻いてください。
- ホールソーは穴開け面に対して垂直に当ててください。

(2) ヤスリで穴の周囲を整えてください。

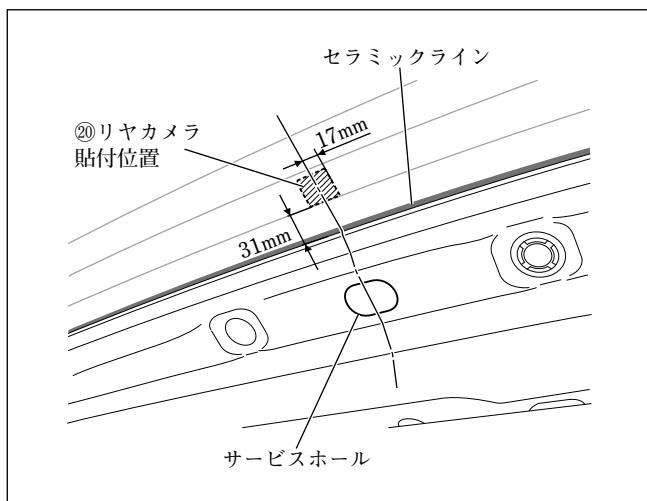


(3) ②②リヤカメラの角度を調整してください。(全車共通の「リヤカメラ取付前の準備」参照)

注記

- カメラレンズ部のよごれや傷付き防止のため、カメラレンズ部を絶対に触らないでください。
- しっかりとロックされ、がたつき等がないことを確認してください。

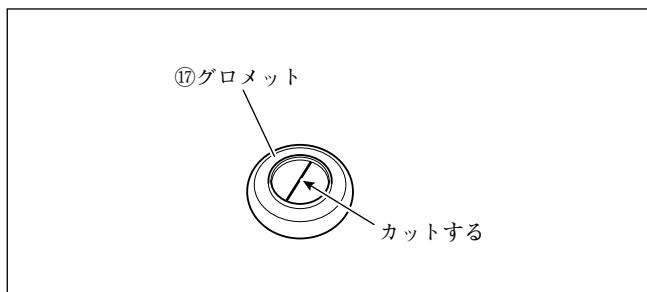
● リヤカメラの取付方法



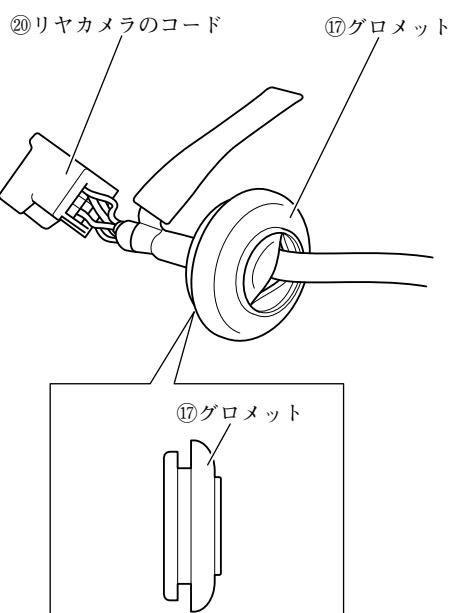
(1) ②⓪リヤカメラは、左図位置に取り付けてください。

注記

- ②⓪リヤカメラを貼り付ける前に取付位置寸法を再度確認してください。
- レンズ保護フィルムをはがしてから、レンズを汚さないように取り付けてください。
- 取り付ける際、取付位置表面のよごれ、水分、油分を十分拭き取ってください。
- 粘着力が落ち②⓪リヤカメラが落下するおそれがありますので、粘着面に手で触れたり、②⓪リヤカメラを取り付け直したりしないでください。
- 15°C以下の場合は、ドライヤーなどでバックドアガラス面と②⓪リヤカメラの両面テープ部を温めてから貼り付け作業を行ってください。



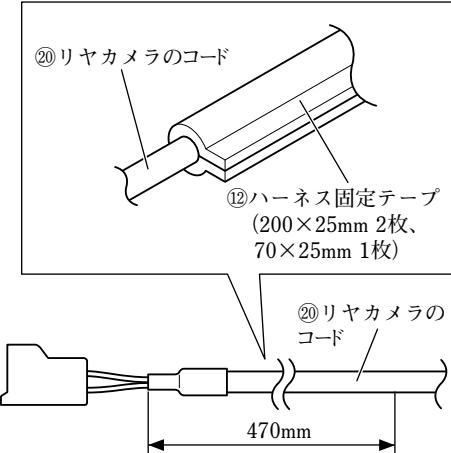
(2) ②⓪グロメットを図のように切り込み加工してください。



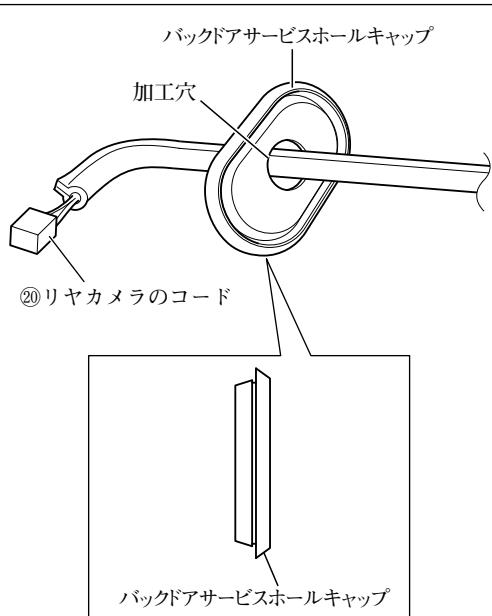
(3) ⑯グロメットを⑯リヤカメラのコードに取り付けてください。

注記

- ⑯グロメットは、図の向きで取り付けてください。
- 破損防止のため、⑯リヤカメラのコードを⑯グロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。



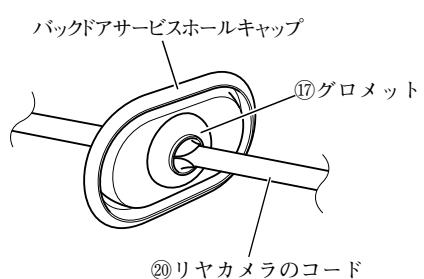
(4) ⑯ハーネス固定テープを⑯リヤカメラのコードに貼り付けてください。



(5) ⑯リヤカメラのコードをバックドアサービスホールキャップの加工穴に通してください。

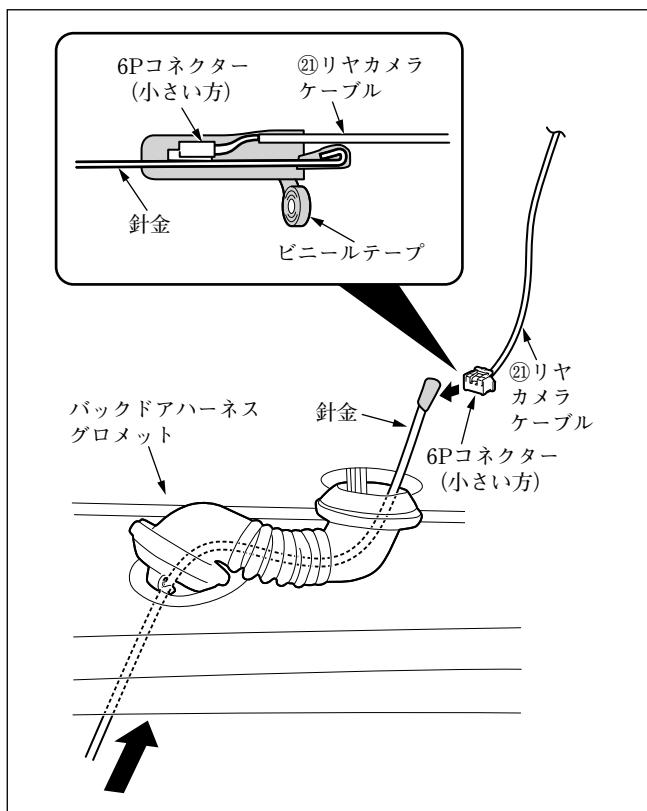
注記

- バックドアサービスホールキャップは、図の向きで取り付けてください。



(6) ⑯ グロメットをバックドアサービスホールキャップの加工穴に取り付けてください。

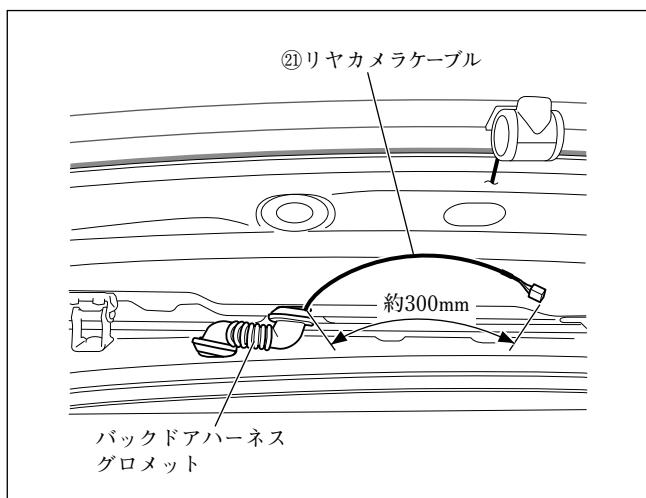
● リヤカメラケーブルの配線（バックドア内）



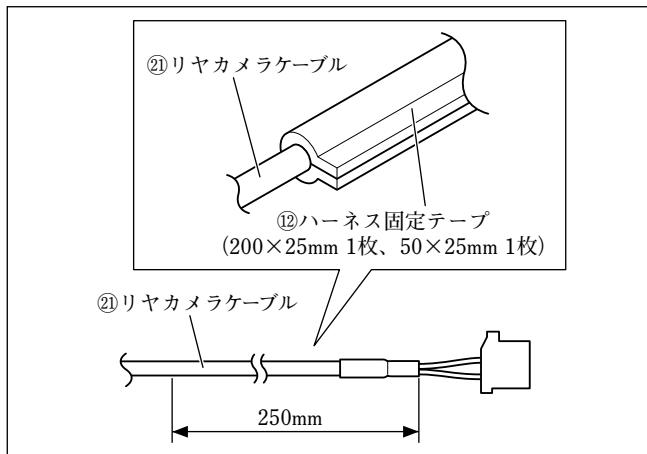
- (1) 針金の先端を折り曲げ、ビニールテープでテーピングをしてください。
- (2) 先端をテーピングした針金をバックドアハーネスグロメット室内側からバックドア側に通してください。
- (3) ②リヤカメラケーブルの6Pコネクター（小さい方）を針金にテーピングしてください。
- (4) 針金を室内側に引き戻し、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通してください。

注記

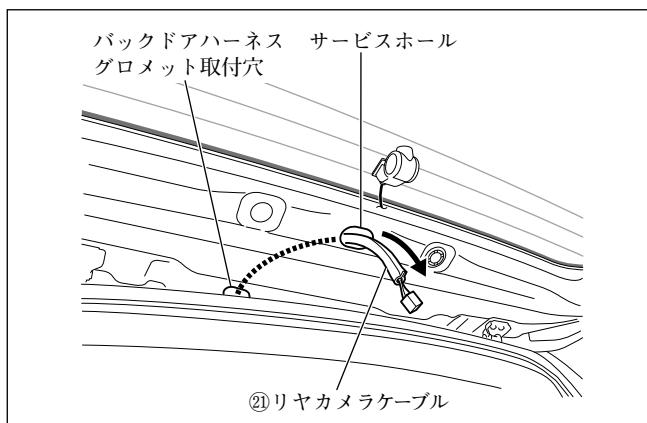
- バックドアハーネスおよび②リヤカメラケーブル破損防止のため、②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、無理に引っ張ったりしないでください。
- ②リヤカメラケーブルをバックドアハーネスグロメット内に通す際は、中性洗剤等を塗布してコネクター部がバックドアハーネスグロメット内で引っかからないようにしてください。その際、コネクターに中性洗剤がかからないようにしっかりテーピングしてください。



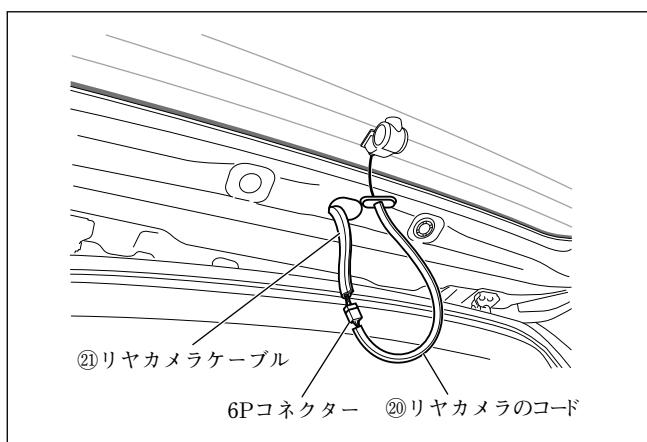
- (5) バックドアハーネスグロメットから②リヤカメラケーブルのカメラ側先端までは、図示寸法を確保してください。



(6) ⑫ハーネス固定テープを⑪リヤカメラケーブルに貼り付けてください。

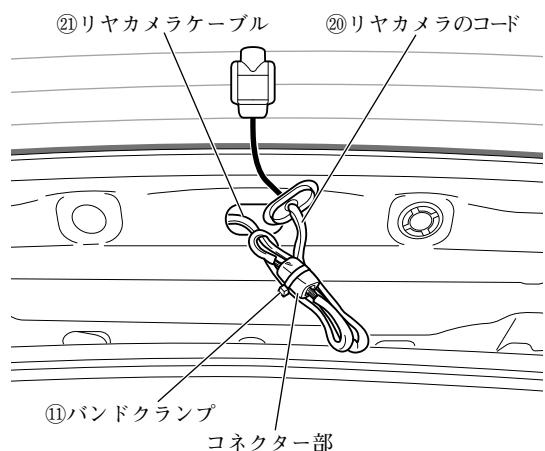


(7) 針金等を使用して⑪リヤカメラケーブルをバックドアパネル内に通してください。

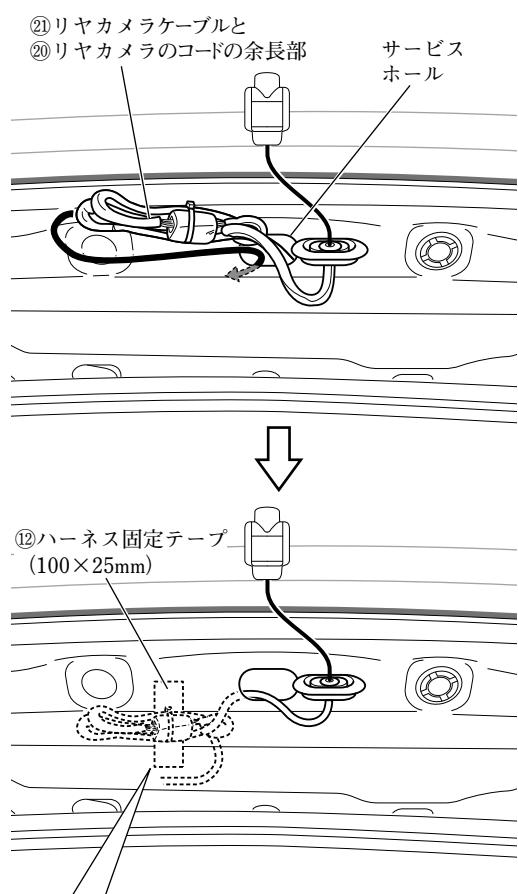


(8) ⑪リヤカメラケーブルのコネクターと⑩リヤカメラのコネクターを接続してください。

(9) 異音防止のため、接続したコネクターに⑫ハーネス固定テープを貼り付けてください。
(全車共通の「リヤカメラケーブルの配線(バックドア内)」参照)



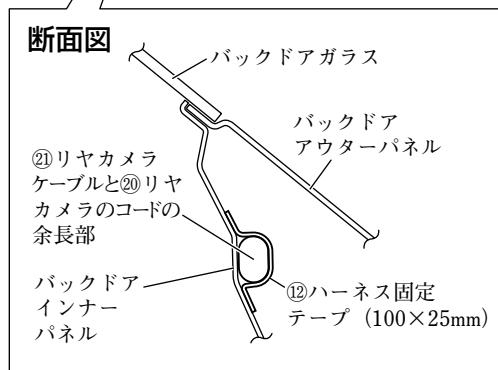
(10) ⑪ バンドクランプで⑩ リヤカメラと② リヤカメラケーブルのコードの余長を束ね、⑪ バンドクランプで固定してください。

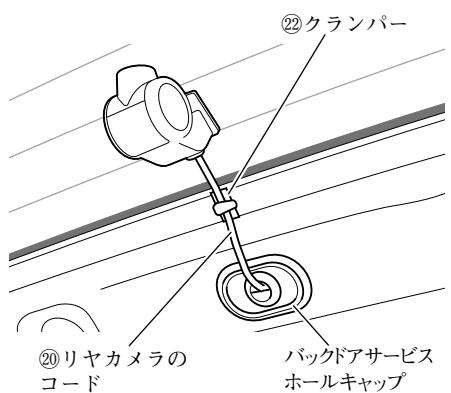


(11) ⑪ リヤカメラケーブルと② リヤカメラのコードの余長部をサービスホールからバックドアパネル内に入れ、⑫ ハーネス固定テープでバックドアインナーパネル側に固定してください。

注記

- ⑫ ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。





(12) バックドアサービスホールキャップを復元してください。

(13) ②②クランパーで②②リヤカメラのコードを固定してください。

注記

- ②②クランパーを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

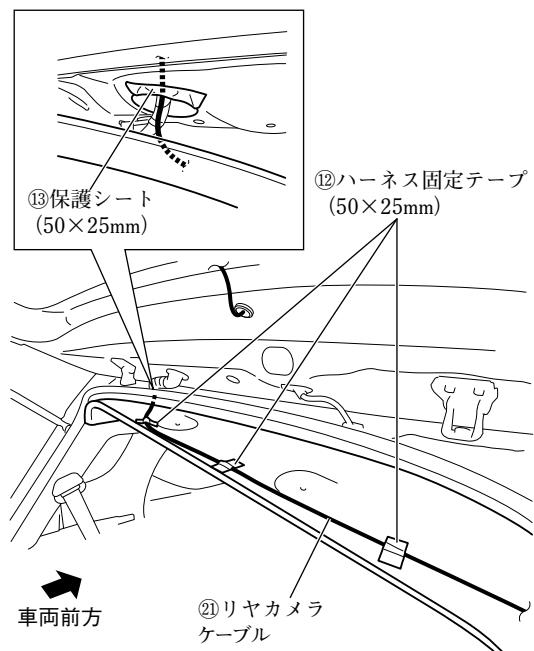
● リヤカメラケーブルの配線（車室内）

「取付概要」を参照して②リヤカメラケーブルを①ドライブレコーダー本体取付部まで配線し、⑪バンドクランプまたは⑫ハーネス固定テープで固定してください。

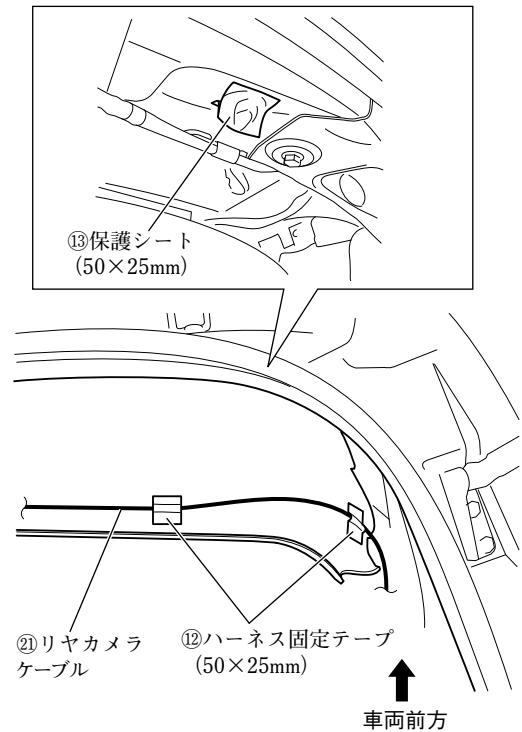
注記

配線時は、次の点に注意して作業を行ってください。

バックドア開口部左



バックドア開口部右

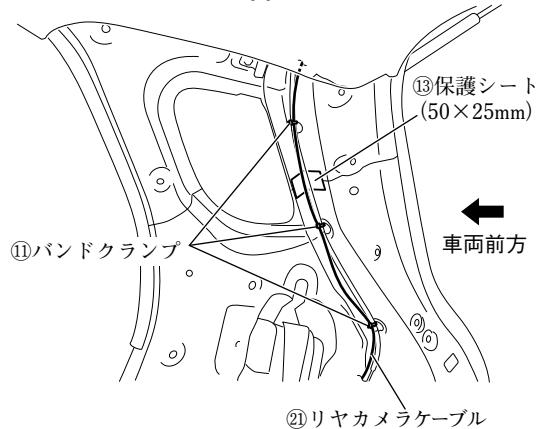


配線を保護するため、図示箇所にエッジ保護をしてください。

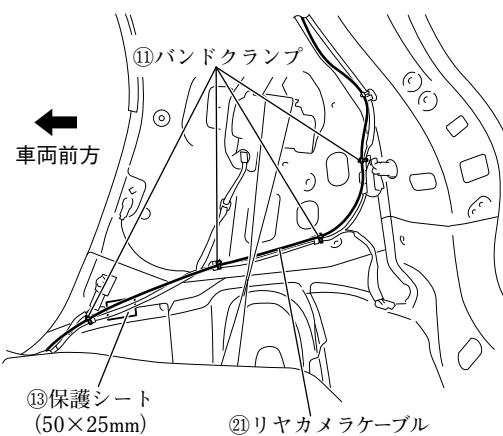
注記

- ⑬保護シートおよび⑫ハーネス固定テープを貼り付ける面の汚れ等をよく拭き取ってから貼り付けてください。汚れ等が残っていると、接着力が低下します。
- 気温が低いとき（15°C以下）は、設置面をドライヤーなどで温めてください。

右クォーターピラー上部



右クォーターピラーダ下部



改訂内容

改訂履歴	内 容	日 付
第1版	新規発行	2022年11月29日
第2版	適用車種追加（スペーシア 型式 MK54S、MK94S） 次の車種のリヤカメラ角度を変更 ・アルト ・エブリイ ・ジムニー ・エスクード ・ソリオ	2023年11月22日
第3版	適用車種追加（スイフト 型式 ZCDDS、ZCEDS、ZDDDS、ZDEDS）	2023年12月13日
第4版	スペーシア（MK53S系）／スペシアベースにおける、後方視界支援ミラーとの共着に対応	2024年2月13日
第5版	適用車種追加（フロンクス 型式 WDB3S、WEB3S）	2024年10月16日
第6版	適用車種追加（ジムニーノマド 型式 JC74W）	2025年3月31日
第7版	アルトのマイナーチェンジに対応	2025年6月23日
第8版	クロスビーのマイナーチェンジに対応	2025年10月2日
第9版	ジムニー／ジムニーシエラのマイナーチェンジに対応	2025年11月3日
第10版	ワゴンRのマイナーチェンジに対応	2025年12月15日
第11版	適用車種追加（eビターラ 型式 PA2AS、PB3AS）	2026年1月23日

パナソニック お客様ご相談室

電話  **0120-50-8729**

■ 上記番号をご利用いただけない場合

045-929-0511(有料)

※通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～17:00 年中無休(当社指定休日を除く)

- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック
オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地